取扱説明書

FOMA® F901iC '05.2

FeliCa

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA F901iC」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA F901iCは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA 端末は、ドコモの提供するFOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

FOMA 端末、FOMA カードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

本書の引きかた

- 表紙とインデックスから引く
  表紙や本書中のインデックスから、操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 目次から引く
  目次（→P2）から操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 索引から引く
  索引（→P603）から操作したい項目や機能名を選んで引きます。
- 特徴から引く→P4
- クイックマニュアルを利用する→P620

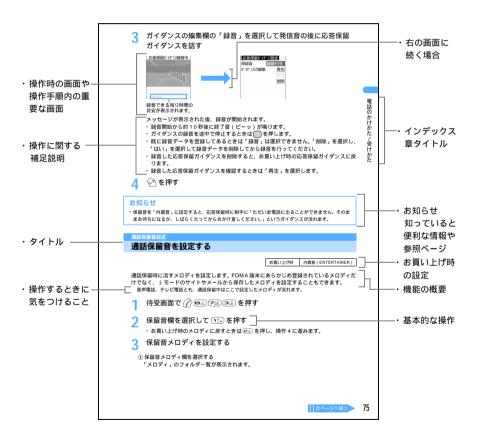
- この「FOMA F901iC取扱説明書」の本文中においては、「FOMA F901iC」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
  miniSDメモリーカードについて→P408
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

※「安全上のご注意」は、P8に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた

＜クイックマニュアル記載→P620＞

ここでは、本取扱説明書の構成や説明方法について紹介します。

- 操作の方法は、主にショートカット操作（→P32）で説明しています。
  各メニュー項目のショートカット操作については、メニュー一覧（→P554）をご覧ください。
- 本書では、（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後にを押す操作を省略しています。
- 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）で説明しています。
  →P536
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書では、各種機能を利用するときに行うユーザの認証操作（4～8桁の端末暗証番号を入力する操作、または指紋認証を行う操作）をまとめて「端末暗証番号の入力または指紋認証を行う」と表記しています。認証操作が必要な場合は、端末暗証番号入力（→P153）か指紋認証（→P156）のどちらかを行ってください。

CONTENTS 目次

FOMA F901iCの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

F901iCの主な機能

キャラ電対応「テレビ電話」

テレビ電話で、通話している相手の映像と自分の映像を同時に表示しながら通話できます。自分の映像の代わりにキャラクタを表示してアクション操作することができます（キャラ電）。

→P89

充実のカメラ・ビデオ機能

アウトカメラには有効画素数204万画素（記録画素数200万画素）、オートフォーカス機能を備えたCCDカメラを搭載し、最大2Mピクセル（1224×1632ドット）の静止画を撮影できます。撮影画面は20倍まで滑らかに拡大することができ（リニアズーム）、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法が選択できます。

→P180

1秒間に30コマの高画質撮影が可能なビデオ機能を備えています。

→P187

JANコードやQRコードの内容を簡単に電話帳に登録したり、iモードサイトに接続したりできるバーコードリーダーの機能も備えています。

→P201

デコメール対応のiモードメール

簡単な操作でメール本文を装飾、楽しいiモードメールを作成できます。文字の色付けや装飾、サイズ変更、画像やラインの本文中への挿入など、設定できる種類もさまざまです。

→P263

3D×3D

強化された3Dグラフィックと進化した3Dサウンドの相乗効果により、カーレースゲームなどの臨場感を体感することができます。

チャットメール

何人もの相手と同時におしゃべりをするようにメールを交わすことができます。チャットメール画面には同報アドレスが一覧表示され、インライン入力による簡単な操作でメールが作成できます。

→P313

iアプリ、iアプリDX対応

iアプリを待受画面に設定したり、複数のサーバに同時アクセスしたりと、リアルタイムな情報入手が可能です。iアプリからの情報を電話帳やメールなどのFOMA端末に登録されたデータと連動させれば、自分だけのケータイの完成です。

→P328

iモードFeliCa

iモードFeliCa対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。

→P362

Flash対応

多彩なアニメーションや表現力が魅力のFlash対応のサイトが利用できます。また、Flashを利用した画像を取り込んで、待受画面に設定することもできます。

→P218

iモーション

サイトやインターネットから映像や音楽を取り込んで楽しむことができます。保存したiモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。

→P356

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1→P481
- 転送でんわサービス※1→P485
- キャッチホン（有料）※1→P483
- ショートメッセージサービス（SMS）※2→P319
- デュアルネットワークサービス（有料）※1→P488

※1：お申し込みが必要です。
※2：お申し込みは不要です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

多彩なあんしん設定

指紋認証機能
FOMA端末のロック設定・解除がワンタッチでできる指紋認証機能を搭載しています。端末暗証番号とともに、指紋センサーが、iモードＦｅｌｉＣａやFOMA端末に保存された個人の大切な情報を守ります。
→P156

プライバシーモード
電話帳、メール、ｉアプリ、動画、静止画、スケジュール、着信履歴、リダイヤル、伝言メモなどにプライバシーモードを設定することにより、第三者による個人情報へのアクセスを阻止します。
→P163

ＩＣカードロック
ＦｅｌｉＣａ機能やＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリの使用を制限する、ＩＣカードロック機能を搭載しています。
→P365

遠隔ロック
FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックおよびＩＣカードロックを設定し、他人が勝手に使用するのを防ぐことができます。
→P166

※その他のあんしん設定については、P151をご覧ください。

その他の優れた機能と外部連携

マルチタスク機能
複数のアプリケーションを同時に利用できるマルチタスク機能を装備。たとえば、テレビ電話の最中にディスプレイでスケジュールが確認できます。
→P442

3Dサウンド対応
ステレオスピーカーやステレオイヤホンセットを使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。この機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや、着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
→P129

「miniSDメモリーカード」対応
外部メモリの共通規格「miniSDメモリーカード」に対応しています。これによって、次の機能が実現します。
- FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのデータをバックアップできます。
→P413
- 外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生することができる場合があります。
→P582
- FOMA端末を、FOMA　USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダ接続用の市販のUSBケーブルでパソコンに接続すれば、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードをパソコンのリムーバブルディスクとして利用することができます。
→P497

高精細、大画面ディスプレイ
ディスプレイはQVGA（240×320ドット）、2.4インチのTFT液晶。ｉモーションが、全画面を使って滑らかに再生されます。また、背面ディスプレイは、1.0インチ96×96ドット、65536色のカラー有機EL搭載。ディスプレイと連動して着モーションを表示できます。
→P27

赤外線通信と赤外線リモコン
赤外線通信機能が搭載された機器との間で、電話帳データやメール、画像、メロディ、スケジュールなどの送受信ができます。また、FOMA端末をテレビの赤外線リモコンとして使うことも可能です。
→P425

4つの機能を持つデータリンクソフト
FOMA端末の電話帳やメールなどのデータをパソコンにバックアップするための「データリンクソフト」、電話帳やスケジュールをMicrosoft® Outlook®と同期させる「データシンクロソフト」、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードの電話帳やBookmarkのデータを編集したり、パソコンにバックアップしたりする「miniSDユーティリティ」、画像データなどを管理、編集する「Fアルバムソフト」。データリンクソフト※には、FOMA端末のデータを有効に活用するためのこれら4つの機能があります。
→P580
※：添付のCD-ROMに収録されています。

F901iCを使いこなす！

F901iCの優れた機能を実際の画面表示で紹介します。

キャラ電でテレビ電話

送信画像の切り替えは、ワンタッチの簡単操作です。自分に代わってキャラクタが気持ちを表現してくれます。→P93

相手と自分の画像を表示

©BVIG
自画像の代わりにキャラクタを表示

©BVIG
画面を切り替える

©BVIG
キャラクタがアクションで感情表現

通話中にワンショットメール

音声電話で通話中、目の前の風景を撮影してすぐにメールで送信できます。→P200

通話中

カメラ起動で撮影

メールを作成

メール送信

着モーション

ｉモーションを電話やメールの着信音やアラーム音としてディスプレイに設定することができます。また、これらの設定を背面ディスプレイに連動させることができます。→P385

着信音に設定

アラーム音に設定

背面ディスプレイに設定

画面のカスタマイズ

静止画や動画／ｉモーション、ｉアプリ、キャラ電、Flash画像を待受画像として設定できます。待受画面に未読メールやカレンダー、スケジュールなどを重ねて表示させることで（カスタム待受画面）、メニュー操作なしにそれらの詳細画面を表示させることが可能です（フォーカスモード）。
→P37、P138
また、メニューアイコンの変更や静止画を背景画像に設定することで、オリジナリティあふれるメニュー画面を作成できます。
→P146

ｉアプリを設定

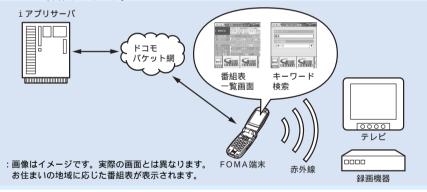
キャラ電を設定
©タカラモバイルエンタテインメント

カレンダーとスケジュールを設定

背景に画像を設定

Gガイド番組表リモコン搭載

テレビ番組情報を簡単に取得してFOMA端末のスケジュール帳に登録したり、番組の時間にアラームを鳴らしたりすることができます。ジャンルやタレントのキーワードで番組情報を検索することも可能です。また、赤外線機能を利用して、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。
→P341

※：画像はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

豊富なプリインストールｉアプリ

3Dサウンドで効果音が楽しめる高度な機能を持ったｉアプリを多数搭載しています。
→P337

RIDGE RACER FOR F
©1993, 2004 NAMCO LTD.

スーパーパズルボブル F
©TAITO 1994, 2004

スペースインベーダー 3DサラウンドF
©TAITO 1978, 2004

3Dサウンドシミュレーター

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

危険

指示 FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合、FOMA 端末や電池パック、その他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　F06　卓上ホルダ　F07　FOMA AC アダプタ　01
FOMA DC アダプタ　01　車内ホルダ　F06
その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

警告

禁止 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

指示 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

注意

禁止 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止 直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破損、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

指示 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

点灯したワンタッチライトを直視しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

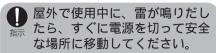
禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

注意

指示 **屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。**

落雷、感電の原因となります。

禁止 **FOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**

火災、故障、感電の原因となります。

指示 **お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**

下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	マルチカーソルキー、アウトカメラのレンズ周囲
ニッケルメッキ	指紋センサー面
マグネシウム合金	表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

禁止 **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

水濡れ禁止 **FOMA端末を濡らさないでください。**

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止 **内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。**

レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止 **ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。**

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示 **誤ってディスプレイ部を破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。**
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

FOMA端末の取扱いについて（つづき）

注意

誤ってディスプレイ部、カメラのレンズ部を破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。

けがの原因となります。
ディスプレイ部、カメラのレンズ部の表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万が一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックを濡らさないでください。

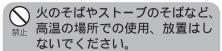
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。
使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

電池パックの取扱いについて（つづき）

危険

禁止
火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

禁止
電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示
電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示
電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害をおこす原因となります。

禁止
直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

電池パックの取扱いについて（つづき）

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

警告

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用 ACアダプタ０１を使用してください。

ACアダプタ：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）

FOMA海外兼用ACアダプタ

：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

警告

水濡れ禁止

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

指示

車内ホルダは確実に取り付けてください。

急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

禁止

充電中は、卓上ホルダやACアダプタを安定した場所に置いてください。
また、卓上ホルダやACアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災、故障の原因となります。

注意

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードの上に重いものを載せたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

FOMAカードを分解、改造しないでください。

データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

故障の原因となります。

ICを傷つけないでください。

故障の原因となります。

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

FOMAカード保管の際には、直接日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。

故障の原因となります。

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。

故障の原因となります。

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

FOMAカードを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

■共通のお願い

●水をかけないでください。

・FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

・FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

●お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることなどがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

・急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。

・指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤作動したりすることがあります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■FOMA端末についてのお願い

●使用中や充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●極端な高温、低温は避けてください。

・温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。

・アウトカメラが破損する原因となります。

●ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

・故障、破損の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。

・故障、破損の原因となります。

■電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
・十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、電池パックの寿命は、使用状態などによっても異なります。
●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
●電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
●充電中や使用中は電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。
●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
・発火、環境破壊の原因となります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口へお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
●次のような場所では、充電しないでください。
・周囲の温度が5℃以下、または35℃以上になるところ
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
●DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■FOMAカードについてのお願い

●極端な高温・低温は避けてください。
●IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
●使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
●他のＩＣカードリーダー／ライター（外部装置）などにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
●お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

●「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｉアニメ／アイアニメ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「WORLD WING／ワールドウイング」「ドライブモード」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「マルチアクセス」「ｉアプリDX」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass／ファーストパス」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「M-stage Vライブ」「musea／ミュゼア」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」「セキュリティスキャン」および「FOMA」「i-mode」ロゴはＮＴＴドコモの商標または登録商標です。

●Windowsは、米国Microsoft　Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
（Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）

●Java および Java に関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

●「Multitask ／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。

●キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。

●NetFront®およびNetFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。

●Macromedia、Flash、Macromedia Flash はMacromedia, Inc. の米国内外における商標または登録商標です。

●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●miniSD™およびminiはSDアソシエーションの商標です。
（miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）

●AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

●ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。

●McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。

●Gガイドモバイル、G-GUIDE Mobile、Gガイドモバイルロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における商標、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、およびGコード、G-Codeは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。

●その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

●本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION の略です。
- Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version4.0 の略です。
- Windows XP、2000、Me、98 のように併記する場合があります。
- Windows 98 と Windows 98SE をまとめて Windows 98 と表記しています。

その他

●本製品はMacromedia, Inc. のMacromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。

●本製品は、インターネット機能としてNetFront® v3.0 for FOMA を搭載しています。
NetFront® v3.0*は株式会社ACCESS の製品です。

●ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
●本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
●本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
●下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本体付属品および主なオプション品について

< 本体付属品 >

FOMA F901iC
（リアカバー F07、保証書含む）

取扱説明書

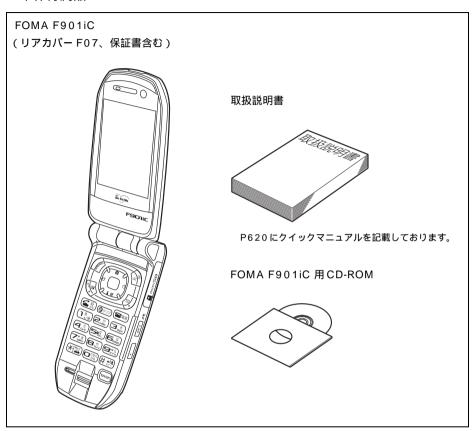
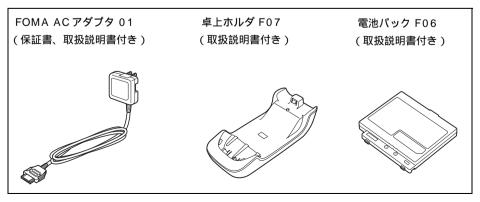
※P620にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA F901iC 用CD-ROM

< 主なオプション品 >

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

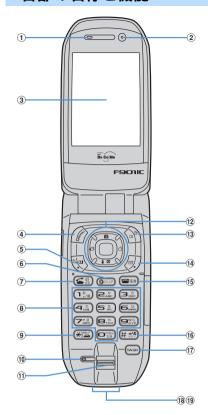
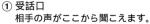
卓上ホルダ F07
（取扱説明書付き）

電池パック F06
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P580

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ105×幅51×厚さ28
※折り畳み時、突起部含まず
質量（g）　：約129
※電池パック装着時

① **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

② **インカメラ**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に自分の映像を送信したりするときに使います。

③ **ディスプレイ→P27**

④ **MENU／左上ソフトキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行、サイドキーロックの設定／解除などに使います。

⑤ **テレビ電話開始／▲（スクロール）／A/a／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、メールやサイト画面の1画面スクロール、文字入力時の大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

⑥ **クリアキー**
文字入力時の入力内容の消去、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使用します。また、ｉアプリ待受画面を設定中に押すとｉアプリソフトが起動します。

⑦ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での音声電話発信や通話切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

⑧ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

⑨ **＊／ドライブモードキー**
「＊」の入力、ドライブモードの設定／解除、カメラ使用時の画面表示モードの切り替えなどに使います。

⑩ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。
※通話中や動画撮影中などに送話口／マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が録音されない場合があります。

⑪ **指紋センサー**
指紋の登録・認証時に指をスライドさせます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

⑫ **マルチカーソルキー**

決定キー
選択した操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチボタン登録したｉアプリソフトの起動などに使います。

カメラ／↑キー
カメラ／ビデオカメラの起動、カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。

着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。

リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動、ＩＣカードロックの起動／解除などに使います。

⑬ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑭ **メール／▼（スクロール）／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の１画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑮ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、通話の終了、操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除などに使います。

⑯ **＃／マナーモード／改行キー**
「＃」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。カメラモード時、通常モードと接写モードを切り替えます。

⑰ **TASKキー**
マルチアクセス・マルチタスク中の画面切替、通話中／操作中の別機能の実行などに使います。

⑱ **充電端子→P46**

⑲ **外部接続端子**
各種オプション類などを接続します。

⑳ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信したりするときに使います。

㉑ **ワンタッチライト／着信ランプ／充電ランプ**
アウトカメラで撮影する際、ワンタッチライトを使用するときに点灯します。
電話の着信時やメールの受信時などに点灯／点滅します。
※着信イルミネーションの新着通知を「ON」に設定すると、新着情報があるときに点滅してお知らせします。→P147
カメラ撮影時や充電中に赤色に点灯します（ただし、カメラ撮影時にワンタッチライトを使用しているとわかりにくい場合があります）。

㉒ **スピーカー**
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。

㉓ **背面ディスプレイ→P30**
電話の着信時やメールの受信時、アラーム設定時刻になったときなどに情報を表示します。

㉔ **赤外線ポート**
赤外線でデータをやりとりする際にここから通信します。

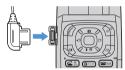
㉕ **アンテナ**
電波の送受信のためのものです。通話中／通信中はアンテナを指で覆わないようにしてください。
※ アンテナは伸びません。

㉖ **ストラップ取付口**
ここにストラップを取り付けます。

㉗ **ＦｅｌｉＣａマーク**
ＩＣカードが搭載されています。このマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしてＩＣカード機能をご利用ください。

㉘ **リアカバー**

㉙ **信号端子**
卓上ホルダと組み合わせてデータ通信を行うときに使います。

㉚ **イヤホンマイク端子**
スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

※ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタＰ００１を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

㉛ **miniSDメモリーカードスロット**
miniSDメモリーカードを使用する際、ここに挿入します。→P408

㉜ **サイドキー［▲］→P26**
※ オートフォーカスの説明時は「サイドキー［AF ▲］」と表記しています。

㉝ **サイドキー［▼］→P26**

お知らせ

・操作の説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。
・ＩＣカードは取り外すことはできません。

サイドキーでできる主な操作

FOMA端末ではサイドキーを押していろいろな操作ができます。主な操作は次のとおりです。

機能		FOMA端末の状態	操作	機能を操作するための状態	参照先
音	受話音量調整	開／閉	サイドキー［▲▼］を押す	通話中、通話中着信中、通話中音声メモ録音中	P70
	着信音の停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、メール／メッセージ受信中	－
	アラーム音の停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	アラーム鳴動中	P448
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	待受iモーション再生中※1、動画／iモーション編集中、動画／iモーション再生中、メロディ再生中※2	P136、P386、P382、P403
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ／音声メモメニューの表示	開	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受画面表示中	P78、P467
	伝言メモ録音（クイック伝言メモ）	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	着信中	P78
	通話中音声メモの起動／停止	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	通話中	P467
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	伝言メモ／音声メモ再生中	P81、P468
その他	マナーモードの設定／解除	閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受中	P133
	バイブレータの停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、アラーム鳴動中、メール／メッセージ受信中	－
	iモード問合せ	開／閉	サイドキー［▼］を1秒以上押す	待受画面表示中	P280
カメラ	オートフォーカス	開／閉	サイドキー［AF▲］を半押しする	カメラ撮影待機中	P183
	撮影		サイドキー［AF▲］を全押しする		

開：FOMA端末を開いた状態　　閉：FOMA端末を折り畳んだ状態
※1：マナーモード中は音量調整できません。
※2：FOMA端末を折り畳んだ状態でも操作できます。

お知らせ

- サイドキー[▲]には、カメラのオートフォーカス機能で撮影するための半押しと全押しがあるため、サイドキー[▼]とは押したときの感触が異なります。
  オートフォーカス→P183

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

① : 電池残量表示→P47
漢／／／／／／ : 文字入力モード表示→P537
② : 受信レベル→P49
圏外 : 圏外表示→P49
self : セルフモード中→P161
 : データ転送モード中／データリンクソフトの使用中→P412、P580
赤外線起動中→P427
miniSDメモリーカードコピー中／移動中／削除中／バックアップ中／復元中／初期化中／情報更新中／miniSDモード中→P497
③ : iモード中（iモード接続中）→P214
 : iモード中（パケット通信中）→P214
④ : 赤外線通信中／赤外線リモコン使用中→P427、P432
⑤ : スピーカーホン機能動作中→P55
 : USBハンズフリー通信中→P64
⑥※1 : センターにiモードメールとメッセージR/F満杯※2→P239、P277
／／ : センターにiモードメールまたはメッセージR/F満杯→P239、P277
 : センターに未受信のiモードメールとメッセージR/Fあり→P239、P277
／／ : センターに未受信のiモードメールまたはメッセージR/Fあり→P239、P277
⑦※1 : 未読iモードメール、ショートメッセージ（SMS）満杯でFOMAカードにショートメッセージ（SMS）満杯→P321
 : 未読iモードメール、ショートメッセージ（SMS）満杯→P321
 : FOMAカードにショートメッセージ（SMS）満杯→P321
 : 未読iモードメール、ショートメッセージ（SMS）あり→P277、P321
 : 未読iモードメールあり→P277
 : 未読ショートメッセージ（SMS）あり→P321
⑧ R／R（青／赤） : 未読メッセージRあり／満杯→P239
⑨ F／F（青／赤） : 未読メッセージFあり／満杯→P239
⑩ : iアプリ実行中→P332
 : iアプリ待受画面表示中（αがグレー）→P346
 : iアプリ待受画面からのソフト起動中に点滅（αがオレンジ）→P347
 : iアプリDX実行中→P332
 : iアプリDX待受画面表示中（dxがグレー）→P346
 : iアプリDX待受画面からのソフト起動中に点滅（dxがオレンジ）→P347
⑪ : SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたソフトでSSL通信中→P215
⑫ : シークレットモード中→P168
⑬ : iアプリ自動起動失敗→P345
⑭ 日付・時刻→P49
⑮ : 不在着信件数→P37
⑯ : 伝言メモ件数→P37
⑰ : 留守番電話新メッセージ件数→P37
⑱ : 未読メール件数→P37
⑲ : マナーモード中→P133
 : オリジナルマナーモード中→P133

次ページへ続く

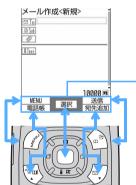
⑳ S：電話着信音消音→P70
V：音声電話のバイブレータ→P130
SV：電話着信音消音と音声電話のバイブレータを同時に設定中→P70、P130
㉑ ：ドライブモード中→P76
㉒ ：伝言メモ設定中→P78
：伝言メモ満杯→P78
㉓ ：USB経由で外部機器からテレビ電話使用中→P100
USBケーブル接続状態表示→P497
㉔ ／
：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P37

㉕ SD：miniSDメモリーカード装着中→P408
㉖ ：FOMAカード読み込み中→P39
※1 ：ICカードロック中→P365
㉗ ：PIMロック中→P162
※1 ：ダイヤル発信制限中→P163
：サイドキーロック中→P165
㉘ ：アラーム設定中→P446
：スケジュールアラーム設定中→P451
：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中→P446、P451
㉙ ：ソフトウェア更新予約中→P596

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：iモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがあるときに表示されます。

ガイド行の見かた

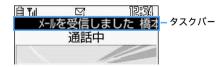
ガイド行には、、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

〈例〉メール作成画面表示中のガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー()を用いて説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
・ガイド行のは、マルチカーソルキーのに対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

タスクバーの見かた

タスクバーには、使用中・動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。マルチアクセス・マルチタスク中は、複数の機能を同時に実行しているため、2つ以上のアイコンが表示され、使用中・動作中の機能を確認できます。→P440、P442
また、メール／メッセージを受信すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

〈例〉音声電話通話中にメールを受信したときのタスクバー

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

お知らせ

・背面情報設定（→P144）を「相手情報なし」に設定すると、メール受信時などに、相手の発信情報（名前やメールアドレス）は、タスクバーに表示されません。

タスクバーに表示されるアイコン一覧

タスクバーに表示されるアイコンは次のとおりです。

:音声電話発着信中・通話中
:テレビ電話発着信中・通話中（64K）
:テレビ電話発着信中・通話中（32K）
:64K データ通信中
:メール作成・表示中
:ｉモードメール受信中
:ショートメッセージ（SMS）受信中
:チャットメール起動中
:メッセージR/F 表示中
:ｉモード問合せ／ショートメッセージ（SMS）問合せ中
:ｉモード中
:Bookmark／Internet／ラスト URL／画面メモ一覧／ツータッチサイト表示中
:ｉアプリ起動中
:USB経由で発信・通信中
:USB経由でパケット送受信中
:「マイピクチャ」起動中
:「ｉモーション」起動中
:「メロディ」起動中
:「キャラ電」起動中
:サウンドレコーダー起動中
:カメラ起動中
:ビデオカメラ起動中
:バーコードリーダー起動中
:電話帳表示中
:伝言メモ・音声メモ起動中
:メモ帳表示中
:スケジュール帳表示中
:スケジュールアラーム起動中
:電卓表示中
:着信履歴表示中
:リダイヤル表示中
:外部データ連携中
:赤外線通信の受信設定中・INBOX表示中
／（青／グレー）
:miniSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
／（青／グレー）
:USB経由でminiSDモード中／USB未経由でminiSDモード中
:アラーム設定起動中
:プロフィール情報表示中
／（青／グレー）
:各機能の設定中／保留中
:ソフトウェア更新中
:ソフトウェア更新の通知あり
:パターンデータ更新中／バージョン表示中
:各種ネットワークサービス設定中
:外部機器によるテレビ電話通話中

一覧画面の見かた

〈例〉色選択画面

一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。
- を押してカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと次ページ、ページの先頭の項目で を押すと前ページが表示されます。

は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- を押してページを切り替えます。
※アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

次ページへ続く

お知らせ

・次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA 端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
　- FOMA 端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
　- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
　- FOMA 端末を開いた状態でしばらくの間、同じ画面を表示していると、何か操作を行って画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA 端末では、サイドキー［▲▼］を押すことで、FOMA 端末を折り畳んでいても背面ディスプレイから情報を得ることができます。

● サイドキー［▲］には、カメラのオートフォーカス機能で撮影するための半押しと全押しがあるため、サイドキー［▼］とは押したときの感触が異なります。
FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲］を押して背面ディスプレイを点灯させるときは、サイドキー［▲］を全押しするためにしっかりと押し込んでください。

①：電池残量表示
②：受信レベル
　：圏外表示
　：セルフモード中
　：データ転送中
③：ｉモード中（ｉモード接続中）
　：ｉモード中（パケット通信中）
④：伝言メモ設定中
　：伝言メモ満杯
⑤：アラーム設定中
　：スケジュールアラーム設定中
　：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中
⑥：ＩＣカードロック中
⑦：不在着信あり
⑧：伝言メモあり
⑨：留守番電話新メッセージあり
⑩：マナーモード中
　：オリジナルマナーモード中
⑪：電話着信音消音
　：音声電話のバイブレータ
　：電話着信音消音と音声電話のバイブレータを同時に設定中
⑫：ドライブモード中
⑬：未読ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）あり（　は満杯）
⑭／（グレー／赤）
　：未読メッセージＲあり／満杯
⑮／（グレー／赤）
　：未読メッセージＦあり／満杯
⑯：センターにメール、メッセージR/Fあり
　：センターにメール、メッセージR/F満杯

背面ディスプレイの表示を切り替える

FOMA 端末を折り畳んでいるときは、サイドキー［▲▼］を押すと日時が表示されます。日時の表示中にサイドキー［▼］を押すと、不在着信や未読のｉモードメールなどがあるときはそれらの件数を表示して確認することができます。
確認できる情報は次のとおりです。

・不在着信件数　・伝言メモ件数　・未読メール件数
・未読メッセージＲ件数　・未読メッセージＦ件数　・留守番電話新メッセージ件数

オールロック、遠隔ロック、サイドキーロック中は、サイドキー［▲▼］を押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくすると日付・時刻表示画面に切り替わります。
→P160、P165、P166

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示が消えます。
- 日付・時刻表示中は約15秒間、件数／詳細情報表示中は約5秒間何も操作しないでいると、背面ディスプレイの表示は消えます。
- 背面情報表示設定（→ P144）を「相手情報表示なし」に設定すると、電話着信時やメール受信時などに、相手の発信者情報（電話番号や名前、メールアドレス）は背面ディスプレイに表示されません。

詳細情報を表示するには

件数を表示させているときにサイドキー［▲］を押すと、電話やメールを着信／受信した日時や相手の電話番号／メールアドレスなどの詳細情報を確認することができます。

- サイドキー［▼］を押して、詳細情報を10件まで切り替えて表示させることができます。11件目以降はFOMA端末を開き、ディスプレイで確認してください。

〈例〉不在着信件数を表示しているとき

受けることができなかった電話の件数が表示されているときにサイドキー［▲］を押すと、電話がかかってきた日時(当日の着信以外は日付のみ)と電話をかけてきた相手の情報がスクロール表示されます。

サイドキー［▼］を押して次の不在着信に切り替えます。

番号／総数、詳細情報
〈例〉1/1件　01/27　12：34　橋本花子

- 電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報に名前が表示されます。

その他の表示について

FOMA端末を折り畳んでいるときに電話を着信した場合や機能を設定／起動中の場合、それらの状態を表示してお知らせします。
主な表示内容は次のとおりです。

- 音声電話やテレビ電話の状態表示
- アラームやスケジュールアラームが起動しているとき
- ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fの問合せ中／受信中
- パケット通信や64Kデータ通信、USB通信、赤外線通信の状態表示
- 伝言メモの状態表示
- 受話音量、着信音量の調整状態表示

メニューから機能を選択する

待受中にメニューから選択して各種機能を実行します。メニューの表示方法は変更できます。

機能を選択する

機能を選択するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押して選択する方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法の2とおりあります。

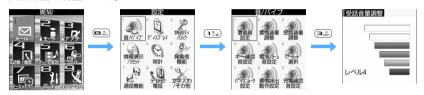
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。

ダイヤルキーでメニューを選択するには（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられており（項目番号）、対応するダイヤルキー（1～9）を押して選択できます。項目の位置とダイヤルキーは次のように対応しています。

本書では主にこの方法で操作の説明をしています。

〈例〉「受話音量調整」を実行するとき

1 **待受画面で MENU 8 1 3 を押す**

受話音量を調整します。→P70

マルチカーソルキーでメニューを選択するには

〈例〉「受話音量調整」を実行するとき

1 **待受画面で MENU を押す**

・カスタムメニューが表示されたときは、 を押してノーマルメニューを表示させます。→P460

2 **を押して「設定」を選択する**

カーソル位置のアイコンの色が変わります。

3 **を押して「音／バイブ」を選択する**

4 **を押して「受話音量調整」を選択する**

受話音量を調整します。

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

[key][key][key] を押し、メニュー項目にカーソルを合わせてしばらくすると、機能説明が表示されます。

「メール」の説明が表示された状態

- 機能説明はしばらくすると自動的に消えます。
- 機能説明を表示しないように設定することもできます。→下記

待受画面や1つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や1つ前の画面に戻すには次のキーを押します。

[電源]：待受画面に戻ります。

[クリア]：1つ前の画面に戻ります。

メニューの表示方法を設定する<メニュー設定>

お買い上げ時	ノーマル：タイルアイコン　カスタム：タイルアイコン　機能説明表示：ON アイコンデザイン：タイプ1　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル カスタムメニューショートカット：カスタム

メニューの表示形式は次の3種類から選択できます。また、メニューを選択した際にそのメニューの説明を表示させるかどうかなども選択できます。

リスト

タイルアイコン

3Dアイコン

1 待受画面で [MENU] を押す

2 各項目を選択して設定する

ノーマル：ノーマルメニュー使用時のメニューの表示形式を設定します。

カスタム：カスタムメニュー使用時のメニューの表示形式を設定します。

機能説明表示：メニュー項目選択時に機能説明を表示するかどうかを設定します。

アイコンデザイン：ノーマルメニュー使用時のタイルアイコンのデザインを設定します。

アイコン拡大表示：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：メニュー表示時にノーマルとカスタムのどちらで表示するかを設定します。

次ページへ続く

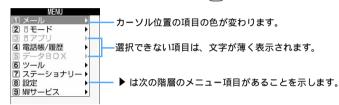
カスタムメニューショートカット

：カスタムメニュー使用時のショートカットの操作方法を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、ノーマルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
- 「カスタム」に設定すると、カスタムメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

3 を押す

設定した内容が登録されます。

リストメニューでの選択方法

リストメニューでは、項目番号と項目名のリストが表示されます。
を押して項目にカーソルを合わせ、を押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- を押して項目にカーソルを合わせ、を押しても選択できます。
- メニュー表示中にまたはを押すと１つ前の画面に戻ります。

3Dアイコンメニューでの選択方法

3Dアイコンメニューでは、機能のアイコンがリング状に並んで表示されます。
を押してアイコンのリングを回転させ、目的の項目を最前面にし、を押します。

- を押すと時計回りで回転します。
- を押すと反時計回りで回転します。
- を押すと奥のアイコンが最前面に表示されるように回転します（で反時計回り、で時計回り）。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号はタイルアイコンやリストメニューに切り替えて確認してください。
- メニュー表示中にを押すと１つ前の画面に戻ります。

アイコンデザインの種類

ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインは、次の３種類から選択できます。

タイプ１

タイプ２

タイプ３

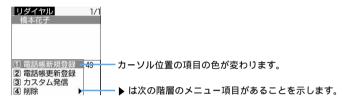
- アイコンデザインで選択できるのは、を押したとき最初に表示される一階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム１」、「カスタム２」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するためのものです。→P146

サブメニューから機能を選択する

機能によっては、ガイド行の左上に「MENU」が表示されるものがあります。このときには、サブメニュー項目を選択することでさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 待受画面で を押す

2 を押す

3 を押してサブメニュー項目を選択する

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- を押して項目にカーソルを合わせ、を押しても選択できます。
- サブメニュー表示中に を押すと、サブメニューが閉じます。

お知らせ

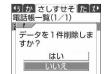
- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なる場合があります。

画面の各項目を設定する

確認画面で「はい／いいえ」を選択するには

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面（ポップアップ画面）が表示される場合があります。

〈例〉電話帳データを削除するとき

1 を押して「はい」または「いいえ」を選択する

- 「はい」を選択すると、目的の機能が実行されます。「いいえ」を選択すると、操作が中止されます。
- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

プルダウンメニューから項目を選択するには

設定する項目内の項目をプルダウンメニューから選択する場合があります。

〈例〉電話の着信音を設定するとき

1 を押して設定する項目にカーソルを合わせる

2 を押してプルダウンメニューを表示させ、 を押して項目にカーソルを合わせる

・項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

3 を押す

チェックボックスで項目を選択するには

チェックボックスをチェックして項目を選択します。

〈例〉スケジュール登録で繰り返しの設定をするとき

1 を押してチェックボックスにカーソルを合わせて を押す

・項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

チェックボックスが☐から☑に変わり、選択されます。

・既に選択されている項目（☑）を選択すると、選択が解除（☐）されます。ただし、機能によっては項目を全選択／全解除できないことがあります。

・ を押すとすべての項目を選択または解除できます。

情報をすばやく表示する<フォーカスモード>

待受画面に次のマークが表示されているときに、マークを選択して、対応する情報をすばやく表示できます。

2：不在着信（電話に出なかった履歴）あり
1：未再生の伝言メモあり
1：留守番電話サービスの新メッセージあり
2：未読の受信メールあり

● それぞれのマークの右に、蓄積されている情報の件数が表示されます。
● カスタム待受画面を設定しているときは、待受画面に情報が表示されます。表示されている情報を選択して、詳細情報を手早く確認できます。→P138

1 待受画面で を押し、 を押してマークにカーソルを合わせる

カーソル位置のマークの色が変わります。

有効なマルチカーソルキーの方向を表示します。

2 を押す

選択したマークに対応する画面が表示されます。

■ 2のとき

着信履歴の一覧が表示され、着信日時を確認できます。発信者番号が通知されていれば、相手の電話番号も確認でき、電話もかけられます。→P68

■ 1のとき

伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。→P81

■ 1のとき

留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。→P481

■ 2のとき

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。フォルダ一覧から未読メールを表示できます。→P277、P321

お知らせ

・マークを選択して を1秒以上押すと、マークは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。
・PIM ロックなど各種ロック機能の設定により、対応する画面が表示されない場合があります。
・待受画面設定でカレンダーを設定、またはカスタム待受画面でエリアにカレンダーを設定した場合には、待受画面で を押し、カレンダーを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます（→P449）。マークを選択するときは、待受画面で を押して を押し、 でカーソルを移動させてマークを選択します。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数	参照先
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件	P277、P297、P321
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件	P259、P297、P319
	未送信メール※1、※2	最大200件	最大100件	P275、P319
	メールテンプレート※1	最大100件	－	P269、P274
FOMAカードのショートメッセージ（SMS）※3		最大20件	－	P323
メッセージR※4		最大100件	最大50件	P239、P244
メッセージF※4		最大50件	最大25件	P239、P244
ブックマーク		最大100件	－	P224
画面メモ※1		最大100件	最大50件	P228
ｉアプリのソフト※5		最大100件	最大100件	P330、P349
画像※1		最大1000件	－	P180、P230、P284
メロディ※1		最大500件	－	P231、P287
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	－	P187、P284、P356、P434
キャラ電※1		最大50件	－	P232

※1：保存・登録するデータのサイズにより、実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：ｉモードメールとショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
※3：送信ショートメッセージ（SMS）、受信ショートメッセージ（SMS）の合計件数です。
※4：保存できる件数はメッセージR/Fのサイズによって変わります。
※5：メール連動型ｉアプリは最大5件（ソフトの最大保存件数100件に含む）保存できます。保存するソフトのサイズにより、実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

お知らせ

・FOMA端末に保存・登録されているデータは、電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも約1ヶ月は保持されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・FOMA端末に保存した画像、メロディ、動画／ｉモーションはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。
・パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーションなどのデータをパソコンに転送・保管することができます。→P580
・保存・登録したデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

●FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

・FOMA カードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから FOMA 端末を折り畳んだ状態で、手に持って行ってください。FOMA 端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

取り付けかた

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向へスライドさせて外します。
電池パックが取り付けられている場合は、取り外してください。→P42

②FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカードスロットへ矢印方向に差し込みます。

③図のようにロックがスライドしてFOMAカードが固定されるまで、さらに差し込みます。

④電池パックとリアカバーを取り付けます。

取り外しかた

①リアカバーと電池パックを取り外します。
FOMAカードに指が触れないようにロックを矢印方向にスライドさせ、FOMAカードを少し飛び出させます。

②FOMAカードスロットから、FOMAカードをまっすぐ静かに取り出します。
このときFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが壊れることがありますので、ご注意ください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押しつけないでください。変形や破損することがあります。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指が触れるなどしてカードの飛び出し量が少なく、FOMAカードが取り外しにくい場合は、奥まで差し込んで再度ロックをスライドさせてください。
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。
→P152、P154

PINロック解除コード

- PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA端末が自動的にロックされます。PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合やPINロックを解除できなくなった場合は、ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。
PINロック解除→P155

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末にはお客様のデータやファイルを保護するための機能としてFOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態でサイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付のデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

・画像（アニメーション、Flashを含む）	・画面メモ
・ｉモーション・メロディ	・メッセージR/F
・キャラ電	・ｉモードメールに添付されているファイル
・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）	・デコメール本文中に挿入されている画像

FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に次の操作ができなくなります。

- 起動
- 自動起動
- バージョンアップ
- ソフト詳細情報の表示
- 自動起動設定の変更
- ツータッチｉアプリ登録
- ソフト情報設定
- ｉアプリ待受画面の設定

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴動する音や表示される画像が異なることがあります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへコピー／移動できません。
- ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリにFOMAカード動作制限機能が設定されていても、ＦｅｌｉＣａマークの面をリーダー／ライター（外部装置）にかざす機能を利用できますが、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動することはできません。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P108
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P246
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	下記
サービスダイヤル	「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付」の利用 ※「故障お問い合わせ先」および「DoCoMoインフォメーションセンター」に接続されます。	利用不可	P489

WORLD WING

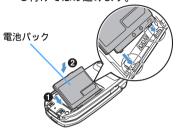
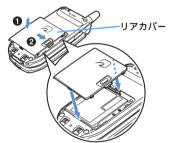
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

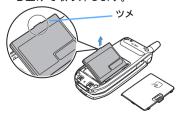
● 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳んだ状態で、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

取り付けかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

② 電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの2箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーのすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外しかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

② 電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

・電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れることがありますので、ご注意ください。
・力を入れすぎるとリアカバーが破損する恐れがあります。
・左記以外の方法で取り付け／取り外しを行うとFOMA端末やリアカバーが破損する恐れがあります。
・リアカバー裏面に貼り付けられているシールをはがすと ＩＣ カードが認識されず、ＦｅｌｉＣａ機能がご利用できない場合がありますので、シールをはがさないようお願いいたします。
また、リアカバーの取り付け／取り外しを行う際は、シールがはがれないようご注意ください。

充電する

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

●電池パック単体での充電はできません。
●電池パックの詳しい取り扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA AC アダプタ 01	約130分
FOMA DC アダプタ 01	約130分

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間（静止時）	約570時間
連続待受時間（移動時）	約410時間
連続通話時間（音声電話通話時）	約160分
連続通話時間（テレビ電話通話時）	約100分

・連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
・連続待受時間はF901iCを折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させたりすると通話（通信）・待受時間は短くなります。ｉアプリのソフトによって、ダウンロードした後も通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。
・データ通信やマルチアクセス実行時、カメラの使用などによっても、通話（通信）・待受時間は短くなります。

お知らせ

・ｉアプリのソフトによっては、FOMA端末を折り畳んでも常に動作状態となり、電力を消費し続けるものがあります。この場合、通話（通信）・待受時間が短くなる場合があります。
・ｉアプリのソフトによっては、ソフトを起動した状態で充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させる場合は、ソフトを終了してから充電することをおすすめします。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。

・**電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになります。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はもう一度正しく充電し直してください。
再充電の際はFOMA端末を一度ACアダプタ（卓上ホルダ）またはDCアダプタから外して、再度セットし直してください。

・**電池パックの寿命は？**
電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。

・**環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電時の留意事項

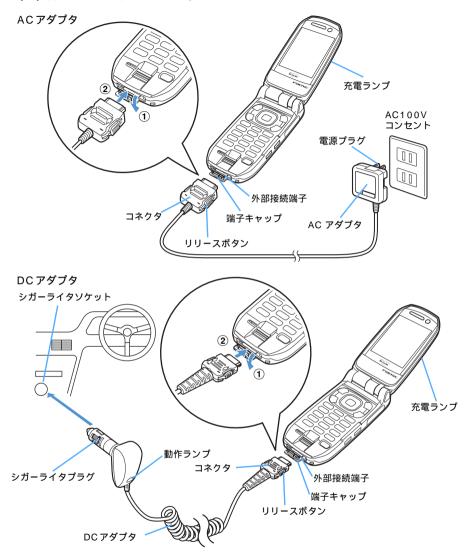
・環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、故障ではありません。しばらくしても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタ（卓上ホルダ）またはDCアダプタから取り外し、再度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくしても点灯しない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。
・高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末が高温になり、充電が正常に終了しない場合があります。この場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
・充電中にメールを受信したり、カメラ撮影をしたりして着信ランプが使用されると、充電ランプは一時的に消灯します。また、着信イルミネーションの新着通知を「ON」に設定しているときに不在着信や未読情報がある場合や、画面セーブモード（→P49）が起動している場合など定期的に他の色で点滅しますが、異常ではありません。
上記以外で充電中に充電ランプが点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→P583
・充電確認音設定を「OFF」に設定していると、充電開始／完了時の確認音は鳴りません。→P132
・十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタ（卓上ホルダ）に接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

必ずFOMA ACアダプタ01（別売）またはFOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書もご覧ください。

(1)FOMA端末に電池パックを取り付けます。
(2)FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にしてFOMA端末と水平に差し込みます（②）。
(3)
〈ACアダプタの場合〉
ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
〈DCアダプタの場合〉
DCアダプタのシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。DCアダプタの動作ランプが赤く点灯したことを確認します。
(4)充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
・待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
・充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
(5)充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
・ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

(6)充電が終わったら、ACアダプタをコンセントから、またはシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押して、FOMA端末から水平にコネクタを外します。

(7)端子キャップを閉じてください。

〈**ACアダプタ**〉

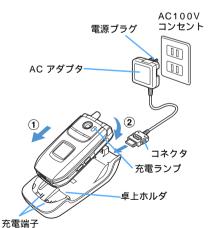
お知らせ

・車内ホルダ F06(別売)と組み合わせてお使いになると便利です。
・DCアダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
・DCアダプタをシガーライタソケットから外しても、DCアダプタに接続したFOMA端末の電源は切れません。FOMA端末を使用しないとき、または車から離れるときは、DC アダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末から DC アダプタのコネクタを抜いてください。
・ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
・DC アダプタのヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを組み合わせて充電する

必ず卓上ホルダ F07（別売）の取扱説明書もご覧ください。
・FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
・正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
・卓上ホルダだけでは充電することはできません。
・卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。

(1)ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。
(2)ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
(3)電池パックを取り付けたFOMA端末と卓上ホルダの充電端子を合わせ（①）、FOMA端末を矢印方向（②）に「カチッ」と音がするまで押し込みます。
(4)充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
・待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
・充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
(5)充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
・ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。
(6)充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。
・長時間使用しないときはAC アダプタをコンセントから抜いてください。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（①）、矢印方向（②）に引き抜きます。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

- 3段階で表示されます。
- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご覧ください。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池マーク

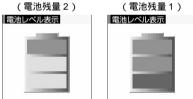
	電池残量3（十分残っています）	電池残量2（少なくなっています）	電池残量1（充電することをおすすめします）
お買い上げ時			
マーク変更時→P147			

電池残量を音と表示で確認する

- 次の場合は確認音は鳴りません。
  - キー確認音を「OFF」に設定している場合
  - マナーモードを設定している場合
  - 電話着信音量を消音に設定している場合

1 **待受画面で MENU 8 4 3 を押す**

電池残量が表示され、しばらくするとメニュー一覧表示に戻ります。

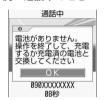
（電池残量3）　（電池残量2）　（電池残量1）

「ピピピッ」と鳴ります　「ピピッ」と鳴ります　「ピッ」と鳴ります

電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、ディスプレイのメッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まりますが、電池アラーム音をすぐに止めたい場合は電源を押してください。

〈例〉待受中のとき

ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。○を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。

〈例〉通話中のとき

受話口から電池アラーム音が聞こえ、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。○ クリア 電源を押すと、メッセージが消えます。電池アラーム音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その後、約1分後に自動的に電源が切れます。

・FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池アラーム音が鳴らないようにする＜電池アラーム音設定＞

お買い上げ時	ON

・本機能の設定に関わらず、次の場合は電池アラーム音は鳴りません。
- マナーモードを設定している場合
- ドライブモードを設定している場合

1 待受画面で MENU 8 1 5 を押す

2 2 を押す

・電池アラーム音を設定するときは 1 を押します。

お知らせ

・「OFF」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源 を2秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

電池マーク
受信レベル
日付・曜日・時刻
待受画像
FOMAカード読み込み中に表示され、終わると消えます。

受信レベルの状態	
→ →	圏外
強 ━━▶ 弱	サービスエリア外や電波の届かないところ

・日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。 を押して、日付時刻設定の操作2から行ってください。
・FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。
・待受画像や日付・時刻の表示形式、電池マークは変更できます。→P134、P147、P149

電源を切る

1 電源 を2秒以上押す

お知らせ

・サービスエリア外や電波が届かないところで圏外が表示されているときは、表示が消える場所まで移動してください。なお、が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
・照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定しているとき、待受画面表示中にFOMA端末を開いたまま約5分間何も操作せずにいると、FOMA端末は画面セーブモードとなりディスプレイが自動的に消灯します。画面セーブモード中は着信ランプが白になり、6秒間隔で点滅します。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。

1 待受画面で MENU 8 5 1 を押す

次ページへ続く

2 日付欄を選択し、日付を入力する

西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。

・2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
・ を押して数字を増減することもできます。
・ を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

3 時刻欄を選択し、時刻を入力する

24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

・0時0分から23時59分まで設定できます。
・ を押して数字を増減することもできます。
・ を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

4 を押す

お知らせ

・設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。
・日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
- スケジュール→P449
- 自動電源ON 設定→P445
- 自動電源OFF 設定→P445
- アラーム設定→P446
- ｉアプリの自動起動機能→P344
- 時刻設定を必要とするｉアプリDX→P328
- 再生・保存期間や期限が設定されているｉモーションの取り込み→P385
- データ（スケジュール）送受信→P427、P429
- ソフトウェア更新→P593
- パターンデータ更新→P599

・日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに細分化するための番号（枝番）が付く場合もあります。
- リダイヤル→P57
- 着信履歴→P68
- 伝言メモ、音声メモ→P78、P467
- カメラで撮影した静止画／動画の日時→P178
- バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時→P204
- ソフトのダウンロード日時→P334
- 送信メール・未送信メールの日時→P294
- 静止画やメロディ、キャラ電、ｉモーション、メールテンプレートなどのダウンロード日時→P269、P380、P392、P402、P405

・音声通話中に を押して、日付・時刻を設定できます。
・ユーザ証明書の操作を行うには、日付・時刻の設定を行ってください。→P246

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で MENU 9 5 1 を押す

■ 設定内容を確認するとき

① **待受画面で MENU 9 5 2 を押し、「はい」を選択する**
設定内容が表示されます。

② **□ を押す**

2 ネットワーク暗証番号を入力する

3 1 を押す

発信者番号通知が設定されます。

■ 発信者番号を通知しないとき

2 を押す

4 □ を押す

お知らせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。→P59
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。このとき、相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。→P103
  次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

- ネットワーク暗証番号→P152

自分の電話番号を確認する

プロフィール情報で自分の電話番号(自局電話番号)や名前、メールアドレスなどを確認します。

1 待受画面で MENU 0 を押す

・お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。
・ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面で i 1 を押してｉMenuを表示し、「オプション設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択します。
あらかじめ登録されているBookmarkからも確認できます。i 2 を押し、「フォルダ1」→「アドレス確認」を選択します。

お知らせ

・通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには、TASK 0 を押します。→P442
・プロフィール情報のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレス欄は自動的には変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、別冊の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
・電話番号以外のプロフィール情報を登録する→P465
・赤外線機能を搭載した他のFOMA端末などとプロフィール情報を交換できます。→P427、P429

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。ただし、ポーズとタイマーの操作については音声電話のみ有効であり、共通の操作ではありません。

● ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押して電話をかけることはできません。→P163
● 通話中はアンテナ部を手で覆わないようにしてください。

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 ・同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHSにかける	070 － XXXX － XXXX

・電話番号を訂正するときは[クリア]を押します。
・[クリア]を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 [文字] を押す

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

・相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。[電源]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P57
・相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。

3 通話が終わったら [電源] を押す

・FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P67

お知らせ

・操作2と操作1の順に操作しても電話をかけられます。[文字]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
・他の機能を実行中に電話をかけることができない場合があります。→P577
・電話帳データの画像選択に動画を設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画の最初のコマが表示されます。→P105
・2つの通信機能を同時に利用することができます。→P440、P575
・電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P51、P59
・相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けないで番号を入力したときや、カスタム発信で「番号通知」を設定せずに電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P51
・通話中クローズ設定で「通話継続（マイクミュート）」に設定しているときは、発信中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイにそのときの状態や相手の情報などが表示されます。→P30、P67
・音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。→P73
・スイッチ付イヤホンマイクを使って電話をかけることができます。→P473

通話中に保留にする＜通話中保留＞

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
・保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に［ ］を押す

通話が保留になり、着信ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話通話のときは、自分と相手にはテレビ電話通話中保留画面が表示されます。

音声電話保留中

テレビ電話保留中

・音声電話の保留中に［ ］または［ ］を押すと、保留が解除されます。
・テレビ電話の保留中に［ ］を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。［ ］を押すと保留が解除されカメラ画像が、［ ］を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。→P93

お知らせ

・通話中クローズ設定で「通話継続（マイクミュート）」に設定しているときは、保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに音声電話の場合は「保留中」、テレビ電話の場合は「テレビ電話保留中」と相手の情報が表示されます。しばらくすると表示は消えますが、サイドキー［▲▼］を押すと再び表示されます。→P67
・保留中に流れるメロディは変更できます。→P75
・テレビ電話中保留画像は変更できます。→P94
・通話保留音に設定した3Dサウンド対応メロディには、通話相手の端末で音質が劣化して聞こえるものがあります。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力して［ ］または［ ］を1秒以上押す

・発信中や通話中は、［ ］を押すたびに通常の受話口からの通話と、スピーカーホン機能を利用したスピーカーからの通話とを切り替えることができます。
・スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイに［ ］が表示されます。
・電話帳一覧、リダイヤルの一覧、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

お知らせ

・スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
・通話中、周囲や相手側の雑音が大きく聞き取りにくい場合は、通常の通話を行ってください。
・FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。
・マナーモード設定中でもスピーカーホン機能を利用できます。

音声電話通話中の操作について

音声電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 着信履歴	着信履歴を表示します。	P68
2 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P57
3 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P49
4 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P63
5 通話品質アラーム設定※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。	P132
6 通話中クローズ設定	FOMA端末を折り畳んで通話を終了するかどうかを設定します。	P67
7 ダイヤル入力	キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P483

※：アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。

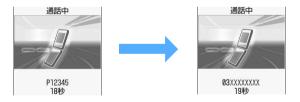
お知らせ

- 通話中には、次の操作もできます。
  - 電話帳キーを押すと、電話帳を起動できます。
  - サイドキー［▲］を1秒以上押すと、通話中音声メモで相手の声を録音できます。→P467
  - 受話音量を調整できます。→P70
  - 左キーを押すと着信履歴を、右キーを押すとリダイヤルを表示できます。

ポーズ、タイマー、「+」を入力する

ポーズ、タイマー、「+」を入力して電話をかけられます。

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ[P]を入力）で発信したとき

電話がつながった後に□を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

ポーズ「P」を入力する

ポーズ（「P」）は、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

＊キーを1秒以上押す

- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどにタイマー（「T」）を利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されるようになります。

#を1秒以上押す

・タイマーは連続して入力できます。
・タイマー1つにつき、約1秒の間隔をとります。
・電話番号の先頭に入力すると発信できません。

「＋」を入力する

電話番号の先頭に「＋」を入力して、簡単に国際電話をかけることができます。

0を1秒以上押す

・国際ダイヤル自動付加設定が「ON」の場合は、国際電話用の「009130010」が付加されて発信されます。

お知らせ

・プッシュ信号（DTMF）を送信する際、受信側の機器によっては信号を受信できない場合があります。
・チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送信する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
・キャッチホンをご契約の場合、お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

リダイヤル

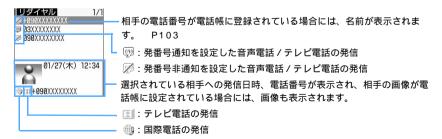
前にかけた相手にかけ直す

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直すことができます。

● リダイヤルは最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
● FOMA端末で日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルに日時が記録されません。
● 同じリダイヤルにかけた場合は、番号通知選択の「指定なし」、「通知」、「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみが記録されます。
● シークレットモードで電話をかけた場合でも、リダイヤルの一覧には相手の電話番号が記録されます。

1 待受画面で を押し、リダイヤルの一覧でかけ直す相手にカーソルを合わせる

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く

■ リダイヤルの一覧から電話帳に登録するとき

① 登録するリダイヤルにカーソルを合わせて [MENU] [1] を押す

・登録済みの電話帳データに追加するときは、[MENU] [2] を押して [1] または [2] を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P116

② [1] または [2] を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P103

■ リダイヤル一覧からショートメッセージ（SMS）を作成するとき

宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせて [メール] を1秒以上押す

リダイヤルの電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。

・[メール] を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目のメールアドレスを宛先に、それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。

■ 着信履歴の一覧に切り替えるとき

[着信] を押す

・[着信] を押すたびにリダイヤル／着信履歴の一覧画面が切り替わります。

2 [発信] を押す

音声電話がかかります。

・テレビ電話をかけるときは [テレビ電話] を押します。

・[ ] を押すと、選択しているリダイヤルの発信方法（音声電話／テレビ電話）と同じ方法で電話をかけます。

お知らせ

・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
・ダイヤル発信制限やPIMロックを設定するとそれまでに記録されていたリダイヤルは削除されます。ダイヤル発信制限やPIMロック設定後に電話をかけた場合はリダイヤルに記録され、リダイヤルから発信できます。
・電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける→P60
・プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける→P60、P62

リダイヤルを削除する

1件ずつ削除することも、すべてのリダイヤルをまとめて削除することもできます。

1 待受画面で [ ] を押す

リダイヤルの一覧が表示されます。

2 削除するリダイヤルにカーソルを合わせて [MENU] [4] [1] を押す

・リダイヤルを全件削除するときは [MENU] [4] [2] を押します。

3 「はい」を選択する

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次のような方法もあります。

あらかじめ一括して設定	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P51
電話帳データに設定	電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P121
ダイヤルするときに設定	実際に電話をかけるときに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	下記、P60

「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けてダイヤルする

実際に電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ 発信者番号を通知するとき

「186 **＋相手の電話番号＋** ☎」**または**「＊31# **＋相手の電話番号＋** ☎」

- テレビ電話をかけるときは、「186（または＊31#）＋相手の電話番号＋ [TV]」を押します。

■ 発信者番号を通知しないとき

「184 **＋相手の電話番号＋** ☎」**または**「#31# **＋相手の電話番号＋** ☎」

- テレビ電話をかけるときは、「184（または#31#）＋相手の電話番号＋ [TV]」を押します。

お知らせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P51
- 以下の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。
  ① 発信時にサブメニューのカスタム発信から番号通知方法を選択した場合
  ② 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合
  ③ 発信者番号通知の設定をした場合
  また、上記の番号通知方法を同時に設定・操作すると、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
- 国際電話では「186（＊31#）」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けて発信した場合、「186（＊31#）」／「184（#31#）」がリダイヤルに記録されます。

カスタム発信

条件を設定して電話をかける

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

1 待受画面で電話番号を入力して MENU 3 を押す

・リダイヤルの一覧、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

2 各項目を選択して発信条件を設定する

発信方法　：発信方法を音声電話、64Kテレビ電話または32Kテレビ電話から選択します。

番号通知　：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P51

マルチナンバー：→P491

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。

・お買い上げ時は国際電話用の「009130010」が登録されています。プレフィックス設定について→P62

3 MENU を押して「はい」を選択する

設定した内容で音声電話またはテレビ電話がかかります。

・「発信方法」で64Kテレビ電話または32Kテレビ電話を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

お知らせ

・電話帳の電話番号に「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けて登録していても、本機能の番号通知が優先されます。
〈例〉電話帳に184090XXXXXXXXを登録しているとき
「番号通知」を「通知」に設定すると「184」が削除され、発信者番号を通知して発信します。
・FOMA端末電話帳の電話帳一覧または詳細（TOP）／詳細（電話）画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細（電話）画面から操作する場合は MENU を押し、「カスタム発信」を選択します。
・電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P51
・国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶市外局番▶相手先電話番号▶ 発信
※上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。 ※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。 ・接続可能な国及び通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。 ・国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する＜国際ダイヤル自動付加設定＞

お買い上げ時	自動付加

国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際ダイヤルを簡単にかけることができます。

- 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際ダイヤル自動付加設定が「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

1 待受画面で MENU 8 7 6 を押す

2 1 を押す

■ 国際ダイヤル自動付加設定を解除するとき

2 を押す

次ページへ続く

■ 国際ダイヤル自動付加設定を利用して国際電話をかけるとき

①国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定する→P61

→P61

②国番号の前に「＋」を入力して電話番号を入力する

・ 0 を1秒以上押すと、「＋」が入力されます。

③ 発信キー を押す

「WORLD CALL」以外の番号を設定する<プレフィックス設定>

お買い上げ時	009130010

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけることができます。

・お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。
「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

1 待受画面で MENU 8 7 5 を押す

2 プレフィックス欄を選択し、番号を入力する

・最大3件、1件につき最大10桁入力できます。
・電話番号にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

3 確定キー を押す

■ プレフィックスを選択して国際電話をかけるとき

①待受画面で国番号を含めた電話番号を入力する

② MENU 3 を押し、プレフィックス欄を選択する

③利用するプレフィックス番号を選択する

④ MENU を押して「はい」を選択する

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

● サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN 回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
また、映像配信サービス「M-stage V ライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で MENU 8 7 7 を押す

2 1 を押す

■ サブアドレス設定を解除するとき

2 を押す

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の後に、＊ を押して「＊」（サブアドレスの区切り）とサブアドレスを入力して、音声電話のときには 発信 を、テレビ電話のときには テレビ電話 を押します。ただし、相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

お知らせ

・サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されず、「＊」を含んだ番号として発信されます。
・サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマーを入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送信されます。

再接続アラーム設定

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラーム高音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

● 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
● 利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は最長10秒間です。
● 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
● 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で MENU 8 7 2 を押す

2 1 〜 3 を押す

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を備えています。ノイズキャンセラを設定すると、通話時に明瞭な声を相手に送ることができます。また、相手の声も明瞭に聞こえるように調整します。

● 通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

1 待受画面で MENU 8 7 1 を押す

2 1 を押す

■ ノイズキャンセラ設定を解除するとき

2 を押す

車の中で手を使わずに話す

あらかじめ市販のハンズフリー機器（カーナビゲーションなど）とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続しておくと、運転中にハンズフリー機器を利用して手を使わずに電話をかけたり、受けたりできます。
ハンズフリー機器の操作については、各ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。
※この機能は、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。

お知らせ

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
  ただし、ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合、ハンズフリー機器の接続中は、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音設定を「OFF」に設定していても、電話の着信時にはハンズフリー機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。→P76
- ハンズフリー機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。→P93
- ハンズフリー機器に接続中にFOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末を折り畳むと通話中クローズ設定の設定に従って動作します。ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらずFOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー機器と接続中でも伝言メモの設定に従い動作します。→P78
- ハンズフリー機器から着信音量や受話音量の調整はできません。

※2004年12月現在、対応機器はリリースされておりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けることはできません。
- [文字]以外のキーを押しても電話を受けることができます（エニーキーアンサー）。→P67

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。

- [電源]を押すと応答保留の状態になります。→P73

2 [文字]を押す

お話しください。通話時間が表示されます。

- [ ]を押すと通話中保留の状態になります。→P55
- [文字]を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。→P55

3 通話が終わったら ☎電源 を押す

・FOMA 端末を折り畳んでも電話を切ることができます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P67

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイには相手の電話番号と電話発着信画像設定で設定した画像が表示されます。着信音設定の電話／テレビ電話に「着モーション」を設定している場合は、着モーションの映像が再生されます。→P128
ただし、着モーションが音声のみ(歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、お買い上げ時の着信画像が表示されますが、電話発着信画像設定で画像を変更できます。

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には、ディスプレイに名前や電話帳に設定している静止画／動画が表示されます。
→P103
各着信音の設定に「着モーション」を設定している場合は、「1.電話帳（メモリ番号）→ 2. 電話帳（グループ）→ 3. 着信音設定の電話／テレビ電話」の優先順位で設定した着モーションの映像が再生されます。着モーションや電話帳の画像を設定していない場合は、電話発着信画像設定で設定した画像が表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。→P51
音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。
テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話発着信設定に従って動作します。

着信中の操作について

音声電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。通話中着信動作選択で「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
3 転送でんわ※2	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。

※１：留守番電話サービスをご契約いただき、音声電話がかかってきた場合のみ有効です。
※２：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

お知らせ

・着信中には、次の操作もできます。
- サイドキー［▲］を１秒以上押すと伝言メモで応対できます（クイック伝言メモ）。→P78
- 着信音量を調整したり、バイブレータの動作を止めたりできます。→P26、P71

お話し中に「ププ‥ププ‥」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス	留守番電話サービスセンターへ転送します。	P481
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P483
転送でんわサービス	転送登録先へ転送します。	P485

・留守番電話サービス、転送でんわサービスの場合、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合に限り、上記の各動作が選択できます。→P490

FOMA端末を折り畳んでいるとき

電話がかかってきたことを着信ランプの点灯／点滅と背面ディスプレイの表示、および着信音でお知らせします。

・音声電話がかかってきたときは「着信中」、テレビ電話がかかってきたときは「テレビ電話着信中」の文字が表示され、どちらの場合もアニメーションが表示されます。着信中の画像は変更できます。→P143
・電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や、電話帳に登録している名前などが表示されます。
　- FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定しているときのみ名前が表示されます。
　- 背面情報表示設定で「相手情報表示なし」に設定している場合は表示されません。→P144
・電話番号が通知されない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。→P51

お知らせ

・電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P171
・電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定しておくことにより、その相手からの着信を拒否できます。→P168
・ビル電話・PBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からの電話は、FOMA端末へもかけられません。
・音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。→P73
・2つの通信機能を同時に利用することができます。→P440、P575
・転送された他のFOMA端末からの電話を着信した場合は、着信中画面の左下に転送元の電話番号が表示されます。転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されません。転送元によっては、転送元の電話番号が表示されないことがあります。
・電話帳データの電話着信音や着信音設定の電話／テレビ電話に動画／ｉモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画／ｉモーション（映像と音声）が再生されます（着モーション）。ただし、着信音に設定した動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信画像設定で設定した画像が表示されます。
・電話帳や電話発着信設定などで電話着信時にｉモーションを再生するように設定していても、通話中に電話の着信があった場合はｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
・ソフトウェア更新中に音声電話の着信があった場合、着信音に動画／ｉモーションを設定していても再生されません。
・着信音設定でｉモーションを設定している場合、ｉモーションの削除や保存を行っているときに電話の着信があると、設定に関わらず着信音が「着信音1」になることがあります。メロディや発着信画像を設定している場合も、メロディや画像の移動、削除や保存を行っているときに電話の着信があると、「着信音1」、「標準画像」になることがあります。
・国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
・スイッチ付イヤホンマイクを使って電話をかけることができます。→P473

エニーキーアンサー設定
ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	ON

電話がかかってきたとき、 以外に ～ 、 、 を押して電話に出られるようにします。

● エニーキーアンサーは音声電話にのみ有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

1 待受画面で を押す

2 を押す

■ **エニーキーアンサー設定を解除するとき**

を押す

通話中クローズ設定
FOMA端末を折り畳んで通話を終了／継続するように設定する

お買い上げ時	切断

FOMA端末を折り畳んで、音声通話／テレビ電話通話を終了／継続するように設定します。

● 64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で を押す

2 または を押す

お知らせ

・スイッチ付イヤホンマイクやハンズフリー機器を接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合、接続中の機器から音を鳴らす設定にしているときは、通話中クローズ設定の設定に関わらず通話を継続できます。

・「通話継続（マイクミュート）」に設定している場合や、スイッチ付イヤホンマイクやハンズフリー機器を接続してテレビ電話通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合の動作は、次のようになります。
 - 自画像を送信中は、相手には代替画像が送信されます。
 - 自画像にフレームを付けて送信中は、フレームは解除され、相手には代替画像が送信されます。
 - 代替画像や静止画を送信中は、相手には継続して静止画が送信されます。→P93

着信履歴を利用する

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

- 着信履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- FOMA端末で日付・時刻設定がされていない場合は、着信履歴に日時が記録されません。

着信履歴を表示する

1 待受画面で を押し、着信履歴の一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせる

電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。
相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には、名前が表示されます。
→P103

選択されている相手の着信日時、電話番号、呼出時間が表示され、相手の画像が電話帳に設定されている場合には、画像も表示されます。

：テレビ電話の着信／ ：64Kデータ通信の着信
：国際電話の着信
：不在着信（未確認）
：不在着信（確認済み）
：伝言メモあり
：伝言メモ削除済み

■ 着信履歴の一覧から電話帳に登録するとき

① **登録する着信履歴にカーソルを合わせて を押す**

・登録済みの電話帳データに追加するときは、 を押します。

② ** または を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P103**

・登録済みの電話帳データに追加するときは、 または を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P116

■ 着信履歴一覧からショートメッセージ（SMS）を作成するとき

を1秒以上押す

着信履歴の電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。
発信者番号非通知理由（→P51）の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、 を1秒以上押すと宛先が設定されていないショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。

・ を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目のメールアドレスを宛先に、それ以外の場合は、着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。
　発信者番号非通知理由の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、 を押すと宛先が設定されていないｉモードメールの作成画面が表示されます。

■ リダイヤルの一覧に切り替えるとき

を押す

・ を押すたびに着信履歴／リダイヤルの一覧画面が切り替わります。

着信履歴から電話をかける

着信履歴の一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせて［キー］または［キー］を押す

- ［キー］を押すと、選択している着信履歴の着信方法（音声電話／テレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける→P60
- プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける→P60、P62

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面には不在着信件数を示すマーク（［1］）が表示されます。

- 待受画面のマークを選択して着信日時などをすばやく確認できます。→P37
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、不在着信件数などを確認できます。→P30
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

お知らせ

- 着信呼出動作設定を「ON」に設定時、時間内不在着信表示を「表示しない」にしているときは、呼出開始時間内の不在着信は表示されません。→P171
  該当する不在着信を表示する場合は着信履歴一覧で［MENU］［5］［3］を押します。通常の着信履歴に戻す場合は着信履歴一覧で［MENU］［5］［2］を押します。すべての着信履歴を表示する場合は着信履歴一覧で［MENU］［5］［1］を押します。
- 呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で［キー］を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
- ダイヤル発信制限やPIMロックを設定すると、それまでに記録されていた着信履歴は削除されます。ダイヤル発信制限やPIMロック設定後に受けた電話は着信履歴に記録され、PIMロック中の場合は着信履歴から発信できます。
- メモリ登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳に登録されていない相手からの着信は拒否され、着信履歴に記録されます。

着信履歴を削除する＜着信履歴削除＞

1件ずつ削除することも、すべての着信履歴をまとめて削除することもできます。

1 待受画面で［キー］を押す

2 削除する着信履歴にカーソルを合わせて［MENU］［4］［1］を押す

- 着信履歴を全件削除するときは［MENU］［4］［2］を押します。呼出開始時間内履歴も含めたすべての着信履歴が削除されます。→P171

3 「はい」を選択する

電話のかけかた／受けかた

受話音量調整

相手の声の音量を調整する

お買い上げ時	レベル 4

相手の声の大きさを調整します。

● レベル 1（最小）〜レベル 6（最大）の 6 段階で調整できます。
● キー確認音、伝言メモ・音声メモの再生音の音量も連動します。
● 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
● 受話音量は電源を切っても保持されます。

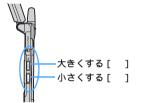
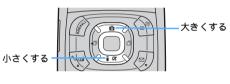
通話中に調整する

1 通話中にサイドキー［▲▼］または を押して音量を調整する

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

・次のキーで音量を調整できます。

サイドキーを使うとき

マルチカーソルキーを使うとき

・テレビ電話通話中の音量調整はサイドキーのみ有効です。このとき、調整音量は画面右下に一時的に表示されます。

待受中に調整する

1 待受画面で を押す

2 サイドキー［▲▼］または を押して音量を調整する

3 を押す

着信音量調整

着信音の音量を調整する

お買い上げ時	レベル 4

電話やメール、メッセージの着信音の大きさを調整します。

● 消音、レベル 1 〜レベル 6 の 7 段階で調整できます。待受中はステップトーン（3 秒ごとに消音→レベル 1…→レベル 6 で着信音が鳴る）も設定できます。
● 電話着信中に変更された着信音量は、通話を終了すると電話着信音量調整の設定に戻ります。
● 待受中に変更された着信音量調整設定は、電源を切っても保持されます。

着信中に調整する

〈例〉電話着信音量を調整するとき

1 **着信中に を押して音量を調整する**

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

お知らせ

- 着信中にサイドキー［▲］を押すと、着信音が消音になり、バイブレータの動作が止まります。
- 着信音量をステップトーンに設定している場合､着信中に調整を行うと､レベル６からの変更になります。

待受中に調整する

〈例〉電話着信音量を調整するとき

1 **待受画面で を押す**

■ **メール着信音量を調整するとき**

待受画面で を押す

2 **サイドキー［▲▼］または を押して音量を調整する**

- レベル６のときに、 または を押すと、ステップトーンになります。また、レベル１のときに、 または を押すと、消音になります。

3 **を押す**

お知らせ

- 電話の着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に S が表示されます（S:SILENT（サイレント））。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、SVが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイにSまたはSVが表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときやメールを受信したときに、ディスプレイのメッセージ表示の他にバイブレータの振動や着信ランプの点灯／点滅、背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P130、P144、P147
- スケジュールアラームの音量も連動します。

電話発着信時の動作を設定する

お買い上げ時	着信音：メロディ／着信音１　人物画像表示：ON　イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／ライム

電話を発着信したときの動作を設定します。

・本機能の設定は、着信音設定の電話着信音、着信イルミネーション設定の電話イルミネーションパターン、バイブレータ設定の電話バイブレータ、電話発着信画像設定の人物画像表示およびイメージ表示にも反映されます。

1 待受画面で MENU 8 6 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
・「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた→P403
・「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

人物画像表示：電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときに、画像を表示するかどうかを設定します。
・電話帳グループ設定の発着信画像の設定には反映されません。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
画像一覧の見かた→P368
・「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

バイブレータ：音声電話がかかってきたときの振動を設定します。
・バイブレータのパターン→P130

イルミネーション：着信ランプのイルミネーションの点灯パターンや色を設定します。
・イルミネーションのパターン・色→P147

3 を押す

お知らせ

・着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。このとき、発信画像は「標準画像」に設定されます。
・着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると、イメージ表示にFlash画像または動画／ｉモーションが設定されていた場合、イメージ表示は「標準画像」に切り替わりますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。
・音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に、発着信画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが着信音量は消音になります。
・電話帳に画像が登録されていない場合は、人物画像表示の設定に関わらずイメージ表示欄で設定した画像が表示されます。ただし、グループ設定で画像を設定している場合は、設定した画像が表示されます。

優先通信モード設定

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

お買い上げ時	設定なし

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

● 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 **待受画面で MENU 8 6 9 を押す**

2 **1 ～ 3 を押す**

優先通信モード設定
1 設定なし
2 音声通話表示優先
3 パケット通信表示優先

・表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示するときは 1 を押します。
・2 を押すと音声電話通話中の画面を、3 を押すとパケット着信中の画面を優先して表示します。

表示される画面について

優先通信モードの設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

・**音声電話通話中**

設定内容	ｉモード以外のパケット着信時
設定なし	音声電話通話中の画面
音声通話表示優先	音声電話通話中の画面
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面

※ 電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。→P490

※ ｉモード以外のパケット着信にはｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fの受信は含まれません。

・**パケット通信中**

設定内容	電話着信時
設定なし	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先	音声電話着信中の画面
パケット通信表示優先	ｉモード中の画面

※ ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。→P575

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にする

電話がかかってきたとき、すぐに出られない場合は保留にできます。

● 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

次ページへ続く

1 着信中に［電源］を押す

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話がかかってきたときは、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

2 電話に出られる状態になったら［文字］を押す

・テレビ電話の場合は［カメラ］を押します。［カメラ］の代わりに［文字］を押すと、相手には代替画像が送信されます。→P93
・応答保留中に［電源］を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

お知らせ

・テレビ電話応答保留画像は変更できます。→P94

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

お買い上げ時	保留音：内蔵音

応答保留時に相手に流すガイダンスを設定します。自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

● ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
● 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で［MENU］［8］［6］［7］を押す

2 保留音欄を選択して［2］を押す

・お買い上げ時のガイダンスに戻すときは［1］を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答保留ガイダンスを話す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- ガイダンスの録音を途中で停止するときは を押します。
- 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音を行ってください。
- 録音した応答保留ガイダンスを削除すると、お買い上げ時の応答保留ガイダンスに戻ります。
- 録音した応答保留ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 を押す

お知らせ
- 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

通話保留音設定
通話保留音を設定する

お買い上げ時	内蔵音（ENTERTAINER）

通話保留時に流すメロディを設定します。FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディだけでなく、ｉモードのサイトやメールから保存したメロディを設定することもできます。
● 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

1 待受画面で MENU 8 7 3 を押す

2 保留音欄を選択して 1 を押す
- お買い上げ時のメロディに戻すときは 2 を押し、操作4に進みます。

3 保留音メロディを設定する

① **保留音メロディ欄を選択する**
「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

電話のかけかた／受けかた

次ページへ続く

② **フォルダを選択し、一覧からメロディを選択する**
メロディが設定され、通話保留音設定画面に戻ります。
・メロディ一覧の見かた→P403
・メロディを選択して を押すとメロディが再生されます。再生中はサイドキー［▲▼］、 を押して音量調整、サイドキー［▲▼］を1秒以上、 を押して前後のメロディの再生ができます。 を押すと設定されます。

4 **を押す**

お知らせ

・通話保留時に流れる保留音の音量は変更できません。
・保留音を変更後に PIM ロックを設定すると、保留メロディにメロディの「プリインストール」フォルダ内のメロディを設定した場合を除き、内蔵音が再生されます。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが相手に流れ、通話を終了します。

● ドライブモード中は、電話の着信やメール・メッセージR/Fの受信、スケジュールやアラームが起動しても、着信音、スケジュールアラーム、アラームは鳴らず、バイブレータや着信ランプも動作しません。また、ドライブモード中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信やメール・メッセージR/Fを受信したときなどは、サイドキー［▲▼］を押すと背面ディスプレイで新着情報を確認できます。
● 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。
● 圏外が表示されているときでも、ドライブモードの設定や解除ができます。
● ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
● 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ドライブモードを起動する

1 **待受画面で を1秒以上押す**

・ドライブモード中は待受画面に が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに が表示されます。

■ **ドライブモードを解除するとき**
ドライブモード中に を1秒以上押す
ドライブモードが解除され、待受画面から 、背面ディスプレイから が消えます。

お知らせ

- 待受中にドライブモードを設定していて電話がかかってきたときは、次のように動作します。
  - 音声電話をかけてきた相手の端末にドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行いません。待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。
  - テレビ電話をかけてきた相手の端末に運転中のため電話に出られない旨のメッセージが表示され、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。
- ドライブモードを設定していても、電話をかけられます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます。
- ドライブモード中の着信と、各ネットワークサービスの関係は次のとおりです。
  ネットワークサービス→P480

サービス名	動　作
留守番電話サービス	・音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行いません。待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、留守番電話サービスの呼出時間を「0秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れず、留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 ・テレビ電話の場合、相手の端末に運転中のため電話に出られない旨のメッセージが表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。
転送でんわサービス	・音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、指定した転送先に転送されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 ・テレビ電話の場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定した場合、着信履歴には記録されません。
キャッチホン	・音声電話通話中の場合、音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れます。音声電話やテレビ電話通話中の場合、テレビ電話をかけてきた相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示されます。テレビ電話通話中の場合、音声電話をかけてきた相手の端末には話中音が流れます。どちらの場合もお客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示され、着信履歴に記録されます。
迷惑電話ストップサービス	・音声電話をかけてきた相手が着信拒否に登録されている場合、相手の端末には着信拒否ガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 ・テレビ電話の場合、相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。
番号通知お願いサービス	・音声電話をかけてきた相手が電話番号を通知していない場合、相手の端末には番号通知お願いガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 ・テレビ電話の場合、相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。

- ドライブモードを設定していても、遠隔ロックで発信元に設定している電話番号から着信があると、着信回数としてカウントされ、遠隔ロックを起動できます。
- データ通信中は本機能を設定できません。
- ドライブモードを設定時、ｉモード中に着信すると、着信は拒否され、着信履歴に記録されます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご契約されている場合は、それぞれの着信動作になります。→上記

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

● 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
● 録音日時や電話番号なども記録されます。ただし、FOMA端末で日付・時刻設定がされていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、録音日時や電話番号は記録されません。
● テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音され、画像は録画されません。
● 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。→P79
● 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。→P80
● 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを設定する

・FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、1 1 を押す

・伝言メモ設定中は待受画面に▣が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに▣が表示されます。

■ 伝言メモを解除するには

伝言メモ設定中に待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、1 2 を押す

・待受画面から▣、背面ディスプレイから▣が消えます。

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中にサイドキー［▲］を1秒以上押すと、伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

お知らせ

・伝言メモが4件録音されると、待受画面に▣(FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに▣）が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
・伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。また、着信中にサイドキー［▲］を1秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P81

伝言メモの設定中に電話がかかってくると

伝言メモの設定中に電話がかかってくると、伝言メモは以下の流れで動作します。

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。

- 応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」というガイダンスが流れます。応答ガイダンスを「録音データ」に設定しているときは、自分で録音したガイダンスが流れます。

2 相手のメッセージが録音される

- 録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

- 内容を確認していない伝言メモがあるときは、待受画面には伝言メモ件数を示すマーク（1）が表示されます。1を選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、伝言メモ件数などを確認できます。→P30

お知らせ

- 着信中や応答ガイダンス中、伝言録音中に電話を受けることができます。を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話（相手には代替画像を送信）になり、を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。このとき、伝言録音中の場合は電話を受けるまでの録音内容は記録されません。
- 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。圏外時に用件を録音したいときは留守番電話サービス（有料）をご利用ください。→P481
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。→P81
- ドライブモード中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモで応答した場合でも、着信履歴に記録されます。
- 伝言メモ録音中に他の人から電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。キャッチホンをご契約の場合、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、相手にはテレビ電話伝言メモ録音中の画像が送信されます。テレビ電話伝言メモ録音中の画像は変更できます。→P94

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する＜伝言メモ応答時間設定＞

お買い上げ時	8秒

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

次ページへ続く

1 待受画面でサイドキー［▲］を１秒以上押し、1 3 を押す

2 応答時間を入力する

・伝言メモ応答時間を０～120秒の範囲で入力します。
・ を押して数字を増減することもできます。

お知らせ

・オート着信機能設定（スイッチ付イヤホンマイク接続時）・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合には、クイック伝言メモで応対してください。→P78
・オート着信機能設定の自動着信機能時間と、伝言メモの応答時間は同じ時間に設定できません。→P475

応答ガイダンスを設定する＜伝言メモ応答ガイダンス設定＞

お買い上げ時	伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音

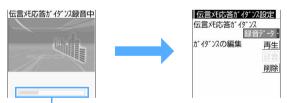
伝言メモの応答ガイダンスを設定します。自分の声を応答ガイダンスとして録音することもできます。
・ガイダンスは１件、約10秒間録音できます。

〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面でサイドキー［▲］を１秒以上押し、1 4 を押す

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択して 2 を押す

・お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作４に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答ガイダンスを話す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
・録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
・ガイダンスの録音を途中で停止するときは を押します。
・既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してください。
・録音した応答ガイダンスを削除すると、お買い上げ時の応答ガイダンスに戻ります。
・録音した応答ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 押す

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
・伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。→P37

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、2 を押す

伝言メモ一覧画面では、伝言メモの録音日時と相手の電話番号が表示されます。
・相手の電話番号が通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。
・マークの意味は次のとおりです。
：まだ再生していない音声電話伝言メモ
：まだ再生していないテレビ電話伝言メモ
：再生済みの音声電話伝言メモ
：再生済みのテレビ電話伝言メモ

2 再生する伝言メモを選択する

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。
・再生中は次の操作ができます。
／サイドキー［▲▼］：音量調整
：再生停止

■ 伝言メモを削除するとき
①削除する伝言メモにカーソルを合わせて MENU 2 1 を押す
・伝言メモを全件削除するときは MENU 2 2 を押します。
②「はい」を選択する

■ 伝言メモ一覧から電話帳に登録するとき
①登録する伝言メモにカーソルを合わせて MENU 4 を押す
・登録済みの電話帳データに追加するときは、MENU 5 を押します。
② 1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P103
・登録済みの電話帳データに追加するときは、1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P116

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択する

・「はい」を選択すると、伝言メモが削除されます。

お知らせ

・伝言メモ一覧で相手にカーソルを合わせて を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの画像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電などを表示することもできます。

テレビ電話通話中の画面の見かた

①	親画面	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示。
②	通信速度	64K：64K　32K：32K
③	テレビ電話の状態	表示なし：通常の通話中 ：スピーカーホン機能利用中
④	子画面	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示。
⑤	ズーム	×1：標準～×16：16 倍（アウトカメラ） ×1：標準～×2：2 倍（インカメラ）
⑥	接写モード	表示なし：通常モード ：接写モード（アウトカメラ）
⑦	状態	：自画像送信中　：代替画像送信中 ：キャラ電中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ中 ：音声メモ録音中
	アクションモード	Action：全体アクション　Parts：パーツアクション
⑧	撮影効果モード	STD：標準　：逆光　：セピア ：モノトーン　：海・雪　：夕焼け
⑨	ワンタッチライト	表示なし：消灯　：点灯
⑩	送信画質	表示なし：標準　HQ：画質優先　：動き優先
⑪	チャンネル開設状態	A：音声チャンネル開設 V：映像チャンネル開設 AV：音声・映像チャンネル開設
	受話音量／スピーカーホン音量	通常：表示なし 受話音量／スピーカーホン音量調整中：1～6
⑫	通話時間	HH:MM:SS の形式で表示

ドコモのテレビ電話は「国際標準の 3GPP※1 で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
　第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2：3G-324M
　第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

●テレビ電話の通信速度には、次の 2 種類があります。
- 64K：通信速度 64kbps で通信をします。
- 32K：通信速度 32kbps で通信をします。

テレビ電話をかける

ここでは、テレビ電話のかけかたを説明します。

- 相手の顔を見ながらテレビ電話通話をするには、スピーカーホン機能を利用するか、スイッチ付イヤホンマイクなどを接続してください。→P55、P473
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用できます。→P61

1 待受画面で電話番号を入力する

- 音声電話の入力方法と同じです。→P54
- 電話番号を入力して(MENU)(3)を押すと、カスタム発信から通信速度（64Kまたは32K）を指定してテレビ電話をかけることができます。→P60

2 (テレビ電話ボタン)を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。(電源)を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P57
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P93
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

- 通話中保留（→P55）にすると、テレビ電話中保留画像が送信されます。テレビ電話中保留画像は変更できます。→P93
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
- (スピーカー)を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。→P55
- 通話中は(テレビ電話ボタン)を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。→P90

4 通話が終わったら(電源)を押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P67

テレビ電話通話中の操作について

テレビ電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 カメラ切り替え	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。	P95
2 ワンタッチライトON ／ OFF	ワンタッチライトの点灯／消灯を切り替えます。	P97
3 テレビ電話カメラ設定	表示する画像に効果をかけたり、テレビ電話カメラ画像の明るさや色の濃さなどを設定したり、接写モードに切り替えたりします。	P92
4 受信画像品質設定	受信画像の品質を設定します。ただし、相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。	P97
5 テレビ電話動作設定	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P96
6 キャラ電設定	キャラ電のキャラクタの変更、全体アクションとパーツアクションの切り替え、アクションの選択をします。また、テレビ電話画像選択の代替画像設定に設定されている静止画を表示できます。	P210、P394
7 ファイル再生	相手に送信するフレームや静止画を変更します。	P91、P93
8 DTMF送信	テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P96

通話中には、次の操作もできます。

- サイドキー［▲］を1秒以上押すと通話中音声メモで相手の声を録音できます。→P467
- 受話音量を調整できます。→P70

お知らせ

- 操作2と操作1の順に操作してもテレビ電話をかけられます。 を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 他の機能を実行中にテレビ電話をかけることができない場合があります。→P577
- 代替画像やキャラ電を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
- テレビ電話使用中は、音声電話への発信動作はできません。また、「発信できません」とメッセージが表示されます。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
ドライブモード中です	相手がドライブモードを設定しています。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネット等への発信時）。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直してください。 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。

- テレビ電話を転送中の場合は、「転送致しますのでお待ちください」というメッセージが表示されます。
- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声自動再発信が「ON」に設定されている場合も、32Kでの再発信が優先されます。
※32Kで電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。

・テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K → 32K →音声
	OFF	64K → 32K →切断
32K	ON	32K →音声
	OFF	32K →切断

・テレビ電話の通信速度（64Kまたは32K）をあらかじめ電話帳に登録しておくと、テレビ電話をかける相手によって通信速度を切り替えることができます。→P122
・電話番号入力後にサブメニューのカスタム発信から通信速度を指定して発信した場合は、カスタム発信の指定が有効となります。いずれの指定もされていない場合は64K で発信します。
・音声自動再発信を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmova サービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。
※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
・音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA 端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
・テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、i モード接続や、i モードメール、メッセージR/F、ショートメッセージ（SMS）の送受信もできません。
・テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信の設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN 同期64Kbps やPIAFS のアクセスポイント、3G-324M（→P84）に対応していないISDN のテレビ電話など（2004 年12 月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
・電話番号の通知／非通知を切り替えてテレビ電話をかけることができます。→P60
・ポーズやタイマーを入力した場合（→P56）、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
・テレビ電話発信中、再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
・テレビ電話通話中の各種着信について→P575
・テレビ電話通話中、音声もしくは映像のいずれかの通信が切れてA（音声のみ）またはV（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
・テレビ電話通話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。

テレビ電話を受ける

ここでは、テレビ電話の受けかたを説明します。

● 、 以外のキーを押して電話を受けることはできません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。
・相手からの発信状況やFOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。
ディスプレイの表示→P65
・ を押すと応答保留の状態になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。→P73

次ページへ続く

2 を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

を押す

テレビ電話がつながったときから、相手には自画像の代わりに代替画像が送信されます。

・代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P93

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

・通話中保留（→P55）にすると、テレビ電話中保留画像が送信されます。テレビ電話中保留画像は変更できます。→P93
・相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
・を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。→P55
・通話中は、を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。→P90

4 通話が終わったら を押す

・FOMA 端末を折り畳んでもテレビ電話を切ることができます。折り畳んでもテレビ電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P67

着信中の操作について

テレビ電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

着信中には、次の操作もできます。

・サイドキー［▲］を１秒以上押すと伝言メモで応対できます（クイック伝言メモ）。→P78
・着信音量を調整したり、バイブレータの振動を止めたりできます。→P26、P71

お知らせ

- スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを 1 秒以上押すと代替画像でテレビ電話を受けることができます。→P473
- スイッチ付イヤホンマイク接続時は、オート着信機能設定に従って動作し、自動的に代替画像を送信して応答できます。
- 留守番電話サービスは、テレビ電話には対応していません。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（→P84）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手側には着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。→P486
- テレビ電話通話中、音声もしくは映像のいずれかの通信が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
- ソフトウェア更新中にテレビ電話を着信すると着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- FOMA端末に接続されている外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。→P100
- テレビ電話の通話を終了したときに、端末の状態によっては、切断中の画像が表示されない場合があります。
- テレビ電話通話中は、キャッチホンを利用できません。→P483

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

1 待受画面で MENU 5 4 を押してフォルダを選択する

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選択して を押す

3 電話番号を入力して を押す

キャラ電
©BVIG

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。
- を押すとテレビ電話をかける相手を電話帳から選択できます。
- キャラ電を代替画像として送信中は、アクションの切り替えやアクションの選択ができます。→P395

テレビ電話の代替画像に設定する

テレビ電話の代替画像として、キャラ電をあらかじめ設定しておくことができます。

1 待受画面で MENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電にカーソルを合わせて[icon]を押す

選択したキャラ電がテレビ電話の代替画像に設定されます。

お知らせ

- キャラ電表示中に[icon]を1秒以上押してもキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。→P394
- テレビ電話の代替画像選択でも代替画像に設定するキャラ電を変更できます。→P93

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話通話中に相手に送信する画像などを設定します。

● 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
送信画像を自画像／代替画像に切り替える	下記	テレビ電話で表示する画像を変更する	P93
送信する画像の品質を設定する	下記	表示倍率を切り替える	P95
送信画像にフレームを重ねる	P91	カメラをインカメラ／アウトカメラに切り替える	P95
送信する画像に特殊な効果をかける	P92	接写モードに切り替える	P96
送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する※	P92	プッシュ信号を送出する	P96
静止画像を送信する	P93		

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

送信する画像を自画像／代替画像に切り替える

お買い上げ時	自画像

相手に送信する画像を「自画像」と「代替画像」とで切り替えます。

1 通話中に[icon]を押す

代替画像
©BVIG

- 送信画像の表示→P84
- [icon]を押すたびに自画像（[icon]）、代替画像（[icon]または[icon]）が切り替わります。→P93
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P93
- キャラ電を代替画像として送信中は、アクションの切り替えやアクションの選択ができます。→P395

送信する画像の品質を設定する

お買い上げ時	標準

相手に送信する画像の品質を設定します。「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

1 通話中に [左][右] を押す

送信画像の品質が変更されます。

・[右] を押すたびに次の順に切り替わります。[左] を押すと逆の順になります。

標準（表示なし）→ 画質優先（HQ）→ 動き優先（[動き優先アイコン]）

送信する画像にフレームを重ねる<フレーム選択>

相手に送信する自画像に、FOMA端末に保存されているフレーム用の画像を重ねます。

・自画像送信中の場合のみ、フレームを重ねることができます。

・表示サイズが176×144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

1 通話中に [MENU] [7] [1] を押す

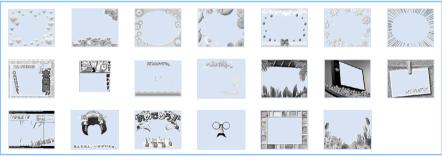
2 フレームを選択する

相手にも同様の状態で自画像が送信されます。

・インカメラを使用中はディスプレイに鏡像が表示され、相手には正像が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。

・自画像送信中に [ ] を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時には次のフレームが登録されています。

・[ ] の部分に自画像が入ります。

・お買い上げ時に登録されている上記フレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337

送信する画像に特殊な効果をかける<撮影効果モード>

お買い上げ時	標準

送信する画像に次の効果をかけることができます。

項　目	アイコン	説　明
1 標準	STD	標準的な画像を送信します。
2 逆光		逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
3 セピア		セピア調にするときに使用します。
4 モノトーン		白黒にするときに使用します。
5 海・雪		海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
6 夕焼け		夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。

・自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 **通話中に MENU 3 1 を押す**

2 **1 〜 6 を押す**

・効果を解除するときは 1 を押します。

現在の効果のマークが表示されます。

送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する

お買い上げ時	明るさ：3 段階目　色の濃さ：3 段階目

画像の明るさ・色の濃さを調整します。
・明るさ・色の濃さは 5 段階で調整できます。
・自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 **通話中に MENU 3 2 を押す**

2 **カメラ／iα を押して明るさのスライダを選択し、左右キーを押す**

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさの変化が確認できます。

3 **カメラ／iα を押して色の濃さのスライダを選択し、左右キーを押す**

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、色の濃さの変化が確認できます。

4 を押す

・明るさ・色の濃さを調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

静止画を送信する<画像選択>

相手に送信する画像を保存されている静止画像から選択します。選択した静止画を通話中の相手に見せることができます。
• フレーム送信中（→P91）の場合は設定できません。
• ファイルサイズが176×144（QCIF）以下で、FOMA端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。
FOMA端末外への静止画の出力について→ファイル制限　P380

1 通話中に MENU 7 2 を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して一覧から静止画を選択する

相手にも同様の静止画像が送信されます。
・画像一覧の見かた→P368
・静止画にカーソルを合わせて を押すと静止画を表示できます。
・静止画像送信中に を押すと、設定が解除されて元の画像が表示されます。

テレビ電話で表示する画像を変更する<テレビ電話画像選択>

テレビ電話で表示される代替画像、テレビ電話伝言メモ録音中画像、テレビ電話応答保留中画像、テレビ電話通話中保留画像を変更します。変更した画像は、テレビ電話通話中、伝言メモ録音中（→P79）、応答保留中（→P73）、通話保留中（→P55）に表示され、相手にも送信されます。
• 次の静止画は設定できません。
- サイズが176×144（QCIF）を超える静止画
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像
- JPEG形式、GIF形式以外の静止画
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画
FOMA端末外への静止画の出力について→ファイル制限　P380

代替画像を変更する

お買い上げ時	標準キャラ電

1 待受画面で MENU 8 8 3 を押す

2 1 を押し、イメージ表示欄を選択する

©BVIG

■ 標準のキャラ電を設定するとき

[1] を押す

「標準キャラ電（ブンブン（Dimo））」が設定されます。

■ 標準の静止画を設定するとき

[2] を押す

「標準画像（カメラオフ（Camera off））」が設定されます。

■ その他のキャラ電を設定するとき

① **[3] を押す**

② **「画像選択」を選択する**

「キャラ電」のフォルダ一覧が表示されます。

③ **フォルダを選択してキャラ電一覧からキャラ電を選択する**

キャラ電が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- キャラ電一覧の見かた→P394
- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて [i] を押すとキャラ電を表示できます。

■ その他の静止画を設定するとき

① **[4] を押す**

② **「画像選択」を選択する**

画像フォルダ一覧が表示されます。

③ **フォルダを選択して一覧から静止画を選択する**

静止画が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- 画像一覧の見かた→P368
- 設定する静止画にカーソルを合わせて [i] を押すと静止画を表示できます。

3 [i] を押す

お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合は代替画像はお買い上げ時のキャラ電に、静止画を削除した場合は「標準画像」に戻ります。
- イメージ表示欄で「イメージ」を選択し、代替画像を変更後にPIMロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信・表示されます。

伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更する

お買い上げ時	伝言メモ画像：標準画像　応答保留画像：標準画像　通話中保留画像：標準画像

1 待受画面で [MENU][8][8][3] を押す

2 [2]～[4] を押す

〈例〉「伝言メモ画像」を選択したとき

3 イメージ表示欄を選択して [2] を押す

- お買い上げ時の画像に戻すときは [1] を押し、操作5へ進みます。

テレビ電話のかけかた／受けかた

4 「画像選択」を選択して画像を選択する

・操作方法は、代替画像設定でイメージ表示の「イメージ」を設定する場合と同じです。
→P93

5 [ボタン]を押す

お知らせ

・伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留のイメージ表示欄で「イメージ」を選択し、画像を変更後にPIMロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信・表示されます。

表示倍率を切り替える<ズーム>

お買い上げ時	標準

相手に送信する自画像の表示倍率を切り替えます。
・自画像送信中の場合のみ利用できます。

1 通話中に[ボタン][ボタン]を押す

ズーム倍率が変更されます。
・[ボタン]を押すたびに次の順に切り替わります。[ボタン]を押すと逆の順になります。

アウトカメラ：標準（×1）→2倍（×2）→4倍（×4）→6倍（×6）→8倍（×8）→10倍（×10）→12倍（×12）→16倍（×16）
インカメラ　：標準（×1）→2倍（×2）

お知らせ

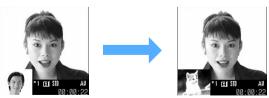
・インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

カメラをインカメラ／アウトカメラに切り替える

お買い上げ時	インカメラ

通話中に使用するカメラを切り替えます。
・自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 通話中に[ボタン]を押す

切り替わったカメラからの画像が表示されます。

インカメラ選択時　　アウトカメラ選択時

・[ボタン]を押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

お知らせ

・カメラを切り替えても、撮影効果モードの設定は保持されます。

接写モードに切り替える

お買い上げ時	通常モード

8～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写モードに切り替えると画像のピントを合わせることができます。
・接写モードへはアウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

1 通話中に MENU 3 3 を押す

■ 通常モードに戻すとき
MENU 3 3 を押す

お知らせ
・接写モード中にインカメラに切り替えると、通常モードになります。

プッシュ信号を送出する＜DTMF送出＞

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。
・受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
・テレビ電話通話中で、(自画像送信中）／(代替画像送信中）／(キャラ電中）の場合のみDTMFの入力が可能です。

1 通話中に MENU 8 を押し、ダイヤルキーを押す

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。
・プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは クリア を押します。

お知らせ
・プッシュ信号（DTMF）を送出すると、フレーム選択、画像選択は解除されます。

テレビ電話中の画面表示について設定する

テレビ電話中に表示する画面を設定します。
●設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
親子画面を切り替える	下記	受信画像の品質を設定する	P97
親画面のサイズを変更する	P97	通話中の画面表示を設定する	P98
ワンタッチライトを点灯する	P97		

親子画面の表示を切り替える

お買い上げ時	親画面：相手画像　子画面：自画像

親画面と子画面を切り替えます。

1 通話中に を押す

・ を押すたびに次の順に切り替わります。
親：相手画像　子：自画像 ←→ 親：自画像　子：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時	大

親画面の表示サイズを、「大」「中」「小」から選択します。

1 通話中に を1秒以上押す

親画面の表示サイズが変更されます。
・ を1秒以上押すたびに次の順に切り替わります。
大 → 中 → 小 →（大に戻る）

ワンタッチライトを点灯する

ワンタッチライトの点灯／消灯を切り替えます。
・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

1 通話中に を1秒以上押す

ワンタッチライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。
・ を1秒以上押すたびに点灯（ ）／消灯（表示なし）が切り替わります。

お知らせ

・通話中の設定操作などによって一時的にワンタッチライトが消灯することがあります。

受信する画像の品質を設定する

お買い上げ時	標準

相手から送信されてくる画像の品質を変更できます。「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。
・相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。

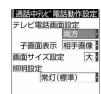
1 通話中に 4 を押す

2 1 ～ 3 を押す

通話中に画面表示を設定する<通話中テレビ電話動作設定>

お買い上げ時	テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　照明設定：常灯（標準）

1 **通話中に MENU 5 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

・各設定項目（テレビ電話画面設定、子画面設定、画面サイズ設定、照明設定）については、下記「テレビ電話の設定を変更する」の操作 2 を参照してください。

3 **を押す**

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時	音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON　送信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画像を設定します。

● 相手へのアクセスをより確実なものとするために、テレビ電話動作設定には、「音声自動再発信」という設定項目があります。音声自動再発信とは、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスで mova サービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられない場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信する機能です。

1 **待受画面で MENU 8 8 2 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定
：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。
・「両方」以外に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

発信時自画像送信
：相手に自画像を送信するかどうかを設定します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、照明設定の設定に従って動作します。

3 **を押す**

お知らせ

・音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われない場合があります。
・音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、音声電話、64Kデータ通信中は、テレビ電話の再発信は行われません。
・音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
・テレビ電話通信が開始された場合、音声通話への再発信動作は行いません。

テレビ電話発着信設定

テレビ電話発着信時の動作を設定する

お買い上げ時	着信音：メロディ／ハープ　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／ライム

テレビ電話を発着信したときの動作を設定します。

● 本機能での設定は、着信音設定のテレビ電話着信音、バイブレータ設定のテレビ電話バイブレータ、着信イルミネーション設定のテレビ電話イルミネーションパターンにも設定が反映されます。

1 待受画面で MENU 8 8 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音：テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。
・「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた→P403
・「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

イメージ表示：テレビ電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
画像一覧の見かた→P368
・「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

バイブレータ：テレビ電話がかかってきたときの振動を設定します。
・バイブレータのパターン→P130

イルミネーション
：着信ランプのイルミネーションの点灯パターンや色を設定します。
・イルミネーションのパターン・色→P147

3 を押す

お知らせ

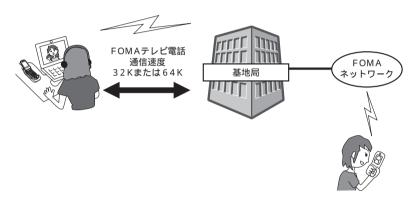
・着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。このとき、発信画像は「標準画像」に設定されます。
・着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると、イメージ表示にFlash画像または動画／ｉモーションが設定されていた場合、イメージ表示は「標準画像」に切り替わりますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

お買い上げ時	本体

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションソフトウェアをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

● FOMA端末が外部機器に接続されていないときは、本機能を利用できません。
● テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
※ 本機能は、対応するアプリケーションや対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。ただし、2004年12月現在、対応アプリケーションや対応機器はリリースされておりません。

1 待受画面で MENU 8 8 4 を押す

2 1 または 2 を押す

お知らせ

・音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけることはできません。
・キャッチホンを契約していると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F901iCでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

項　目	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳	参照先
電話帳登録件数	最大700件※1	最大50件	―
登録内容			
名前・フリガナ	名前は全角で16文字、半角で32文字まで設定可能。フリガナは半角で32文字まで設定可能。	名前は全角で10文字、半角で21文字まで設定可能。フリガナは全角で12文字、半角で25文字まで設定可能。	P104、P108
静止画・動画	1件	×	P105
グループ	30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10グループおよび「グループなし」に分類可能。	P105、P108
電話番号・アイコン	1人につき最大5番号まで、電話帳全体で2105番号まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。	P105、P108
メールアドレス・アイコン	メールアドレス・アイコン1人につき最大5アドレスまで、電話帳全体で2105アドレスまで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。	P105、P108
電話着信時の設定※2※3※4	○	×	P106
メール受信時の設定※2※3	○	×	P106
その他の設定※5	○	×	P106
メモリ番号	○	×	P107
電話帳検索			
グループ検索	○	○	P111
フリガナ検索	○	○	P112
ランキング検索	○	×	P112
メモリ番号検索	○	×	P113
電話番号検索	○	○	P114
ロケットサーチ検索	○	○	P114
シークレット検索	○	×	P124
各種設定			
発番号設定	○	×	P121
シークレットコード設定	○	×	P122
シークレット属性設定	○	×	P123
メモリ別着信拒否／許可設定	○	×	P168
テレビ電話通信速度設定	○	×	P122
その他			
電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×	P118
クイックダイヤル	○	×	P125
クイックメール	○	×	P276
サイト表示	○	×	P111
赤外線送信	○	○	P427

○：可　×：不可

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションパターン・着信イルミネーションカラー
※3：FOMA端末の電話帳のみグループ別の着信設定もできます。
※4：テレビ電話代替画像も設定できます。
※5：URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名・誕生日の設定

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手に電話の発着信を行った場合、電話帳に登録されている名前が電話発着信画面に表示されます。
また、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも電話帳に登録されている名前が表示されます。

音声電話着信時

テレビ電話着信中
橋本花子
090XXXXXXXX

テレビ電話着信時

・FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力すると、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
・ｉモード端末からｉモードメールを受信した際、電話帳に登録されているメールアドレスの「@docomo.ne.jp」の有無を含めて完全に一致した場合は電話帳の設定で動作し、一致しない場合は電話帳の設定では動作しません。電話帳にメールアドレスを登録する際、@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」まで含めて登録しないと電話帳の設定では動作しません。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレス欄に「@docomo.ne.jp」を除いて登録しないと電話帳の設定で動作しません。
・ショートメッセージ（SMS）を受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。

お知らせ

・FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定しているときのみ名前が表示されます。シークレット属性が設定されているデータがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモなどに表示されている場合も同様です。
・シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモードを設定していないときは、着信音設定、バイブレータ設定、着信イルミネーションの各設定で設定されている内容で動作します。
・PIMロック中またはプライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、通常発着信時や履歴などでは相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。背面ディスプレイの表示も同様です。これらの制限を解除すると相手の名前が表示されます。
・電話帳に登録した相手からメールの受信があると、電話帳に登録している名前がタスクバーにテロップ表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

● 電話帳には最大700人分、1人につき電話番号を最大5番号まで、メールアドレスを最大5アドレスまで登録できます。ただし、全体ではそれぞれ2105番号、2105アドレスまでになります。
● 文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。→P536

次ページへ続く

お知らせ

- 圏外と表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにバックアップできます。→P415
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。
  万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- シークレットモード中に電話帳データを登録した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
- 機種変更時などにドコモショップなど窓口にて新機種へコピーできるのは、「電話番号」、「カナ・漢字氏名」、「グループ設定」、「メールアドレス」、「ブックマーク」、「シークレット設定」、「住所」、「誕生日」です。新機種の仕様によっては、登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

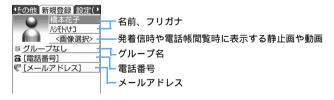
FOMA端末に電話帳を登録する

1 待受画面で MENU 4 2 を押す

2 名前を入力する

- 漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P543
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。
- 名前は必ず入力してください。名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 を押す

新規登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正するとき**

名前欄を選択し、名前を修正して を押す

■ **フリガナを修正するとき**

フリガナ欄を選択し、フリガナを修正して を押す

- 半角で最大32文字入力できます。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

4 [カメラ][iアプリ]を押して項目を選択し、入力する

画像選択：発着信時や電話帳閲覧時に表示する静止画や動画を設定します。
- お買い上げ時の状態に戻すときは[5]を押します。
- 登録相手が電話番号を通知してきた場合のみ、設定した画像が表示されます。

■ 静止画を設定するとき

[1]を押して画像のフォルダ一覧から静止画を選択する

画像一覧の見かた→P368

- 電話着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガ、連写画像は最初のコマが表示されます。

■ カメラで静止画を撮影するとき

[2]を押し、静止画を撮影して保存する→P180

- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ 動画を設定するとき

[3]を押してｉモーションのフォルダ一覧から動画を選択する

動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

- 画像サイズがSub-QCIF（128×96）、または、QCIF（176×144）の、映像のみの動画が設定できます。

■ ビデオカメラで動画を撮影するとき

[4]を押し、動画を撮影して保存する→P187

- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

グループ：グループを1～30および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について→P109

電話番号：電話番号を市外局番から入力し、アイコンを選択します。最大26桁入力できます。
- 1人につき最大5番号まで登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）を入力できます。→P56

メールアドレス：メールアドレスを入力し、アイコンを選択します。半角で最大50文字入力できます。
- 1人につき最大5アドレスまで登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。

電話帳

5 を押してその他画面を表示し、必要な項目を入力する

URL：URLを入力します。半角で最大256文字入力できます。
テキストメモ：テキストメモを入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
郵便番号：郵便番号を入力します。最大7桁入力できます。
住所：住所を入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
会社名：会社名を入力します。全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
役職名：役職名を入力します。全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
誕生日：誕生日欄を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

・電話帳データの各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

6 を押して設定画面（電話／メール）を切り替え、必要な項目を設定する

・初期登録時「グループなし」の場合、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。

設定（電話）画面

設定（メール）画面

／ 着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して動画またはメロディを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382
メロディ一覧の見かた→P403
・詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。→P392

／ 着信バイブレータ
：「はい」を選択して電話がかかってきたとき、メールを受信したときの振動を設定します。
バイブレータのパターン→P130
・バイブレータの設定に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択します。

／ 着信イルミネーションパターン
：「はい」を選択して着信ランプのイルミネーションパターンを設定します。
着信イルミネーションのパターン→P147

電話帳

着信イルミネーションカラー
:「はい」を選択して着信ランプのイルミネーションカラーを設定します。
着信イルミネーションの色→P147
・着信イルミネーションパターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）
:「はい」を選択して通話中に表示するキャラ電を設定します。
キャラ電→P394

7 を押す

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ メモリ番号を入力して登録するとき

0～699までの番号を入力する

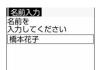
・100の位や10の位の頭の0は省略できます。
・登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

8 を押して電話帳を登録する

お知らせ

・画像選択で画像を設定しても、電話発着信時の画面に画像を表示しないように設定できます。→P141
・184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、ショートメッセージ（SMS）作成時の宛先に選択していても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を184、186を付けて電話帳に登録すると、iモードメール作成時の宛先に選択していても送信できません。
・iモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略できますが、「@docomo.ne.jp」を省略して登録すると、電話帳に相手の名前を登録していても受信メールに名前は表示されません。
・画像選択に動画を設定している相手に電話をかけた場合、発信中はディスプレイに動画の最初のコマが表示されます。相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画が再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
・電話帳データの電話着信音や電話／テレビ電話の着信音設定に動画／iモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画／iモーション（映像と音声）が再生されます。ただし、着信音に設定した動画／iモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないiモーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信画像設定で設定した画像が表示されます。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に、シークレット属性が設定されているFOMA端末電話帳データにテレビ電話代替画像を設定した場合、着信時の代替画像はFOMA端末の設定に従います。
・相手がシークレットコードを登録しているとき→P122

FOMAカード電話帳に登録する

● 文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。→P536

1 待受画面で MENU 4 3 を押す

2 名前を入力する

・漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P543
・全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。
・名前は必ず入力してください。名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 を押す

FOMAカード登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ 名前を修正するとき

名前欄を選択し、名前を修正して を押す

■ フリガナを修正するとき

フリガナ欄を選択し、フリガナを修正して を押す

・フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
・全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合は、登録を行うと最大12文字になります。
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 を押して項目を選択し、入力する

グループ：グループを1～10および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について→P109

電話番号：電話番号を市外局番から入力します。最大26桁（FOMAカードの種類によっては最大20桁）入力できます。
・電話番号は1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
・ポーズ（「P」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）は登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。また、電話番号の先頭以外に「＋」を入力すると、「＋」以降を登録できません。→P56

メールアドレス
：メールアドレスを入力します。半角で最大50文字入力できます。
・メールアドレスは1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

・電話帳データの各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

5 を押して電話帳を登録する

お知らせ

- ｉモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名(「@docomo.ne.jp」)は省略できますが、「@docomo.ne.jp」を省略して登録すると、電話帳に相手の名前を登録していても受信メールに名前は表示されません。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

グループ設定

グループの名前や発着信動作を設定する

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

1 待受画面で MENU 4 1 2 を押す

- FOMAカード電話帳のグループ名を変更するときは、MENU 4 1 2 を押します。

2 設定するグループにカーソルを合わせて MENU を押す

3 グループ名を設定する

- FOMA端末電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
- FOMAカード電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。

4 電話発着信時の設定をし、 を押す

電話着信音、発着信画像、電話着信バイブレータ、電話着信イルミネーションパターン、電話着信イルミネーションカラーが設定できます。→P128、P130、P141、P147

- 電話着信音設定の「着モーションを選択」と、発着信画像の「モーションを選択」または「動画を撮影」は同時に設定できません。

5 メール着信時の設定をし、 を押す

メール着信音、メール着信バイブレータ、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定できます。→P128、P130、P147

6 を押す

グループ名および設定が変更されます。

お知らせ

- FOMAカード電話帳のグループ別着信音、発着信画像、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーは設定できません。

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

電話帳の検索手順

・電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。

全件表示（50音）	50音順に全件表示します。	下記
グループ検索	グループから検索します。	P111
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P112
ランキング検索※	電話の通話回数／メールの送受信回数の多い電話帳データを検索します。	P112
メモリ番号検索※	メモリ番号から検索します。	P113
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P114
ロケットサーチ	ダイヤルキーに割り当てられている文字から検索します。	P114
シークレット検索※	シークレット属性を設定した電話帳データを検索します。	P124

※：FOMAカード電話帳では利用できない検索方法です。

・FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、を押すとFOMA端末電話帳検索結果画面とFOMAカード電話帳検索結果画面が切り替わります。
・電話帳データの登録内容は表示して確認できます。→P114
・シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。→P168
・FOMAカード電話帳検索結果画面では、相手の名前の前にが表示されます。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

電話帳データを50音順に表示する

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→アルファベット・数字順）に表示します。

1 待受画面で 4 1 1 を押す

2 を押して表示したい行を選択する

・操作2の代わりにダイヤルキーを押すと、ダイヤルキーに割り当てられている行の先頭の電話帳データが表示されます。

電話帳から電話をかける

電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

1 待受画面で を押す

他 あいうえお か
電話帳一覧(1/1)
阿部浩之
井上太郎
上田二郎
榎本正雄
大野の携帯
1 1 090XXXXXXXX

全件表示（50音）の場合

1件目の電話番号に設定されているアイコン
選択した相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数
選択されている相手の1件目の電話番号（表示しきれない部分は省略されます）

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50音）の検索結果画面（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されます。その後は、前回電話帳を利用した際に選択した検索方法の検索画面が表示されます。

・検索結果が複数ページある場合は、サイドキー［▲▼］を押すとスクロールします。1秒以上押すと連続スクロールになります。

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて［発信］を押す

・テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせて［テレビ電話］を押します。
・電話番号を複数登録しているときは、発信先選択画面が表示されるので、発信する電話番号を選択してください。

■ iモードメールを作成するとき

メールを送信する相手にカーソルを合わせて［メール］を押す

・メールアドレスを複数登録しているときは、宛先選択画面でメールアドレスを選択します。
・iモードメールの作成・送信方法→P259
・選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、［メール］を押すとショートメッセージ（SMS）作成画面が表示されます。
・プロフィール情報の詳細表示画面で［メール］を押すとiモードメールを作成できます。

■ ショートメッセージ（SMS）を作成するとき

ショートメッセージ（SMS）を送信する相手にカーソルを合わせて［メール］を1秒以上押す

・電話番号を複数登録しているときは、宛先選択画面で電話番号を選択します。
・ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法→P319
・選択した相手の電話帳データに電話番号が登録されている場合は、電話帳の一覧または詳細画面から［メール］を1秒以上押すとショートメッセージ（SMS）を作成できます。プロフィール情報の詳細表示画面からも同様に操作できます。

■ サイトを表示する

①目的の相手を選択し、［左右］を押して詳細（その他）画面を表示する

②URLにカーソルを合わせて［MENU］［1］［3］を押す

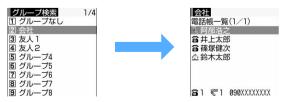
・プロフィール情報の詳細画面からも同様に操作できます。

> **お知らせ**
>
> ・電話番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけることもできます。→P116
> ・電話帳一覧で［MENU］［6］を押すと電話帳の検索方法を選択できます。

グループで検索する<グループ検索>

グループに登録されている電話帳データを検索します。
グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 待受画面で［MENU］［4］［1］［2］を押す

2 検索するグループを選択する

・同一グループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号

電話帳

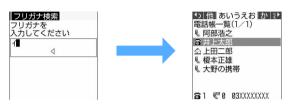
お知らせ

・他の検索方法に切り替える場合は、グループを選択し、電話帳一覧で MENU 6 を押して検索方法を選択します。

名前で検索する<フリガナ検索>

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 待受画面で MENU 4 1 3 を押す

2 フリガナを入力する

・フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。

お知らせ

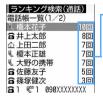
・他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに を押し、電話帳一覧で MENU 6 を押して検索方法を選択します。

通話／メール回数の多い相手を検索する<ランキング検索>

FOMA端末電話帳には、電話帳データごとに累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時が記録されています。この情報を基にして、電話帳データを通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、iモードメール送受信回数が多い順に表示したり（メール回数ランキング）できます。

・通話回数、メール回数は最大9999回カウントされます。既に9999回カウントされている状態で通話やメールの送受信を行った場合、回数は更新されません。

通話回数ランキングを表示する

1 待受画面で MENU 4 1 4 1 を押す

累積通話回数

・累積通話回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までの電話発着信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

メール回数ランキングを表示する

1 待受画面で MENU 4 1 4 2 を押す

累積メール回数

- 累積メール回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までのメール送受信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象となります。

お知らせ

- 累積通話回数／累積メール回数が同じ場合は、次の順に表示されます。
  ①50音順 ②アルファベット順 ③数字 ④空白で始まるもの ⑤記号
- シークレット属性が設定されている相手も含めたすべての相手についてランキングを表示するときは、シークレットモードに設定してから操作してください。→P168
- 他の検索方法に切り替える場合は、通話回数ランキングまたはメール回数ランキング検索後、電話帳一覧で MENU 6 を押して検索方法を選択します。

通話回数／メール回数をリセットする

FOMA端末電話帳の検索結果画面から、記録されている個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面で 電話帳 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 リセットする相手にカーソルを合わせて MENU 9 3 を押す

3 「はい」を選択する

メモリ番号で検索する＜メモリ番号検索＞

FOMA端末電話帳から、メモリ番号を入力して検索します。

1 待受画面で MENU 4 1 5 を押す

2 メモリ番号を入力する

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

電話帳

お知らせ

・他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに[ ]を押し、電話帳一覧で[MENU][6]を押して検索方法を選択します。

電話番号で検索する＜電話番号検索＞

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で[MENU][4][1][6]を押す

2 電話番号の一部を入力する

お知らせ

・電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号順に表示されます。FOMAカード電話帳は次の順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
・他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに[ ]を押し、電話帳一覧で[MENU][6]を押して検索方法を選択します。

ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー[0]〜[9]に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

・ロケットサーチでは、前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

〈例〉「鈴木」を検索するとき

1 待受画面で[3][電話帳]を押す

・ロケットサーチの結果画面では、[0]〜[9]、[#]、[*]、[◁]、[▷]を押して行を切り替えることができます。

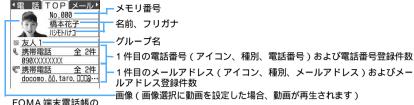
電話帳の登録内容を確認する

電話帳の登録内容を表示し、登録内容や設定を確認します。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

電話帳

2 詳細表示する電話帳データを選択する

FOMA 端末電話帳の詳細画面

FOMA カード電話帳の詳細画面

・ を押すと前後の電話帳データの詳細画面が表示されます。
・電話帳データに着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に が表示されます。→P121、P122、P168

■ 詳細画面の登録内容をすべて表示するとき

を押す

・全登録内容を表示中に を押すと詳細（TOP）画面に戻ります。

■ 登録内容の詳細を表示するとき（FOMA 端末電話帳のみ）

を押す

を押すたびに「詳細（TOP）画面」から「詳細（メール）画面」「詳細（その他）画面」「詳細（電話）画面」の順に切り替わります。 を押すと逆の順に切り替わります。

・詳細（メール）画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
・詳細（電話）画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。

お知らせ

・累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、発信／送信した場合だけでなく、着信／受信した場合も対象になります。ただし、相手が電話に応答しなかったり、電波状況などの理由でｉモードメールが送信できなかったりした場合は、対象になりません。

発信方法を選択する

FOMA端末電話帳の検索結果画面から発信方法を選択したり、プレフィックスを付加したりして電話をかけます。

1 待受画面で を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて を押す

・FOMA端末電話帳で複数の電話番号が登録されている場合は、発信先選択画面が表示されるので、発信する番号を選択してください。

3 各項目を選択して設定する

発信方法　：発信方法を音声電話、64Kまたは32Kテレビ電話から選択します。
番号通知　：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P51
マルチナンバー：→P491
プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
・お買い上げ時は国際電話用の「009130010」が登録されています。
プレフィックス設定について→P62

4 を押して「はい」を選択する

設定した方法で電話またはテレビ電話がかかります。
・テレビ電話をかけるときは、「キャラ電選択発信」を選択すると、通話中に表示するキャラ電を選べます。

電話帳修正

電話帳を修正する

電話帳に登録した電話帳データの内容を修正・コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

登録内容を修正する

電話帳の検索結果画面から、登録済みの電話帳データを修正します。

1 待受画面で を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 修正する相手にカーソルを合わせて を押す

3 電話帳データを修正する

・各項目の詳細は、FOMA端末に電話帳を登録する（→P103）、またはFOMAカードに電話帳を登録する（→P108）を参照してください。

4 を押す

・FOMA 端末電話帳の電話帳データを修正した場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号入力後に表示されるメッセージに従って、上書き登録か新規登録を選択してください。
上書き登録を選択した場合は、メモリ番号入力で番号を変更していても、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録を選択した場合は、再度メモリ番号入力が表示されるので、必要に応じて番号（0～699）を入力してください。
・FOMA カード電話帳の電話帳データを修正した場合、登録方法を選択する旨のメッセージが表示されるので、上書き登録か新規登録を選択します。

お知らせ

・FOMA カード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
・シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正できません。
・シークレットモード中に電話帳データを修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。→P123、P168
・複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1 件目に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、2 件目以降、繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

電話帳の検索結果画面から、電話帳データ中の内容をコピーできます。コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
・コピーした内容は電源を切るまでFOMA 端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
・保持できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 待受画面で を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 コピーする相手にカーソルを合わせて を押す

3 ～ を押す

該当項目のデータが一時的に記録されます。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける→P547

電話帳

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「コピー」を選択します。
- 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1件目に登録されている内容がコピーされます。2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA端末電話帳やプロフィール情報の各詳細画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選択します。

電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA端末電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替えるとき

1 待受画面で 電話帳 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 目的の相手にカーソルを合わせて MENU 9 2 1 を押す

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは MENU 9 2 2 を押します。

3 1件目に登録する電話番号を選択する

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

メモリ番号を入れ替える

FOMA端末電話帳の検索結果画面から、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 待受画面で 電話帳 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 目的の相手にカーソルを合わせて MENU 9 2 3 を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 メモリ番号を入れ替える相手を選択する

メモリ番号が入れ替わります。

お知らせ

・FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳からFOMAカードにコピーしたり、FOMAカード電話帳からFOMA端末にコピーしたりします。また、FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードへ1件またはバックアップ（全件）できます。**→P413、P415**

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーする

・コピーするFOMA端末電話帳の電話帳データのグループと同じ名前のグループがFOMAカード電話帳に存在する場合は、そのグループにコピーされます。
・次の項目がコピーされます。ただし、FOMAカードに保存できる最大文字数を超えた部分は切り捨てられます。

項目	内容
名前	名前をコピーします（全角で最大10文字、半角で最大21文字。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字）。
フリガナ	フリガナをコピーします（半角で最大25文字、全角で最大12文字）。FOMAカードでは、半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。
電話番号	1件目に登録されている電話番号をコピーします（最大26桁。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります→P41）。タイマー（「T」）が登録されている場合は、タイマー（「T」）のみが削除されます。FOMAカード電話帳では、アイコンはすべて☎に置き換えられます。
メールアドレス	1件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角で最大50文字）。FOMAカード電話帳では、アイコンはすべて✉に置き換えられます。

1 待受画面で📖を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 MENU 8 3 を押す

3 コピーする相手を選択する

・MENUを押すとすべての電話帳データを選択／解除できます（選択状況によりガイド行の表示が異なります）。

4 📖を押す

FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーされます。

電話帳

お知らせ

・FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「赤外線／外部メモリ」→「FOMA カードへコピー」を選択します。

FOMA カード電話帳を FOMA 端末電話帳にコピーする

・コピーする FOMA カード電話帳の電話帳データのグループと同じ名前のグループが FOMA 端末電話帳に存在する場合は、そのグループにコピーされます。
・次の項目がコピーされます。

名前	名前にコピーされます。
フリガナ	フリガナにコピーされます。 FOMA 端末では、全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
電話番号	電話番号にコピーされます。アイコンは ☎ が設定されます。
メールアドレス	メールアドレスにコピーされます。アイコンは ✉ が設定されます。

電話帳

1 待受画面で MENU 4 1 📖 を押し、FOMA カード電話帳を検索する→P110

→P110

FOMA カード電話帳の検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

・前回 FOMA カード電話帳を利用した場合は、待受画面で 📖 を押すと FOMA カード電話帳の検索画面または検索結果画面が表示されます。

2 MENU 8 3 を押す

3 コピーする相手を選択する

4 📖 を押す

FOMA カード電話帳から FOMA 端末電話帳にコピーされます。

お知らせ

・FOMA カード電話帳の詳細画面から操作する場合はコピーする相手を選択して MENU を押し、「赤外線／メモリ内へコピー」→「メモリ内へコピー」を選択します。

電話帳を削除する

電話帳に登録されている 1 人分の電話帳データを削除します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 削除する相手にカーソルを合わせて [MENU] [4] を押す

3 「はい」を選択する

1 人分の電話帳データが削除されます。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定やテレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

● FOMA カード電話帳の電話帳データに対しては、ここで説明する機能を設定することはできません。

電話番号に発信者番号通知／非通知を設定する＜発番号設定＞

お買い上げ時	設定なし

FOMA 端末電話帳の検索結果画面から電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて [MENU] [9] [1] [2] を押す

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 電話番号を選択する

5 [1] または [2] を押す

発番号設定が設定されます。

■ 発番号設定を解除するとき

[3] を押す

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P51
- 発番号設定をした電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。→P114
- 通話ごとに発信者番号の通知／非通知を指定したときは、電話番号ごとの発番号設定よりも優先されます。→P59

テレビ電話をかけるときの通信速度を設定する<テレビ電話通信速度設定>

お買い上げ時	64K

FOMA端末電話帳の検索結果画面からテレビ電話をかけるときの通信速度を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて MENU 9 1 5 を押す

3 電話番号を選択する

4 1 または 2 を押す

テレビ電話通信速度設定
1 64K
2 32K

通信速度が設定されます。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、電話番号ごとの通信速度設定よりも優先されます。→P60

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード設定>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて MENU 9 1 4 を押す

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 メールアドレスを選択する

5 4桁のシークレットコードを入力する

・シークレットコード設定を解除するには、クリアを1秒以上押してシークレットコードを削除してください。

お知らせ

・FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
・シークレットコードを設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に！が表示されます。→P114
・メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメールの返信ができません。
また、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定し直してください。
・プロフィール情報に、シークレットコードは設定できません。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

他人に見られたくない電話帳データを、認証操作（端末暗証番号の入力または指紋認証）をしないと呼び出せないシークレット属性をもったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

電話帳にシークレット属性を設定する

登録済みの電話帳データにシークレット属性を設定します。
・FOMAカード電話帳データにはシークレット属性を設定できません。
・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する→P168

2 待受画面で電話帳を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

3 設定する相手にカーソルを合わせてMENU 9 1 1を押す

選択している相手にシークレット属性が設定されていると点滅します。

■ シークレット属性を解除するとき

シークレット属性が設定されている電話帳データを選択してMENU 9 1 1を押す

電話帳

お知らせ

・FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。シークレット属性を解除する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性解除」を選択します。
・シークレットモード中に電話帳データを登録・修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
・シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧、背面ディスプレイなどに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像／動画は表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。
名前の表示→P103

シークレット属性を設定した電話帳を検索する<シークレット検索>

シークレット属性が設定されている電話帳データだけを検索します。
・シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 **シークレットモードを設定する→P168**

2 **待受画面でMENU 4 1 7を押す**

・以降の操作は通常の検索方法と同じです。→P110

お知らせ

・シークレット属性が設定されている電話帳データは､シークレットモードを設定していないと検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
・シークレットモードを設定してシークレット検索以外の検索を行うと､シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。
・前回シークレット検索を行った状態で電話帳一覧を表示したとき、シークレットモードを設定中の場合は、前回と同じシークレット検索結果画面が表示されます。シークレットモードが解除されている場合は、メモリ番号検索画面が表示されます。

登録状況確認

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 **待受画面で電話帳キーを押す**

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 **MENU 9 4を押す**

3 **確認が終わったらクリアキーを押す**

検索結果画面に戻ります。

お知らせ

・FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
・FOMAカード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面から [MENU] を押し、「登録件数確認」を選択します。

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけることができます。

● 電話帳データの1件目の電話番号が電話をかける対象となります。

〈例〉メモリ番号2の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は [2]）を入力して [発信] を押す

・メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。上記画面で [0][2] のように入力すると、クイックダイヤルは利用できません。
・メモリ番号を入力して [テレビ電話] を押すと、テレビ電話をかけることができます。

お知らせ

・入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、またはFOMA端末電話帳に電話帳データが1件も登録されていない場合は、[発信] または [テレビ電話] を押すと該当するデータがない旨の確認画面が表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

FOMA端末から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話：メロディ／着信音１　メール：メロディ／着信音１　チャットメール：メール連動 メッセージR：メロディ／着信音１　メッセージF：メロディ／着信音１ 通話保留音：内蔵音（ENTERTAINER）　テレビ電話：メロディ／ハープ

電話がかかってきたときや、メールやチャットメール、メッセージR/Fを受信したときに鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、電話やメールの着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

● 本機能の設定は、電話発着信設定、テレビ電話発着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音、および通話保留音設定の保留音にもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で [MENU] [8] [1] [1] を押す

2 各項目を選択して設定する

■ 電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音を設定するとき

[1]～[3] を押す

・チャットメールの着信音を設定するときは、[1]～[4] を押します。

・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
　メロディ一覧の見かた→P403

・「着モーション」を選択したときは、着信音に設定する動画／ｉモーションを、動画／ｉモーション一覧から選択します。設定できる動画／ｉモーションのファイルサイズは500Kバイトまでです。
　動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

・チャットメールの着信音を「メール連動」に設定している場合は、メール着信設定の着信音選択の設定に従います。

■ 通話保留音を設定するとき

[1] または [2] を押す

・「選択音」を選択したときは、保留音に設定するメロディを選択します。
　メロディ一覧の見かた→P403

・「内蔵音」を選択すると、通話保留中に内蔵音（ENTERTAINER）が鳴ります。

3 [■] を押す

着信音が設定されます。

■ **3Dサウンドとは**

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー(またはステレオイヤホンセット)を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや、着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。

3Dサウンド機能は、FOMA端末をおよそ20～30cm（個人差があります）程度離し、スピーカーを自分に向けて聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドを「ON」に設定すると、3Dサウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生することができます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。→P406

・立体感の感じかたには個人差があります。違和感がある場合は、ステレオ・3Dサウンド設定を「OFF」に設定してください。

お知らせ

・サウンドレコーダーで録音した音声も「着モーション」に設定できます。ただし、この場合、音声のみ再生され、画面には設定している発着信画像が表示されます。
・音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に、発着信画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが着信音量は消音になります。
・発着信画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディを着信音に設定すると、発着信画像には標準画像が表示されます。
・発着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定すると、発着信画像には標準画像が表示されます。
・詳細情報（→P392）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。また、映像のみの動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
・着信音に音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
・通話中に電話の着信があった場合、着信音に映像と音声がある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。

着信音の優先順位について

複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。

① FOMA端末電話帳の設定
② FOMA端末電話帳グループ別の設定
③ 着信音設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

・相手が発信者番号を通知してこなかった場合は音声電話の着信音は発番号なし動作設定に、テレビ電話の着信音は着信音設定／テレビ電話発着信設定のテレビ電話の設定に従います。
・上記の優先順位によって発番号なし動作設定で設定した音や画像を利用することになった場合、設定した音や画像が削除されていると、削除後の設定画面に表示される音や画像と、実際に表示される音や画像が異なることがあります。
・音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、電話帳に画像が設定されていても、着信音の設定に従います。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。
　　のメロディは３Ｄサウンドに対応しています。
・ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

分　類	表示名		作曲者	
固定着信音	着信音１～６		————	
メロディ	Truth		安藤　まさひろ	
	ロッキーのテーマ		Bill Conti	
	彩～AJA～		桑田　佳祐	
	大きな古時計		HENRY CLAY WORK	
	きらきら星		WOLFGANG AMADEUS MOZERT	
	アイネクライネナハトムジーク		WOLFGANG AMADEUS MOZERT	
	凱旋行進曲		GIUSEPPE VERDI	
	アメージンググレース		アメリカ民謡	
	愛の挨拶		EDWARD ELGAR	
	一週間		ロシア民謡	
	英雄ポロネーズ		FREDERIC FRANCOIS CHOPIN	
	幻想即興曲		FREDERIC FRANCOIS CHOPIN	
	ツァラトゥストラはかく語りき		RICHARD STRAUSS	
	フニクリフニクラ		LUIGI DENZA	
	ENTERTAINER		SCOTT JOPLIN	
効果音／ボイス	癒やし１～３	琉球水	競馬場	連続花火
	ビール	電話です	メールはいかが？	起きなはれ
	目覚まし時計１	目覚まし時計２	黒電話	ハープ
	もうすぐ予定の時間です		時間になりました	

許諾番号：T- 0400026

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時	すべてOFF

音声電話やテレビ電話着信時、メールやチャットメール、メッセージR/F受信時に振動でお知らせします。

● バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがあります。
● 本機能の設定は、電話発着信設定、テレビ電話発着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で MENU 8 1 7 を押す

2 設定する項目を選択する

・チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、「チャットメール」を選択できない旨のメッセージが表示されます。

3 1～5を押す

バイブレータ設定
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 メロディ連動
5 OFF

パターンA　：0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
パターンB　：1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
パターンC　：0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
メロディ連動　：着信音設定で設定したメロディに合わせて振動します。
- メロディによっては「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。

OFF　：振動しません。

- カメラ/iαを押すとカーソル位置のパターンで約60秒間振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

4 ●を押す

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。
電話のバイブレータを設定したときは、待受画面に V が表示されます。
- 電話の着信音量を「消音」に設定しているときは SV が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに V または SV が表示されます。

お知らせ

- バイブレータ設定中でも、Flash画像の効果音が鳴った場合は振動しないことがあります。
- スケジュールアラーム／予告アラーム開始日時になったときは、「電話」の設定パターンで振動します。
- 電話帳の電話着信バイブレータ、メール着信バイブレータを設定している場合は、電話帳の設定が優先され、次にグループ別の設定が優先されます。
- 通話中に着信があった場合は振動しません。

キー確認音設定

キーを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	エレクトロニック

操作時にキーを確実に押したかどうかを音で確認します。

1 待受画面でMENU 8 1 4を押す

2 1～4を押す

- カメラ/iαを押すとカーソル位置のキー確認音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合はキー確認音は鳴りません。

お知らせ

- 次の音は本機能を「OFF」に設定すると鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音
- キー確認音の音量は受話音量に連動します。→P70
- 次の場合は本機能を「ON」に設定しても、キー確認音は鳴りません。
  - マナーモードを設定している場合
  - ｉアプリを起動している場合（TASKを押すと鳴ります）
  - サイドキー［▲▼］を押した場合
- 次の場合は本機能を「OFF」に設定していても、キー確認音は鳴ります。
  - 通話中にダイヤルキーを押した場合（受話口からプッシュ音（DTMF）が聞こえます）

充電確認音設定

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	ON

充電の開始／終了時に確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

1 待受画面で MENU 8 1 9 を押す

2 1 または 2 を押す

お知らせ

- マナーモード中、ドライブモード中は本機能を「ON」に設定しても充電確認音は鳴りません。

通話品質アラーム設定

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 本機能は音声電話にのみ有効です。

1 待受画面で MENU 8 7 4 を押す

2 1 または 2 を押す

■ 通話品質アラームを鳴らさないとき

3 を押す

音／画面／照明設定

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定できます。

1 待受画面で # を1秒以上押す

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に (マナーモード中) または (オリジナルマナーモード中) が表示されます。

■ マナーモードを解除するとき

マナーモード中に待受画面で # を1秒以上押す

マナーモードが解除され、待受画面から または が消えます。

■ FOMA端末を折り畳んでいるとき

サイドキー［▲］を1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

・マナーモード中にサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに (マナーモード中) または (オリジナルマナーモード中) が表示されます。

・サイドキーロック中は、サイドキー［▲］を1秒以上押してもマナーモードの設定／解除はできません。

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラーム音などFOMA端末から出るすべての音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

・アラーム設定時、着信ランプとバイブレータの動作はアラーム設定に従います。→P446

・スケジュール設定時、着信ランプは着信イルミネーションの音声電話の設定に従い、マナーモードのバイブレータによる振動で動作します。

・添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールや受信メッセージR/Fを表示しても、メロディは再生されません。

・動画／ｉモーションやメロディの再生時には、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

・マナーモード中でも、カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

マナーモード選択

マナーモードを変更する

お買い上げ時	通常マナーモード

マナーモードを起動したときに、通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらのマナーモードに設定するかを選択します。また、マナーモードの設定は変更できます（オリジナルマナーモード設定）。

● マナーモード中でもオリジナルマナーモードの設定を変更できます。

1 待受画面で MENU 8 1 6 を押す

次ページへ続く

2 2を押す

・1を押すと通常マナーモードが設定され、1つ前の画面に戻ります。

通常マナーモード
：FOMA端末から出る音を消し、着信を振動でお知らせします。→P133

オリジナルマナーモード
：バイブレータ、着信音量やキー確認音などを自由に設定します。

3 各項目を選択して設定する

バイブレータ　：電話の着信中やメール受信中のバイブレータの動作を設定します。
・「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。
・「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音　：キー確認音を設定します。

電話着信音量　：電話の着信があったときの着信音の音量やｉアプリの音量を設定します。

メール着信音量：メールの受信があったときの着信音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音
：アラーム設定やスケジュールの設定日時になったとき、アラームやスケジュールアラームを鳴らすかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、アラーム音はアラーム設定に従います。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモードの「電話着信音量」に従います。

マイク感度UP：マイクの感度を設定します。

4 を押す

オリジナルマナーモードが設定されます。

待受画面設定

待受画面の表示を変更する

お買い上げ時	ハイウェイ

待受画面に表示されている画像を別の画像や動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーに変更します。また、ｉアプリ待受画面を設定したり、時計や各種情報表示を設定（カスタム待受画面）したりすることもできます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になるものがあります。
- オールロック中、PIMロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIMロック中でも変更されません。

画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから保存した画像・ｉモーション・キャラ電や、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像なども設定できます。

1 待受画面で MENU 8 2 1 を押す

2 1 ～ 3 を押す

待受画面設定
1 イメージ設定
2 ｉモーション設定
3 キャラ電設定
4 ｉアプリ設定
5 カレンダー設定
6 時計表示設定
7 画面のカスタマイズ
8 イメージ以外を解除

3 フォルダを選択して待受画面に設定する静止画／動画／ｉモーション／キャラ電を選択する

・画像一覧の見かた→P368
・動画／ｉモーション一覧の見かた→P382
・キャラ電一覧の見かた→P394

■ 待受画面に設定したキャラ電のアクションを設定するとき

① **キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて MENU を押す**

② **通常欄からアクションの種類を選択し、動作を選択する**

・不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
・「直接入力」を選択した場合、アクションに対応している数値を入力してください。→P396
・「OFF」に設定すると、優先順位の高い項目のアクション設定に従ってアクションします。すべての項目のアクションを「OFF」に設定すると、キャラ電にあらかじめ設定されているアクションを繰り返します。

③ **アクション間隔欄からアクションを繰り返す間隔（1～5秒）を選択する**

・「OFF」に設定すると最初の1回のみ選択したアクションが動作します。

④ **を押す**

4 「はい」を選択する

画像、動画／ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されます。

・ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが待受画面に表示されます。
・選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像を拡大して待受画面に表示します。
・既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されます。

お知らせ

・キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってキャラ電はアクションします。
①不在着信、未読メール
②通常
①と②が同時に設定されていると、不在着信と未読メールの両方が存在する場合は、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。また、不在着信、未読メールの両方が存在しない場合は、通常のアクションが動作します。

■ 待受画面に設定したｉモーションやアニメーションを再生するには

・ｉモーションの場合は次の操作ができます。
クリア／FOMA端末を開く：再生
クリア／電源：停止
サイドキー［▲▼］：音量調整

・アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像の場合は次の操作ができます。
クリア／電源／FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
クリア：一時停止／再開
電源：停止／先頭から再生

・キャラ電の場合は次の操作ができます。
クリア／FOMA端末を開く：再生
クリア／電源：停止

お買い上げ時に登録されている待受画面サイズの画像／動画／キャラ電

お買い上げ時に登録されている画像

ハイウェイ

ストリート

チューリップ

スノーボード

フルーツ

スパイラル

ストライプ

お買い上げ時に登録されている動画

Movin'

お買い上げ時に登録されているキャラ電→P394

お知らせ

・アニメーションは最大16回まで繰り返して再生します。
・Flash画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生後に一時停止します。
・アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
・再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。
・テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は利用できません。
・ｉモーションやキャラ電を待受画面に設定すると、待受画面の時計表示は、表示サイズが「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定します。

・ｉアプリ待受画面表示中に(クリア)を押すと、ｉアプリ待受画面に設定しているソフトが起動し、ソフトの操作や設定ができます。
・ｉアプリ待受画面に、複数のソフトを設定することはできません。
・お買い上げ時に登録されている次のソフトはｉアプリ待受画面に設定できます。
　- Dimo 絵文字メール　　　- フリーセル

1 待受画面で(MENU)(8)(2)(1)(4)を押す

ｉアプリ待受画面
1/1
フリーセル
Dimo 絵文字…

ｉアプリ待受画面に対応したソフトが一覧表示されます。
・ｉアプリ待受画面一覧の見かた→P332

2 ソフトを選択して、「はい」を選択する

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に または が表示されます。

お知らせ

・ネットワークに接続して通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。また、ソフトや設定によっては自動的に通信を行います。
・ｉアプリ待受画面を解除すると、その前に設定していた待受画面に戻ります。
・プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）は、ｉアプリ待受画面を設定しても動作しません。また、ｉアプリ待受画面設定後にプライバシーモードを起動（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）すると、ｉアプリ待受画面は解除され、その前に設定していた待受画面が表示されます。プライバシーモードを解除すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。
・PIMロック中は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。
・ｉアプリを待受画面に設定した場合の時計表示は「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。

待受画面にカレンダーを設定する

待受画面にカレンダーを表示するように設定します。

・日付・時刻が設定されていないときは、待受画面にカレンダーは表示されません。

1 待受画面で(MENU)(8)(2)(1)(5)を押す

2 「はい」を選択する

・既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、カレンダーが待受画面に設定されます。

お知らせ

・カレンダーを待受画面にした場合の時計表示は「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
・画像とカレンダーは同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定している場合は、再生が停止／一時停止したときにカレンダーが表示されます。

待受画面の表示をカスタム設定する

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報やメモ、カレンダー、スケジュールを表示するように設定します。

・エリアの分けかたは次の7種類から選択できます。

パターン1　パターン2　パターン3　パターン4　パターン5　パターン6　パターン7

1 **待受画面で MENU 8 2 1 7 を押す**

2 **◁▷を押してパターンを切り替え、エリアを選択する**

3 **1 ～ 5 を押す**

選択したエリアに表示する情報が設定されます。

・複数のエリアがある場合は、設定するエリアを選択して操作3を繰り返します。

・画面の半分に満たないエリア（パターン3のエリア1設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定するとき

①2を押す
②表示する情報を選択する
③□を押す

■ メモを設定するとき

①3を押す

登録済みのメモの一覧が表示されます。

②表示するメモを選択する

・□を押すとメモの内容が表示されます。クリアを押すとメモ一覧に戻ります。

4 **□を押し、「はい」を選択する**

・既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、カスタム待受画面が設定されます。

お知らせ

- 表示する情報を設定したエリアと待受画面の時計表示が重なる場合は、時計は表示サイズが「小さく表示」に、表示位置が「上」になります。

カスタム待受画面の情報を確認する

1 待受画面で を押す

一番上のエリアが赤のカーソル枠で表示されます。

2 エリアを選択する

お知らせ

- イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定していた場合、再生が停止／一時停止したときに情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

新着情報

未読メール、メッセージR、メッセージF、不在着信、伝言メモのうち、選択している項目が新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

未読メール：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

メッセージR／メッセージF
：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。

不在着信：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴の一覧が表示されます。

伝言メモ：録音日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

次ページへ続く

メモ

メモ帳に登録されている内容の冒頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

スケジュール

開始日時が経過していないスケジュールが日時の早い順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。

・アイコン、日時、内容の冒頭部分が表示されます。
・当日を含む日付をまたいだ長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。また、開始日時が現在の日時を過ぎている場合は、アイコンの代わりに「開始日付～」と表示され、当日のスケジュールの下方に並びます（開始日時順）。
・終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

お知らせ

・同一日に当日スケジュールと日付をまたいだ長期間スケジュールが登録されている場合、カスタム待受画面には長期間スケジュールが表示されます。ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていない場合は、カスタム待受画面にはどちらのスケジュールも表示されます。
・シークレットモードを設定していないとき、シークレット属性が設定されているスケジュールは、カスタム待受画面には表示されません。また、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があった場合、シークレットモードを設定していないと、不在着信一覧や伝言メモ一覧を設定した新着情報エリアに名前は表示されず、電話番号が表示されます。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、メール、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、すべての未読メール、不在着信履歴、伝言メモ、スケジュールが新着情報エリアに表示されません。
・プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダ以外の未読メールが表示されます。
・表示する内容がない領域は、エリアと背景は表示されません。
・PIMロック中は、メモ帳、スケジュールのエリアにPIMロック中である旨のメッセージが表示され、内容は表示されません。

静止画以外の設定を解除するとき

ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

① 待受画面で MENU 8 2 1 8 を押す

②「はい」を選択する

- 解除する前に画像を設定している場合はその画像、設定していない場合はお買い上げ時の画像が設定解除後の待受画面に表示されます。

発着信画面選択

電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する

電話の発着信時やメールの送受信時、ｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。

電話発着信時の画面を変更する＜電話発着信画像設定＞

お買い上げ時	人物画像表示：ON　イメージ表示：標準画像

音声電話の発着信時に表示される画像を設定します。また、電話の発着信時に電話帳データに登録した相手の画像を表示するように設定することもできます。

・本機能の設定は、電話発着信設定の人物画像表示およびイメージ表示にもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で MENU 8 2 2 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

人物画像表示：音声電話やテレビ電話の発着信時にFOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
- 登録されている画像がｉモーションの場合、発信時は最初のコマが表示され、着信時は着モーションとして再生されます。
- 電話帳グループ設定の発着信画像の設定には反映されません。

イメージ表示：FOMA端末電話帳に登録されていない相手との電話の発着信時や、人物画像表示を「OFF」に設定しているときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
画像一覧の見かた→P368
- 「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

3 を押す

お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガ、連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、発着信画像をJPEG形式またはGIF形式の静止画から、映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は標準のメロディ（着信音1）になります。
- 電話発着信設定で音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、「イメージ表示」は「着信音連動」になり「イメージ一覧」は選択できません。このとき、発信画像は標準画像に、着信画像は設定した動画／ｉモーションの映像になります。
- 着信音設定で音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、発信画像は標準画像になります。
- 詳細情報（→P392）の着信画面設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは発着信画像に設定できません。また、音声のある動画／ｉモーションは発着信画像に設定できません。
- 着信音に音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
- 通話中に電話の着信があった場合、着信音に映像と音声のあるｉモーションが設定されているか、または着信画像にｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 発着信画像を「着信音連動」からそれ以外の項目に設定し直すと、着信音は標準のメロディ（着信音1）になります。

発着信画像の優先順位について

複数の機能で発着信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①FOMA端末電話帳の設定※
②FOMA端末電話帳グループ別の設定
③発着信画像選択／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

※：発着信画像選択で人物画像表示が「ON」のときに有効になります。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に、テレビ電話の着信画像はテレビ電話発着信設定に従います。
- 上記の優先順位によって発番号なし動作設定で設定した音や画像を利用することになった場合、設定した音や画像が削除されていると、削除後の設定画面に表示される音や画像と、実際に表示される音や画像が異なることがあります。

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する＜メール送受信画像設定／問合せ画像設定＞

お買い上げ時	イメージ表示：標準画像

メールの送受信時やｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。

- ｉモード問合せ時に表示される画像にFlash画像を設定できません。

1 待受画面でMENU 8 2 2を押す

2 2～4を押す

- メール送信時に表示される画像を設定するときは2を押します。
- メール受信時に表示される画像を設定するときは3を押します。
- ｉモード問合せ時に表示される画像を設定するときは4を押します。

3 画像を選択して登録する

- 以降の操作は、電話発着信画像設定の「イメージ表示」と同じです。→P141

お知らせ

- メール送信画面の画像を変更した場合は、ｉモードメールおよびショートメッセージ（SMS）の送信時に設定した画像が表示されます。
- メール受信画像および問合せ画像を変更した場合は、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fの受信時および問合せ時に設定した画像が表示されます。

背面ディスプレイの表示を設定する

背面ディスプレイに表示する画像を設定する＜背面画像設定＞

お買い上げ時	待受画像：標準画像１　発着信画像：メインディスプレイに連動 メール受信画像：メインディスプレイに連動　時計表示：日本語大　時計形式：24 時間表示

待受画面や電話の発着信時、メールの受信時などに、背面ディスプレイに表示する画像を設定します。また、時計の大きさや時刻の表示形式を設定することもできます。

1 待受画面で [MENU][8][2][7][2] を押す

2 各項目を選択して設定する

待受画像　：背面ディスプレイの待受画面に表示する画像を設定します。
・「標準画像１～３」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。
・「イメージ」に設定すると、画像フォルダに保存されている画像が選択できます。
画像一覧の見かた→P368

発着信画像：電話の発着信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
・「メインディスプレイに連動」に設定すると、音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の発着信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。
・「標準画像」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。

メール受信画像
：メール受信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
・「メインディスプレイに連動」に設定すると、メール受信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。
・「標準画像」に設定すると、内蔵されている画像が表示されます。

時計表示　：時計を表示するかどうかを設定します。また、表示は「日本語大」「日本語小」「英語」「なし」から選択します。

時計形式　：時計の表示形式を「12 時間表示」と「24 時間表示」のどちらかに設定します。

3 を押す

お買い上げ時に登録されている待受画面サイズの画像

標準画像 1

標準画像 2

標準画像 3

お知らせ

- PIM ロック中は、待受画像を「イメージ」にして画像フォルダから選択した画像を設定したり、その他の項目を「メインディスプレイに連動」に設定したりしていても標準画像が表示されます。PIM ロックを解除すると選択した画像に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIM ロック中でも変更されません。
- 待受画像を「イメージ」に設定し、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像を選択した場合や、その他の項目を「メインディスプレイに連動」に設定し、ディスプレイで同様の画像が選択されている場合は、最初のコマが表示されます。

電話やメールの着信時に電話番号やメールアドレスなどを表示する<背面情報表示設定>

お買い上げ時	相手情報表示あり

1 **待受画面で MENU 8 2 7 1 を押す**

2 **1 を押す**

背面情報表示が設定されます。

■ 背面情報表示設定を解除するとき

2 を押す

- 「相手情報表示なし」に設定すると、背面ディスプレイには「着信中」などの状態のみ表示されます。また、表示される画像は標準画像になります。

お知らせ

- PIM ロック中、またはプライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、「相手情報表示あり」に設定しても名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- 電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話の着信やメールの受信があった場合、シークレットモードを設定していないと、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。

照明設定

ディスプレイとキーの照明を設定する

お買い上げ時	照明方法：点灯　点灯時間：10 秒　範囲：ディスプレイ＋キー 明るさ：標準　AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 **待受画面で MENU 8 2 5 を押す**

2 各項目を選択して設定する

照明方法：照明を点灯するかしないかを設定します。
- 「点灯」に設定すると、点灯時間で設定した時間点灯します。
- 「消灯」に設定すると、照明は点灯しません。また、点灯時間・範囲・明るさは設定できません。

点灯時間：照明の点灯時間を設定します。

範囲：ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。
「ディスプレイ＋キー」に設定したときに点灯するキーは、[文字]、[電源]、[クリア]、[0]～[9]、[*]、[#]、[TASK]です。

明るさ：ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

ACアダプタ接続時動作
：ACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタに接続したときのディスプレイの点灯動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイは上記の設定に従って点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、ディスプレイは「高輝度」で点灯します。

3 [保存]を押す

お知らせ
- 照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定しているとき、待受画面表示中にFOMA端末を開いたまま約5分間何も操作せずにいると、FOMA端末は画面セーブモードとなりディスプレイが自動的に消灯します。画面セーブモード中は着信ランプが白になり、6秒間隔で点滅します。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

スクリーン設定

画面のカラー配色を変更する

お買い上げ時	スピーディブルー

1 待受画面で[MENU][8][2][3]を押す

2 [1]～[9]を押す

- [カメラ][i][◀▶]を押して配色の種類にカーソルを合わせると、その配色で画面が表示されます。

お知らせ
- スクリーン設定を変更しても、サイト画面や背面ディスプレイの配色には反映されません。

メニューのデザインを変更する

メニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2パターンのオリジナルメニューを作成できます。

● オリジナルメニューに設定できる画像の最大サイズは、アイコンが96×96まで、背景画像が240×240までです。最大サイズを超えた画像は縮小して設定されます。

1 待受画面で MENU ▲ を押し、「アイコンデザイン」を選択する

2 「カスタム1」または「カスタム2」を選択し、「カスタマイズ」を選択する

3 アイコンを変更する機能を選択し、画像フォルダ一覧から画像を選択する

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。
画像一覧の見かた→P368

■ メニューアイコンを解除するとき

解除するアイコンにカーソルを合わせて MENU 1 を押し、「はい」を選択する

・メニューアイコンを全件解除するときは、MENU 2 を押し、「はい」を選択します。

4 ✉ を押し、画像フォルダ一覧からメニュー画面の背景画像を選択する

■ 背景を解除するとき

MENU 4 を押し、「はい」を選択する

5 ▣ を2回押す

お知らせ

・パラパラマンガや Flash 画像、アイテムフォルダ内の画像は設定できません。また、GIF 形式の画像を設定すると最初のコマが表示されます。
・PIM ロック中は、アイコンデザインの「カスタム1」、「カスタム2」を変更できません。

電池マーク設定

電池残量のマークを変更する

お買い上げ時	→→

1 **待受画面で MENU 8 2 4 を押す**

2 **1 ～ 3 を押す**

着信イルミネーション

着信ランプの色と点灯パターンを設定する

お買い上げ時	新着通知：OFF　電話・テレビ電話：点滅／ライム メール・チャットメール・メッセージR/F：点滅／アクア

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときや、音声電話やテレビ電話着信時およびメール･チャットメール･メッセージR/F受信時の着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

1 **待受画面で MENU 8 2 6 を押す**

2 **新着通知欄を選択して 1 または 2 を押す**

・「ON」に設定すると、FOMA 端末を折り畳んでいる場合、不在着信（電話／テレビ電話）があるときは電話のイルミネーションカラーに、未読情報（メール／チャットメール／ SMS）があるときはメールのイルミネーションカラーに従って、6 秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。

・「OFF」に設定すると、新着情報があっても着信ランプは点滅しません。

3 **設定する項目のイルミネーションパターン欄を選択して、1 ～ 5 を押す**

選択した項目の着信ランプの点灯パターンが設定されます。

・ を押すとカーソル位置のパターンで着信ランプが点灯／点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。

・「メロディ連動」に設定すると、着信時のイルミネーションカラーは「レインボー」になります。ただし、新着情報があるときは、設定しているイルミネーションカラーになります。

・「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

・チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、「チャットメール」を選択できない旨のメッセージが表示されます。

次ページへ続く

4 設定する項目のイルミネーションカラー欄を選択して、「1」～「9」を押す

選択した項目の着信ランプの点灯色が設定されます。
- [カメラ][iモード]を押すとカーソル位置の色で着信ランプが点灯／点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、「チャットメール」を選択できない旨のメッセージが表示されます。
- 他の項目の点灯パターンと点灯色を設定する場合は、操作 3 ～ 4 を繰り返します。

5 [電話帳]を押す

お知らせ

- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って着信ランプが点滅します。
  ① 不在着信（電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／ SMS）
- 新着通知を「ON」に設定中、最初に新着情報があったときから 6 時間新たに新着情報がないときや、ディスプレイの新着情報件数を示すマーク（[不在着信 2][メール 2]）を消去した場合は、情報を確認していない場合でも着信ランプの点滅は停止します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- 着信音設定で電話やテレビ電話の着信音に「着モーション」を設定している場合、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定していても、着信ランプはイルミネーションカラーで設定した色で点滅します。
- FOMA 端末電話帳に着信動作を設定している相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、その設定に従って動作します。

フォント設定

文字の大きさを変更する

お買い上げ時	中（標準）

全画面入力で文字を入力するときの、文字サイズを変更できます。

● 文字サイズは 5 種類から選択できます。

最小：12 ドット

小：16 ドット

中（標準）：20 ドット

大：24 ドット

最大：28 ドット

1 待受画面で[MENU]「8」「2」「8」を押す

2 1〜5を押す

フォントが設定されます。
・ を押すとカーソル位置の文字サイズの例が表示されます。

お知らせ

・メール本文の文字サイズは変更されません。
・サイト画面やメッセージR/Fを表示するときの文字サイズも変更されます。ただし、本機能の設定が「最小」の場合は「小」、「最大」の場合は「大」の文字サイズで表示されます。
・インライン入力時の文字サイズは変更されません。

時計表示設定

時計の表示を設定する

お買い上げ時	待受時計：大きく表示　形式：24時間表示　時計デザイン：タイプ1 表示位置：上　曜日：バイリンガルに従う

待受画面の時計表示の有無や、時計の表示サイズ、デザイン、表示位置を設定できます。また、時刻の表示形式（24時間／12時間）や曜日の表示言語も設定できます。

タイプ2の時計を大きく、中部に、24時間で表示したとき

タイプ3の時計を小さく、下部に、12時間で表示したとき

時計を表示しないとき

1 待受画面で MENU 8 5 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

待受時計　：時計を表示するかどうかを設定します。また、表示するときの時計のサイズを設定します。
形式　：時計の表示形式を12時間表示と24時間表示のどちらで表示するかを設定します。
時計デザイン：時計のデザインを設定します。
表示位置　：時計を表示する位置を設定します。
曜日　：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
・「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

3 を押す

次ページへ続く

お知らせ

- 待受画面設定で時計表示を設定するには、待受画面でMENU 8 2 1 6を押します。
- 次の場合に時計と表示エリアが重なるときは、本機能の設定に関わらず、時計は小さく上部に表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーが表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
  - カスタム待受画面で、表示する内容が設定されているエリアと時計の表示位置が重なる場合

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	FOMAカードの設定に従う

画面表示を日本語か英語のどちらかに切り替えることができます。

- 本機能はメインディスプレイにのみ有効です。

1 待受画面でMENU 8 2 9を押す

2 1または2を押す

日本語／英語表示に設定されます。

- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末の機能には、暗証番号の必要なものがあります。暗証番号には、各種機能用の端末暗証番号、お申し込みいただくサービスで使用するネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。

● 他人に知られることを防ぐため、各暗証番号入力画面に入力された番号は「＊」で表示されます。

端末暗証番号

FOMA端末の機能の中には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要なものがあります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、数字4～8桁で自由に変更できます。

・指紋設定で登録した指紋を利用するように設定している場合は、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証画面が表示されます。 を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。

・FOMA端末の電源を入れてから端末暗証番号入力に累積5回失敗すると、端末の電源は自動的に切れます。電源を再度入れたとき、または端末暗証番号の入力に成功したときに、累積失敗回数はクリアされます。

・端末暗証番号をお忘れの場合は、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

・ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなどの窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。

※「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、自由に変更できます。

・新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約、メール設定などを行う際に必要となる4桁のパスワードです。ご契約時は「0000」に設定されていますが、数字4桁で自由に変更できます。
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

・ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

認証パスワード

赤外線通信で全件送信／全件受信するときに必要となる数字4桁のパスワードです。赤外線通信を行う前に、送信側と受信側で同じパスワードを決めておきます。

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／iモードパスワードは、ご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

● 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 待受画面で MENU 8 3 5 を押す

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

・現在使用中の端末暗証番号を入力します。

・現在の端末暗証番号の入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。 を押して再度現在の端末暗証番号を入力し直してください。

3 新しい暗証番号欄に4～8桁の新しい端末暗証番号を入力する

4 新しい暗証番号（確認）欄に操作3で入力した端末暗証番号をもう一度入力する

5 を押す

端末暗証番号が変更されます。

PINコードを設定する

● PIN1コード、PIN2コードは変更できます。

● 入力したPIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する <PIN1コードON／OFF>

お買い上げ時	OFF

1 待受画面で MENU 8 3 4 3 を押す

あんしん設定

次ページへ続く

2 [1] を押す

・FOMA 端末の電源を入れたときに、PIN1 コードの入力を要求しないように設定するには [2] を押します。

3 PIN1 コードを入力する

PIN1 コード ON が設定されます。
・ご契約時の PIN1 コードは「0000」に設定されています。

PIN1 コード ON／OFF を「ON」に設定すると

FOMA 端末の電源を入れると PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力すると、待受画面が表示されます。
・正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発着信、各種通信機能の操作ができません。
・PIN1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN1 コードが自動的にロックされます。[ ] を押すと PIN ロック解除コード入力画面が表示されます。→P155

お知らせ

・アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールアラームの設定日時になると、電源が ON になり、PIN1 コード入力画面が表示される前にアラーム音が鳴ります。[電源] を押してアラーム音を停止させると、PIN1 コード入力画面が表示されます。
このとき、アラーム音にダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、プリインストールされているメロディの「目覚まし時計 1」が鳴ります。

PIN1／PIN2 コードを変更する <PIN1／PIN2 コード変更>

ご契約時	PIN1 コード：0000　PIN2 コード：0000

・PIN1 コードを変更するときは、PIN1 コード ON／OFF 設定を「ON」にする必要があります。

1 待受画面で [MENU] [8] [3] [4] を押し、[1] または [2] を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 現在の PIN1／PIN2 コードを入力する

4 新しい PIN1／PIN2 コード欄を選択し、新しい PIN1／PIN2 コードを入力する

5 新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄を選択し、操作4で入力したPIN1コード／PIN2コードをもう一度入力する

6 [key]を押す

PIN1／PIN2コードが変更されます。
・現在のPIN1／PIN2コードの入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。[key]を押して再度現在のPIN1／PIN2コードを入力し直してください。3回連続して失敗すると、PIN1／PIN2コードが自動的にロックされます。[key]を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→下記

お知らせ

・PIN2コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信など電波の送受信は可能ですが、PIN1コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、電波を送受信する操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード・PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなどの窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉**PIN1コードのロックを解除するとき**

1 PINコードロックの確認画面で[key]を押す

2 8桁のPINロック解除コードを入力する

3 新しいPIN1コード欄を選択し、新しいPIN1コードを入力する

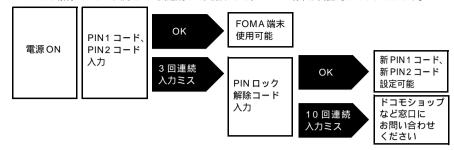
4 新しいPIN1コード（確認）欄を選択し、操作3で入力したPIN1コードをもう一度入力する

5 [key]を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

あんしん設定

お知らせ

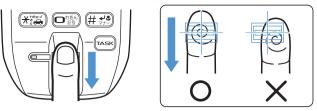
- PIN ロック解除コードの入力を１０回連続して失敗すると、FOMA 端末が自動的にロックされます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する操作を省略できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、登録操作ができないことがあります。
- 指紋の登録には同一の指で 3 回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）が低下したりすることがあります。認証性能はお客様の使用状況により異なります。
  なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 指が泥や油などで汚れている
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄くなった
  - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる
  - 濡れたり、汗をかいたりしている
- 指紋センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 認証性能はお客様の使用状況により異なります。
- 指紋の登録・認証を行う際には、右図のように、第 1 関節をセンサーに合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を接触させ、再度指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らすことができます。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できない場合があります。画面のメッセージに従い、スライドの速さを調節してください。

あんしん設定

・指は下図のように、端末と同じ方向に置くことをおすすめします。
・親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたり歪んだりすることがあります。
この場合は、登録が困難になったり、認証性が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、渦の中心が指紋センサーの中心を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。

・指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、右図のように、指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。
・各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
・指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され１つ前の画面に戻ります。
・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・指紋認証画面で MENU を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。FOMA 端末を安心してお使いいただくために、お買い上げ時の端末暗証番号「0000」を変更することをおすすめします。

指紋センサーについて

・次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした
 - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、指紋センサー表面にキズが入った
 - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサー表面にキズが入っている、表面が汚れている
 - 指紋センサーの表面にシールを貼った、インクなどで塗りつぶした
・次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
 - 指紋センサー表面が結露している
・次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
 -「センサー表面の汚れを取り除いてください」が表示される
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
・指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いた柔らかい布で指紋センサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
・指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
・長期間使用することにより、指紋センサー周辺にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないようにしてください。

認証に利用する指紋を登録する

指紋認証機能を利用するには、最初に指紋を登録します。
・指紋は最大10個登録できます。

1 **待受画面で MENU 8 3 6 を押す**

2 **端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

3 **を押す**

4 **を押し、メッセージに従って指紋センサーに指を押し当てスライドさせる**

指紋が登録されます。
・指紋の読み取りに失敗したり、指のスライドのさせかたが速かったり遅かったりするとメッセージが表示されます。メッセージに従い読み取りを完了させてください。

5 **登録名を入力し、 を押す**

・登録名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

6 **「はい」を選択する**

・登録した指紋データを認証に利用しない場合は、「いいえ」を選択します。「いいえ」を選択しても、指紋データは登録されます。

お知らせ

・指紋登録中に電話がかかってきたり、アラームやスケジュールの設定時刻になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

認証に利用する指紋データを変更する

1 **待受画面で MENU 8 3 6 を押す**

2 **端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

3 **認証に利用する指紋データを選択する**

認証に利用する指紋データに設定されます。
・認証に利用する指紋データには、登録名の左に が表示されます。
・認証に利用している指紋データを選択すると、利用設定が解除されます。

■ 指紋データを削除するとき

①**削除する指紋データにカーソルを合わせて MENU 3 を押す**
②**「はい」を選択する**
・認証に利用している指紋データを削除すると、指紋認証機能の利用が解除されます。

■ 登録名を変更するとき

①登録名を変更する指紋データにカーソルを合わせて MENU 4 を押す

②登録名を変更する

③ [ボタン] を押す

指紋認証を行う

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されると、端末暗証番号を入力する代わりに指紋で認証を行うことができます。

・指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。

1 端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライドさせる

指紋が認証されると、それぞれの設定画面が表示されます。

・指紋が正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、再度認証操作を行ってください。

・MENU を押すかダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

お知らせ

・指紋認証を５回連続して失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。このとき累積失敗回数がクリアされます。

・認証性が低いときは、指紋の登録からやり直してください。→P158

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に勝手に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定することができます。
- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110番、119番、118番）は可能です。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	下記
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P161
PIMロック	電話帳やプロフィール情報、スケジュールなどの個人情報機能が表示・編集できなくなり、情報の表示や改ざんを防ぎます。また、PIMロック中に電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行ったり、メールの受信があっても、相手の名前は表示されません。	P162
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P163
プライバシーモード設定	FOMA端末が一定時間操作されなかった場合、自動的に電話帳/履歴やメール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリの表示ができなくなり、他人が勝手に閲覧するのを防ぎます。	P163
サイドキーロック	FOMA端末を折り畳んだときのサイドキーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P165
遠隔ロック	FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックおよびＩＣカードロックを設定し、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	P166
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号の入力または指紋認証を行ってシークレットモードを設定したときのみ表示され、通常の状態では表示されなくなります。	P168
ＩＣカードロック	ＩＣカード機能を利用できないようにします。	P365

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを設定すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。
オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面の暗証番号欄に緊急通報番号を入力して［発信］を押します。このとき、緊急通報番号は「*」で表示されます。
なお、指紋認証が設定されている場合は、［MENU］を押してから同様に操作します。

- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。オールロックを解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。

1 待受画面で MENU 8 3 1 1 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

■ オールロックを解除するとき

オールロック中に端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

・指紋認証が設定されている場合は、MENU を押してから端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

お知らせ

・オールロック中に電話がかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 2）が表示されます。
・オールロック中もｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fは受信されますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
・万一、端末暗証番号をお忘れになった場合は、他人に勝手に変更されることを防止するためにFOMA端末、および契約されたご本人と確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	OFF

セルフモード中は、電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

1 待受画面で クリア を1秒以上押す

2 「はい」を選択する

セルフモードが設定され、待受画面に Self が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに SELF が表示されます。

■ セルフモードを解除するとき

セルフモード中に クリア を1秒以上押す

セルフモードが解除され、待受画面から Self、背面ディスプレイから SELF が消えます。

お知らせ

・セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
・通話中やｉモード中はセルフモードを設定できません。
・セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	OFF

PIMロックを設定して、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

● メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。

● PIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信やリダイヤルと、設定後にかかってきた着信履歴からの発信は可能です。

1 待受画面で MENU 8 3 1 2 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1 を押す

PIMロックが設定され、待受画面に が表示されます。

■ PIMロックを解除するとき

2 を押す

PIMロックが解除され、待受画面から が消えます。

あんしん設定

お知らせ

・PIMロックの対象となっているデータを待受画面や背面ディスプレイ、着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。

・外部機器からのATコマンドによるPIMロックの設定／解除はできません。

PIMロックを設定すると

・次の機能と一部の設定が利用できなくなります。

- メール／チャットメール／ショートメッセージ（SMS）／メッセージR/F※
- ｉMenu
- Bookmark
- Internet
- 画面メモ
- ラストURL
- ｉモード問い合わせ
- ｉアプリ
- ソフトのバージョンアップ
- 電話帳
- 伝言メモ／音声メモ
- マイピクチャ
- ｉモーション
- メロディ
- キャラ電
- カメラ
- ビデオカメラ
- サウンドレコーダー
- バーコードリーダー
- ＩＣカードソフト一覧
- miniSDカード
- スケジュール帳
- メモ帳
- アラーム
- ソフトウェア更新
- プロフィール情報
- スキャン機能
- 赤外線によるデータ送受信

※：受信されますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。

・メニューを表示すると、利用できない機能のメニュー名が薄く表示されるか、アイコンが で表示され、選択できません。

・電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。
また、伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

電話帳とリダイヤルを利用する以外の方法で電話をかけられないようにします。

● ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

1 待受画面で MENU 8 3 3 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1 を押す

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面に が表示されます。

■ ダイヤル発信制限を解除するとき

2 を押す

ダイヤル発信制限が解除され、待受画面から が消えます。

お知らせ

・外部機器からのATコマンドによるダイヤル発信制限の設定／解除はできません。

ダイヤル発信制限を設定すると

・次の操作ができなくなります。
- 着信履歴からの発信
- 電話帳の修正、登録、削除
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データの送受信
- ショートメッセージ（SMS）／ｉモードメールの送信
（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能）
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

プライバシーモード設定

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

FOMA端末の電話帳やリダイヤル・着信履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリ、スケジュールを利用できないように設定します。プライバシーモードは手動で起動したり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させたりすることができます。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時	電話帳・履歴：表示する　メール：表示する　マイピクチャ：表示する　ｉモーション：表示する　スケジュール：表示する　ｉアプリ：表示する　自動起動：OFF

プライバシーモードを起動中に電話帳やメール、マイピクチャなどを利用したとき、認証操作（端末暗証番号の入力または指紋認証）を行うかどうかを設定します。プライバシーモードを自動的に起動するように設定することもできます。

1 待受画面で MENU 8 3 7 を押す

あんしん設定

次ページへ続く

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 各項目を選択して設定する

電話帳・履歴：プライバシーモード起動中に電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

メール：プライバシーモード起動中にメールを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。→P294

マイピクチャ：プライバシーモード起動中にマイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

iモーション：プライバシーモード起動中にｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

スケジュール：プライバシーモード起動中にスケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

iアプリ：プライバシーモード起動中にｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

自動起動：待受中にFOMA端末を何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を５分、１５分、３０分に設定します。

4 を押す

5 を押す

お知らせ

- マイピクチャ・ｉモーション・ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中に次の操作を行おうとすると、認証操作を行った後に、プライバシーモードで非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。を押すと、操作画面に戻ります。

- 電話発着信設定	- テレビ電話発着信設定	- テレビ電話画像選択
- 電話帳新規登録／編集	- グループ別電話発着信設定	- 着信音設定
- 発着信画面選択の各画像設定	- 背面画像設定（待受画像を除く）	- 待受画面設定のｉアプリ設定
- 発番号なし動作設定	- メッセージ着信設定	- メール着信設定
- チャットメール着信設定	- アラーム／スケジュールアラーム編集	- プロフィール情報編集

- プライバシーモード起動中（マイピクチャ・ｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）でも、待受画面設定、メニュー画面のアイコンや背景に設定した画像またはｉモーションは通常どおり表示されます。
- 「自動起動」以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動されません。また、プライバシーモード中は、自動的に解除されます。

プライバシーモードを設定する

プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1 待受画面で を１秒以上押す

■ プライバシーモードを解除するとき

待受画面でを1秒以上押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

・メールを「指定フォルダを非表示」に設定し、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面でを1秒以上押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行うと、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。→P294

お知らせ

・プライバシーモードの制限対象である機能を利用中に、メニュー操作で一度認証操作を行うと、などを押して待受画面を表示するまで、その後の認証操作は不要になります。プライバシーモード設定の複数の項目を「認証後に表示」に設定して起動中の場合も同様です。ただし、プライバシーモードの制限対象でない認証操作が必要な機能については、起動する際に認証操作が必要です。

〈例〉

- 電話帳を利用中に一度認証操作を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要です。
- マイピクチャと電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定し、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても認証画面は表示されません。

・電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中は、文字入力中の電話帳引用は行えません。→P544

・マイピクチャ・iモーションを「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中は、FOMA端末電話帳に着信音や画像を設定している相手から電話着信やメール受信があっても、着信音設定、発着信画面選択の各画像設定に従って動作します。

・マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合で、プライバシーモード起動中に、FOMA端末電話帳を赤外線による全件送信やminiSDメモリーカードへのバックアップを行うと、FOMA端末電話帳に設定された静止画は、送信やバックアップされません。

サイドキーロック

サイドキーの誤操作を防止する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を折り畳んだときの日付・時刻表示以外のサイドキーの操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

● サイドキーロック中でも、かかってきた電話は受けることができます。

● サイドキーロック中でも、FOMA端末を開いた状態でのサイドキーの操作は有効です。

1 待受画面でを1秒以上押す

サイドキーロックが設定され、待受画面にが表示されます。

■ サイドキーロックを解除するとき

待受画面でを1秒以上押す

サイドキーロックが解除され、待受画面からが消えます。

お知らせ

・サイドキーロック中は、着信中にFOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲］を押しても、着信音とバイブレータの振動は停止しません。

他の人が使用できないように遠隔から設定する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックおよびICカードロックを設定し、他人が勝手に使用するのを防ぎます。監視時間、着信回数、電話番号を設定し、設定した条件でFOMA端末に着信があると、オールロックおよびICカードロックが設定されます。

遠隔ロックの動作を設定する

1 待受画面で MENU 8 3 1 3 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 各項目を選択して設定する

遠隔ロック：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

監視時間(分)：最初に着信してから設定した回数分の着信があるまでの制限時間を設定します。制限時間を超えても設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。
・1～10分の範囲で設定します。

着信回数(回)：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します。
・3～10回の範囲で設定します。

発信元1～3：遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話や同じ番号を設定することもできます。

■ 発信元を設定するとき

① **発信元1～3欄を選択する**

② **発信元選択欄を選択し、1 または 2 を押す**

・「発信者番号」に設定したときは、電話番号入力欄に電話番号を入力します。
・ を押すと電話帳から入力できます。

③ **を押す**

4 を押す

遠隔ロックの動作条件が設定されます。

お知らせ

・発信元に、ポーズ、タイマーが設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ、タイマー以降は削除されます。
・FOMA端末でオールロックのみ、またはICカードロックのみ設定することもできます。

遠隔ロックを設定する

遠隔ロックで設定した動作条件でFOMA端末に電話をかけて、遠隔ロックをかけます。

・遠隔ロックをかけるには、発信者番号通知を行って電話をかけてください。
・FOMA端末がサービスエリア外にあるときや、電源が入っていないときなど電波の届いていない場所や状態にある場合は、遠隔ロックをかけることはできません。

1 遠隔ロックで設定した条件でFOMA端末に音声電話をかける

遠隔ロックが設定された旨のガイダンスが流れ、オールロックおよびＩＣカードロックが設定されます。

遠隔ロックを解除する

遠隔ロックによってオールロックおよびＩＣカードロックがかかったFOMA端末のロックを解除するには、ロックのかかったFOMA端末でオールロックを解除し、次にＩＣカードロックを解除する必要があります。

・オールロックを解除する→P160
・ＩＣカードロックを解除する→P365

お知らせ

・遠隔ロックを起動させるための音声電話をかけたときに、相手が電話に応答した場合は、設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。また、カウントは0になります。
・伝言メモまたはオート着信機能が設定されているときは、遠隔ロックで発信元に設定した電話番号から電話がかかってくると、伝言メモで設定した応答時間またはオート着信機能で設定した自動着信機能時間の４秒後に伝言メモまたはオート着信機能が動作します。伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。伝言メモやオート着信機能が起動した場合は、設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。
・着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効となります。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントしません。
・着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼び出し時間が0秒の場合を除く）。
・カウントを開始した時点から設定した指定時間が経過すると、カウントを終了し、それまでカウントした着信回数を0にします。
・カウントを開始してから電源を切ると、それまでカウントした着信回数を0にします。
・遠隔ロック中に発信元に設定してある電話番号から電話がかかってきたときは、遠隔ロック中である旨のガイダンスが流れます。発信元に設定していない電話番号から電話がかかってきたときは、切断します。
・発信元に設定した電話番号の「186（＊31#）」／「184（#31#）」の設定に合わせて、発信時に「186（＊31#)」／「184（#31#)」を設定する必要はありません。
・FOMA端末が通話中の着信はカウントしません。

シークレットモード

シークレット属性が設定されている情報を表示する

お買い上げ時	未設定

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、FOMA端末をシークレットモードにする必要があります。

シークレットモードを設定する

1 待受画面で MENU 8 3 2 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

待受画面に が表示されます。

■ シークレットモードを解除するとき

待受画面で 電源 を押す

待受画面から が消えます。

お知らせ

・電話帳データにシークレット属性を設定する→P123
・スケジュールデータにシークレット属性を設定する→P459

メモリ別着信拒否／許可

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否／許可を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否／許可を指定してから、着信拒否／許可を設定してください。
- 本機能は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。

・FOMAカード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 待受画面で 電話帳 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて MENU 9 1 3 を押す

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 電話番号を選択する

5 [1] ～ [3] を押す

・着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。

お知らせ

・FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
・着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、本設定は解除されますので、変更／登録後の電話番号に対して着信拒否／許可を設定し直してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

お買い上げ時	設定解除

着信拒否／許可を有効にするかどうかを設定します。
・本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
・メモリ別着信拒否／許可を同時に有効にはできません。

1 待受画面で [MENU] [8] [6] [5] を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 [2] または [3] を押す

■ 着信拒否／許可を解除するとき
[1] を押す

メモリ別着信拒否／許可を設定すると

「拒否設定」に設定している場合、着信拒否に指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
「許可設定」に設定している場合、着信許可に指定していない電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
・着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。

お知らせ

・着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
・ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。
・本機能の設定に関わらず、着信拒否／許可を設定した電話番号に電話をかけることができます。また、電話帳データも修正できます。

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時	すべて設定解除

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

● 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話発着信設定・電話発着信画像設定・着信音設定より本機能の設定が優先されます。

1 待受画面で MENU 8 6 2 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1 ～ 3 を押す

・通知されない理由ごとに操作３～５を繰り返して設定します。

4 各項目を選択して設定する

着信動作　：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、着信音設定の「電話」で設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、発信番号が通知されない相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた→P403
- 「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
画像一覧の見かた→P368
- 「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382

5 を押す

お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話がかかってきた場合は、該当する発信者番号非通知理由を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、着信音は着信音設定／テレビ電話発着信設定のテレビ電話の設定に、着信画像はテレビ電話発着信設定に従って動作します。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず、受信されます。
- 着信動作を「着モーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。
- 着信動作を「着モーション」に設定した後、「着信音OFF」に設定し直した場合、「着モーション」に設定した動画／ｉモーションは再生されますが、着信音量は消音になります。

着信呼出動作設定

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする

お買い上げ時	着信呼出動作：OFF

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

● メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 待受画面で MENU 8 1 8 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

呼出開始時間：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。
- １～９９秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示
：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 を押す

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応対したり、通常の着信中の操作を行うことができます。その場合、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。
- PIMロック中やプライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- 発信者番号が通知されない場合や、シークレット属性を設定している電話帳から電話がかかってきた場合も、本機能が動作します。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、本機能の設定に関わらず、着信と同時に呼出動作を開始します。

次ページへ続く

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能が設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - ドライブモード
  - 伝言メモ
  - オート着信機能
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否、発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 呼出開始時間をオート着信機能設定と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。
- 呼出開始時間を、留守番でんわサービスまたは、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時	OFF

あんしん設定

● 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
● 着信呼出動作設定を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 **待受画面で MENU 8 6 6 を押す**

2 **端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

3 **1 を押す**

■ **メモリ登録外着信拒否を解除するとき**
2 を押す

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
- 電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知せずに電話をかけてきたとき、またはシークレット属性を設定した電話帳からシークレットモードを設定していないときに着信があった場合も、着信を拒否します。発信者番号が通知されない着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末では、暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用できます。

● 迷惑メールの対策に関する設定は、別冊の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P307
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	
1日に1台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	ｉモード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべてのショートメッセージ（SMS）または非通知ショートメッセージ（SMS）の受信を拒否します。	SMS 一括拒否／非通知 SMS 拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P486
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行います（FirstPass 対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P216、P246
ＩＣカード機能を利用できないようにします。	ＩＣカードロック	P365
必要な場合にパケット通信を使ってFOMA 端末のソフトウェアを更新します。	ソフトウェア更新	P593
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA 端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P599

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。

- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA 端末で表示・再生して楽しむ他に、i モードメールやデータ転送で他のFOMA端末や他社携帯電話、パソコンなどに送信することができます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声を、待受画面や電話の着信画面、着信音などに設定できます。また、録音した音声を電話の着信音に設定することもできます。
- 静止画や動画にフレームを重ねて撮影したり、モノトーン、セピアなどの効果をかけて撮影したりすることができます。さらに撮影後の静止画には、フレームを重ねたり、文字やスタンプを貼り付けたり、いろいろな効果をかけたりすることができます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、miniSDメモリーカードに保存することができます。
- miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P408

カメラの使いかた

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり横縞が現れたりする「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや横縞を軽減できる場合があります。→P199
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ▢またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、速く動いている被写体を撮影すると、▢またはサイドキー［▲］を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、FOMA端末の故障ではありません。
- FOMA端末のインカメラはCMOSカメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCDカメラであるアウトカメラの映像と比較すると若干粗く見えることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- アウトカメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないように注意してください。
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。また、暗い場所ではワンタッチライトを補助光として利用してください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- ▢またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、▢またはサイドキー［▲］を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。
- 動画撮影の際、動きの激しいものを撮影したりすると、画像が乱れることがあります。
- インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影保存される静止画や動画は正像となります。また、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておくと、鏡像で保存することもできます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

・ｉアプリのソフトからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャやｉモーションのフォルダには保存されず、ソフト内（ソフトによっては「ｉモード」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、ソフトからサーバへ通信により自動的に送られる場合があります。
・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にminiSDメモリーカードを抜かないでください。本体の故障の原因になります。
・miniSDメモリーカードの空き容量が少なくなると撮影できないことがあります。miniSDメモリーカードを利用する場合は、十分な空き容量があることを確認してから撮影してください。
・撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、撮影画像は保存できません。
・電池を非常に消費するため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せず、長時間放置しないようにしてください。
・設定によっては、カメラを起動したときに撮影画面に画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して録画や録音などされたもの並びにサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラ

撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズで静止画や動画を撮影したり、撮影前に効果を設定して撮影したりすることができます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

撮影画面

撮影画面の見かたは次のとおりです。
・ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、ワンタッチライト起動、セルフタイマー起動以外は操作できません。
・動画撮影時、画像サイズをQVGA横撮影（320 × 240）に設定している場合は、下記のマークの代わりに STANDBY（撮影待機中）、REC（撮影中）、PAUSE（一時停止中）が表示されます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

① **撮影モード**　：静止画、動画の撮影モードであることを示します。
② **保存先**　：保存先を示します。→P186、P190
　：FOMA端末　：miniSDメモリーカード
③ **撮影種別**　：撮影する動画の種類を示します。→P190

④ **セルフタイマー**：セルフタイマーのON／OFFを示します。→P193
オートフォーカス：オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。→P183
⑤ **接写モード**：接写モードか通常モードかを示します。→P194
⑥ **ワンタッチライト**：ワンタッチライトのON／OFFを示します。→P180、P187
⑦ **インジケータ**：**撮影待機中**
通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー撮影時（カウント中）は撮影するまでの残り時間を示します。
・miniSD メモリーカードの保存領域の使用率は、撮影画像が保存されていなくても 0 にならないことがあります。
動画撮影時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する撮影したサイズの割合を示します。
⑧ **カウンタ**：**静止画撮影時**
通常の撮影時は現時点でFOMA端末本体またはminiSDメモリーカードに撮影できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー撮影時（カウント中）は撮影するまでの秒数を示します。手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数（最大で 6）を示します。
動画撮影時
撮影待機中は現時点でFOMA端末本体またはminiSDメモリーカードに撮影できる動画の最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間／残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を表示します。
⑨ **ズーム**：画像の表示倍率を示します。→P192
⑩ **明るさ**：画像の明るさを示します。→P199
⑪ **色の濃さ**：画像の色の濃さを示します。→P199
⑫ **撮影効果**：画像にかける特殊効果を示します。→P198
⑬ **ホワイトバランス**：ホワイトバランスの設定状態を示します。→P198
⑭ **フレーム**：フレームの設定状態を示します。→P193
⑮ **連続撮影**：連続撮影の設定状態を示します。→P184
⑯ **画質**：保存する静止画ファイルの画質を示します。→P196
品質：保存する動画ファイルの品質を示します。→P196
⑰ **サイズ制限**：保存するファイルサイズの制限値を示します。→P197
⑱ **画像サイズ**：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。→P195

静止画像ファイル／動画ファイルについて

	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG	MP4 (MobileMP4)
符号化方式	――	映像：MPEG4 音声：AMR
拡張子	.jpg	.3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2005年1月27日12時34分56秒に撮影した場合 →20050127123456.jpg／.3gp ・撮影後、ファイル名を変更できます。 ・FOMA端末の日付時刻が設定されていない場合、表示名・タイトル（動画のみ）・ファイル名は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、miniSDメモリーカードや他の端末、専用のデータリンクソフトを利用してパソコンに取り込んだりすることができます。	

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

静止画の保存枚数について

FOMA端末およびminiSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質、サイズ制限、ファイルサイズ、画像サイズの設定や撮影状況によって変わります。

・画質、画像サイズ、サイズ制限は静止画設定で設定します。→P186

■ FOMA端末に保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画質＼画像サイズ	96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1224×1632
エコノミー	約798	約798	約798	約565	約436	約209	約209	約81	約60	約52
スタンダード	約798	約798	約738	約417	約331	約148	約148	約50	約36	約35
ファイン	約798	約738	約505	約253	約209	約87	約87	約28	約20	約20

※：マイピクチャの「デコメールピクチャ」「アイテム」フォルダ内のデータを削除すれば最大1000件保存可能になりますが、お買い上げ時の状態での上限は約798枚です。

■ miniSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

容量・画質＼画像サイズ		96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1224×1632
16MB	エコノミー	約2073	約1612	約1319	約854	約660	約315	約315	約122	約90	約79
	スタンダード	約1814	約1451	約1116	約631	約500	約223	約223	約75	約55	約53
	ファイン	約1612	約1116	約764	約382	約315	約132	約132	約42	約30	約30
32MB	エコノミー	約4336	約3372	約2759	約1785	約1380	約660	約660	約255	約189	約166
	スタンダード	約3794	約3035	約2335	約1320	約1047	約467	約467	約157	約115	約110
	ファイン	約3372	約2335	約1597	約799	約660	約276	約276	約88	約63	約63

動画の録画時間について

動画の撮影時間は、品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限、ファイルサイズの設定や撮影状況によって変わります。

・品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音設定で設定します。→P190

■ FOMA端末に保存できる動画の撮影時間（目安）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1回あたりの撮影時間（単位：秒）				FOMA端末の最大撮影時間（単位：分）			
			品　質				品　質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約112	約70	約51	約21	約64	約40	約29	約12
		画像のみ	約190	約96	約71	約24	約109	約55	約40	約13
	176×144	画像＋音声	約87	約44	約30	約11	約50	約25	約17	約6
		画像のみ	約128	約52	約36	約12	約73	約29	約20	約6
	320×240	画像＋音声	約32	約17	約13	約6	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約36	約18	約14	約6	約20	約10	約8	約3
大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約189	約119	約86	約36	約64	約40	約29	約12
		画像のみ	約321	約161	約120	約41	約109	約54	約40	約13
	176×144	画像＋音声	約148	約74	約51	約19	約50	約25	約17	約6
		画像のみ	約217	約89	約61	約21	約73	約30	約20	約7
	320×240	画像＋音声	約54	約29	約23	約10	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約61	約30	約24	約10	約20	約10	約8	約3

■ miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間（目安）

単位：分

容量	ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	品質			
				LP	STD	HQ	HQ+
16MB	メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約93	約58	約42	約17
			画像のみ	約158	約80	約59	約20
		176×144	画像＋音声	約72	約36	約25	約9
			画像のみ	約106	約43	約30	約10
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約10	約5
			画像のみ	約30	約15	約11	約5
	大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約93	約58	約42	約17
			画像のみ	約158	約79	約59	約20
		176×144	画像＋音声	約73	約36	約25	約9
			画像のみ	約107	約43	約30	約10
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約11	約4
			画像のみ	約30	約14	約11	約4
	制限なし	128×96	画像＋音声	約85	約53	約38	約16
			画像のみ	約144	約72	約54	約18
		176×144	画像＋音声	約66	約33	約22	約8
			画像のみ	約97	約39	約27	約9
		320×240	画像＋音声	約24	約12	約10	約4
			画像のみ	約27	約13	約10	約4
32MB	メール添付（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約195	約122	約88	約36
			画像のみ	約331	約167	約123	約41
		176×144	画像＋音声	約151	約76	約52	約19
			画像のみ	約223	約90	約62	約20
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約22	約10
			画像のみ	約62	約31	約24	約10
	大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約195	約122	約88	約37
			画像のみ	約331	約166	約123	約42
		176×144	画像＋音声	約152	約76	約52	約19
			画像のみ	約224	約91	約62	約21
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約23	約10
			画像のみ	約62	約30	約24	約10
	制限なし	128×96	画像＋音声	約184	約116	約84	約35
			画像のみ	約313	約156	約117	約39
		176×144	画像＋音声	約144	約72	約49	約18
			画像のみ	約211	約86	約59	約20
		320×240	画像＋音声	約52	約27	約22	約9
			画像のみ	約59	約29	約23	約10

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

FOMA端末のカメラを使って静止画を撮影します。FOMA端末には、自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな撮影方法があります。

● 撮影前に撮影方法を選択できます。→P191
● 着信音量を消音に設定していたり、マナーモードを設定したりしていても、シャッター音は鳴ります。

FOMA端末を開いて静止画を撮影する

1 待受画面で を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。
・静止画の撮影待機中は次の操作ができます。
　　：ワンタッチライトの点灯（）／消灯（表示なし）切り替え※1
　 1秒以上 ：背面ディスプレイの表示／非表示切り替え※2

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

：全画面モード／標準画面モードの切り替え
・全画面モードにすると、画面下部の設定アイコンやガイド行が表示されなくなり、撮影画像を確認しやすくなります。

　　　　　：インカメラ／アウトカメラの切り替え
・カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。

1秒以上　：動画撮影モード／静止画撮影モードの切り替え

※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

※2：アウトカメラ撮影時および手動連写の撮影待機中に操作できます。

2 被写体にカメラを向けて　またはサイドキー［▲］を押す

静止画撮影画面

シャッター音が鳴り、着信ランプが赤で点灯して静止画が撮影されます。

・サイドキー［AF▲］を使用してオートフォーカスで撮影できます。

3 撮影した静止画を確認する

・画像サイズが待受用（240×320）より小さい場合は、　を押すと撮影した静止画を拡大表示できます。　を押すと元に戻ります。
・静止画設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。

■ 撮影した静止画をメールに添付して送信するとき

を押す

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P271

・画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると9000バイトよりも小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
・撮影・保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
・保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。

■ 待受画面に設定するとき

MENU 2 1 を押す

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

MENU 2 を押し、2 または 3 を押して「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

・画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ、電話帳の画像に登録できます。
・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

次ページへ続く

■ タイトルを変更するとき

MENU 3 1 を押す

・全角・半角を問わず最大31文字入力できます（連続撮影した画像は30文字）。

■ 補正するとき

を押す

・画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合は、補正できません。

■ 鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時のみ）

MENU 4 1 を押す

・撮影した画像にフレームが設定されている場合および画像サイズが横長VGA(640×480)で撮影日時が「なし」以外に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替えるとき（インカメラ撮影時のみ）

MENU 4 2 を押す

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

MENU 6 を押す

■ 保存されている画像を一覧表示するとき

MENU 7 を押し、1 または 2 を押す

4 またはサイドキー［▲］を押す

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。→P368

・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。→P409

・撮影した静止画を保存しない場合は クリア を押します。

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

① を押す

② 確認したい静止画を選択する

・確認後 クリア を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。

・電話帳またはｉアプリからカメラを起動したときは確認できません。

カメラ

お知らせ

・画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。

・撮影した静止画のファイルサイズがサイズ制限の設定値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存します。

・音声電話通話中に静止画を撮影した場合は、通話が途切れる場合があります。

・静止画撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話がかかってきた場合は、撮影を中止します。シャッター音が鳴り、既に静止画を撮影している場合は、通話終了後に確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画が自動で保存されます。

・静止画の保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。

・静止画の撮影中にメールを受信しても、撮影は中断されず、そのまま撮影を続けることができます。

・画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、静止画を撮影できません。保存されている画像を削除したり、静止画設定で画像サイズや画質の設定を変更したりしてから撮影してください。→P195、P416、P424

・電話帳からカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。

- メールの作成　- 待受画面の設定　- 電話帳の画像登録
- 補正　- 保存先の切り替え　- 画像の一覧表示

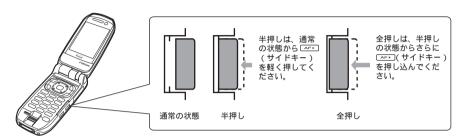
・miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

オートフォーカスで撮影する<オートフォーカス>

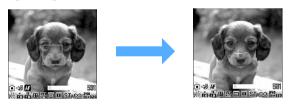
サイドキー［AF▲］を半押ししてピントを合わせます。その状態のまま全押しすると、より鮮明な静止画を撮影できます。

・サイドキー[AF▲]には半押しと全押しがあるため、サイドキー[▼]と比べ押したときの感触が異なります。
・オートフォーカスでピントを合わせることができる距離は、通常モードで30cm～∞、接写モードで8～40cmです。
・インカメラ撮影時、セルフタイマー撮影中、撮影効果を「夜景」に設定しているときは、オートフォーカスを操作できません。

1 待受画面で［カメラキー］を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

2 被写体にカメラを向けてサイドキー［AF ▲］を半押しする

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠と AF（黒）が表示されます。
ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「＋」に、AF が AF（緑）に変わります。

・オートフォーカスを解除するには、サイドキー［AF▲］から指を離します。
・ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「＋」に変わり、AF（赤）が表示されます。
・ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、サイドキー［AF▲］を半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向けます。

3 サイドキー［AF ▲］を全押しする

シャッター音が鳴り、着信ランプが赤で点灯し、静止画が撮影されます。

・［決定キー］を押しても撮影できます。

4 ［決定キー］またはサイドキー［AF ▲］を押す

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。→P368

・確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。→P180

次ページへ続く

お知らせ

- ピントを合わせることができない距離の被写体の場合は、設定している撮影モードに応じた最良のピントで撮影されます。
- 自動連写時にオートフォーカスで撮影したときは、1枚目と同じピントで残りの静止画が撮影されます。手動連写時は、撮影するたびにオートフォーカスでピントを合わせることができます。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- オートフォーカス機能の使用中は［●］、［電源］、［TASK］以外のキー操作が無効になり、撮影機能の設定を変更できません。

連続撮影する<連続撮影>

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には、設定した枚数分を自動で連写する「自動連写」と、設定した枚数分を1枚ずつ手動で連写する「手動連写」があります。

- 連続撮影できる枚数は最大6枚です。
- 静止画設定の「連続撮影枚数」で連続撮影できる枚数を設定できます。→P186
- 画像サイズが電話帳用（96×72）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）のとき、および電話帳またはｉアプリからカメラを起動したときは連続撮影できません。ただし、ｉアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 待受画面で［カメラ］を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

2 連続撮影の種類を選択する

連続撮影のマーク

■ 自動連写に設定するとき

［MENU］［5］［1］を押す

連続撮影のマークが［1］から［A］に変わります。

■ 手動連写に設定するとき

［MENU］［5］［2］を押す

連続撮影のマークが［1］から［M］に変わります。

- 連続撮影を解除するときは［MENU］［5］［3］を押します。
- ［7］を押し、［カメラ］［iα］で連続撮影の種類を選択してから、［●］を押しても設定できます。

3 被写体にカメラを向けて［●］またはサイドキー［▲］を押す

■ 自動連写のとき

自動連写用のシャッター音が鳴り、設定されている撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。

■ 手動連写のとき

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 続けて静止画を撮影するには［●］またはサイドキー［▲］を押します。
- 2枚以上手動連写を行ってから［クリア］を押すと、手動連写が中断され、それまでに撮影した静止画がサムネイル表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、それまでに撮影した静止画が自動的に保存され、静止画撮影画面に戻ります。

4 連続撮影した静止画を確認する

- [キー]を押すたびに一枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 一枚表示時に[キー]を押すと前の画像に、[キー]を押すと次の画像に切り替わります。

5 [キー]またはサイドキー［▲］を押す

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに一括で保存されます。→P368

- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。→P180

■ 表示されている静止画1枚だけを保存するとき（アウトカメラ撮影時）

[キー]を1秒以上押して「はい」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が保存されます。

■ 表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存するとき（インカメラ撮影時）

[キー]を1秒以上押して、「正像保存」または「鏡像保存」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が正像／鏡像保存されます。

■ 連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時）

[MENU][4][1]を押す

■ 連続撮影した静止画の中から保存する画像を選択するとき（サムネイル表示時）

① **[MENU][5][2]を押す**

② **保存する静止画を選択する**

- [MENU]を押すと全選択／全解除できます。
- [キー]を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。[キー]を押すとサムネイル表示に戻ります。

③ **[キー]を押す**

選択した静止画だけが保存されます。

- インカメラ撮影時は正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

お知らせ

- 連続撮影した静止画のファイル名には末尾に「-1」が付きます。連続撮影した静止画をパラパラマンガの解除機能（→P370）で1枚ずつの画像にできます。このとき、個々の画像のファイル名の末尾に「-1」〜「-6」の番号が付きます。
  静止画のファイル名について→P178
- インカメラ、アウトカメラで自動連写中にFOMA端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイは非表示のまま撮影は続行されます。アウトカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］で撮影を続行できます。インカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。
  いずれの場合も、静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているときは、撮影終了後にディスプレイに撮影画像がサムネイル表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定した保存先に自動的に保存され、保存終了後に背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示されます。
- 連続撮影中に電話がかかってきたりアラームが起動した場合、手動連写時はその時点で撮影が中止され、確認画面が表示されます。自動連写時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。また、自動保存を「する」に設定している場合は、撮影された静止画が自動的に保存されます。
  着信音およびアラーム音はシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。

静止画の画像サイズや画質などを設定する＜静止画設定＞

お買い上げ時	画像サイズ：待受用（240×320）　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし セルフタイマー間隔:10秒　連続撮影枚数：6枚　自動保存：しない　保存先：本体 自動終了時間：1分後　シャッター音：標準　照明設定：常灯

静止画撮影の各機能を設定します。

・電話帳または i アプリからカメラを起動したときは設定できません。この場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

1 待受画面で［カメラ］を押し、［MENU］［8］を押す

2 各項目を選択して設定する

画像サイズ：撮影する静止画の画像サイズを設定します。→P195
- インカメラ撮影時に画像サイズを縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）に設定すると、アウトカメラに切り替わります。

画質：保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質が良くなるほどファイルサイズは大きくなります。→P196

撮影日時：静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。

サイズ制限：保存する静止画ファイルのサイズ制限値を設定します。撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存します。
- 撮影した静止画を i モードメールに添付して i モード端末に送信する場合は、「制限なし」以外に設定します。

セルフタイマー間隔
：セルフタイマー撮影時の撮影開始までの時間を設定します。
- 2～15秒の範囲で設定します。

連続撮影枚数：連続撮影する枚数を設定します。
- 2～6枚の範囲で設定します。

自動保存：撮影した静止画を自動で保存するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、撮影した静止画が設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示され、さまざまな操作を行うことができます。

保存先：撮影した静止画の保存先を設定します。

自動終了時間：何も操作していないときに終了するまでの時間を設定します。

シャッター音：撮影時のシャッター音を設定します。
- シャッター音にカーソルを合わせると音が鳴ります。

照明設定：静止画撮影中のディスプレイの照明を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明設定に従います。
- 「常灯」に設定すると、静止画撮影画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。

3 ［保存］を押す

お知らせ

- 画像サイズを電話帳用（96×72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 画像サイズのCIF（352×288）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）とサイズ制限の「9000バイト」は同時に設定できません。
- 画像サイズのUXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）とサイズ制限の「500Kバイト」は同時に設定できません。
- 各種設定リセットを行っても、本機能の設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

動画撮影

ビデオカメラで動画を撮影する

FOMA端末のビデオカメラを使って音声付きの動画を撮影します。

● 撮影前に撮影方法を選択できます。→P191

● 通話中や音声録音中は動画を撮影できません。他の機能をすべて終了させてから動画を撮影してください。

● 着信音量を消音に設定していたり、マナーモードを設定したりしていても、撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

FOMA端末を開いて動画を撮影する

1 待受画面で［カメラ］を1秒以上押す

ビデオカメラが起動して動画撮影モードになります。

- 動画の撮影待機中は次の操作ができます。

［メール］	：ワンタッチライトの点灯（［ライト］）／消灯（表示なし）切り替え※1
［メール］1秒以上	：背面ディスプレイの表示／非表示切り替え※2
［＊］	：縦撮影／横撮影の切り替え※1 ・画像サイズがQVGA（320×240）のときのみ切り替えられます。
［iアプリ］	：インカメラ／アウトカメラの切り替え ・カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。
［iアプリ］1秒以上	：静止画撮影モード／動画撮影モードの切り替え

※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

※2：アウトカメラ撮影時および一時停止中に操作できます。

2 被写体にカメラを向けて［●］またはサイドキー［▲］を押す

動画撮影画面

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが最大5色（赤、黄、緑、青、紫）の2秒間隔で点滅し、動画が撮影されます。撮影を開始すると、［撮影待機］が［●］に切り替わります。

- 撮影を一時停止するときは［●］を押します。一時停止中は着信ランプが緑に点灯し、［●］が［II］に切り替わります。もう一度［●］を押すと、撮影を再開します。

カメラ

次ページへ続く

3 またはサイドキー［▲］を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。

・動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。

・一時停止中に を押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存されます。

■ 撮影した動画をメールに添付して送信するとき

を押す

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した動画はFOMA端末に保存されます。
- 撮影した動画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、メールに添付できません。
- 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、メールに添付できません。
- 動画の品質を「HQ＋（最高品質）」に設定している場合は、メールに添付できません。

■ 待受画面に設定するとき

MENU 2 1 を押し、「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

MENU 2 を押し、2 または 3 を押して「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 画像サイズが128×96または176×144で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

MENU 3 1 を押す

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。
- 変更したタイトルは動画を保存した後に反映されます。

■ テロップを作成するとき

MENU 3 2 を押し、「はい」を選択する

撮影した動画がFOMA端末に保存され、テロップの作成画面が表示されます。→P389

- 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、テロップを作成できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 再生するとき

を押す

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

MENU 5 を押す

- 撮影した動画のファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、保存先を切り替えられません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

■ 保存されている動画を一覧表示するとき

MENU 6 を押し、1 または 2 を押す

4 ［ ］またはサイドキー［▲］を押す

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。→P382

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。→P409
- 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。
- 動画／録音設定の自動再生を「する」に設定している場合は、撮影した動画が自動的に再生されます。
- 撮影した動画を保存しない場合は クリア を押します。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

① ［ ］を押す

② 確認したい動画を選択する

- 確認後 クリア を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳またはｉアプリからビデオカメラを起動したときは確認できません。

お知らせ

- アウトカメラの撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影中の画像が背面ディスプレイに表示され、撮影を続行します。インカメラ撮影時にFOMA端末を折り畳むと、撮影が中止され、確認画面が表示されます。
- 音声録音中にFOMA端末を折り畳むと、録音が中止され、確認画面が表示されます。
- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影／録音中にインジケータやカウンタ表示の更新が遅くなることがあります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- 連続10時間以上撮影した動画／音声をminiSDメモリーカードに保存した場合、動画が正しく表示・再生できないことがあります。
- 撮影／録音中に電話がかかってきたりアラームが起動したりした場合は、その時点で撮影／録音が中止され、確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。このとき、保存したデータの最後にアラーム音などが録音されることがあります。
- 保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
- 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池アラーム音が鳴り、それまでに撮影／録音されたデータが自動で保存されます。このとき、保存したデータの最後に電池アラーム音が録音されることがあります。
- 動画／音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、撮影／録音できません。保存されているデータを削除したり、動画／録音設定でサイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。→P195、P416、P424
- 動画撮影で電話帳からビデオカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - テロップの作成
  - 保存先の切り替え
  - 動画の一覧表示
- miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

動画の品質や撮影種別などを設定する<動画／録音設定>

お買い上げ時	品質：STD（標準）　撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付 撮影サイズ：QCIF（176×144）　セルフタイマー間隔:10秒　自動再生：しない 自動保存：しない　保存先：本体　自動終了時間：1分後　シャッター音：標準　照明設定：常灯

動画撮影および音声録音の各機能を設定します。

・電話帳またはｉアプリからビデオカメラを起動したときは設定できません。この場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

1 待受画面で を1秒以上押し、 を押す

2 各項目を選択して設定する

品質　：保存する動画／音声ファイルの品質を設定します。品質が良くなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。

撮影種別　：撮影する動画の種類を設定します。
：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ（サウンドレコーダー）

サイズ制限　：保存する動画／音声のサイズ制限値を設定します。撮影／録音中の動画／音声のファイルサイズが制限値より大きくなると、自動的に撮影を終了します。
・撮影／録音したファイルをｉモードメールに添付してｉモード端末に送信する場合は、「制限なし」以外に設定します。

撮影サイズ　：撮影する動画の画像サイズを設定します。

セルフタイマー間隔
：セルフタイマー撮影時の撮影開始までの時間を設定します。
・2～15秒の範囲で設定します。

自動再生　：確認画面を表示したときに撮影／録音した動画／音声を自動的に再生するかどうかを設定します。

自動保存　：撮影／録音した動画／音声を自動で保存するかどうかを設定します。
・「する」に設定すると、撮影／録音した動画／音声が設定されている保存先に自動的に保存されます。
・「しない」に設定すると、撮影／録音後に確認画面が表示され、さまざまな操作を行うことができます。

保存先　：撮影／録音した動画／音声の保存先を設定します。

自動終了時間：何も操作していないときにビデオカメラ／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。

シャッター音：撮影／録音時の撮影確認音（シャッター音）を設定します。
・撮影確認音（シャッター音）の選択中は音が鳴ります。

照明設定　：撮影／録音中のディスプレイの照明を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、照明設定の設定に従います。
・「常灯」に設定すると、撮影／録音画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。

3 を押す

お知らせ

・品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と撮影種別の「音声のみ」は同時に設定できません。
・保存先を「本体」に設定している場合、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
・各種設定リセットを行っても、本機能の設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

FOMA端末を折り畳んで静止画／動画を撮影する

・インカメラ撮影時は背面ディスプレイを「ON」に設定できません。
・カメラを終了すると、次にカメラを起動したとき背面ディスプレイは非表示になります。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面を表示する→P180、P187

2 FOMA端末を折り畳む

カメラからの画像が背面ディスプレイに表示されます。

3 被写体にカメラを向けてサイドキー［▲］を押す

・静止画撮影のときは操作5に進みます。
・静止画撮影のときはオートフォーカス撮影ができます。

4 サイドキー［▲］を押す

5 FOMA端末を開いて撮影した静止画／動画を確認する

・静止画の確認・保存方法→P181
・動画の確認・保存方法→P188

お知らせ

・インカメラ、アウトカメラで自動連写中にFOMA端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイは非表示のまま撮影は続行されます。アウトカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］で撮影を続行できます。インカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。
いずれの場合も、静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているときは、撮影終了後にディスプレイに撮影画像がサムネイル表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定した保存先に自動的に保存され、保存終了後に背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示されます。
・FOMA端末を折り畳んだ場合、カメラを上にしているときが正方向です。カメラを下にして撮影した場合、表示・保存画像も天地が逆になりますのでご注意ください。

いろいろな方法で撮影する

FOMA端末のカメラには、ズーム機能やセルフタイマー撮影、接写モードなど、さまざまな撮影方法があります。
ここでは静止画撮影画面／動画撮影画面で各撮影モードに設定する方法を説明します。設定後の撮影については、静止画撮影または動画撮影を参照してください。
・背面ディスプレイ表示中は、フレームを解除する以外の操作ができません。→P193

ズームする

画像の撮影倍率を変更して、被写体をアップで撮影します。
各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	ズーム段階		最大表示倍率
		静止画撮影時	動画撮影時	
アウトカメラ	電話帳用（96×72）	65段階	―	20倍
	Sub-QCIF（128×96）	65段階	9段階	20倍
	QCIF（176×144）	65段階	8段階	16倍
	待受用（240×320）	65段階	―	8倍
	QVGA縦撮影（320×240）	―	3段階	4倍
	QVGA横撮影（320×240）	―	5段階	8倍
	CIF（352×288）	65段階	―	6倍
	横長VGA（640×480）	65段階	―	3倍
	縦長VGA（480×640）	65段階	―	4倍
	SXGA（960×1280）	65段階	―	3倍
	UXGA（1200×1600）	6段階	―	2倍
	2M（1224×1632）	6段階	―	2倍
インカメラ	電話帳用（96×72）	2段階	―	2倍
	Sub-QCIF（128×96）	2段階	2段階	
	QCIF（176×144）	2段階	2段階	
	待受用（240×320）	2段階	―	
	QVGA縦撮影（320×240）	―	2段階	
	CIF（352×288）	2段階	―	
	横長VGA（640×480）	2段階	―	

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で［カメラ］［iα］を押す→ P181、P187

スライダ

ズームのマーク

［カメラ］［iα］を押すたびにスライダの目盛が移動します。

- ［1］を押し、［カメラ］［iα］で目盛を移動してから［●］を押しても変更できます。

■ 静止画撮影のとき

標準 ⟷ ⟷ ⟷ ⟷ 最大ズーム

■ 動画撮影のとき

×20：20倍　×16：16倍　×12：12倍　×10：10倍　×8：8倍
×6：6倍　×4：4倍　×2：2倍　×1：標準

お知らせ

- アウトカメラでの静止画撮影で、画像サイズを電話帳用（96×72）、Sub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）、待受用（240×320）、CIF（352×288）に設定した状態で撮影倍率を上げていくとディスプレイ上の画像表示の鮮明さが変わる場合があります。実際に撮影される画像については撮影倍率に応じた画質で記録されます。
- 撮影倍率を拡大していくと画像がぼやけて表示されますが、しばらくするとはっきり表示されます。

セルフタイマーを使う<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って静止画や動画を撮影します。設定した時間が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりすることができます。
・撮影するまでの時間は静止画設定および動画／録音設定の「セルフタイマー間隔」で設定できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU 4 を押す→P181、P187

セルフタイマーが設定され、が表示されます。
・セルフタイマーを解除するときは、もう一度 MENU 4 を押します。

2 被写体にカメラを向けて またはサイドキー［▲］を押す

セルフタイマーのマーク

カウントダウン音が鳴り、着信ランプが緑で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくにつれ点滅間隔が短くなり、設定した時間が経過するとシャッター音が鳴ります。
・セルフタイマーを途中で中止するときは を押します。

お知らせ

・アウトカメラ撮影中はセルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末を折り畳んでも、背面ディスプレイに静止画／動画撮影画面が表示され、カウントダウンが続行されます。インカメラ撮影中はカウントダウンを中止します。

フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレーム用の画像やサイトからダウンロードしたフレームを、撮影した画像に重ねることができます。
・お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、待受用（240×320）の画像サイズに対応しています。
・静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）、動画の画像サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
・電話帳またはｉアプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で を押し、フレームのマークにカーソルを合わせる→P181、P187

・ 6 を押してもフレームのマークを選択できます。

2 を押してフレームを選択し、 を押す

フレーム名
フレームのマーク

フレームが設定され、が表示されます。
・ 6 を押してもフレームが切り替わります。
・フレームを解除するには、 6 を1秒以上押します。

カメラ

次ページへ続く

3 被写体にカメラを向けて○またはサイドキー［▲］を押す

・静止画の確認・保存方法→P181
・動画の確認・保存方法→P188

お知らせ

・静止画撮影時は MENU 7 1、動画撮影時は MENU 6 1 を押して、フレーム画像の一覧からフレームを設定することができます。
・フレームの縦横サイズと画像の縦横サイズが逆の場合、静止画撮影時に MENU 7 3、動画撮影時に MENU 6 3 を押すと、フレームが180度回転します。たとえば、画像サイズが176×144の場合、144×176のフレームだと回転できます。
・撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、MENU 7 4（静止画撮影時）または MENU 6 4（動画撮影時）を押すとフレームを最新の内容に更新することができます。
・静止画の場合、撮影した画像を保存した後でもフレームを重ねることができます。→P375
・お買い上げ時に保存されているフレームの一覧→P376

近くのものを撮影する＜接写モード＞

オートフォーカスで約8～40cmのごく近い距離を撮影するときは、接写モードで撮影すると被写体にピントを合わせることができます。オートフォーカスを利用しない場合は、約8～15cmでピントが合います。
・インカメラ撮影時は接写モードを利用できません。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で # を押す→P181、P187

接写モードのマーク

接写モードに切り替わり、🌷が表示されます。
・通常モードに戻すにはもう一度 # を押します。

2 被写体にカメラを向けて○またはサイドキー［▲］を押す

・静止画の確認・保存方法→P181
・動画の確認・保存方法→P188

撮影時の設定を変更する

画像サイズや画質など、画像に関する設定を変更します。

画像のサイズを設定する

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影モード	画像サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96×72）	96×72	ｉモードメールに添付したり、デコメールへ貼り付けしたりしてｉモード端末やパソコンなどに送信できます。
	Sub-QCIF（128×96）	128×96	
	QCIF（176×144）	176×144	
	待受用（240×320）	240×320	
	CIF（352×288）	352×288	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時に待受サイズ（240×320）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	横長VGA（640×480）	640×480	
	縦長VGA（480×640）※	480×640	
	SXGA（960×1280）※	960×1280	
	UXGA（1200×1600）※	1200×1600	
	2M（1224×1632）※	1224×1632	
動画撮影	Sub-QCIF（128×96）	128×96	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。 ・QVGA（320×240）サイズの動画はｉモードメールに添付できません。
	QCIF（176×144）	176×144	
	QVGA（320×240）	320×240	

※：アウトカメラ撮影時のみ
- ｉモード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大500Kバイトです。
- ｉモード端末で見る際に最も適したサイズは、待受用（240×320）サイズです。

1 **静止画撮影画面／動画撮影画面で[◁][▷]を押し、画像サイズのマークにカーソルを合わせる****→P181、P187**

画像サイズのマーク

- [わをん記号]を押しても画像サイズのマークを選択できます。

2 **[📷][iα]を押して画像のサイズを選択し、[●]を押す**

設定した画像サイズのマークが表示されます。
- [わをん記号]を押しても画像のサイズが切り替わります。

お知らせ
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

カメラ

静止画の画質を設定する

1 静止画撮影画面で［左右キー］を押し、画質のマークにカーソルを合わせる→P181

画質のマーク

・［8］を押しても画質のマークを選択できます。

2 ［カメラ］［iアプリ］を押して画質を選択し、［決定］を押す

設定した画質のマークが表示されます。

ECO エコノミー　：最も低い画質になります。ファイルサイズは小さくなります。
ST スタンダード：標準的な画質です。
FINE ファイン　：最も高い画質になります。ファイルサイズは大きくなります。

・［8］を押しても画質が切り替わります。

動画の品質を設定する

1 動画撮影画面で［左右キー］を押し、品質のマークにカーソルを合わせる→P187

品質のマーク

・［8］を押しても品質のマークを選択できます。

2 ［カメラ］［iアプリ］を押して品質を選択し、［決定］を押す

設定した品質のマークが表示されます。

LP 長時間　：最も低い品質になります。撮影時間は最も長くなります。
STD 標準　：標準的な品質です。
HQ 高品質　：画像の動きがなめらかになります。
HQ 最高品質：最も高い品質になります。撮影時間は最も短くなります。

・［8］を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

1 **静止画撮影画面／動画撮影画面で[キー]を押し、サイズ制限のマークにカーソルを合わせる→P181、P187**

サイズ制限のマーク

・画像サイズがUXGA（1200×1600）または2M（1224×1632）以外のときは、[9]を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

2 **[キー][キー]を押してサイズ制限を選択し、[キー]を押す**

設定したサイズ制限のマークが表示されます。

■ 静止画撮影のとき

9000バイト：ファイルサイズを9000バイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

500Kバイト：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

■ 動画撮影のとき

メール添付モード

：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付モード

：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

・[9]を押してもサイズ制限が切り替わります。

お知らせ

・撮影した静止画ファイルをｉモードメールに添付してFOMA端末に送信するときは、サイズ制限を「制限なし」以外に設定します。
・静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。
・動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。

カメラ設定

カメラの設定を変更する

お買い上げ時	撮影効果：標準　ホワイトバランス：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0

撮影時に特殊効果をかけたり、撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整するホワイトバランスなどの設定を変更したりします。

● 動画撮影時、撮影種別を「音声のみ」に設定しているときは、ビデオカメラの設定を変更できません。

特殊な効果をかける

撮影状況や好みに合わせて、撮影時に特殊な効果をかけます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で を押し、撮影効果のマークにカーソルを合わせる→P181、P187

撮影効果名
撮影効果のマーク

・ を押しても撮影効果のマークを選択できます。

2 を押して撮影効果を選択し、を押す

設定した撮影効果のマークが表示されます。

- 標準　：標準的な撮影です。
- 逆光　：被写体が逆光のときに光量を検出し、自動的に露出を補正します。
- セピア　：セピア色で撮影します。
- モノトーン：白黒で撮影します。
- 夕焼け　：夕焼けを背景に人物を撮影するときに使用します。
- 海・雪　：海面や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
- 風景　：コントラストが強調された鮮やかな画像になります。
- 夜景　：長時間露光モードです。暗いところでの撮影に使用します。

・ を押しても撮影効果が切り替わります。

お知らせ

・自動連写時は「夜景」に設定できません。
・動画撮影時は「風景」「夜景」に設定できません。

ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光など、撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で を押し、ホワイトバランスのマークにカーソルを合わせる→P181、P187

光源名
ホワイトバランスのマーク

・ を押してもホワイトバランスのマークを選択できます。

カメラ

2 ［カメラ］［iα］を押して光源を選択し、［●］を押す

設定したホワイトバランスのマークが表示されます。

- オート　：ホワイトバランスを自動的に調整します。
- 太陽光　：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。
- くもり　：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
- 蛍光灯　：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。
- 電球　　：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

・［5］を押してもホワイトバランスが切り替わります。

明るさを調整する

・カメラおよびビデオカメラを終了しても、明るさの設定は保持されます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で［◁］［▷］を押し、明るさのマークにカーソルを合わせる→P181、P187

・［2］を押しても明るさのマークを選択できます。

2 ［カメラ］［iα］を押して明るさを選択し、［●］を押す

設定した明るさのマークが表示されます。

：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2

お知らせ

・撮影する画像によっては、明るさを調整しても状態があまり変化しないことがあります。

色の濃さを調整する

・カメラおよびビデオカメラを終了しても、色の濃さの設定は保持されます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で［◁］［▷］を押し、色の濃さのマークにカーソルを合わせる→P181、P187

・［3］を押しても色の濃さのマークを選択できます。

2 を押して色の濃さを選択し、を押す

設定した色の濃さのマークが表示されます。

：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2

お知らせ

- 撮影する画像によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- インカメラ撮影中に撮影効果モードでセピアおよびモノトーンを設定している場合、色の濃さは反映されません。

カメラ／ビデオカメラの設定を初期値に戻す

1 静止画撮影画面で／動画撮影画面でを押す→P181、P187

2 「はい」を選択する

ワンショットメール

通話中に撮影した画像を送信する

音声電話通話中に撮影した静止画を、ｉモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

● 本機能を使用するには、静止画設定で保存先を「本体」に設定してください。

1 通話中にを押す

2 静止画を撮影する

- 撮影のしかた→P180
- 連続撮影すると、撮影した画像がサムネイル表示されます。を押して、送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメール添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した画像を確認できます。

3 を押し、「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P271

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると9000バイトよりも小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。
- 通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときはを押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面でを押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

4 ｉモードメールを作成して送信する

・ｉモードメールの作成・送信方法→P259

お知らせ

・通話直前にキャラ電撮影を起動していると、撮影できない場合があります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toを利用したりできます。

● 読み取った情報は最大5件保存できます。
● バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
● JANコードとQRコード以外のバーコードおよび2次元コードは読み取れません。
● QRコードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れないことがあります。
● 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力することもできます。→P545

JANコードとは

JANコードとは、幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードの1つです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。

左のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取ることができます。

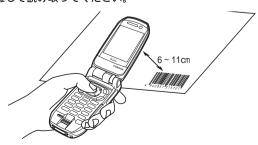
QRコードとは

QRコードとは、縦横方向の模様で英数字や文字（漢字・カナ・絵文字）、音楽、画像などのデータを表現している2次元コードの1つです。

左のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取ることができます。

コードを読み取るには

バーコードリーダーを起動すると、自動的に接写モードに切り替わります。アウトカメラをコードから6～11cm離して読み取ってください。

カメラ

1 待受画面で MENU 6 4 を押す

バーコードリーダーが起動します。

・コード読み取り待機中は次の操作ができます。

　：ワンタッチライトの点灯（ ）／消灯（表示なし）切り替え

　＃：通常モード（表示なし）／接写モード（ ）切り替え

・サイズの大きいコードを読み取るときは通常モードに切り替えてください。

■ 静止画撮影または動画撮影に切り替えるとき

MENU 3 を押し、1 または 2 を押す

・待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。

2 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせ読み取りを開始すると が表示されます。コードを読み取ると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

・読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存できます。

■ コードを読み取り直すとき

 または MENU 2 を押す

3 MENU 4 を押す

読み取ったデータが保存されます。

・既にデータが5件保存されているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーするとき

① MENU 1 を押す

② コピーの開始位置を選択する

③ コピーの終了位置を選択する

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

分割されたQRコードを読み取る場合

複数のQRコードに分割されているデータは、必要な数（最大16個）のQRコードを読み取ってから連結します。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

・分割されたQRコードの読み取りを中止するには、クリア を押します。既に読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。既に読み取ったデータを破棄して、バーコードリーダーが終了します。

連結に必要なQRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取ってないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

読み取りが必要な残りのQRコード数／QRコードの総数が表示されます。

お知らせ

・読み取りデータの保存領域の空きが足りないときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末に保存されている読み取りデータを削除してください。

読み取ったデータを利用する

読み取ったデータから利用したい情報を選択してください。

〈例〉情報を電話帳に登録するとき

1 待受画面で MENU 6 4 📖 を押す

2 利用する読み取りデータを選択する

■ **読み取りデータを削除するとき**

削除する読み取りデータにカーソルを合わせて MENU 3 1 を押し、「はい」を選択する

・読み取りデータをすべて削除するときは、MENU 3 2 を押して端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択します。

3 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせて MENU 3 1（新規登録）または MENU 3 2（更新登録）を押す

4 1 または 2 を押す

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ **情報を電話帳に一括登録するとき**

「電話帳登録」を選択する

名前、フリガナ、電話番号、テレビ電話番号、メールアドレス、メモ、URL、住所、郵便番号、誕生日が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ **メールを送信するとき**

メールアドレスまたは「メール作成」を選択する

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

・「メール作成」を選択した場合は、宛先・題名・本文が入力されています。

■ **サイトまたはインターネットホームページに接続するとき**

URLを選択し、「はい」を選択する

■ **URLをブックマークに登録するとき**

① URLにカーソルを合わせて MENU 3 3 を押す、または「ブックマーク登録」を選択する

② 保存するフォルダを選択する

・「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名も登録されます。

■ **ｉアプリを起動するとき**

「ｉアプリ起動」を選択する

■ **音声電話またはテレビ電話をかけるとき**

① 電話番号を選択する

② 各項目を選択して設定する

③ MENU を押す

・カスタム発信について→P60

次ページへ続く

■ 静止画ファイルを保存するとき

① **静止画ファイルを選択し、「保存」を選択する**
- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

② **各項目を選択して設定する**
- 設定項目の詳細について→P230

③ **[キー]を押して静止画の保存先を選択する**

■ 音楽ファイルを保存するとき

① **音楽ファイルを選択し、「保存」を選択する**
- 「再生」を選択すると、音楽ファイルが再生されます。

② **表示名を入力し、[キー]を押す**

音楽ファイルがメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

お知らせ

- カメラ撮影中やバーコードリーダーに対応しているｉアプリから、バーコードリーダーを起動することもできます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子（JANコードは「.jan」、QRコードは「.qr」）となります（2005年1月27日12時34分にJANコードを読み取った場合は、ファイル名が「20050127123400.jan」になります）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が＋1されます。ただし、FOMA端末の日付時刻が設定されていない場合、ファイル名は「--------------」になります。なお、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名は変更できません。

ｉモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどを取り込む

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

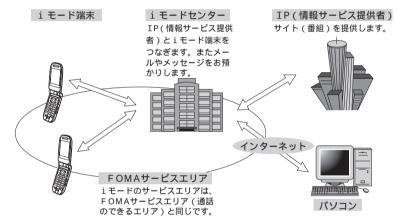
ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

● サイト（番組）接続
簡単なキー操作で、IP（情報サービス提供者）が提供するさまざまなサイトを利用できるサービスです。

● インターネット接続
ｉモード端末からインターネットに接続し、ｉモード対応のホームページにアクセスできるサービスです。

● ｉモードメール
ｉモード端末はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）ともメールをやりとりできるサービスです。→P252

サービスのしくみ

・ｉ モードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスが利用できます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。なお、サイトによってFOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。また、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。→P208
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載していません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

・サイトの表示方法→P214

全体イメージ

メニュー名	機　能
マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P221 有料サイトなどは自動的に登録され、あわせて45件登録できます。
週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単に利用できます。
かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど、利用シーン別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則などを掲載しています。
料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

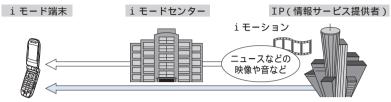
お知らせ

- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しんだりすることができます。

・ｉモーションを取り込む→P356
・ｉモーションを再生する→P382
・ｉモーションを自動再生設定する→P359

・ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

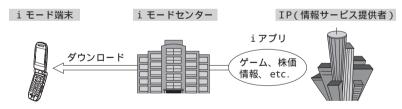
■ 着モーション

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

・着モーションを設定する→P128、P385

■ ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用できます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードしたりすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

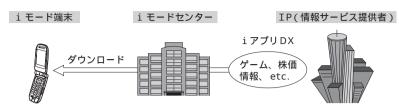
・ソフトをダウンロードする→P330
・ソフトを起動する→P332
・ｉアプリを自動起動する→P344

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけたりすることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・ｉアプリ待受画面を設定する→P346

■ ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

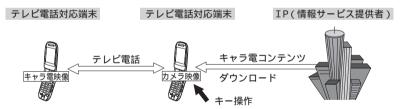
・ｉアプリDX→P328

■ 3Dサウンド

3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができ、臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます（3Dサウンド対応のコンテンツの場合となります）。

・3Dサウンドとは→P129

■ キャラ電

テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話対応端末に、自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メールに添付してFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードする→P232
・キャラ電設定をする→P93、P398、P401
・キャラ電の撮影→P397、P399
・キャラ電の確認→P394
・キャラクタの操作方法→P394

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

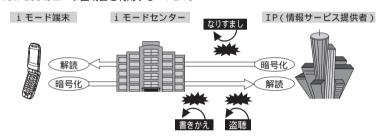
また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

・赤外線通信モードにする→P353、P425

■ SSL通信

SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。
SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、FirstPassに対応したサイト(SSLページ)を表示するものの２つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P245

・FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信ができません。
・ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P245
・FirstPassのユーザ証明書を利用する→P246

※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉモーションなどのファイルの動作を制限し、IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護する機能です。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態でｉモード端末の電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示もできなくなります。→P40

・動作制限対象となるファイル
  - 画像ファイル（アニメーション、Flashを含む）
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - キャラ電
  - メッセージR/F
  - デコメール本文中に挿入されている画像
  - メロディ
  - ｉモーション
  - 画面メモ
  - ｉモードメールに添付されているファイル

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
※着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P231
ｉモーションも着モーションに設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声と動画なども着信音、着信画像として利用できます。→P359、P385

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。→P134、P141

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法→P239、P280
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」設定に変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  ※ 上記以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
  - 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せ（→P280）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR(リクエスト)機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- メッセージRの画面の見かた→P243

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P222
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

・表示方法→P222

お知らせ

・ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
・パソコン上での表示とは異なる場合があります。
・URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

・サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
・ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記録されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
・FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

お知らせ

・パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管できます。→P580

サイトを表示する

ｉモードに接続して、いろいろなサイトを表示します。

1 待受画面で [iモード] [1] を押す

・ｉモード接続中画面で [CLR] を押すと、接続が中止されます。
・サイト表示中に [8] を１秒以上押すと、ｉモードが切断されます。
・1、2などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2 「3 メニューリスト」を選択する

メニューリスト
モーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/チケット
ファッション/コスメ
グルメ情報
くらしの情報

・ページ取得中に [iモード] を押すと、ページの取得が中止されます。

3 見たい項目を選択する

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら [電源] を押す

5 「はい」を選択する

サイトの表示が終了します。

お知らせ

- サイト表示中にｉMenuに戻る場合は[MENU]を押し、「iMenu」を選択します。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示されることがあります。

- サイトからお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときに表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
  送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

- サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときに表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、[メール]を押します。

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - [画像]：表示・効果設定で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - [×]：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  - [画像]：画像のURLの誤りなど画像取得できないとき

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
- SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→P49
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります（→P41）。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は接続できません。

SSLページに接続する

SSLページに接続する場合はSSL通信開始の画面が表示されます。
- SSLページが表示されると画面右上に[SSL]が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示するとき

[MENU][9][2]を押す
- 証明書の内容→P245

SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は確認画面が表示されます。
- 「はい」を選択すると通常ページが表示され、画面右上の[SSL]が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は次の画面が表示されます。

①**「はい」を選択する**

PIN2コード入力画面が表示されます。→P152

② **PIN2コードを入力する**

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

お知らせ

- サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P245
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、FirstPassのユーザ証明書の発行要求やダウンロードする際に発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象外となりますのであらかじめご了承ください。

最後に表示したページに再接続する <ラストURL>

最後に表示したサイトやインターネットホームページのURLが記録されます。ラストURLを利用すると最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で [iモード] [5] を押す

最後に表示したページのURLが表示されます。

- ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 [ ] を押す

お知らせ

- 最後に表示したページによっては、表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なるページを表示することがあります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

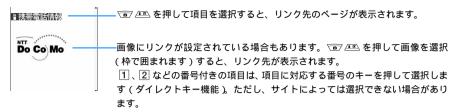
リンク先や項目を選択する

iモード接続中、サイトによっては次のような操作が可能です。

リンク先を表示する

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。リンク項目はカーソルを合わせると反転表示されます。

を押して項目を選択すると、リンク先のページが表示されます。

画像にリンクが設定されている場合もあります。を押して画像を選択（枠で囲まれます）すると、リンク先が表示されます。
1、2 などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

ラジオボタンを選択する

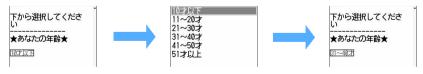
選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
：選択されていない状態　　：選択されている状態
・を押してラジオボタンを選択します。

チェックボックスを選択する

選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。
：選択されていない状態　　：選択されている状態
・を押してチェックボックスを選択します。
・再度を選択するとに戻ります。

プルダウンメニューを選択する

選択肢が隠れた状態で表示されるメニューです。
・を押してプルダウンメニューを選択し、を押してメニュー項目を選択します。

- サイトによっては、プルダウンメニュー選択画面でを押して項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後にを押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

文字を入力する

入力欄を選択して文字を入力します。

①（キー）（キー）を押して入力欄を選択する

②文字を入力する

- 入力できる文字種と文字数は、入力欄により異なります。
- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力画面で（キー）（キー）（キー）を押すと、バーコードリーダーで読み取った内容を入力できます。→P201

ボタンを選択する

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

- （キー）（キー）を押してボタンを選択（実線枠で囲まれます）します。
- ボタンの名称はサイトによって異なります。

お知らせ

- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、入力ボックスのそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを表示できます。また、Flashを利用した画像（Flash画像）をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に設定することもできます。

Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の「登録データ利用設定」を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

Flash画像について

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。→P237
- Flash画像を利用したサイトでは、操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- Flash画像によっては画面メモをしても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像によっては画像保存をしても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- Flash 画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しない Flash 画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、マルチカーソルキー表示の有無によらず、Flash画像の操作ができたりできなかったりする場合があります。
- Flash画像を再度動作させたい場合は、[MENU][9][6]を押してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、[MENU][9][3]を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください（→P237)。
- Flash 画像によっては、再生中に FOMA 端末を振動させるものがあります。バイブレータ設定を「OFF」に設定しても振動しますのでご注意ください。
- 再生中に 30 秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、[1]～[0]、[*]、[#]、[文字]、[i]、[メール]、[iアプリ]、[カメラ]、[iC]のいずれかのキーを押してください。
- 再生中に他の画面に切り替えた場合、再度表示するとFlash画像の先頭から再生されます。

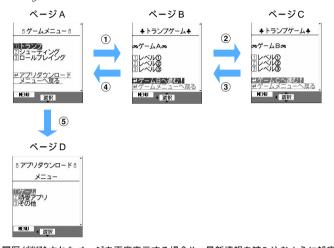
前のページに戻る／進む

FOMA 端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これにより前のページに戻ったり、次のページに進めたりできます。

- FirstPassセンター接続中（→P246）は本機能を利用できません。

次ページへ続く

お知らせ

- ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBへ戻ることはできません。
- ページA表示中にサブメニューから画面メモ（ページB）を表示させ、ページBからリンクにてページCを表示した場合、ページA ⟷ ページB ⟷ ページCのようにページを表示できます。ただし、この場合にサイトの表示履歴が満杯になると、記録したページの表示履歴が消去されることがあり、これによってキーを押して前ページに戻ることができない場合があります。

- 履歴が削除されたページを再度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、再度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては履歴が記録されていても通信を行う場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fの内容などを表示中に画面をスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- を押してスクロールします。1秒以上押すと連続スクロールとなります。
- を押すと画面単位でスクロールします。1秒以上押すと画面単位で連続スクロールとなります。

情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に 5 を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

・接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、操作1で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイトを表示して［MENU］［9］［1］を押す

お知らせ

・URL 履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、［MENU］を押し、「URL 表示」を選択します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

●マイメニューには最大45件登録できます。

●マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。

●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。→P208

●有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

●マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択する→P214

・各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のキーを押すか、該当する項目を選択します。

2 ｉモードパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「*」で表示されます。

・ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択する

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉMenuで「1 マイメニュー」を選択する→P214

2 表示したいサイトを選択する

ｉモードパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

● ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモ営業窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 ｉMenuで「8 オプション設定」を選択し、「2 ｉモードパスワード変更」を選択する

2 現在のパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 新パスワード欄を選択し、新しいｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「*」で表示されます。

4 新パスワード確認欄を選択し、操作3で入力したｉモードパスワードをもう一度入力する

入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 「決定」を選択する

ｉモードパスワードが変更されます。

・入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択してｉモードパスワードの設定画面に戻り、操作2から操作し直します。

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、インターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で ｉ 3 1 を押す

URL入力画面が表示されます。

・2回目からは前回接続操作をしたURLが表示されます。

2 接続したいインターネットホームページのURLを入力して[i-mode key]を押す

・半角で最大256文字入力できます。
・URLによく使う「/」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に[1]を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、英字入力モード時に[*]を押して入力できます。

お知らせ

・サイト表示中から操作する場合は[MENU]を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
・インターネットホームページ表示中の操作方法は、iモードのサイトの場合と同じです。→P216
・受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。[ ]を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示する<URL履歴>

FOMA端末は、接続操作をしたインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 待受画面で[iα][3][2]を押す

2 表示したいインターネットホームページのURLを選択する

・URLが途中までしか表示されていないときは、表示したいURLにカーソルを合わせて[i-mode key]を押します。

■ URL履歴を削除するとき

①**削除するURLにカーソルを合わせて[MENU][4][1]を押す**
・URLをすべて削除するときは[MENU][4][2]を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

②**「はい」を選択する**

お知らせ

・サイト表示中から操作する場合は[MENU]を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。
・URL履歴が20件を超えた場合は、一番古いURL履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する<文字コード>

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に[MENU][9][5][1]を押す

・[MENU][9][5][1]を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
・サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

お知らせ

- 操作1を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

特定の地域の天気予報や特定銘柄の株価情報など、同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示させることができます。

- ブックマークは最大100件まで登録できます。
- URLは半角で最大256 文字登録できます。最大文字数を超える場合は登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

ブックマークを20個のフォルダに分類できます。

1 ブックマークに登録したいサイトを表示して MENU 2 1 を押す

2 登録先フォルダを選択する

お知らせ

- サイト表示中にURL履歴からブックマーク登録するときは MENU を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択してURL履歴一覧を表示し、MENU を押して「Bookmark登録」を選択します。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合は MENU を押し、「Bookmark登録」を選択します。
- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は上書きするブックマークを選択します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 待受画面で iα 2 を押す

2 フォルダを選択する

Bookmark 1/3
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ブックマークなし
  - ：ブックマークあり

3 表示したいブックマークを選択する

- マークの意味はツータッチ登録を参照してください。→P225 操作3

■ URLを確認するとき

URLを確認するブックマークにカーソルを合わせて を押す

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は MENU を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 **待受画面で [i] [2] を押す**

2 **フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて [MENU] [3] を押す**

3 **フォルダ名を入力して [決定] を押す**

・全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

ブックマークのタイトルを変更する

・登録されているブックマークのURLを変更する操作ではありません。

1 **待受画面で [i] [2] を押し、フォルダを選択する**

2 **タイトル名を変更するブックマークにカーソルを合わせて [文字] を押す**

3 **タイトル名を変更して [決定] を押す**

・全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
・タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧ではURLが表示されます。
・ブックマーク一覧では、タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21文字まで表示され、ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

少ないキー操作でサイトに接続する<ワンタッチ登録>

ブックマークをワンタッチ登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

ワンタッチ登録をする

1 **待受画面で [i] [2] を押し、フォルダを選択する**

2 **ワンタッチ登録するブックマークにカーソルを合わせて [MENU] [2] を押す**

3 **登録先を選択する**

アイコンの番号（[0]～[9]）が、サイト表示に使用するキー（[0]～[9]）に対応します。登録したいキーの番号を選択します。

・ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークが [ブックマーク] から [0]～[9] に変わります。

■ **ワンタッチ登録を解除するとき**

ブックマーク一覧で解除するブックマークにカーソルを合わせて [MENU] [2] を押す

お知らせ

・待受画面で [iモード][8][1] を押すと、ツータッチ登録されているブックマーク一覧が表示されます。ブックマークにカーソルを合わせて [MENU][1] を押し、「はい」を選択すると、ツータッチ登録を解除できます。

ツータッチでサイトを表示する＜ツータッチサイト表示＞

1 待受画面でツータッチ登録した番号のダイヤルキー（[0]～[9]）を押し、[iモード] を押す

ツータッチ登録しているサイトやインターネットホームページに接続されます。

■ ツータッチサイト一覧からサイト表示するとき

①待受画面で [iモード][8][1] を押す

②ツータッチ登録をしたブックマークを選択する

ブックマークを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりできます。

・ブックマークのフォルダは削除できません。

1 待受画面で [iモード][2] を押し、フォルダを選択する

■ ブックマークを全件削除するとき

①フォルダ一覧で [MENU][2] を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

・操作3に進む

■ フォルダ内のブックマークを全件削除するとき

①フォルダにカーソルを合わせて [MENU][1] を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

・操作3に進む

2 削除するブックマークにカーソルを合わせて [MENU][3][1] を押す

■ ブックマークを複数選択して削除するとき

①[MENU][3][2] を押し、ブックマークを選択する

　・[ ] で選択／解除が切り替わり、[MENU] で全選択／全解除できます。

②[ ] を押す

■ フォルダ内のブックマークを全件削除するとき

①[MENU][3][3] を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

・ツータッチ登録されているブックマークを削除すると、ツータッチ登録も解除されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

ブックマークを移動／コピーする

保存されているブックマークを別のフォルダに移動したり、miniSDメモリーカードにコピーしたりできます。また、赤外線通信を利用してブックマークを送信できます。

〈例〉ブックマークを1件移動するとき

1 待受画面で i 2 を押し、フォルダを選択する

2 移動するブックマークにカーソルを合わせて MENU 6 1 を押す

■ ブックマークを複数選択して移動するとき

① MENU 6 2 を押し、ブックマークを選択する

・ 〇 で選択／解除が切り替わり、MENU で全選択／全解除できます。

② 🖂 を押す

■ ブックマークをminiSDメモリーカードへ1件コピーするとき

① MENU 6 3 1 を押す

②「はい」を選択する

miniSDメモリーカードへコピーします。→P413

■ ブックマークをminiSDメモリーカードへバックアップ（全件）するとき

① MENU 6 3 2 を押す

② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

③「はい」を選択する

miniSDメモリーカードへバックアップします。→P415

3 移動先のフォルダを選択する

選択したブックマークが移動します。

ブックマークを並べ替える＜ソート＞

お買い上げ時	アクセス日付順

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 待受画面で i 2 を押し、フォルダを選択する

2 MENU 7 を押し、1～4 を押す

iモード

お知らせ

- ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- タイトル名順の場合、タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、タイトルがなくURL表示になっているものが混在していると、五十音順にならない場合があります。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め最大100Kバイトです。

1 画面メモに保存したいサイトを表示して MENU 4 1 を押す

- サイトにタイトルがあれば、そのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、「はい」を選択して、上書きする画面メモを選択します。選択した画面メモのファイルサイズが上書きするファイルサイズに満たない場合は、保存可能な空き領域が確保できるまで上書きする画面メモを選択して、削除します。
  - 保護されている画面メモは上書きされません。

画面メモを表示する

1 待受画面で i 4 を押す

2 表示する画面メモを選択する

- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。→P216
- 詳細を示すマークの意味は次のとおりです。
  - ▤ :通常の画面メモ
  - ▤ :保護されている画面メモ
- 画面メモを保護する→P229

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は MENU を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。
- 画面メモ表示中にFlash 画像を再度動作させたいときは、MENU を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 待受画面で i 4 を押す

2 タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせて 編集 を押す

3 タイトル名を変更して［保存］を押す

・全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
・タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

お知らせ

・画面メモ表示中にタイトルを変更する場合は［MENU］を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。
・最大50件保護できます。

〈例〉画面メモを1件保護するとき

1 待受画面で［i］［4］を押す

2 保護する画面メモにカーソルを合わせて［MENU］［1］［1］を押す

・画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが［画面メモ］から［保護画面メモ］に変わります。

■ 画面メモを複数選択して保護するとき

① ［MENU］［1］［2］**を押し、画面メモを選択する**
・［●］で選択／解除が切り替わり、［MENU］で全選択／全解除できます。ただし、保護されていない画面メモが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。
② ［保存］**を押す**

■ 画面メモの保護を1件解除するとき

保護を解除する画面メモにカーソルを合わせて［MENU］［1］［3］を押す

■ 画面メモの保護を複数選択して解除するとき

① ［MENU］［1］［4］**を押し、画面メモを選択する**
・［●］で選択／解除が切り替わり、［MENU］で全選択／全解除できます。
② ［保存］**を押す**

■ 画面メモの保護を全件解除するとき

［MENU］［1］［5］を押す

お知らせ

・データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。→P478
・画面メモ表示中から保護する場合は［MENU］を押し、「保護」を選択します。

画面メモを削除する

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。
・保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは削除されません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

〈例〉画面メモを1件削除するとき

1 待受画面で［i］［4］を押す

2 削除する画面メモにカーソルを合わせて［MENU］［2］［1］を押す

■ 画面メモを複数選択して削除するとき

① [MENU][2][2]を押し、画面メモを選択する

・[ ]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。

② [ ]を押す

■ 画面メモを全件削除するとき

① [MENU][2][3]を押す

② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

・画面メモ表示中に画面メモを削除する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択します。

画像保存

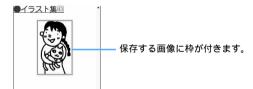
サイトから画像を取り込む

サイトやメール、iアプリなどから、画像やフレームなどをFOMA端末に保存できます。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。

● 保存できる画像のファイルサイズは最大100Kバイトです。

● GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。

1 保存したい画像があるサイトを表示して[MENU][6]を押す

2 保存する画像を選択する

3 各項目を選択して設定する

・サイトから取得した画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。

・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）は表示名を除いた各項目の内容を変更できません。

・各設定項目→P380

■ 表示名、ファイル名、コメントを設定するとき

設定する項目を選択し、表示名・ファイル名・コメントを入力する

・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

・ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」や、ファイル名に半角英数字、「.」、「-」、「_」以外の文字を使用することはできません。

・コメントは全角・半角問わず最大100文字入力できます。

■ フレーム候補、スタンプ候補を設定するとき

設定する項目を選択して[1]または[2]を押す

4 を押し、保存先を選択する

・フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。→P368
・を押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P369

お知らせ

・既に保存している画像と同じ表示名、ファイル名で画像を保存できます。
・画像ファイルによっては選択できない項目があります。
・画像によっては正しく表示できない場合があります。
・画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
・横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1224×1632を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
・横縦（または縦横）のサイズが352×288を超える画像はフレーム候補にできません。
横縦（または縦横）のサイズが210×210を超える静止画はスタンプ候補にできません。
・画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除します。
- 削除する前に画像一覧でを押して画像を表示したり、を押して画像の詳細情報を表示したりできます。→P380

iメロディ

サイトからメロディを取り込む

サイトからメロディを取り込み、FOMA端末に保存できます（iメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」で再生したり、着信音に設定したりできます。

1 取り込みたいメロディのあるサイトを表示し、取り込むメロディを選択する

・ダウンロード中にを押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

・メロディを再生して確認するには、「再生」を選択します。メロディ再生画面が表示され、メロディが再生されます。→P403
・メロディの保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 を押す

取り込んだメロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。→P403
・表示名を設定するときは表示名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

お知らせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- ファイル名の先頭に「.」や、ファイル名に半角英数字、「.」、「-」、「_」以外の文字を使用することはできません。→P406
- マナーモード中にメロディを再生すると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内のメロディを削除します。
  - 削除する前にメロディ一覧で を押してメロディを再生したり、 を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。→P405

サイトからキャラ電を取り込む

お買い上げ時に登録されているキャラ電の他に、サイトから任意のキャラ電を取り込んでFOMA端末に保存します。

● キャラ電撮影中は取り込んだキャラ電を保存できません。

1 取り込みたいキャラ電のあるサイトを表示し、取り込むキャラ電を選択する

- ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- 「表示」を選択すると、保存する前にキャラ電を表示して確認できます。
- キャラ電の保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 を押す

取り込んだキャラ電は、キャラ電の「 モード」フォルダに保存されます。→P394

- 表示名を設定するときは表示名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- コメントを設定するときはコメントを入力します。全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除してしまった場合でも「@ Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337
- キャラ電の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているキャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。キャラ電を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内のキャラ電を削除します。
  - 削除する前にキャラ電削除画面で を押してキャラ電を表示したり、 を押してキャラ電の詳細情報を表示したりできます。→P402

ｉモードの便利な機能

表示中の画面に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、電話帳に登録することもできます。

● サイトによっては、利用できない機能があります。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 **サイトを表示し、電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる**

・カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ選択できます。

2 **[ボタン]を押す**

■ Phone To（AV Phone To）のとき

① **カスタム発信の各項目を選択して発信条件を設定する→P60**

② **[MENU]を押して「はい」を選択する**

設定した内容で電話番号に電話がかかります。

■ Mail Toのとき

ｉモードメールを作成して送信する

選択したメールアドレスにｉモードメールが送信されます。

・ｉモードメールの作成・送信方法→P259

■ Web Toのとき

URLサイトに接続されます。

お知らせ

・複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

・コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。

・記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーした文字は上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 **サイトのURLを表示して[MENU][1]を押す→P221**

2 **コピーする範囲の開始位置を選択し、終了位置を選択する**

・開始位置を指定する前に[MENU]を押すと全文が選択されます。

・開始位置を指定し直すときは[クリア]を押します。

・開始位置指定後に[MENU]、[□]を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 **貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける→P547**

ｉモード

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
- メールにURLをコピーするには、サイト表示中に[MENU]を押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられて新規メール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
- 電話番号に「0～9」、「#」、「＊」、「+」以外の文字が含まれている場合は、それらを削除して登録してください。

新規登録する

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて[MENU][8][1]を押す

3 [1]または[2]を押す

4 名前などを設定して登録する

- 選択した電話番号やメールアドレスがあらかじめ登録されています。
- 電話帳の登録方法→P103、P108

お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳」→「新規登録」を、メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「登録」→「電話帳新規」を選択します。

登録済みの電話帳データに追加する

- 以前に登録した内容が変更されてしまう場合があるので、電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて[MENU][8][2]を押す

3 [1] または [2] を押す

4 更新する電話帳を選択する

5 内容を確認し、登録する

・選択した電話番号やメールアドレスが登録されています。
・電話帳の登録方法→P103、P108

お知らせ

・画面メモ表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳」→「更新登録」を、メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「登録」→「電話帳更新」を選択します。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録します。
新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

新規登録する

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 待受画面で[i] [2] を押し、フォルダを選択する

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて[MENU] [8] [1] を押す

3 名前などを設定して登録する

選択したブックマークのURLが登録されます。
・[◁][▷]を押して「詳細（その他）画面」を表示するとURLが確認できます。
・電話帳の登録方法→P103、P108

お知らせ

・画面メモ一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳」→「新規登録」を選択します。

登録済みの電話帳データに追加する

〈例〉ブックマーク一覧から追加登録するとき

1 待受画面で[i] [2] を押し、フォルダを選択する

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて[MENU] [8] [2] を押す

3 登録先の電話帳データを選択する

次ページへ続く

4 内容を確認して登録する

選択したブックマークのURLが登録されます。

- ［ボタン］を押して「詳細（その他）画面」を表示するとURLが確認できます。
- 電話帳の登録方法→P103、P108

お知らせ

- 画面メモ一覧から操作する場合は［ボタン］を押し、「電話帳」→「更新登録」を選択します。
- サイト画面からURLを表示（→P221）した場合は、そのURLを登録することはできません。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

iモード設定

iモードの設定を行う

接続が正常に行われなかったり、電波状態が悪くなったりして接続が維持できなくなったときなどのiモードセンターへのアクセス時間を設定します。
本機能で時間を設定しておけば、自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要がなくなります。

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時	60秒間

iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

1 待受画面で［iモード］［8］［2］を押す

2 ［1］～［3］を押す

- 接続待ち時間を設定しない場合は［3］を押します。

お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりiモードセンターとの接続が中断されることがあります。

iモード

ｉモードから接続先を変更する<ISP接続通信>

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは
ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について
・ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
・お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。発信者番号の通知／非通知→P514
・登録できる接続先は最大10件です。
・通信中は接続先を設定／変更できません。

1 待受画面で［iα］［8］［3］を押す

2 編集するユーザ設定を選択して［MENU］を押す

■ ｉモードを利用する設定に戻すとき
「モード（FOMAカード）」を選択して操作6に進む

■ 以前に設定した接続先に変更するとき
接続先を選択して操作6に進む

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 各項目を選択して入力し、［］を押す
・接続先名は全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。
・接続先は半角英数字で最大99文字入力できます。
・接続先アドレスは半角英数字で最大30文字入力できます。
・［MENU］を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

5 編集した接続先を選択する

6 ［］を押す
接続先設定が保存されます。

画像表示、照明、効果音を設定する<表示・効果設定>

お買い上げ時	画像：表示する　アニメーション：表示する 登録データ利用設定：利用する　照明設定：常灯　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash再生時）を設定します。

1 待受画面で［iα］［9］［1］を押す

次ページへ続く

2 各項目を選択して設定する

画像：画像を表示するかどうかを設定します。

・「表示しない」に設定すると、「アニメーション」「登録データ利用設定」は設定できません。

アニメーション：アニメーションの表示を設定します。

登録データ利用設定

：Flash画像を表示するときの、FOMA端末内の登録データの利用を設定します。

照明設定：ディスプレイとキーの照明方法を設定します。

・「端末設定に従う」に設定すると、設定メニューの照明設定に従います。

・「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイとキーの照明が常時点灯します。

効果音設定：Flash再生音を設定します。

3 を押す

お知らせ

・サイト表示中から操作する場合は を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。

・画像を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。

・画像を「表示しない」に設定すると画像は表示されず、Flash画像も表示されません。また、画像の位置に が表示されます。

・アニメーションを「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。なお、「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。

・メッセージR/Fの場合、本文に組み込まれている画像の表示／非表示が設定できます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定のON／OFFもメッセージR/Fには影響しません。

・表示・効果設定の「登録データ利用設定」を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

サイトの表示色を設定する<表示色設定>

お買い上げ時	文字／背景：指定しない　リンク色：指定しない

サイトや画面メモの内容を表示するときの表示色を設定します。

1 待受画面で を押す

2 文字／背景欄を選択して を押す

文字／背景：文字色／背景色を設定します。

・「指定しない」に設定すると、「文字色」「背景色」は設定できません。

リンク色：リンク色を設定します。

・「指定しない」に設定すると、「未表示」「表示済」「選択時」は設定できません。

・文字色／背景色を指定しないときは を押し、操作5に進みます。

3 文字色欄を選択し、色を選択する

・表示例が選択されている色で表示されます。
・文字色の標準設定は黒です。
・16色から選択できます。

4 背景色欄を選択し、色を選択する

・背景色の標準設定は白です。
・16色から選択できます。

5 操作2～4と同様にリンク色を設定する

・リンク色の標準設定は、「未表示」が青、「表示済」が赤、「選択時」が背景色と同色です。

6 [i] を押す

お知らせ

・リンク色（表示済）はリンク先の画面が履歴に記録されている間だけ有効です。
・色を設定したとき、サイトによっては文字が見えにくくなったり、見えなくなったりする場合があります。その場合は色の設定を変更してください。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

● メッセージRは最大100件、メッセージFは最大50件保存できます。

1 メッセージR/Fを受信する

[アイコン]とRまたはFが点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

・メッセージ受信中画面で[ ]を押すと受信を中止します。
・FOMA端末を折り畳んでいるときは背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P30

■ 待受画面表示中に、自動表示設定で設定されていないメッセージを受信したとき、または、「表示しない」に設定してメッセージを受信したとき

受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。また、クリア を押しても受信前の画面に戻ります。

■ 受信したメッセージR/Fをすぐに読むとき

受信結果画面で 2 または 3 を押す

■ 受信に失敗したとき

「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

■ 待受画面表示中に、自動表示設定で設定したメッセージを受信したとき

何も操作しないでいると、受信結果画面から受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。

・マルチタスク中は自動表示できません。

■ メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間にメッセージR/Fが届くと、iモードセンターに保管されます。メッセージR/Fがあるかどうかの問い合わせの操作はiモードメールと同じです。→P280

お知らせ

・受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。→P312
・ショートメッセージ（SMS）受信中は、メッセージR/Fは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
・FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、iモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
・メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古いメッセージR/Fに上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
 - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には R や F のマークが表示されます。→P27
・iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは R F や ■ のマーク（→P27）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、iモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが R Full F Full や Full に変わります。
 iモードセンターの保管件数→P212
・途中で受信に失敗した場合などにメッセージR/Fを受信し直すには、メッセージR/FのiモードPerhaps問合せを行ってください。ただし、メッセージR/Fが最大保存件数を超えたときは、未読メッセージR/Fの内容を表示したり、不要メッセージR/Fを削除したり、保護を解除したりする必要があります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で「メッセージR」または「メッセージF」を選択する

・「メール」を選択するとiモードメールが表示されます。
・受信したメッセージRは「メッセージリクエスト」、メッセージFは「メッセージフリー」に保存されます。

2 フォルダを選択し、メッセージR/Fを選択する

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。→P310
メッセージR/Fの見かた→P243

お知らせ

・メール・メッセージ受信結果画面で[2]を押すとメッセージRを、[3]を押すとメッセージFを表示できます。

メッセージR/Fを自動的に表示する < 自動表示設定 >

お買い上げ時	メッセージR優先

メッセージR/Fを受信したときに、未読のメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。
メッセージRとメッセージFを両方受信したときに、優先するメッセージも設定できます。

〈例〉メッセージRのみを表示するとき

1 待受画面で[i][7][3][1]を押す

2 [1]を押す

■ **メッセージFのみを表示するとき**
[2]を押す

■ **メッセージRを優先して表示するとき**
[3]を押す

■ **メッセージFを優先して表示するとき**
[4]を押す

■ **メッセージR／Fを自動的に表示しないとき**
[5]を押す

お知らせ

・自動表示設定をすると、メッセージ R/F の受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。
・メッセージ R/F の内容は約 15 秒間表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
・受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、i モード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
・待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。

メッセージR/F着信時の動作を設定する＜メッセージ着信設定＞

お買い上げ時	着信音選択：メロディ／着信音1　着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10 秒

1 待受画面で[i][7][3][4]を押す

2 [1]または[2]を押す

iモード

次ページへ続く

3 各項目を選択して設定する

着信音選択：着信音の鳴動を設定します。また、着信音はメロディまたは着モーションから設定できます。

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。
・「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
・パターンごとの振動内容→P130

鳴動時間（秒）：着信音が鳴動している時間を1〜30秒の間で設定します。

4 [メール]を押す

お知らせ

・メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
・メッセージ着信設定は、着信音設定と連動しているため、本機能でメッセージR/Fの着信音を変更した場合は、着信音設定も同様に変更されます。

メッセージR／メッセージF

保存されているメッセージR/Fを表示する

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

● 未読の受信メッセージR/Fがあるときは待受画面に R または F が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに R または F が表示されます。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で [iΩ][7][1] を押す

■ メッセージFを表示するとき
[iΩ][7][2] を押す

2 表示するメッセージRを選択する

お知らせ

・添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは [クリア] を押します。
・本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
 - 画像をFOMA端末に取り込めます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。→P230
 - 画像を受信できなかったときは、受信し直すことができます。→P243
 - 画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。→P215
 - 本文中の画像は削除できません。

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

メッセージ一覧画面の見かた

メッセージ一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。メッセージ欄には、受信日時とタイトルが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①状態マーク

：未読　：既読　：保護

②添付マーク

：画像　：画像＋メロディ

：メロディ　：ファイル異常

・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日時が表示されます。

メッセージ表示画面の見かた

メッセージ表示画面では、上部に状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

：送信日時　：タイトル

・を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

お知らせ

・添付ファイルがある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。

- 添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
画像	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：画像データ異常	P282
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P286

・詳細表示画面から電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P224、P234

・詳細表示画面中の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P233

メッセージR/F内の画像を再読込みする<再読込み>

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときは、画像を受信し直します。

・表示・効果設定を「表示しない」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は受信できません。→P237

・画像によっては再読込みを行っても表示できない場合があります。

1 **メッセージR/F一覧を表示する→P242**

2 メッセージR/Fを選択する

・ は未受信の画像データがあることを示します。

3 ［MENU］［1］を押す

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する<メッセージ保護>

メッセージR/Fを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。

・メッセージRは最大50件、メッセージFは最大25件保護できます。

・未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉メッセージR/Fを1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する→P242

2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせて［MENU］［2］［1］を押す

メッセージR/Fが保護され、状態マークが から に変わります。

■ メッセージR/Fを複数選択して保護するとき

①［MENU］［2］［2］を押し、メッセージR/Fを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、［MENU］で全選択／全解除できます。ただし、保護されていないメッセージR/Fが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

②［］を押す

■ メッセージR/Fの保護を1件解除するとき

保護を解除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて［MENU］［2］［3］を押す

■ メッセージR/Fの保護を複数選択して解除するとき

①［MENU］［2］［4］を押し、メッセージR/Fを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、［MENU］で全選択／全解除できます。

②［］を押す

■ メッセージR/Fの保護を全件解除するとき

［MENU］［2］［5］を押す

お知らせ

・データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。→P478

・メッセージR/F詳細表示画面から保護する場合は［MENU］を押し、「保護」を選択します。保護を解除する場合は［MENU］を押し、「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する<メッセージ削除>

1件ずつ選択して削除したり、複数選択して削除したり、既読のメッセージR/FやすべてのメッセージR/Fをまとめて削除したりします。

・保護されているメッセージR/Fは削除できません。メッセージR/Fの保護を解除してから削除してください。

〈例〉メッセージR/Fを1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する→P242

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて MENU 1 1 を押す

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除するとき

MENU 1 2 を押す

■ メッセージR/Fを複数選択して削除するとき

① MENU 1 3 を押し、メッセージR/Fを選択する

- で選択／解除が切り替わり、MENU で全選択／全解除できます。

② を押す

■ メッセージR/Fを全件削除するとき

MENU 1 4 を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

> **お知らせ**
>
> ・メッセージR/F詳細表示画面から1件削除する場合は MENU を押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ＜表示種別＞

メッセージR/F一覧に表示するメッセージR/Fの種別を選択します。

〈例〉メッセージRの表示種別を選択するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する→P242

2 MENU 3 を押す

3 1 ～ 4 を押す

選択した表示種別で表示されます。

> **お知らせ**
>
> ・メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
> ・「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する＜証明書表示／使用設定＞

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

証明書を表示する

・ユーザ証明書をダウンロードしていない場合は、「ユーザ証明書」は表示されません。
・青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 **待受画面で [i] [8] [4] を押す**

2 **表示する証明書を選択する**

お知らせ

・CA（Certification Authority）証明書 … 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
・ドコモ証明書 … FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。
・ユーザ証明書 … FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。
・証明書の表示内容
証明書の所有者
CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
O= …（Organization）会社名など
C= …（Country）国名
証明書の発行者
CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU= …（Organization Unit）会社の部署など
O= …（Organization）会社名など
有効期限
シリアル番号
・証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、記述がない項目は項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 **待受画面で [i] [8] [4] を押す**

2 **設定する証明書にカーソルを合わせて [MENU] を押す**

・[MENU] を押すたびに有効／無効が切り替わります。

3 **[保存] を押す**

チェックされている証明書が有効となって設定されます。

お知らせ

・接続先のサイトがユーザ証明書を要求した場合は、「ユーザ証明書を送信します」というメッセージが表示されます。

FirstPassを設定する<ユーザ証明書操作>

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。
・青色のFOMAカードではご利用になれません。
・FirstPassセンターに接続する場合、日付・時刻の設定を行ってください。→P49
・FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
・FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

証明書の発行要求をする

1 待受画面で [iモード] [8] [5] を押す

2 「次へ」を選択する

FirstPass

・FirstPassではﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ等が可能です。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたっては、ﾊﾟｹｯﾄ通信料がかかります(iﾓｰﾄﾞ通信ではありませんので、ﾊﾟｹ･ﾎｰﾀﾞｲの対象外になります)。

3 「証明書発行」を選択する

FirstPass

1. 証明書発行
2. ダウンロード
3. その他
4. ご利用規則

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「3.その他」を選択する
②「1.証明書失効」を選択する
③「はい」を選択する
④ PIN2 コードを入力する
⑤「実行」を選択する
⑥「次へ」を選択する
⑦「実行」を選択する

4 「実行」を選択する

在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行

5 PIN2 コードを入力する

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

・PIN2 コード→P152

証明書をダウンロードする

1 待受画面で [iモード] [8] [5] を押す

2 「次へ」を選択する

FirstPass

・FirstPassではﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ等が可能です。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたっては、ﾊﾟｹｯﾄ通信料がかかります(iﾓｰﾄﾞ通信ではありませんので、ﾊﾟｹ･ﾎｰﾀﾞｲの対象外になります)。

次ページへ続く

3 「ダウンロード」を選択する

4 「実行」を選択する

k Secondary1
O=NTT DoCoMo,Inc,
C=JP
有効期限:
XXXXXXXXXXXXXXX
シリアル番号:
XXXXX
実行

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。
・ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。→P245

お知らせ

・ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
・添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信を行うことができます。詳しくはCD-ROM内の「FirstPass Manual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。
・FirstPassセンターに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

FirstPassのご使用にあたって

・FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
・FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
・ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
・ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。→P152
・PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
・FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなど窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
・FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
・FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する<証明書発行接続先設定>

お買い上げ時	接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。
・iモード接続中は設定できません。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で [iモード] [8] [6] を押す

2 接続先欄を選択し、[1] または [2] を押す

・FirstPassに接続する設定に戻すときは、[1] を押し、操作5に進みます。

3 ユーザ設定接続先欄を選択し、接続先を入力する

・ユーザ設定接続先は、半角英数字で最大99文字入力できます。

4 操作3と同様にユーザ設定初期画面URLを入力する

・ユーザ設定初期画面URLは、半角英数字で最大100文字入力できます。

5 [完了] を押す

接続先が変更されます。

メール

ｉモードメールを作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールの設定を行う

チャットメールを使う

ショートメッセージ（SMS）を使う

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- ショートメッセージ（SMS）は、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

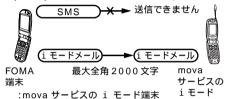
FOMA端末→FOMA端末

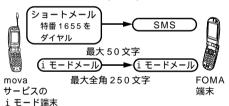
ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）のどちらも使用できます。

FOMA端末→movaのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

※FOMA端末からmova端末へショートメッセージ（SMS）を送信することはできません。

※：movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaのｉモード端末→FOMA端末

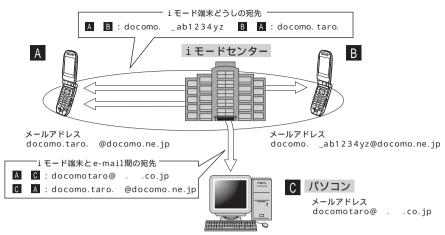
movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはショートメッセージ（SMS）として受信します。

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルしても送信することはできません。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末から送られてきたショートメールをショートメッセージ（SMS）として受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例) abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

- **お客様のメールアドレスの確認方法（詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。）**
  ｉMenu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → アドレス確認

・ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
・パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

- メールの送信方法→P259　- メールの受信方法→P277　- 問合せ方法→P280

■ **メールを選択して受信する**

iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除したりできます。→P279
メールを選択して受信するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P307

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
i Menu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 →【各設定】

・詳細はiモードご契約時にお渡しいたします『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ **メールアドレスを変更する【アドレス変更】**

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ **シークレットコードを登録する【メールアドレス設定(その他設定)→シークレットコード登録】**

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ **メールアドレスを電話番号にする（アドレスリセット）【メールアドレス設定(その他設定）→アドレスリセット】**

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ **メールアドレスを確認する【アドレス確認】**

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ **特定のメールを受信／拒否する**

次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① **ドメイン指定受信【メール受信設定(受信／拒否設定）→ドメイン指定受信】**
・au・ボーダフォン・TU-KA・DDI ポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
・また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
※NTTドコモのiモード・iショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】
・受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ ｉモードメールのみ受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）→ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】
・ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定（その他設定）→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ ショートメッセージ（SMS）拒否【メール受信設定（その他設定）→SMS拒否設定／確認】
・すべてのショートメッセージ（SMS）または非通知ショートメッセージ（SMS）のみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認したりすることができます。

■ メール設定状況を確認する【設定状況確認】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールのサイズを制限する【メールサイズ制限】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール機能を停止する【メール機能停止】
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ
・ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
・本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
・movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字です。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。
・題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
・ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし､お客様のｉモード端末の電源が入っていないときやｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。
設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

お知らせ

・ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 (約2Mバイトまで)	720時間

・保管期間が超過したｉモードメールは自動的に削除されます。
・最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には または が表示されます。→P27
ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても または は表示されません。
・ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せ（→P280）やメール選択受信(→P279)により受信できます。また新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
・ｉモード端末でｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。→P277
・極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

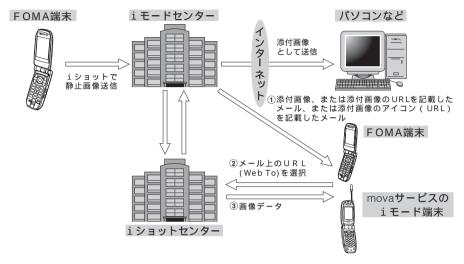
■ ファイル添付メール

・**メロディ添付メール**
自分で作ったメロディや、サイト、インターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません）。
- 送信する→P270　　- 受信したとき→P286

・**画像添付メール**
サイト、インターネットホームページまたは外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。ｉショット以外の添付ファイルをmovaサービスのｉモード端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます）。
- 送信する→P270　　- 受信したとき→P282

■ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLをクリックすることで画像を取得できます。
movaサービスのｉモード端末へ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

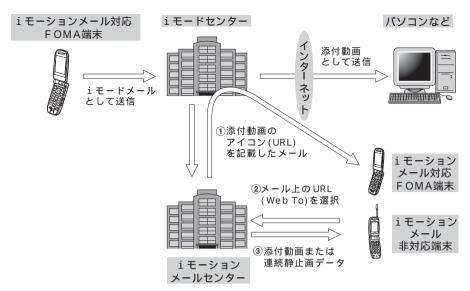
- 送信する→P270　- 受信する→P282

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合
・ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

■ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画を、ｉモーションメールとして送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

- ｉモーションメールを送信する→P270　- ｉモーションメールを受信したとき→P284

・サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取りこむことができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択すると連続静止画を取り込めます。

・ｉモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

■ デコメール（デコレーションメール）

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押し、デコメールを閲覧できます（非対応端末への送信については2004年12月サービス開始予定）。

- デコメール編集方法→P263　- デコメール送信方法→P263
- 対応機種･･･90Xiシリーズ、880iES（デコメール受信のみ対応）

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P261

お知らせ

・通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。→P261

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

お知らせ

・通信料は、相手が複数の場合1通ずつ送信するときと同じ料金がかかります。

ショートメッセージ（SMS）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。
- 送信方法→P319　- 受信方法→P321　- 問合せ方法→P322

ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（→P322）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※

※：半角の英数字と記号（｀。｢｣､･ﾞﾟを除く）を送信できます。
　記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

- ショートメッセージ（SMS）では題名は送信できません。
- ショートメッセージ（SMS）の本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

ショートメッセージ（SMS）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたショートメッセージ（SMS）は、ショートメッセージセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA 端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、ショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターに保管されます。

お知らせ

- ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。→P322
- 保管期間が超過したショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。
- ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、SMS問合せにより受信できます。→P322
- FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）はFOMA端末に保存されます。→P321

こんなこともできます

■ 送達通知

送信したショートメッセージ（SMS）が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P322

■ FOMAカードへの保存

受信したショートメッセージ（SMS）や送信したショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存できます。→P323

メールメニュー

メールメニューを表示する

メールメニューにはFOMA端末に用意されているメールの機能が表示されます。機能によっては、ショートカットキーが用意されているものがあります。

1 待受画面で[メールキー]を押す

メールメニューが表示されます。

メニュー	機　能	参照先
受信メール	受信メールを表示します。	P289
新規メール	ｉモードメールを新規に作成して送信します。	下記
チャットメール	相手と会話をするようにメールをやりとりします。	P313
未送信メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P289
送信メール	送信済みのメールを表示します。	P289
問合せ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fがあるかどうか、またはSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせます。また、問い合わせ内容の設定とメール選択受信の設定をします。	P280、P322
SMS	SMSの作成・送信、各種設定やFOMAカード（UIM）内の送受信SMSを表示します。	P319
テンプレート読込み	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。	P272
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P303

新規メール

ｉモードメールを作成して送信する

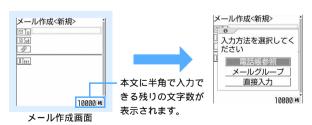
● 文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。→P536

1 待受画面で[メールキー]を1秒以上押し、[To]を選択する

本文に半角で入力できる残りの文字数が表示されます。

メール作成画面

メール

次ページへ続く

2 「直接入力」を選択し、宛先を入力する

・半角で最大50文字入力できます。
・ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
・かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に 1 から入力します。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に * から入力できます。
・相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードを入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する
②電話帳から検索してメールアドレスを入力する→P110

■ メールグループから入力するとき

①「メールグループ」を選択する
②メールグループを選択してメールアドレスを入力する→P262

3 Sub を選択し、題名を入力する

・全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

4 Text を選択し、本文を入力する

・全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
・ファイルを添付しているときは入力できる文字数が減ります。
・文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
・ を押して文中にスペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。
・本文を装飾することもできます。→P263

■ 署名を挿入するとき

MENU 5 を押す
・署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P306
・署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 を押す

・接続中画面で を押すと接続が中止されます。送信中画面で、 を押すと送信が中止されます。ただし、操作のタイミングによっては送信されることがあります。

メール

お知らせ

・メールアドレスが登録されている電話帳データを選択して[メールキー]を押しても、i モードメールを作成できます。
・本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。→P542
・10000バイトを超えるメールが他のアプリケーションとの競合により自動保存される場合は、作成中のメールを一部保存できない場合があります。
・電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
・i モードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
・メールの本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き換わります。
・i モード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
・一部の絵文字は、相手のi モード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
・送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、i モードメールが「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からi モードメールを編集・送信できます。→P275
・送信が正常に終了したときは、i モードメールは「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P297
・ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
・メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、i モードメールは作成できません。「未送信メール」から不要なi モードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください（→P299）。
・テンプレートを利用して手早くメールを作成することもできます。→P272
・メモリ番号0～99に登録されている相手には簡単な操作でi モードメールを作成・送信できます（クイックメール）。→P276

宛先を追加する<宛先追加>

i モードメールは最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

・宛先には[To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の3種類があります。送信相手の宛先は[To]に入力します。
  - [Cc]には、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。
  - [Bcc]には、他の送信相手に知らせたくない宛先を追加します。[Bcc]に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。
・[To]に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で[メールキー]を押す→P259

宛先欄が追加されます。
・送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

メール

■ CC、BCCを追加するとき

①[MENU][6]を押す

②入力方法を選択する

・電話帳から検索してメールアドレスを入力する場合は、「電話帳参照」を選択します。→P110

・メールグループから入力する場合は、「メールグループ」を選択します。

・直接メールアドレスを入力する場合は、「直接入力」を選択します。

③「CC」または「BCC」を選択し、メールアドレスを入力する

・「TO」も選択できます。

・「メールグループ」を選択した場合は、メールアドレスがあらかじめ設定しているTO、CC、BCCで表示されます。

■ 宛先のTO、CC、BCCを変更するとき

①変更したいメールアドレスにカーソルを合わせて[MENU][8]を押す

②変更する宛先種別を選択する

■ 追加した宛先を削除するとき

①削除する宛先にカーソルを合わせて[MENU][7]を押す

②「はい」を選択する

2 追加された宛先欄に宛先を入力して送信する

・操作方法は宛先欄が1件の場合と同じです。→P259

お知らせ

・[To]と[Cc]に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

・送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。[ ]を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

メールグループから宛先を入力する＜メールグループ＞

複数の宛先をメールグループに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

・メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。→P307

1 メール作成画面で[MENU][6]を押す→P259

2 「メールグループ」を選択する

3 宛先に追加するメールグループを選択する

宛先にメールアドレスが入力されます。

・既に入力されている宛先とメールグループの宛先の合計が5件を超える場合は、そのメールグループを追加できません。

・宛先のTO、CC、BCCの設定は変更できます。→P261

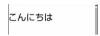
■ メールグループの詳細を表示するとき

①[MENU]を押す

②内容を確認して[ ]を押す

デコメールを作成して送信する

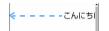
ｉモードメールの本文には、文字サイズや背景の変更、撮影した静止画やプリインストール画像の挿入などの装飾（デコレーション）が設定できます（デコメール）。
デコメールの作成方法には、デコレーションを指定してから文字を入力する方法（→下記）と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法（→P267）があります。
作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認（→P264 操作4）できます。

〈装飾例〉

❶ 文字色を変更する

❷ 文字サイズを変更する

❸ 画像を挿入する

❹ 文字を点滅させる

❺ 文字をテロップにする

❻ 文字を左右にスウィングさせる

❼ 文字の表示位置を変更する

❽ ライン（罫線）を挿入する

❾ 背景色を変更する

デコメール作成の流れ

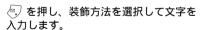
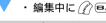
デコメール作成手順は次のような流れになります。

ステップ1　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2　装飾した文字や画像を入力する

を押し、装飾方法を選択して文字を入力します。

ステップ2　文字を入力して装飾する

を押して装飾する開始位置を選択し、を押して終了位置を選択します。装飾方法を選択します。

・編集中に を押すと、装飾を確認できます。

ステップ3　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

装飾を指定してから文字を入力する

1 **メール作成画面で［Text］を選択する→P259**

2 **を押す**

3 装飾を選択し、文字を入力する

装飾選択画面

装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて[ ]を押すと、その装飾が選択状態になります。複数のマークを選択状態にすることで、複数の装飾が設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

- 複数の装飾を連続して設定するときは、装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて[MENU]を押します。
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力するときは、入力位置にカーソルを合わせて[✉]を押し、[ ]を押します。解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「文字位置（空行時のみ）」「テロップ（空行時のみ）」「スウィング（空行時のみ）」です。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[クリア]を1秒以上押して、文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。

文字色：文字またはライン（罫線）挿入時の色を変更します。
文字サイズ：文字サイズを変更します。
画像挿入：画像を挿入します。アニメーションなど動作のある画像の場合、一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
点滅：文字を点滅して表示します。一定時間がたつと点滅は自動的に停止します。
テロップ：文字を流して表示（テロップ表示）します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
スウィング：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
文字位置：文字および画像挿入時の表示位置を変更します。
ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。
背景色：本文の背景色を変更します。
元に戻す：1つ前の状態に戻します。

4 [MENU][8]を押し、装飾を確認する

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

■ 装飾を変更するとき

[MENU][1][8]を押し、開始位置にカーソルを合わせて[ ]を押す

以降の操作は「範囲を指定してから文字を装飾する」の操作3以降と同じです。→P267

■ 装飾をすべて解除するとき

[MENU][1][9]を押す

5 確認が終わったら[ ]を押し、[ ]を押す

6 [✉]を押す

■ デコメールを送信せずにテンプレートとして登録するとき

① [MENU][5][2] を押す
②「はい」を選択する
③ 表示名とファイル名を設定して [保存] を押す
テンプレートは「テンプレート読込み」に登録されます。

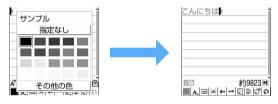
お知らせ

・メール本文の入力画面で [MENU] を押し、「デコレーション」を選択しても同様に操作できます。

デコメール装飾例

装飾選択画面で次の操作に従って装飾します。
・（　）内の装飾例番号はP263〈装飾例〉の番号です。

■ 文字色を変更するとき（装飾例 ❶）

① ■ を選択する
② 文字色を選択して文字を入力する
・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
・絵文字の文字色も変更されますが、元に戻すこともできます。

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例 ❷）

① A を選択する
② 文字サイズを選択して文字を入力する
・「大」「標準」「小」から選択できます。
・既に設定されている文字サイズは選択できません。[クリア] を押すと、1つ前の画面に戻ります。

「大」にしたとき

■ 画像を挿入するとき（装飾例 ❸）

① [画像] を選択して挿入元を選択する
② フォルダを選択して画像を選択する

[文字位置]（文字位置）で指定されている位置に画像が挿入されます。
・動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量を超える画像は選択できません。

■ 文字を点滅させるとき（装飾例 ❹）

[点滅] を選択して文字を入力する

入力した文字が点滅します。

次ページへ続く

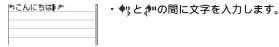
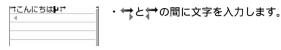
■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

を選択して文字を入力する

・と の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

を選択して文字を入力する

・と の間に文字を入力します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

① を選択する

② 文字の表示位置を選択して文字を入力する

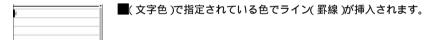
・「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。

・既に設定されている文字位置は選択できません。クリア を押すと、1つ前の画面に戻ります。ただし、文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。

「右寄せ」にしたとき

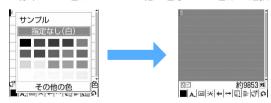
■ ライン（罫線）を挿入するとき（装飾例❽）

を選択する

■（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき（装飾例❾）

① を選択する

② 背景色を選択する

・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 1つ前の状態に戻すとき

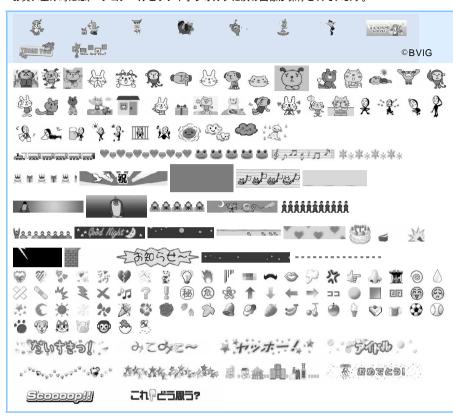
を選択する

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

メール

「デコメールピクチャ」フォルダに保存されている画像

- お買い上げ時には、「デコメールピクチャ」フォルダに次の画像が保存されています。

範囲を指定してから文字を装飾する

メール本文に既に入力されている文字や、既に装飾されている文字の、装飾の変更を行います。

- 操作４の（　）内の装飾例番号はＰ263〈装飾例〉の番号です。
- ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。

1 メール作成画面で Text を選択する→P259

2 装飾する文字範囲の開始位置にカーソルを合わせて を押す

3 装飾する文字範囲の終了位置にカーソルを合わせて を押す

- カーソルを文頭に移動するときは を押します。
- カーソルを文末に移動するときは を押します。
- 文章すべてを選択するときは を押します。

4 装飾方法を選択する

■ 文字色を変更するとき（装飾例❶）
1 を押し、文字色を選択する
・装飾により挿入されているライン（罫線）の色も変更されます。

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）
2 を押し、1 〜 3 を押す

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）
3 を押し、1 を押す
・点滅を解除するには 2 を押します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）
4 を押し、1 を押す
・テロップを解除するには 2 を押します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）
5 を押し、1 を押す
・スウィングを解除するには 2 を押します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）
6 を押し、1 〜 3 を押す
・装飾により挿入されている画像の表示位置も変更されます。

■ 文字をコピーするとき
7 を押す

■ 文字を切り取るとき
8 を押す

■ 1つ前の状態に戻すとき
9 を押す
・直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ 続けて文字を装飾するとき
MENU を押し、操作4を繰り返す
・装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。→P263

5 ◯を押して範囲指定を解除し、◯を押す

6 ✉ を押す

■ デコメールを送信せずにテンプレートとして登録するとき
① MENU 5 2 を押す
②「はい」を選択する
③ 表示名とファイル名を設定して ✉ を押す
テンプレートは「テンプレート読込み」に登録されます。

お知らせ

- メール本文の入力画面で [MENU] を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- メール本文の入力画面で [MENU] [8] を押すと、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[クリア] を１秒以上押して文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどを挿入して、メール作成画面やメール本文の入力画面から装飾を確認した場合、その動作は一定時間がたつと自動的に停止します。
- デコメール対応FOMA端末以外からメール（パソコンなどのHTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

テンプレートをダウンロードする＜デコメールテンプレート＞

サイトからデコメールテンプレートをダウンロードします。

1 **サイトを表示中に、ダウンロードしたいデコメールテンプレートを選択する**

・ダウンロード中に [メール] を押すと、ダウンロードを中止します。

2 **「保存」を選択する**

・デコメールテンプレートの保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

■ テンプレートの内容を確認するとき

「プレビュー」を選択する

3 **[メール] を押す**

ダウンロードしたデコメールテンプレートは、「テンプレート読込み」に登録されます。
→P273

■ 表示名を変更するとき

表示名欄を選択して表示名を変更する

・表示名は、全角・半角を問わず最大20文字入力できます。

■ ファイル名を変更するとき

ファイル名欄を選択してファイル名を変更する

・ファイル名は、半角英数字、「．」、「-」、「_」で最大36 文字入力できます。ファイル名の先頭に「．」や、ファイル名に半角英数字、「．」、「-」、「_」以外の文字を使用することはできません。

お知らせ

・サイトからダウンロードしたデコメールテンプレートは、メール作成画面で編集できます。→P273
・作成したテンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、表示名、ファイル名は「--------------」になります。
・デコメールテンプレートをデコメールに挿入するときは、メールテンプレートの読み込みと同じ操作で行います。
・テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、保存領域がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なメールテンプレートを削除してから再度ダウンロードしてください。

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影した動画などを添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

●添付可能なファイルは次のとおりです。

項　目	メロディ	10000バイト以内の静止画（JPEG、GIF）	10000バイトを超える、500Kバイトまでの静止画※1	500Kバイトまでの動画／ｉモーション※2
1件のメールに添付可能な最大件数	10件※3		1件	
添付ファイルの条件	メロディ（MFi）は添付不可	パラパラマンガ、連写画像は添付不可	静止画（JPEG）のみ添付可能	再生制限が設定されているものは添付不可※4

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URL付きのメールとして受信したり、添付ファイルとして受信したりします。
※2：受信側の端末や機器によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
※3：静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※4：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

●本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）（デコメールでは全角200文字（半角400文字））分未満の場合は、動画／ｉモーション、10000バイトを超える静止画を添付できません。
●メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
●movaサービスのｉモード端末には、JPEG形式の静止画1枚のみ添付できます。その場合、相手端末はURL付きのメール（ｉショットメール）として受信します。
●10000バイトを超えるGIF形式の静止画はメールに添付できません。
●ｉモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大500Kバイトまで添付可能です。また、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外の動画は容量にかかわらず添付できません。
●メロディを送信する場合、受信側がFOMA F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

1　メール作成画面で［添付］を選択する**→P259**

2　添付するファイルの種類を選択する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

■ 静止画を添付するとき

①「イメージ」を選択し、フォルダを選択する

・静止画にカーソルを合わせて［メール］を押すと静止画を表示できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。
・添付できない静止画は表示されません。

②静止画を選択する

メール作成画面の添付欄に選択した静止画のファイル名が表示されます。
添付する静止画は画像サイズ、ファイルサイズの順にチェックされます。

・画像サイズがQVGA（320×240）を超えるJPEG形式の静止画の場合は、待受サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトを超えていた場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。データBOXに保存しない場合、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、添付ファイルは保存されないため、メールを未送信BOXに保存して再編集するときには添付ファイルはありません。また、送信BOXのメールを表示する場合は、添付ファイルを表示できません。
・ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG形式の静止画の場合は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①「ｉモーション」を選択し、フォルダを選択する

・動画／ｉモーションにカーソルを合わせて［メール］を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。
・添付できない動画／ｉモーションは表示されません。

②動画／ｉモーションを選択する

■ メロディを添付するとき

①「メロディ」を選択し、フォルダを選択する

・メロディにカーソルを合わせて［メール］を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。
・添付できないメロディを選択すると、そのメロディは選択できない旨のメッセージが表示されます。

②メロディを選択する

メール作成画面の添付欄に選択したメロディのファイル名が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき

①「miniSDカード」を選択し、［1］～［4］を押す

・静止画を選択して［メール］を押すと静止画を表示できます。動画／ｉモーション、メロディを選択して［メール］を押すとそれぞれ再生できます。
・添付できない動画／ｉモーションを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

②データを選択する

メール作成画面の添付欄に選択したデータが表示されます。

・各データ形式についての動作は、FOMA端末内のデータを選択するときと同じです。
・10000バイトを超え、500Kバイトを超えない静止画、または10000バイト以内の動画の場合本体へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

3 ［メール］を押す

次ページへ続く

お知らせ

- 10000バイトを超える静止画をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます（→P371）。QVGAサイズは待受画面のサイズであり、ｉモード端末に送るのに適したサイズです。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の静止画を添付したメールをｉモード対応端末に送信した場合は、ｉショットセンターでｉモード対応端末に送るのに適したサイズに変換されます。
- movaサービスのｉモード端末にメロディとGIF形式の静止画を添付すると、相手は受信できません。

添付ファイルを変更／解除する

〈例〉添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示する→P259

2 解除する添付欄にカーソルを合わせて［メニュー］を押す

■ 添付ファイルを変更するとき

① 変更する添付欄にカーソルを合わせて［編集］を押す
② ファイルを添付する→P270

3 「はい」を選択する

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。また、デコメールテンプレートは、レイアウトや装飾が既に決められているデコメール用の雛形です。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。デコメールテンプレートは、メールテンプレートと同じ操作で読み込みます。

● お買い上げ時は次のテンプレートが登録されています。

※：写真を貼り付けて使用してください。

● 作成したテンプレートを登録することもできます。

● ショートメッセージ（SMS）には使用できません。

● ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込むことはできません。

メール作成時にテンプレートを使う<テンプレート読込>

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。

1 **メール作成画面で MENU 5 1 を押す→P259**

2 **読み込むテンプレートを選択する**

テンプレート選択<読込> 1/2
I Love You
Thank You!
How Are You?
おめでとう
ありがとう
Thank you
がんばって
ごめん
ごめんなさい

・マークの意味は次のとおりです。
 ：10000バイト以内の静止画あり
 ：メロディあり
 ：10000バイト以内の静止画＋メロディあり

3 **内容を追加・修正して送信する→P259**

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

お知らせ

・既にメール本文を入力したメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」または「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは CLR を押してください。
「本文のみ読込み」を選択すると、入力済みのメール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。
「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。
・1件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。

1 **待受画面で 8 を押す**

2 **表示するテンプレートを選択する**

・詳細表示画面で を押すと前後のテンプレートを表示できます。

3 **を押す**

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

4 **内容を追加・修正して送信する→P259**

お知らせ

・添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているテンプレートを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは CLR を押します。

テンプレートの内容を登録する<テンプレート登録>

作成したメールまたは送受信したメールをテンプレートとして登録できます。
- テンプレートの保存領域は合計100Kバイトで、最大100件まで登録できます。
- プリインストールのテンプレートの内容は変更できません。
- ｉモーション、10000バイトを超える静止画はテンプレートに登録できません。
- 題名、宛先、本文のいずれかを入力しないと登録できません。ただし、ファイルを添付した場合は、他の項目が未入力でも保存できます。

1 メール作成画面でを押す**→P259**

2 「はい」を選択する

3 を押す

テンプレートが登録されます。
- 表示名は全角・半角を問わず、最大20文字まで入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」や、ファイル名に半角英数字、「.」、「-」、「_」以外の文字を使用することはできません。

お知らせ

- テンプレート一覧で詳細情報を確認・変更する場合はを押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- テンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、ファイル名は「--------------」になります。また、題名が入力されていないと、表示名は「--------------」になります。
- テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、保存領域がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なテンプレートを削除してから再度登録してください。

テンプレートを削除する

- プリインストールのテンプレートは削除できません。

〈例〉テンプレートを1件削除するとき

1 待受画面でを押す

2 を押す

■ テンプレートを複数選択して削除するとき

① **を押し、テンプレートを選択する**
- で選択／解除が切り替わり、で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ テンプレートを全件削除するとき

① **を押す**

② **端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

メール

3 「はい」を選択する

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成途中のiモードメールを送信せずに保存したり、保存したiモードメールを再編集して送信したりできます。

iモードメールを保存する

作成途中のiモードメールを、送信せずに保存しておきます。

・未送信メールは最大200件保存できます。

1 メール作成画面で[MENU][2]を押す→P259

iモードメールが「未送信メール」に保存されます。

・題名、宛先、本文のいずれかを入力しないと保存できません。
ただし、添付ファイルを付けた場合は、他の項目が未入力でも保存できます。

送信・保存したiモードメールを編集・送信する

送信済みのiモードメールやショートメッセージ（SMS）、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたiモードメールやショートメッセージ（SMS）を、編集・送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集するとき

1 待受画面で[メール][4]を押し、フォルダを選択する

・ショートメッセージ（SMS）は[SMS]が表示されます。

・送信メールのときは[メール][5]を押し、フォルダを選択します。

2 編集するメールを選択する

・送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせて[i]を押します。

3 メールを編集して送信する→P260の操作2～5

お知らせ

・送信メール一覧や未送信メール一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「編集」を選択します。

・添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている送信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは[CLR]を押します。

メール

クイックメール
手早くメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でショートメッセージ（SMS）やｉモードメールを作成できます。

● ショートメッセージ（SMS）の場合は1件目の電話番号、ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレスが宛先となります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は 2 3 ）を押して ✉ を押す

電話帳の1件目のメールアドレスが宛先に設定されています。

・メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。上記画面で 0 2 3 のように入力すると、クイックメールは利用できません。
・ｉモードメールの作成・送信方法→P259

■ ショートメッセージ（SMS）を作成するとき

待受画面でメモリ番号を押して ✉ を1秒以上押す

・入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。
・ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法→P319

メール

お知らせ

・入力したメモリ番号の電話帳データにメールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）が登録されていない場合、または電話帳データが登録されていない場合は、✉ を（ショートメッセージ（SMS）の場合は1秒以上）押すと宛先または電話帳データが登録されていない旨の確認画面が表示されます。 を押すと宛先が設定されていないメール（メッセージ）作成画面が表示されます。
・シークレット属性が設定されている電話帳データの場合は、シークレットモードに設定してから操作してください。→P168
・クイックメールを利用する電話帳のメールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）を1件目に設定します。→P118

ｉモードメールを受信したときは

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

- メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P30
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは を押します。

■ 受信に失敗したとき

「メール」の後ろに「×」が表示されます。

お知らせ

- 受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。→P312
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやチャットメールもあわせて受信します。
- ｉモーションメールを受信した場合は、動画／ｉモーションデータはｉモーションメールセンターに保存されます。
- FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認できます。→P293
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに送信者に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉ モードセンターで削除されます。添付可能なデータ量→P270

・FOMA端末内の電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
- メールアドレスが完全に一致した場合だけ名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@より前の部分が一致しても名前は表示されません。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していても、@より前の部分が一致すれば、受信メール一覧および受信メール詳細表示画面で名前が表示されます。
- 複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
- シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ有効です。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。

・ショートメッセージ（SMS）受信中にｉモードメールは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
・ｉモードメールを自動受信できないときは、ｉモードメールセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大3回再送されます。
・受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P297
・未読メールと保護されているメールによって保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。→P27
・ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や のマーク（→P27）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P255）が満杯になったときは、マークが や に変わります。
・途中で受信に失敗した場合などにｉモードメールを受信し直すには、ｉモード問合せ（→P280）またはメール選択受信（→P279）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（→P289）、不要メールの削除（→P299）、保護解除（→P297）などを行う必要があります。
・プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信したメールが、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダにすべて保存された場合は、受信結果画面は表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
・自分宛てのｉモードメールは送信直後に自動受信できない場合があります。ｉモード問合せ（→P280）を行ってください。

新着ｉモードメールを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で「メール」を選択する

・「メッセージR」、「メッセージF」を選択するとメール・メッセージごとに表示できます。
・受信したｉモードメールは「受信BOX」に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択し、メールを選択する

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。→P310
・受信メールの見かた→P293

メール

お知らせ

・メール・メッセージ受信結果画面で 1 を押してもｉモードメールを表示できます。
・プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定している場合）に、フォルダ一覧を表示させるには、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。また、プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）に、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信するように設定します。

メールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されます。メールの受信は待受画面の通知で確認できます。
・メールを受信しても着信音や着信バイブレータは動作しません。
・TASK 以外のキーを押すと待受画面または元の画面に戻ります。

お知らせ

・「ｉモード問合せ」を行うと、ｉモードセンターに保管されているすべてのｉモードメールを受信できます。→P280
・メール選択受信設定を「ON」に設定しても、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fは自動受信します。

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。
・メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P307
・メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信しますので、不要なメールを受信したくない場合には、問合せの項目からメールを外しておいてください。→P307

1 待受画面で ✉ 6 3 を押す

✉ﾒｰﾙ選択受信✉
(1/1ﾍﾟｰｼﾞ)

選択受信説明
[1] 保留
05/01/27 12:34
✉明日の会議
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
ｻｲｽﾞ:1115ﾊﾞｲﾄ

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。
・メールの末尾のマークは以下を示します。
📷：静止画ファイルが添付されています。
♪：メロディファイルが添付されています。
🎥：ｉモーションが添付されています。

2 メールごとに「保留」を選択し、プルダウンメニューから「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択する

確認画面
受信：　20件
削除：　12件
保留：　15件

よろしいですか？
決定
キャンセル

■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するとき
「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択する

4 「決定」を選択する

お知らせ

・プルダウンメニュー項目の選択方法→P217

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間にｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせをするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

● 電波状態によってはｉモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面でサイドキー［▼］を１秒以上押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

- メッセージR/Fの問い合わせの操作は、ｉモードメールと同じです。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P277
ただし、ｉモード問合せでｉモードメールを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは CLR を押します。

お知らせ

・FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▼］を１秒以上押してもｉモード問合せができます。
・FOMA端末を折り畳んでいるときに、新しいｉモードメールを受信したときは背面ディスプレイの表示でお知らせします。→P30

iモードメールに返信する

受信したiモードメールやショートメッセージ（SMS）に返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ（SMS）や、mova端末（iモードをご契約）から送信されたショートメールには返信できません。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 返信するメールにカーソルを合わせて ✉ を押す

メール作成<返信>
To docomo.taro.ΔΔ@do…
Sub RE:おつかれさまで…
Text
>感想、ご意見はdocomota ro@ΔΔ.□□□.ne.jpまで連絡を。レポートの詳細はhttp://www.ΔΔΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/
9931
引用文字

To には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、Sub には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、Text には「>受信メール本文」が入力されています。

・返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P309

■ 複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信するとき

MENU 1 2 を押す

・自分以外のすべての宛先と、発信元に返信できます。

3 メールを編集して送信する→P259

・返信すると、次回受信BOX一覧画面を表示したときに受信メールの状態マークが✉から↩、または✉から↩に変わります。

お知らせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は ✉ を押します。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は、返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 複数の宛先に送られた受信メールから返信する場合は、操作する画面により To に表示されるメールアドレスが異なります。
  受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細表示画面から返信する場合は、自分以外のすべての宛先と発信元のメールアドレスが表示されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやショートメッセージ（SMS）を他の宛先に転送します。

- 受信したメールの種別でそれぞれ転送されます。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 転送するメールにカーソルを合わせて を押す

Sub には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、Text には受信メールの本文が入力されています。

・添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されています。

3 メールを編集して送信する→P259

・転送すると、次回受信BOX一覧画面を表示したときに受信メールの状態マークが から 、または から に変わります。

お知らせ

・受信メール詳細表示画面から操作する場合は を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
・受信メール本文中の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
・受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
・10000バイトを超える静止画が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
・受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、 （送信）を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。

画像表示・保存

添付されている静止画を表示・保存する

受信メールに添付されている静止画を表示・保存します。保存した静止画は「マイピクチャ」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

静止画を表示する

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

記をホームページに、アップしましたので、デジカメの写真とともにお楽しみ下さい!
Graph2.jpg 3.0KB
- END -

メール本文の下には、静止画とファイル名、ファイルサイズが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

：メール添付やFOMA端末外への出力可
：メール添付やFOMA端末外への出力不可
：ダウンロードされていない10000バイトを超える静止画
：ダウンロード済みの10000バイトを超える静止画
：静止画の添付あり
：静止画データ異常

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

■ 画像の表示／非表示を切り替えるとき

ファイル名を選択する

■ 静止画のタイトルを確認するとき

タイトルを確認する静止画のファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 2 を押す

■ 静止画のURLを表示するとき

URLを表示する静止画のファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 3 を押す

- 取得する前に表示するときは、メール本文の「保存期限」にカーソルを合わせて MENU 6 2 を押します。

お知らせ

- 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細表示画面からタイトルを確認する場合は MENU を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細表示画面に添付されている静止画からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。
- 取得できる静止画は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトまでです。
- 取得した静止画のファイル名は、最大36文字保存されます。ファイル名の先頭に「.」や、ファイル名に半角英数字、「.」、「-」、「_」以外の文字を使用することはできません。
- 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文に挿入されている静止画は自動的に表示されますが、添付された静止画は自動的に表示されません。画像を表示するときは静止画のファイル名を選択します。
- デコメールでは、メール詳細表示画面で本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。
- ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の画像は、自動的に取得されます。自動取得された画像は、自動的にマイピクチャの「ｉモード」に保存されます。
  メール受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により、自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択することにより、画像を取得することができます。
- 静止画の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 静止画によっては正しく表示できない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のメールを表示するとき、10000バイトを超える静止画が添付されている場合は、添付ファイルを表示できません。メールをFOMA端末に移動／コピーしてから表示してください。→P414

静止画を保存する

添付されている静止画を保存します。静止画の編集で使用するフレームやスタンプとしても保存できます。

1 **待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する**

2 **静止画が添付されているｉモードメールを選択する**

3 **保存する静止画にカーソルを合わせて MENU 6 3 を押す**

・メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている静止画（ファイル制限欄に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作5に進みます。

■ **デコメール内に表示されている画像を保存するとき**
MENU 4 4 を押して ◯ を押す

4 **各項目を選択して設定する**

・設定方法は、サイトから画像を保存するときと同じです。→P230

5 **✉ を押し、保存先を選択する**

静止画は、マイピクチャの「ｉモード」または「デコメールピクチャ」フォルダのどちらかを選択して保存します。→P368

・フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。→P368

・保存した静止画は待受画面などに設定できます。→P369

お知らせ

・送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。
・横352×縦288を超える静止画はフレーム候補にできません。
・横縦（または縦横）のサイズが210×210を超える静止画はスタンプ候補にできません。
・横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は960×1280を超える静止画は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
・画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除します。
- 削除する前に画像一覧で ✉ を押して画像を表示したり、MENU を押して画像の詳細情報を表示したりできます。

ｉモーションメール

ｉモーションメールからｉモーションを取り込む

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、ｉモーション閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。このURLを選択して、ｉモーションを受信したり、再生したりできます。

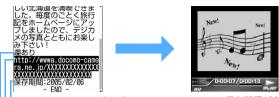
● 取り込めるｉモーションは、最大500Kバイトまでです。
● 再生時の音量はｉモーションの動作設定に従います。→P393

1 **待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する**

2 **ｉモーションのURLが挿入されたｉモードメールを選択する**

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 ｉモーションのURLを選択し、「はい」を選択する

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの受信・再生が始まります。

ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限が表示されます。

ｉモーション閲覧のためのURLが表示されます。

ｉモーションが添付されていることを示す「あり」が表示されます。

・再生画面の操作方法→P382

4 再生が終了したら「保存」を選択する

・「再生」を選択するとｉモーションが再生されます。
・「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます。→P392

5 を押す

取り込んだｉモーションは、ｉモーションの「モード」フォルダに保存されます。
・表示名を設定するときは表示名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 待受画面に設定するとき

・映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320 × 240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。

を押して「はい」を選択する

・拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
・動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P136

6 「戻る」を選択する

お知らせ

・送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、「ファイル名」を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
・ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
・メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。→P582
・miniSDメモリーカード内のメールを表示するとき、ｉモーションが添付されている場合は、添付ファイルを表示できません。メールをFOMA端末に移動／コピーしてから表示してください。→P414

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する

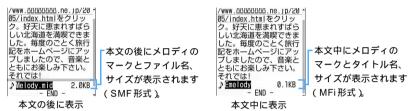
受信メールに添付されているメロディを再生・保存します。保存したメロディは「メロディ」で再生したり、着信音に設定したりできます。

● 発信元がFOMA　F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

メロディを再生する

1　待受画面で（✉）（1）を押し、フォルダを選択する

2　メロディが添付されているｉモードメールを選択する

・添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって２種類あります。

・詳細を示すマークの意味は次のとおりです。

♪　：メール添付やFOMA 端末外への出力可
♪©　：メール添付やFOMA 端末外への出力不可
♪× ♪©×　：メロディデータ異常

3　再生するメロディを選択する

・再生を途中で止めるときは（クリア）を押します。

■ **メロディのタイトルを確認するとき**

① **タイトルを確認するメロディにカーソルを合わせて（MENU）（6）（5）を押す**

・本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディにカーソルを合わせて（MENU）（6）（4）を押します。

② **タイトルの確認が終わったら（　）を押す**

■ **メロディのデータを文字として表示するとき（データ表示）**

データ表示するメロディを選択して（MENU）（6）（5）を押す

・タイトル表示に戻すには、データ表示されているメロディの先頭行を選択して（MENU）（6）（5）を押します。
・本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

お知らせ

- メロディ再生中はサイドキー［▲▼］で音量調整ができます。
- データ表示時にメロディを再生・保存するにはサブメニューから行います。
- マナーモード中は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、通常マナーモード中は電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の着信音量で設定されている音量で再生されます。
- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、タイトル名にはメールを受信した日時が表示されます。
- MFi形式のメロディの場合、マークが♪でも返信／転送するメールにメロディは添付されません。
- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている受信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。
- 送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールの添付メロディも同様にして再生できます。

メロディを保存する

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択する

3 保存するメロディにカーソルを合わせて[MENU][6][2]を押す

・既に設定されている表示名が表示されます。表示名を設定するときはメロディの保存画面で表示名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

4 [iモード]を押す

取り込んだメロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。

お知らせ

- 送信メール詳細表示画面から操作する場合はメロディにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
  - 削除する前にメロディ一覧で[iモード]を押してメロディを再生したり、[MENU]を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。

添付ファイルを削除する

受信メールから添付されている静止画、添付メロディを削除します。

● 10000バイトを超える静止画や本文中に表示されるメロディ、ソフトが起動できるリンク項目は削除できません。

〈例〉添付されている静止画を削除するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されている i モードメールを選択する

3 削除する静止画のファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 4 を押す

・添付されている静止画ファイルを一括削除するときは MENU 6 5 を押します。

4 「はい」を選択する

・削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

お知らせ

・送信メール詳細表示画面から操作する場合は、静止画、メロディにカーソルを合わせて MENU を押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信／送信／未送信のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）を確認できます。受信済みのメールは「受信メール」に、送信済みのメールは「送信メール」に保存されます。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは「未送信メール」に保存されます。

● 送信メール、未送信メールは、ｉモードメールとショートメッセージ（SMS）を合わせてそれぞれ最大200件、受信メールは最大1000件保存できます（データの大きさによっては、保存できる件数が少なくなる場合があります）。→P38

〈例〉受信メールを表示するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

■ 送信メールを表示するとき

待受画面で ✉ 5 を押す

■ 未送信メールを表示するとき

待受画面で ✉ 4 を押す

2 フォルダを選択する

受信メールの一覧が表示されます。

■ ソフトを起動せずにメール連動型ｉアプリフォルダに保存されているメールを表示するとき

メール連動型ｉアプリフォルダを選択して MENU 1 を押す

・メール連動型ｉアプリフォルダを選択すると、対応するソフトが起動されます。→P332

3 表示するメールを選択する

・電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P302

・電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P233

お知らせ

・パソコンから装飾されたメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があると、パソコン上と同じ動作にならない場合があります。

・メール本文の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。

・デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えない場合があります。

・プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の設定内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。

- 「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。

  受信メールのフォルダ一覧画面で クリア を1秒以上押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

フォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面では、上部に保存領域の使用率とページ番号／総ページ数が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

（グレー）：メールなし
（青）　　：未読メールなし
　　　　　：未読メールなし（プライバシー ON）
　　　　　：未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
　　　　　：未読メールあり
　　　　　：未読メールあり（プライバシー ON）
　　　　　：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

送信メールフォルダ一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

（グレー）：メールなし
（青）　　：メールあり
　　　　　：プライバシー ON
　　　　　：メール連動型ｉアプリ

お知らせ

・受信メールは「受信 BOX」フォルダと最大 45 個のフォルダ（メール連動型ｉアプリ用のフォルダ 5 個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに受信したｉモードメールとショートメッセージ（SMS）は「受信 BOX」フォルダに保存されますが、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。

・送信／未送信メールはそれぞれ「送信 BOX」と「未送信 BOX」フォルダと最大 15 個のフォルダ（メール連動型ｉアプリ用のフォルダ 5 個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに送信したｉモードメールとショートメッセージ（SMS）は「送信 BOX」フォルダに保存されますが、送信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。

・メール連動型ｉアプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。

・メール連動型ｉアプリフォルダを選択すると、それに対応するソフトが起動されます。→P329

・受信 BOX 一覧表示中に MENU 5 を押すと、受信メールの既読／未読を変更することができます。
- 選択している未読の受信メールを既読にするときは、1 を押します。
- 選択している既読の受信メールを未読にするときは、2 を押します。
- 複数の未読受信メールを既読にするときは、3 を押し、既読にする受信メールを選択し、 を押し、「はい」を選択します。
- 複数の既読受信メールを未読にするときは、4 を押し、未読にする受信メールを選択し、 を押し、「はい」を選択します。
- 受信 BOX 内のメールをすべて既読にするときは、5 を押し、「はい」を選択します。
- 受信 BOX 内のメールをすべて未読にするときは、6 を押し、「はい」を選択します。

受信BOX一覧画面の見かた

受信BOX 3/6
① 12:34 docomo.taro.ΔΔ
② おつかれさまです。
11:53 docomo.taro.ΔΔ
おはようございます。
10:11 docomo.ΔΔΔ.tar
こんにちは。
09:47 docomo-ΔΔ-taro
明日の予定です。

受信BOX一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には受信日時、発信元、題名（SMSでは本文の先頭）が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①状態マーク

：未読　：未読（返信不可）
：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）
：保護　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　：保護（転送済み）

※ 返信済／転送済は後から行った操作のマークが優先表示されます。

②添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク

：10000バイト以内の静止画
：メロディ
：10000バイト以内の静止画＋メロディ
：10000バイトを超える静止画
：ショートメッセージ（SMS）
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
：ｉアプリToあり

※ ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画が添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディが添付されていてもマークは表示されません。

・発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
・受信したｉモードメールによっては題名が表示されない場合があります。
・データ異常のショートメッセージ（SMS）にはが表示され、受信日時は--/--（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。
・メール一覧の表示形式を選択できます。→P309

次ページへ続く

お知らせ

・添付ファイルやソフトが起動できるリンク項目がある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
静止画	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：ダウンロードされていない10000バイトを超える静止画 ：ダウンロード済みの10000バイトを超える静止画 ：未取得の静止画の添付あり ：静止画データ異常	P282
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P286
ソフトが起動できるリンク項目	α	P346

・ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。ショートメッセージ（SMS）では、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
- メールアドレスが完全に一致した場合だけ名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@より前の部分が一致しても名前は表示されません。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録している場合でも、@より前の部分が一致した場合は、名前が表示されます。
- シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモードを設定していないと名前は表示されません。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、プライバシーモードを解除しないと名前は表示されません。

・ショートメッセージ（SMS）および送達通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	ショートメッセージ（SMS）	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

※電話番号が電話帳に登録されているときは、受信メール一覧の発信元には名前が表示されます。
　ただし、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、名前は表示されません。
※発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
　「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
　「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
　「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

送信／未送信BOX一覧画面の見かた

送信BOX一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には送信日時、宛先、題名（SMSでは本文の先頭）が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①状態マーク

マークなし：未保護
：保護

②添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク

：10000バイト以内の静止画
：メロディ
：10000バイト以内の静止画＋メロディ
：ｉモーション
：10000バイトを超える静止画
：ショートメッセージ（SMS）
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

※ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画が添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディの添付を示すマークは表示されません。

・送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
・宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
・未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。→P275
・メール一覧の表示方法を選択できます。→P309

受信メール詳細表示画面の見かた

受信メール 1/ 9
05/01/27 12:34
docomo.taro.ΔΔ@doco‥
docomo-ΔΔ-taro.□□□@‥
おつかれさまです。
感想,ご意見はdocomotaro@ΔΔ.□□□.ne.jp まで連絡を。レポートの詳細は http://www.ΔΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/2005/index.htmlをクリック。好天に恵まれすば

受信メール表示画面では、上部に宛先マーク※、状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数が表示されます。

※：ｉモードメールでは、発信元からどの宛先（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを確認できます。

・マークの意味は次のとおりです。

：受信日時　：発信元
：宛先（TO）　：宛先(CC)(ｉモードメールのみ)
：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
：題名（SMSは「受信SMS」、「SMS送達通知」、「留守番 着信通知」）
：発信元（返信不可）
：宛先（TO）（返信不可）（ｉモードメールのみ）
：宛先（CC）（返信不可）（ｉモードメールのみ）

・文字サイズを選択できます。→P311
・データ異常のショートメッセージ（SMS）にはの代わりにが表示され、以外は表示されません。

送信済み／未送信メール詳細表示画面の見かた

送信済みメール表示画面では、上部に状態マーク、添付ファイル／SMSマーク、メール番号／件数が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

- ：送信日時
- To：宛先（TO）
- Cc：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）
- Bcc：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
- ：題名

・文字サイズを選択できます。→P311

お知らせ

・送信日時・保存日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。→P49

フォルダを作成・削除する

メールを保存するフォルダの作成や削除をします。

フォルダを作成する

・「受信メール」では「受信BOX」とメール連動型ｉアプリのフォルダ以外に最大40個作成できます。

・「送信メール」「未送信メール」では「送信BOX」「未送信BOX」とメール連動型ｉアプリのフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。

・「送信BOX」「未送信BOX」「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリのフォルダのフォルダ設定は変更できません。

〈例〉受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で 1 を押す

・送信メール→P289　・未送信メール→P289

2 1 を押す

■ **フォルダ設定を変更するとき**

フォルダ設定を変更するフォルダを選択して 3 を押す

3 各項目を選択して設定する

フォルダ名：メールのフォルダ名称を設定します。
全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

プライバシー：プライバシーモード起動中に、フォルダを表示するかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 を押す

お知らせ

・メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、「受信メール」「送信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更することはできません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリフォルダは、そのフォルダに対応するソフトを削除しない限り削除できません。→P350

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で[メール][1]を押す

・送信メール→P289　・未送信メール→P289

2 削除するフォルダを選択して[MENU][2]を押す

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 「はい」を選択する

メールの件数を確認する＜フォルダ内メール件数＞

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で[メール][1]を押す

・送信メール→P289　・未送信メール→P289

2 件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて[MENU][5]を押す

3 確認が終わったら[ ]を押す

お知らせ

- メール一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する＜アドレス表示＞

受信メール、送信メール、未送信メールの発信元や宛先のメールアドレスを表示します。メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。
送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。

1 メール詳細表示画面を表示する

・送信メール→P289　・未送信メール→P289
・メールテンプレート→P272

2 表示する発信元または宛先を選択する

3 確認が終わったら[ ]を押す

お知らせ

・複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細表示画面で[MENU]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。
・受信メール、送信メール、未送信メール一覧から操作するときは、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせて[MENU]を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。

受信／送信メールをフォルダに移動する<メール移動>

保存してあるメールを別のフォルダやminiSDメモリーカードに移動やコピーします。

〈例〉受信メールを他のフォルダに1件移動するとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

・送信メール→P289　・未送信メール→P289

2 移動するメールにカーソルを合わせて[MENU][4][1][1]を押す

■ 受信メールを複数選択して移動するとき

①[MENU][4][1][2]を押し、メールを選択する
・[●]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。
②[i]を押す

■ すべての受信メールを移動するとき

[MENU][4][1][3]を押す

■ 受信メールをminiSDメモリーカードへ1件コピーするとき

①[MENU][4][4][1]を押す
②「はい」を選択する

■ 受信メールをminiSDメモリーカードへバックアップ（全件）するとき

①[MENU][4][4][2]を押す
②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う
③「はい」を選択する

3 [●]を押し、移動先フォルダを選択する

4 「はい」を選択する

お知らせ

・受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを並べ替える<ソート>

お買い上げ時	日付順

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。
・「未送信メール」「FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）」の並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

・送信メール→P289

メール

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

2 [MENU][7][4]を押す

■ 送信メールを並べ替えるとき
[MENU][5]を押す

3 [1]～[3]を押す

メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

・受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
・送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
・タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。
・同一フォルダ内にショートメッセージ(SMS)が含まれていると、一覧画面ではショートメッセージ(SMS)はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順でソートした場合、五十音順と一致しません。

受信／送信メールから電話をかける＜電話発信＞

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。
・電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。
・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ電話をかけられます。

〈例〉受信メールから電話をかけるとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

・送信メール→P289

2 電話をかけるメールにカーソルを合わせて[MENU][6]を押す

・受信メール／送信メール詳細表示画面から操作する場合は[MENU][7]を押します。

3 発信方法、番号通知を選択して[MENU]を押し、「はい」を選択する

電話がかかります。

受信／送信メールを保護する＜メール保護＞

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。
・受信メールは最大500件、送信メールおよび未送信メールはそれぞれ最大100件保護できます。
・未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを1件保護するとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

・送信メール→P289　・未送信メール→P289

次ページへ続く

2 保護するメールにカーソルを合わせて（MENU）（3）（1）を押す

・メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
受信メール　：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
送信メール　：
未送信メール：

■ 受信メールを複数選択して保護するとき

① （MENU）（3）（2）を押し、メールを選択する

・（ ）で選択／解除が切り替わり、（MENU）で全選択／全解除できます。ただし、保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② （ ）を押す

■ 受信メールを全件保護するとき

（MENU）（3）（3）を押す

■ 受信メールの保護を1件解除するとき

保護を解除するメールにカーソルを合わせて（MENU）（3）（4）を押す

■ 受信メールの保護を複数選択して解除するとき

① （MENU）（3）（5）を押し、メールを選択する

・（ ）で選択／解除が切り替わり、（MENU）で全選択／全解除できます。

② （ ）を押す

■ 受信メールの保護を全件解除するとき

（MENU）（3）（6）を押す

お知らせ

・データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。→P478
・メール詳細表示画面から保護する場合は（MENU）を押し、「保護」を選択します。保護解除する場合には（MENU）を押し、「保護解除」を選択します。
・送信／未送信メール一覧から保護する場合は（MENU）を押し、「保護」→「1件保護」、「複数保護」または「全件保護」を選択します。保護解除する場合には（MENU）を押し、「保護」→「1件保護解除」、「複数保護解除」または「全件保護解除」を選択します。
・全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。
・受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを削除する<メール削除>

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

・保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－
フォルダ内-既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内-全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-7日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-14日経過		○	○	－
フォルダ内-30日経過		○	○	－
1件削除	選択したメール1件	－	○	○
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

1 **待受画面で[メール][1]を押す**

■ メール全件を削除するとき

① [MENU][4][6]を押す

② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行い操作4に進む

2 **フォルダを選択して[MENU][2]を押す**

・メールを1件だけ削除するときは削除する受信メールを選択します。

3 **[1]～[7]を押す**

■ 受信メールを複数選択して削除するとき

① [2]を押し、メールを選択する

・[●]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。

② [i]を押す

■ フォルダ内の受信メールを全件削除するとき

[4]を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 **「はい」を選択する**

お知らせ

・受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール	○	－	－
全件削除	フォルダ内の全メール	○	○	－
1件削除	選択したメール1件	－	○	○ （送信メールのみ）
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

〈例〉送信メールを削除するとき

1 待受画面で [✉] [5] を押す

■ メール全件を削除するとき

①[MENU][4][2]を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行い操作4に進む

2 フォルダを選択する

3 削除するメールにカーソルを合わせて [MENU][2][1] を押す

■ 送信メールを複数選択して削除するとき

①[MENU][2][2]を押し、メールを選択する

- [●]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。

②[☎]を押す

■ フォルダ内の送信メールを全件削除するとき

[MENU][2][3]を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 「はい」を選択する

お知らせ

- 未送信メールも同様の操作で削除できます。
- フォルダ一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、iモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、表示中のiモードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

・操作方法はサイトからのPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To と同じです。→P233
- 項目を選択して（MENU）を押すと、その電話番号に対して行えるサブメニューが表示されます。

お知らせ

・電話番号を選択し、発信方法を選択すると、電話をかけられます。
・パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
・FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）の場合、本文コピーと宛先コピー、送信者コピーができます。
・デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキスト部分のみコピーができます。
・コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
・記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細表示画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細表示画面を表示する

・受信メール→P289
・送信メール→P289
・メールテンプレート→P272
・FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）→P324

2 （MENU）（2）を押す

・選択項目コピーの場合は、コピーする項目にカーソルを合わせます。

3 コピー方法を選択する

・次のコピーができます。

本文コピー　：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
題名コピー　：題名をコピーします。
選択項目コピー　：項目（メールアドレス、電話番号など）を選んでコピーします。

・本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。
→P233「URLをコピーする」操作2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

コピーした文字が貼り付けられます。→P547

お知らせ

・送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面から操作するときは（MENU）を押し、「移動／コピー」または「コピー」を選択します。
・メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。→P472

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）中のメールアドレス、電話番号、URLを電話帳に登録できます。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

〈例〉受信メール詳細表示画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含むメールを表示する

・受信メール→P289　・送信メール→P289
・FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）→P324

2 電話帳に登録する項目にカーソルを合わせて[MENU][4]を押す

3 [1]または[2]を押す

・新規登録する場合は[1]を押します。以降の操作はサイトからの登録操作(「新規登録する」の 操作3以降→P235)と同様です。
・更新登録する場合は[2]を押します。以降の操作はサイトからの登録操作（「登録済みの電話帳データに追加する」の操作3以降→P235）と同様です。

お知らせ

・送信メール詳細表示画面、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細表示画面から操作するときは[MENU]を押し、「登録」を選択します。
・表示中のｉモードメールやショートメッセージ（SMS）のメールアドレスや電話番号、URLにカーソルを合わせていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）にカーソルを合わせて電話帳に登録することはできます。
・デコメールからは登録できない場合があります。
・メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細表示画面からブックマーク登録するとき

1 登録するURLを含むメールを表示する

・受信メール→P289　・送信メール→P289
・FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）→P324

2 URLにカーソルを合わせて[MENU][4]を押し、[3]を押す

3 登録先フォルダを選択する

お知らせ

・送信メール詳細表示画面、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面から操作するときは[MENU]を押し、「登録」を選択します。
・デコメールからは登録できない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

FOMA端末のメール機能を設定する

設定できるメール機能は次のとおりです。

機能名	内　容	参照ページ
メール振り分け設定	受信／送信メールを自動的にフォルダに振り分けます。	下記
署名設定	メールに添付する署名を設定します。	P306
ｉモード問合せ設定	ｉモードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P307
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P307
メールグループ設定	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P307
メール返信引用設定	メールに返信するときに、受信メールを引用するかどうかを設定します。	P309
メール一覧表示設定	受信／送信メールの表示形式を設定します。	P309
メール受信添付ファイル設定	受信メールの添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P309
添付ファイル自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P310
表示種別	「受信メール」「送信メール」のメール一覧に表示するメール種別を設定します。	P310
フォントサイズ	メールを表示したときの文字の大きさを設定します。	P311
メール着信設定	メールを受信したときの動作を設定します。	P311
受信表示設定	FOMA端末操作中にメールを受信したときの表示を優先するかどうかを設定します。	P312

メールを自動的にフォルダに振り分ける<メール振り分け設定>

受信／送信したｉモードメールやショートメッセージ（SMS）に振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

・受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

振り分け条件を設定する

・設定した振り分け条件を実行するには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。→P306

〈例〉受信メールをメールアドレスで振り分けるとき

1 待受画面で [メール] [9] [3] を押す

2 [1] または [2] を押す

振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.ΔΔ@do…
03 連絡

1行目には、自動振り分け設定のON／OFFが表示されます。また、登録済みの振り分け条件が優先順位順に一覧表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

- To：送信メールアドレス
- From：受信メールアドレス
- No.：メモリ番号
- 電話帳登録なし
- 題名
- Gr.：グループ
- 条件なし

次ページへ続く

3 [MENU][1][1]を押す

指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字を指定して振り分けることはできません。電話番号を指定すると、ショートメッセージ（SMS）も振り分けできます。

4 [1]または[2]を押す

- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定するときは[1]を押し、入力するアドレスのある電話帳を選択して、メールアドレスを選択します。→P110
- 直接メールアドレスを入力するときは[2]を押し、メールアドレスを入力して[Center key]を押し、[Mail key]を押します。

5 振り分け先フォルダを選択する

- メール連動型ｉアプリフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがソフトで利用される旨の確認画面が表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

6 優先順位を指定する

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。
- 最後に追加するときは［最後に追加する］を選択します。
- 条件は優先順位の高いものから順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

■ 題名を指定するとき

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15 文字）。
ショートメッセージ（SMS）は題名では振り分けできません。

①振り分け条件の指定画面で[2]を押す**→P303**
②題名を入力して[Center key]を押し、[Mail key]を押す

■ メモリ番号を指定するとき

指定したメモリ番号で登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では電話帳の電話番号と照合されます。

①振り分け条件の指定画面で[3]を押す**→P303**
②メモリ番号を入力する

■ グループを指定するとき

電話帳で指定したグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① 振り分け条件の指定画面で 4 を押す→P303

② 1 または 2 を押す

③ 指定するグループを選択する

■ 電話帳登録なしを指定するとき

電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。i モードメールでは電話帳のメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では電話帳の電話番号と照合されます。

振り分け条件の指定画面で 5 を押す→P303

■ 条件なしを指定するとき

条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

振り分け条件の指定画面で 6 を押す→P303

お知らせ

・条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を 2 件設定した場合、次のように振り分けられます。
　① 優先順位 1 の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
　② 優先順位 2 の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信 BOX」または「送信 BOX」フォルダに保存されます。

・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定、あるいはメールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に振り分け条件を指定する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

・設定した条件は、条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分け直されません。

・送信元の端末が i モード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるので、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。

振り分け条件を確認・変更する

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 または 2 を押す

■ 登録済みの振り分け条件を変更するとき

① 変更する振り分け条件にカーソルを合わせ、MENU 2 を押す

・振り分け条件の指定の操作は「振分け条件を設定する」操作 3 から操作 6 と同じです。→P304

②「変更する」を選択する

■ 優先順位を変更するとき

① 変更する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU 5 を押す

② 移動する位置を選択する

・選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

メール

次ページへ続く

■ 条件を削除するとき

①削除する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU 3 を押す

②「はい」を選択する

・条件をすべて削除するときは MENU 4 を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択します。

3 **確認する振り分け条件を選択する**

・条件を確認中でも振り分け条件の変更ができます。

振り分けるかどうかを設定する

お買い上げ時	受信振り分け設定：ON　送信振り分け設定：ON

〈例〉受信メールを振り分けるとき

1 **待受画面で ✉ 9 3 を押す**

2 **1 を押し、MENU 6 を押す**

・送信メールを設定するときは 2 を押し、MENU 6 を押します。

3 **1 を押す**

■ メールを自動振り分けしないとき

2 を押す

メールの署名を登録する＜署名設定＞

お買い上げ時	する

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）の本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

・署名は全角で最大５０文字、半角で最大１００文字入力できます。

1 **待受画面で ✉ 9 4 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

自動挿入：署名を自動挿入するかどうかを設定します。
・自動挿入しない場合は 2 を選択します。

署名：署名の内容を設定します。

3 **📖 を押す**

お知らせ

・署名も本文の文字数に含まれます。
・署名を自動挿入しない設定にしたときは、メール作成時にサブメニューから選択して挿入できます。→P260
・署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使うことができます。

センター問い合わせの内容を設定する＜ｉモード問合せ設定＞

お買い上げ時	すべて選択

ｉモードセンターへ問い合わせをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

・お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに「☑」が付いています。メール、メッセージR、メッセージFの問合せをしない場合は、「□」にしてご利用ください。

1 **待受画面で 6 4 を押す**

2 **問い合わせ項目を選択する**

・MENU を押すと全選択／全解除できます。

3 **を押す**

ｉモードセンターへ問い合わせる項目が設定されます。

メールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時	OFF

1 **待受画面で 9 6 を押す**

2 **1 を押す**

■ メールを選択して受信しないとき

2 を押す

宛先をメールグループに登録する＜メールグループ設定＞

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

・メールグループは最大20件まで登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 **待受画面で 9 8 を押す**

2 **を押す**

■ メールグループ名を編集するとき

編集したいメールグループにカーソルを合わせて MENU 2 を押す

■ メールグループをコピーするとき

コピーするメールグループにカーソルを合わせて MENU 3 を押す

■ メールグループを1件削除するとき

①削除するメールグループにカーソルを合わせて MENU 4 1 を押す
②「はい」を選択する

メール

次ページへ続く

■ メールグループを全件削除するとき

①［MENU］［4］［2］を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

②「はい」を選択する

3 メールグループ名を入力して［電話帳］を押す

メールグループ名が登録されます。

・続けてメールグループを登録する場合は、［電話帳］を押します。

・全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択する

■ メールアドレスを編集するとき

①編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて［MENU］［1］を押す

②メールアドレスを変更して［電話帳］を押す

■ メールアドレスを 1 件削除するとき

①削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて［MENU］［2］を押す

②「はい」を選択する

■ メールアドレスの詳細を表示するとき

①詳細を表示するメールアドレスにカーソルを合わせて［MENU］［3］を押す

・メールアドレスが電話帳に登録されていない、またはプライバシーモード起動中は、電話帳の名前は表示されません。

②メールアドレスの確認が終わったら［　］を押す

5 ［メール］を押し、各項目を選択して設定する

宛先種別：TO、CC、BCC を設定します。

・TO は通常の宛先です。

・CC は同報の宛先です。他の送信相手にもメールアドレスは表示されます。TO の宛先のメールを他の相手にも知らせたいときに選択します。

・BCC は同報の宛先です。BCC に設定したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

アドレス：メールアドレスを設定します。

・半角英数字と一部の記号で最大 50 文字入力できます。

■ 電話帳からメールアドレスを入力するとき

［電話帳］を押す→P110

6 ［電話帳］を押す

・既に電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。

・他のメールアドレスを追加する場合は、操作 5 から繰り返します。

7 ［電話帳］を押す

メールグループにメールアドレスが登録されます。

お知らせ

・電話帳に登録しているメールアドレスと同じものをメールグループに登録している場合は、電話帳の名前を変更するとメールグループの表示も変更されます。

・宛先種別に TO が 1 件以上設定されていないと、メールを送信できません。

・メールグループから宛先を入力するには→P262

返信時に本文を引用するかどうかを設定する < メール返信引用設定 >

お買い上げ時	引用：する　引用文字：>（半角）

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）に返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 待受画面で [✉] [9] [5] を押す

2 各項目を選択して設定する

引用　：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
- [2] を選択したときは、操作 3 に進みます。

引用文字：引用文字を設定します。
- 全角で 1 文字、半角で最大 2 文字入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 [✉] を押す

メール一覧の表示形式を設定する<メール一覧表示設定 >

お買い上げ時	2 行表示

「受信メール」、「送信メール」のメール一覧の表示形式を設定します。

2 行表示

1 行表示

添付ファイルがある場合に表示されます。

•「未送信メール」、「FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）」の表示形式は選択できません。

1 待受画面で [✉] [9] [9] [1] を押す

2 [1] または [2] を選択する

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<メール受信添付ファイル設定>

お買い上げ時	画像：受信する　メロディ：受信する

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

1 待受画面で [✉] [9] [7] を押す

2 各項目を選択して設定する

画像　：画像を受信するかどうかを設定します。
メロディ：メロディを受信するかどうかを設定します。

メール

次ページへ続く

3 [iモード]を押す

お知らせ

・受信しない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
・メール本文中に貼付されたMFi形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する<添付ファイル自動再生設定>

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 待受画面で[メール][9][9][2]を押す

2 [1]または[2]を押す

お知らせ

・メロディを自動再生する設定の場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、メロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。

表示するメールの種別を選ぶ<表示種別>

お買い上げ時	すべて表示

「受信メール」、「送信メール」のメール一覧に表示するメールの種別を選択します。
・「未送信メール」、「FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）」の表示種別は選択できません。

〈例〉受信メールの表示種別を選択するとき

1 待受画面で[メール][1]を押し、フォルダを選択する

・送信メール→P289

2 [MENU][7][2]を押す

3 [1]～[4]を押す

選択した種別で表示されます。
・送信メールでは「すべて表示」「保護のみ表示」から選択できます。

お知らせ

・受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
・「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

メールの文字の大きさを変更する＜フォントサイズ＞

お買い上げ時	中（標準）

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

・メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。

大：24 ドット　　中（標準）：20 ドット　　小：16 ドット

〈例〉受信メールの文字サイズを変更するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

・送信メール→ P289　　・メールテンプレート→ P272

・FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）→ P324

2 メールを選択して MENU 3 1 を押す

・メールテンプレートを表示しているときは、MENU 4 1 を押します。

3 1 ～ 3 を押す

選択した文字サイズで表示されます。

お知らせ

・miniSD メモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細表示画面から操作する場合は MENU を押し、「フォントサイズ」を選択します。

・文字サイズを変更すると、次に受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSD メモリーカード内のメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メール着信時の動作を設定する＜メール着信設定＞

お買い上げ時	着信音選択：メロディ／着信音 1　着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF　鳴動時間（秒）：10

i モードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で ✉ 9 1 を押す

メール

2 各項目を選択して設定する

着信音選択：着信音の鳴動を設定します。また、着信音はメロディまたは着モーションから設定できます。
・着信音の設定について→P72、P128

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。
・「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
・パターンごとの振動内容→P130

鳴動時間（秒）：着信音が鳴動している時間を1～30秒の間で設定します。

3 [キー]を押す

お知らせ

・電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。→P106
・メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定でメロディ連動に設定しても連動しないことがあります。

メール受信通知を設定する＜受信表示設定＞

お買い上げ時	通知優先

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信したときの受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で[メールキー][9][9][3]を押す

2 [1]または[2]を押す

受信表示設定
1 操作優先
2 通知優先

操作優先：ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信しても、受信中画面および受信結果画面を表示しません。

通知優先：ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信したときは、受信中画面および受信結果画面を表示します。

お知らせ

・「通知優先」に設定していても、カメラ起動中、ｉアプリ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、アラーム鳴動中などは受信中画面および受信結果画面は表示されません。
・次のときは、ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを自動受信しますが、「操作優先」に設定していると受信中画面や受信結果画面が表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
- 待受中以外のとき（他の機能が起動中）
- オールロック中
- ドライブモード中
- PIMロック中
- カメラ起動中
- アラーム鳴動中
- ｉアプリ待受画面のソフト起動中
・本機能の設定に関わらず、音声電話通話中やデータ通信中にｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信した場合は受信中および受信結果は表示されません。

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをメンバーリストに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールとして受信されます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、同報メール送信の場合と同じです。→P257

チャットメール画面

チャットメール画面の見かたは次のとおりです。

①送受信履歴

でチャットメールの送受信履歴をスクロールします。

・送受信履歴が一画面内に表示しきれない場合は、チャットメール画面で 5 1 を押すと先頭行に移動し、 5 2 を押すと最終行に移動して表示されます。

②詳細表示欄

最新またはカーソルを合わせたチャットメールの詳細を表示します。チャットメールの表示可能文字数は全角で最大250文字、半角で最大500文字です。

左右の欄下に◀▶が表示されているときは、 でページを切り替えます。

・マークの意味は次のとおりです。

：メンバーリストに未登録の同報アドレスがある。

③本文入力欄

入力した文字を表示する欄です。

チャットメンバーを登録する <チャットメンバー設定>

チャットメールをやりとりする相手を登録します。

・チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。

1 待受画面で 3 を押す

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

・メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、 7 を押して操作3に進みます。

2 「はい」を選択する

3 を押す

4 アドレス欄を選択してメールアドレスを入力する

・半角で最大50文字入力できます。→P259

■ 電話帳から検索するとき

① [キー] を押す

② 電話帳から検索してメールアドレスを入力する→P110

・ｉモード端末のメールアドレスをチャットメンバーに登録する際は、「@docomo.ne.jp」を省略せずにメールアドレスを登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は「@docomo.ne.jp」を省略して入力してください。

・メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

5 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する

・全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
・ニックネームを指定しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 文字色欄を選択して文字色を選択する

・文字色は、青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。
・チャットメール画面で表示されるニックネームも選択した色で表示されます。

7 [キー] を押す

メンバーが登録されます。

・他のメンバーを追加登録する場合は [キー] を押して、操作4～7を繰り返します。

8 [キー] を押す

お知らせ

・受信メール一覧、本文のサブメニュー、同報アドレス一覧から新たにメンバー登録をすると、アドレス欄に指定したアドレスが入力された状態でメンバー編集画面が表示されます。→P317
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

チャットメールを作成して送信する

・チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送る設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
・送信したチャットメールは、ｉモードメールの「送信BOX」に保存されます。
・メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 待受画面で [キー] [3] を押す

・メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択し、本文を入力する

・全角で最大250文字、半角で最大500文字入力できます。

■ チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付けるとき

①チャットメール画面でコピーしたい本文のあるチャットメールにカーソルを合わせて [MENU][6] を押す

・本文のコピー方法→P546

②本文入力欄を選択し、[MENU][3] を押す

・本文の貼り付け方法→P547

■ 受信したメールの同報アドレス全員に返信するとき

[MENU][2][2] を押す

3 [MENU][3] を押し、宛先を選択する

・[MENU] を押すと全選択／全解除できます。

4 [メール] を押す

宛先が設定されます。

5 [メール] を押す

・正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

お知らせ

・チャットメールは、以下の画面からでも操作できます。
- 受信メールの一覧表示中に [MENU][7][5] を押します。
- 受信メールの本文表示中に [MENU][3][3] を押します。
- 送信メールの一覧表示中に [MENU][7][4] を押します。
- 送信メールの本文表示中に [MENU][3][3] を押します。

・送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信BOX」に保存されます。「未送信BOX」にはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」に保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」に保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメールから送信してください。

・ｉモードメールまたはメッセージR/Fの受信中は、チャットメールを送信できません。受信中に送信したチャットメールは、自動的に3回まで送信が試行されます。

・プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定している場合）にチャットメールを起動する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

チャットメールを受信する＜チャットメール受信＞

チャットメールを受信したときは、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、全角・半角を問わず題名が「チャットメール」のメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加表示されます。

・チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は「受信BOX」に保存されるため、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に取り込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして「受信BOX」に保存されます。

・メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1　受信メール一覧（→P289）でチャットメール画面に取り込む受信メールにカーソルを合わせて MENU 7 5 を押す

・受信メール詳細表示画面から操作する場合は MENU 3 3 を押します。
・取り込むメールの送信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、送信者アドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してメンバー登録をしてください。→P313

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1　チャットメール画面で MENU 1 を押す

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加表示されます。

お知らせ

・チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、チャットメール起動時にチャットメール画面に取り込まれます。
・ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信されます。
・チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。→P281
・チャットメールの本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toは行えずｉアプリToの機能も使用できません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メールからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
・受信BOXからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
・チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信BOXにおいて既読となります。
・メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信した場合はチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で同報アドレスを確認したいメールにカーソルを合わせ [MENU][4] を押す

同報アドレス一覧が表示されます。
・メンバー登録されていない送信者名はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。表示された名前のメールアドレスを確認する場合は[ ]を押します。

■ 未登録の送信者をチャットメンバーとして登録するとき
[ ]を押す

■ 同報アドレスをコピーするとき
[MENU][2]を押す

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。
・受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、メールが保護されている場合は削除されません。

1 チャットメール画面で [MENU][9] を押す

2 「はい」を選択する

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーを追加または削除します。
メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 待受画面で [✉][3] を押す

・メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 [MENU][7] を押す

3 編集するメンバーにカーソルを合わせて [MENU][1] を押す

■ チャットメンバーを1件削除するとき
①削除するメンバーにカーソルを合わせて[MENU][2]を押す
②「はい」を選択する

■ チャットメンバーの詳細を表示するとき
①詳細を表示するメンバーを選択する
・メンバー全員の詳細をまとめて確認するときは[MENU][3]を押します。
②詳細の確認が終わったら[ ]を押す

■ チャットメンバーを追加するとき
[MENU][4]を押す
・チャットメンバー設定方法→P313

メール

次ページへ続く

■ チャットメールのメンバー全件を別のメールグループと入れ替えるとき

① MENU 5 を押す

② 入れ替えるメールグループを選択し、「はい」を選択する

チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

4 を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 待受画面で 3 を押す

2 MENU 8 を押す

3 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する

- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- ニックネームを指定しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

4 文字色欄を選択して文字色を選択する

5 を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で 電源 または クリア を押す

2 「いいえ」を選択する

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、メールが保護されている場合は削除されません。

お知らせ

- 未送信、作成中のチャットメールがあるときは、未送信BOXに保存され、次回のチャットメール起動時に前回の未送信、作成中のチャットメールが表示されます。ただし、メールの保存領域の空きが足りないときは、チャットメールは保存できません。

チャットメール着信時の設定を行う<チャットメール着信設定>

お買い上げ時	着信動作設定：メール着信動作に従う

チャットメールを受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で 9 2 を押す

メール

2 各項目を選択して設定する

着信動作設定：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うようにするかを設定します。
・「設定する」に設定すると、以下の項目が設定できます。

着信音選択：着信音を鳴らすかどうかと、着信音を鳴らすときのメロディまたは着モーションを設定します。
・着信音の設定について→P72、P128

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。
・着信イルミネーションの設定について→P147

バイブレータ設定：バイブレータの動作を設定します。
・パターンごとの振動内容→P130

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1～30秒の間で設定します。

3 を押す

お知らせ

・同時に複数のメールを受信した場合に上記設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

SMS作成・送信

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。
送信せずに保存することもできます。

- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。
- 未送信メールは最大200件保存できます。
- ドコモ以外の海外事業者のお客様との間でも、送受信を行うことができるようになります。サービス開始時期および利用可能な海外事業者についてはドコモのホームページでお知らせします。

〈例〉宛先を直接入力してショートメッセージ（SMS）を作成・送信するとき

1 待受画面で を押す

2 To を選択し、「直接入力」を選択する

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する
②電話帳を検索して電話番号を入力する→P110

3 宛先を入力する

相手のFOMA端末の電話番号を入力します。
・宛先が電話帳に登録されている場合は、To に電話帳の名前が表示されます。
・宛先がドコモ以外の海外事業者の場合は、「+」（ を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

メール

4 Textを選択し、本文を入力する

・SMS 設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大 70 文字入力できます。
・SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号（`。「」、・゛゜を除く）で最大 160 文字入力できます。
・文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

MENU 4 を押す

・署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P306
・署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 を押す

・送信せずに保存する場合は、MENU 2 を押すと「未送信メール」に保存されます。宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

・本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。→P542
・文字の装飾はできません。
・電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
・送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめ SMS 設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はショートメッセージ（SMS）の作成開始後に変更することもできます。
・一部の絵文字(→P567)は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
・送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ショートメッセージ（SMS）が「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からショートメッセージ（SMS）を編集・送信できます。→P275
・送信が正常に終了したときは、ショートメッセージ（SMS）が「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P297
・送達通知を「要求する」に設定して送信した場合（→P322）、ショートメッセージ（SMS）が相手の FOMA 端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。
・発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、ショートメッセージ（SMS）送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
・本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き換わります。
・送信する文字種により送信できない文字があります。→P258
・SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。
・送信文字種が英語の場合、一部の記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
・メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ショートメッセージ（SMS）を作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P299
・メモリ番号 0 ～ 99 に登録されている相手には簡単にショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます（クイックメール）。→P276
・受信、送信、未送信のショートメッセージ（SMS）一覧／表示画面の見かた→P291

送信・保存したショートメッセージ（SMS）を編集・送信する

送信済みのショートメッセージ(SMS)や､送信せずに保存したり送信に失敗したりしたショートメッセージ（SMS）を編集・送信できます。→P275

SMS受信

ショートメッセージ（SMS）を受信したときは

ショートメッセージ（SMS）が送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したショートメッセージ（SMS）は「受信メール」に保存されます。

1 ショートメッセージ（SMS）を受信する

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。
・メッセージ受信中に を押すと受信を中止します。
・FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P30
・受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは を押します。

■ 受信したショートメッセージ（SMS）をすぐに読むとき

受信結果画面で または を押す
・受信したショートメッセージ（SMS）に返信する→P281
・受信したショートメッセージ（SMS）を転送する→P281

■ 受信に失敗したとき

「メール」の後ろに「×」が表示されます。

お知らせ

・受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。→P312
・FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は削除されます。
・movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは､FOMA端末ではショートメッセージ(SMS)として受信します。
・FOMA端末内の電話帳に、メール着信設定のある相手からショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
- 複数のショートメッセージ（SMS）を同時に受信したときは、最後に受信したショートメッセージ（SMS）に設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
- シークレット属性を設定した電話帳データに電話番号が登録されている場合は､シークレットモード中だけ有効です。

- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、ショートメッセージ（SMS）を自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。SMS問合せを行ってください。
- 途中で受信に失敗した場合などにショートメッセージ（SMS）を受信し直すには、SMS問合せを行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの既読への変更、未読メールの内容表示（→P289）、不要メールの削除（→P299）、保護解除（→P297）などを行う必要があります。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P297
  - 未読メールと保護されているメールが満杯で上書きできないときは、ショートメッセージ（SMS）の受信は中止され、画面にはや のマークが表示されます。→P27
  - FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が最大件数（20件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、ショートメッセージ（SMS）を受信できないことがあります。このとき、画面にはや のマークが表示されます（→P27）。FOMA端末に移動するか、FOMAカードのショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P323、P326
- 他社携帯電話から、受信したショートメッセージ（SMS）が直接FOMAカードへの保存を指定している場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内の送受信したショートメッセージ（SMS）が20件に達している場合は、ショートメッセージ（SMS）を受信できません。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してから再度、SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

メール

圏外にいた間や電源を切っていた間にショートメッセージ（SMS）が届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはSMS 問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で 6 2 を押す

ショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）が保管されていれば受信します。

お知らせ

- SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMS設定

ショートメッセージ（SMS）の設定を行う

お買い上げ時	送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日 SMSC：ドコモ　Type of Number：international

ショートメッセージ（SMS）を利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で 7 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。→P258

送達通知：ショートメッセージ（SMS）を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：送信したショートメッセージ（SMS）を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間を選択します。

SMSC：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。

Type of Number
：「international」「unknown」のいずれかを設定します。

3 を押す

お知らせ

- メッセージ作成画面から操作する場合はを押し、「SMS設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定できます。また、メッセージ作成画面のサブメニューから設定した場合は、作成中のショートメッセージ（SMS）にだけ有効です。
- ショートメッセージ（SMS）一括拒否／非通知ショートメッセージ（SMS）拒否を設定することができます。→P253

FOMAカード保存SMS

ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存する

送受信したショートメッセージ（SMS）を、FOMA端末本体から移動またはコピーしてFOMAカードに保存します。

メール

ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに移動／コピーする

FOMA端末に保存されているショートメッセージ（SMS）を、FOMAカードに移動またはコピーします。

- FOMAカードには、送受信したショートメッセージ（SMS）を合わせて最大20件保存できます。
- 送達通知の件数は保存可能件数の20件には含まれません。
- 未送信メールのショートメッセージ（SMS）は、FOMAカードに保存できません。
- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに1件移動するとき

1 待受画面で 1 を押し、フォルダを選択する

- 送信ショートメッセージ（SMS）→P289

2 移動するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて 4 2 1 を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択して移動するとき

① 4 2 2 を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する
- で選択／解除が切り替わり、で全選択／全解除できます。

② を押す

次ページへ続く

■ ショートメッセージ（SMS）を1件コピーするとき

コピーするショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて[MENU][4][3][1]を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択してコピーするとき

① [MENU][4][3][2]を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する

・[ ]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。

② [ボタン]を押す

3 「はい」を選択する

お知らせ

・受信メール詳細表示画面、送信メール詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。

・FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。→P326

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表示する

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）を表示するとき

1 待受画面で[✉][7][2]を押す

FOMA受信SMS一覧画面では、ショートメッセージ（SMS）は2行で表示されます。1行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2行目には本文の先頭または「SMS送達通知」が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

[マーク]：未読（返信可）　[マーク]：未読（返信不可）
なし：既読（返信可）　[マーク]：既読（返信不可）
[マーク]：送達通知

・一覧の既読／未読のマークは、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。

・送信ショートメッセージ（SMS）を表示するときは[✉][7][3]を押します。

2 ショートメッセージ（SMS）を選択する

FOMAカード内の受信SMS詳細表示画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①マーク

[マーク]：受信（返信可）　[マーク]：既読（返信不可）
[マーク]：送信　[マーク]：送達通知
[マーク]：FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）

②マーク

[マーク]：日時　[マーク]：発信元または宛先
[マーク]：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」

・送達通知の詳細表示画面には、宛先が表示されます。発信元は「SMS Center」と表示されます。

・送信ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信ショートメッセージ（SMS）から送信日時のデータが消去されます。

お知らせ

- FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）からも、受信ショートメッセージ（SMS）の返信／転送、送信ショートメッセージ（SMS）の再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信ショートメッセージ（SMS）、送信ショートメッセージ（SMS）と同じです。
- FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）から返信／転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA端末の送信メールに保存されます。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に、FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）、送信ショートメッセージ（SMS）を表示するには、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）をFOMA端末に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているショートメッセージ（SMS）を、FOMA端末の「受信メール」、「送信メール」に移動またはコピーします。

- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信ショートメッセージ（SMS）をFOMA端末に1件移動するとき

1 待受画面で ✉ 7 2 を押す

■ 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーするとき

✉ 7 3 を押す

2 移動するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて MENU 3 1 を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択して移動するとき

① MENU 3 2 を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する
- ● で選択／解除が切り替わり、MENU で全選択／全解除できます。

② 📖 を押す

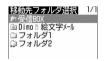
■ ショートメッセージ（SMS）を1件コピーするとき

コピーするショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて MENU 3 3 を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択してコピーするとき

① MENU 3 4 を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する
- ● で選択／解除が切り替わり、MENU で全選択／全解除できます。

② 📖 を押す

3 ● を押す

4 移動先フォルダを選択し、「はい」を選択する

メール

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードのショートメッセージ（SMS）の詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「移動／コピー」→「本体メモリへ移動」「本体メモリへコピー」「送信者コピー」または「本文コピー」を選択します。
- 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないショートメッセージ（SMS）やｉモードメールがあっても上書きされません。

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を削除する

ショートメッセージ（SMS）を1件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除します。

- 送信ショートメッセージ（SMS）を削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

〈例〉FOMAカード内の受信ショートメッセージ（SMS）を1件削除するとき

1 待受画面で[メール][7][2]を押す

■ **送信ショートメッセージ（SMS）を削除するとき**
[メール][7][3]を押す

2 削除するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて[MENU][2][1]を押す

■ **ショートメッセージ（SMS）を複数選択して削除するとき**
① [MENU][2][2]を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する
- [ ]で選択／解除が切り替わり、[MENU]で全選択／全解除できます。

② [iアプリ]を押す

■ **ショートメッセージ（SMS）を全件削除するとき**
① [MENU][2][3]を押す
② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

■ **送達通知を全件削除するとき**
① [MENU][2][4]を押す
② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

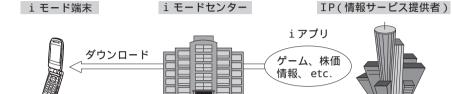
お知らせ

- ショートメッセージ（SMS）の詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択します。

メール

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のｉアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得など「マイピクチャ」と連動できるｉアプリもあります。

・ソフトをダウンロードする→P330
・ｉアプリを自動起動する→P344
・ソフトを起動する→P332

お知らせ

・ソフトによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
・ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P335

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・マイピクチャからの画像取得
・マイピクチャへの画像保存
・ｉモーションへの動画保存

お知らせ

・ｉアプリにより画像・動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「▯モード」、「デコメールピクチャ」、ｉモーションの「▯モード」フォルダに保存されます。
・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトによっては利用できない場合があります。

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- マイピクチャからの画像取得
- マイピクチャへの画像保存
- ｉモーションへの動画保存
- メロディへの着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

お知らせ

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトによっては利用できない場合があります。
- ｉアプリDXにより画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャ・ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P49

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

メール連動型ｉアプリの注意点

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、メール連動型ｉアプリのメールフォルダが5個ある場合はソフトをダウンロードできません。その場合は、メール連動型ｉアプリのメールフォルダを削除してからダウンロードしてください。→P295
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にソフト一覧にある場合はダウンロードできません。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉアプリの再ダウンロード、バージョンアップに制限があります。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合は、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が付き、変更できません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときに、既にそのソフトに対応したメールを受信している場合は、自動的に作成されたフォルダにそのメールを振り分けることができます。→P331
- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリとは

ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを用いて、ＩＣカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴をFOMA端末上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにＩＣカード内の情報が送信されます。
- ＦｅｌｉＣａとは→P362

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P346

・ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P344

■ カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P353

・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P353

・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P432

・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

ソフトをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

● FOMA端末には最大100件のソフトを保存できます。
● 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ソフトが新しくなった場合はバージョンアップできます。
● 電波状況などによりソフトのダウンロードに失敗した場合、そのソフトはFOMA端末に保存されません。

1 ダウンロードしたいソフトのあるサイトを表示し、ソフトを選択する

選択したソフトがダウンロードされます。

・ダウンロードを中止するには[ボタン]を押してから、「はい」を選択します。

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき

ソフトの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ソフトがダウンロードされます。

・[ボタン]を押すと、ダウンロードするソフトの詳細情報を確認できます。

■ 選択したソフトが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたソフトが上書きされます。

■ 選択したソフトが既にダウンロードされているとき

「ダウンロード済みです」というメッセージが表示されます。ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとソフトがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ 登録データや携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号を利用するソフトをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとソフトがダウンロードされます。

・ を押すと、そのソフトが利用するデータの詳細を確認できます。ただし、ソフトによっては確認できません。

2 ソフトを保存するフォルダを選択する

3 ダウンロードしたソフトの動作を設定して を押す

アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に対応しているソフトをｉアプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。

通信設定：ソフトに通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：ソフトにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

・ソフトによっては設定できない項目があったり、動作の設定画面が表示されないことがあります。

4 「はい」を選択する

ダウンロードしたソフトが起動します。

・「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。

お知らせ

・プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にソフトをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

・ソフトの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末に保存されているソフトを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したソフトは元に戻りません。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定されます。

次ページへ続く

お知らせ

- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。
  ただし、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉアプリを再ダウンロードやバージョンアップができません。
  再ダウンロードやバージョンアップなどの操作を行う場合は、プライバシーモードを解除してから行ってください。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが既に FOMA 端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けることはできません。

ダウンロード時にソフトの情報を見る＜ソフト情報表示設定＞

お買い上げ時	OFF

ソフトをダウンロードするときに、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

1 **待受画面で MENU 3 2 3 を押す**

2 **1 を押す**

■ ソフト情報を表示しないとき
2 を押す

ソフトを起動する

1 **待受画面で iα を1秒以上押す**

■ ツータッチｉアプリのみ表示するとき
待受画面で MENU 3 2 6 を押す
ツータッチｉアプリ一覧が表示されます。操作3に進みます。

■ ＩＣカードソフト（Ｆｅｌｉｃａ対応ｉアプリ）のみ表示するとき
待受画面で MENU 6 7 を押す
ＩＣカードソフト一覧が表示されます。操作3に進みます。

2 **フォルダを選択する**

アプリフォルダ一覧 1/1
フォルダ3
フォルダ2
フォルダ1
マイフォルダ

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ソフトなし
  ：ソフトあり

ｉアプリ

3 起動するソフトを選択する

・マークの意味は次のとおりです。
① ：通常のソフト　　 ：ｉアプリDXのソフト
 ：メール連動型ｉアプリのソフト
② ：ｉアプリ待受画面に設定できるソフト（背景色なし）
 ：ｉアプリ待受画面に設定中のソフト（背景色緑）
③ ：自動起動設定されているソフト
 ：ｉアプリ制御によって停止状態のソフト
④ 0 ～ 9 ：ツータッチ登録されているソフト
⑤ SSL ：ＳＳＬページからダウンロードしたソフト
 ：保護されているソフト
 ：ＳＳＬページからダウンロードした保護されているソフト
⑥ ：ワンタッチボタンに登録されているソフト
⑦ iC ：ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリのソフト
・ソフトによっては、マルチカーソルキーが４方向または８方向に有効になります。
・ソフトの起動を中止するには を押してから「終了する」を選択します。

■ 通信するソフトのとき
起動するソフトの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
・通信設定について→Ｐ３３５

ソフトを終了するには

ソフトごとに設定されている方法で終了してください。
・ を押してから「終了する」を選択してもソフトを終了できます。

お知らせ

- 次のような場合、起動中のソフトは中断されます。中断したソフトは自動的に再開されますが、ソフトによっては、中断したときの状態に戻る場合と戻らない場合があります。
  - 電話がかかってきたとき
  - スケジュールアラームや、アラーム設定の設定時刻になったとき
  - TASK を押して他の機能に切り替えたとき

  なお、通話中やアラーム中に TASK を押してｉアプリの画面に切り替えると、通話中やアラーム中のままｉアプリを再開できます。→P443
- 指定したソフトを起動するソフトを利用すると、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。ただし、起動するソフトが設定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが設定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
- 圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、ソフトによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
- マルチカーソルキーの有効方向はソフトによって異なります。
- プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にソフトを起動する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像や、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。

  ※：多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリ作成者の方へ

  ソフトを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。

  MENU 3 3 4 を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているソフトが保存されていないときは、トレース情報は表示できません。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、アイコン が点滅します。この場合通信料はかかりません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する<セキュリティエラー履歴>

ソフトが登録データなどを利用できないようなエラーが発生して終了したときに、ソフト名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最新の20件まで記録されます。

1 待受画面で MENU 3 3 3 を押す

■ 履歴を削除するとき

CLR を押して「はい」を選択する

履歴がすべて削除されます。

ソフトの詳細情報を表示する<ソフト詳細情報>

ソフトの名前やバージョンなど、ソフトの詳細情報を確認します。

1 待受画面で iα を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するソフトにカーソルを合わせて[key]を押す

3 詳細情報を確認する

・表示される項目はソフトによって異なります。

■ サイトの証明書を確認するとき

[key]を押す
SSLページからダウンロードしたソフトの場合のみ確認できます。

ソフトの動作条件を設定する＜ソフト情報設定＞

各ソフトごとに動作条件を設定します。
・ｉアプリ待受画面、ワンタッチボタンに設定できるソフトはそれぞれ１件のみです。

1 待受画面で[key]を１秒以上押し、フォルダを選択する

2 設定するソフトにカーソルを合わせて[MENU][7]を押す

3 各項目を選択して設定する

ｉアプリ待受画面：ｉ アプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定するかしないかを設定します。

ｉアプリ待受画面通信設定
：ｉアプリ待受画面起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

通信設定：ソフト起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：ソフトがメール、メッセージ R/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ワンタッチボタン：ソフトをワンタッチボタンに登録するかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからソフトを起動させる（ｉアプリ To）かどうかを設定します。

メールからの起動：メールからソフトを起動させる（ｉアプリ To）かどうかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からソフトを起動させる（ｉアプリ To）かどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※
：ソフトが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。
・「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更されます。

変更ごとに確認画面を※
：ソフトが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※
：ソフトが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。
・「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照されます。

※：ｉアプリ DX のみ設定できます。
・ソフトが対応していない項目は選択できません。

次ページへ続く

4 [key] を押す

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、現在の待受画面の設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- ネットワークに接続して通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、ソフトによっては自動的に通信を行う場合があります。
- 本機能の設定によっては、ネットワークへの接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。
- ネットワークに接続したときは通信料がかかります。通信を許可する設定にするとソフトが自動的に接続しますのでご注意ください。
- 通信設定を「許可しない」に設定した場合は、ソフトが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのソフトによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面のアイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージ R/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉアプリ待受画面に設定しても、ｉアプリ待受画面が起動しません。

ソフト起動中の照明とバイブレータの動作を設定する<照明設定・バイブレータ設定>

照明動作を設定する

お買い上げ時	端末設定に従う

1 待受画面で [MENU] [3] [2] [4] を押す

2 [1] または [2] を押す

照明設定
1 端末設定に従う
2 ソフトに従う

ソフト起動中の照明動作が設定されます。

端末設定に従う：FOMA 端末の照明設定に従って照明が点灯します。

ソフトに従う　：照明の点灯をソフトが制御します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明動作はFOMA端末の照明設定に従います。

バイブレータを設定する

お買い上げ時	ON

1 待受画面で [MENU] [3] [2] [5] を押す

2 [1] を押す

ソフト起動中のバイブレータ動作をソフトが制御します。

■ ソフトによってバイブレータを動作させないとき

[2] を押す

プリインストールソフトを使う

お買い上げ時には次のソフトが内蔵されています。

ゲームソフト	・RIDGE RACER FOR F　・スーパーパズルボブル F ・スペースインベーダー 3D サラウンド F ・3D サウンドシミュレーター　・フリーセル
その他のソフト	・Dimo 絵文字メール　・G ガイド番組表リモコン　・電子マネー「Edy」

一覧から選択すると各ソフトが起動します。→P332

・Dimo 絵文字メール、フリーセルは i アプリ待受画面に設定できます。→P335

・ソフトを削除した場合は、「@F ケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。

アクセス方法（2004年12月現在）

Menu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @F ケータイ応援団

※：右の QR コードをバーコードリーダーで読み取ると、@ F ケータイ応援団のサイトに接続できます。

注：アクセス方法は予告なしに変更されることがあります。

サイトアクセス用
QR コード

RIDGE RACER FOR F

美しい 3D グラフィックと迫力の 3D サウンドが演出する、スピード感あふれる究極のレーシングゲームです。制限時間内に決められた周回数を走破するとコースクリアとなります。

車種やコースなどの選択のしかた

タイトル画面で を押すと、車種やコースなどの選択画面が表示されます。

レースを始める前に使用する車の種類やコース、キー操作などを選択します。 を押すと設定項目を選択できます。黄色の項目が現在設定できる項目です。 を押すと設定内容を選択できます。設定終了後 を押すと、ゲームがスタートします。

MY CAR　：使用する車を選択します。現在選択している車のグラフィックと性能が画面の下部に表示されます。ライバルカーに勝利すると選択できる車種が増えます。

MISSION　：シフトチェンジをオートマチックまたはマニュアルに設定します。

COURSE　：走行するコースを Novice（初級）、Intermediate（中級）、Advanced（上級）、Time Trial（タイムトライアル）から選択します。Time Trial（タイムトライアル）では制限時間はなく、ライバルカーとの勝負になります。

CONTROL：操作キーの設定を 4 種類から選択します。各設定は次のようになります。

操作 ＼ 種類	ハンドル	アクセル	ブレーキ	シフトアップ※	シフトダウン※
TYPE A	／	自動	／5／#	1／2／6	4／8／9
TYPE B		／2／5／8	0	3／6／9	1／4／7／#
TYPE C		／5／#	0	／1／2／6	／4／8／9
TYPE D		／／5／#	／0	1／2／6	4／8／9

※：シフトアップ、シフトダウンの操作は、シフトチェンジをマニュアルに設定したときのみ有効です。

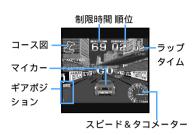
BGM　：音楽の ON ／ OFF を選択します。

SOUND　：サウンドの ON ／ OFF を選択します。

VIBRATION：FOMA 端末の振動の ON ／ OFF を選択します。

次ページへ続く

遊びかた

ライバルカーと競いながらコースに沿ってハンドルを切り、カーブの角度によってブレーキやアクセルを使い分けて、制限時間内に決められた周回数を走破してください。ライバルカーに勝つとウィニングランとなり、ラップタイムとトータルタイムが表示されたまま同じコースを周回します。制限時間内にコースを周回できないとゲームオーバーとなります。

：サウンドのON／OFF切り替え

：一時停止／再開

一時停止中は、次のメニューを選択できます。

PLAY　　：ゲーム再開

RESTART：ゲームを最初からスタート

EXIT　　：ゲームを終了し、タイトル画面に戻る

：ドライバーズビュー（運転席から見た視点）／ビハインドビュー（マイカーの後方から見た視点）切り替え

※マイカーの操作方法については、「CONTROL」を参照してください。→P337

※タイトル画面で を押すと、レコード（成績）を表示できます。

スーパーパズルボブル F

画面に配置されているバブルに向かって方向舵からバブルを打ち出し、同じ色のバブルを3つ以上並べてバブルを消していくゲームです。

メニューについて

タイトル画面で または を押すと、メニュー画面が表示されます。

ぱずるも～ど　：フィールド内のバブルをすべて消すと、ラウンドクリアとなるモードです。ステージはA～Jの10ステージあり、各ステージごとに5ラウンド用意されています。
「ぱずるも～ど」を選択すると、ステージの選択画面が表示されます。 を押してバブルンを移動させ、 を押してステージを決定してください。5ラウンドクリアすると、次のステージを選択できるようになります。また、一度クリアしたステージは、次回から飛ばすことができます。

たいせんも～ど：コンピュータとの対戦モードです。バブルがラインを超えた方が負けとなります。先に2勝するとゲーム勝利となり、5つのキャラクタにすべて勝利するとゲームクリアとなります。
「たいせんも～ど」を選択すると、難易度の選択画面が表示されます。バブルンを移動させて難易度を決定してください。

へるぷ　：次の操作ができます。

操作説明　：ゲームの操作方法を表示します。

ゲーム説明：モードの内容やバブルの種類などの説明を表示します。

背景変更　：ゲーム画面の背景をマイピクチャから選択できます。

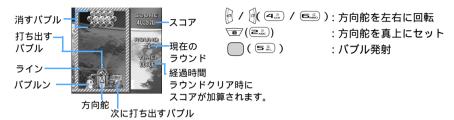
背景を戻す：ゲーム画面の背景をお買い上げ時の設定に戻します。

はいすこあ：「ぱずるも～ど」と「たいせんも～ど」のハイスコアと最大ちぎり数を表示します。

遊びかた

ぱずるも〜ど　：方向舵を操作してバブルを打ち出します。同じ色のバブルが3つ以上並ぶとバブルが消えます。すべてのバブルを消すとラウンドクリアとなります。ゲーム中は一定の間隔でバブルが1段下がります。バブルが画面下側のラインを超えるとゲームオーバーです。

たいせんも〜ど　：自分のフィールドのバブルを消すと、消したバブルの量に応じて送りバブルが相手のフィールドに送られて、相手のフィールドをあふれさせます。また、バブルを消すごとに、1段下がる間隔が短くなります。バブルがあふれて、フィールド内のラインを超えた方が負けです。

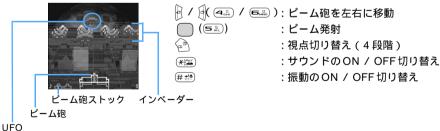
※操作方法は「ぱずるも〜ど」も「たいせんも〜ど」も同じです。

※モードの内容やバブルの種類などの詳細については、ヘルプの「ゲーム説明」をご覧ください。

スペースインベーダー3Dサラウンド F

ビーム砲を左右に操り、侵略してくるインベーダーを撃ち倒すシューティングゲームです。

遊びかた

タイトル画面で または を押すと、ゲームがスタートします。
インベーダーの攻撃を避けながら、ビーム砲でインベーダーを撃ち倒してください。インベーダーを全滅させるとゲームクリアです。ビーム砲のストックがなくなったり、侵略されたりするとゲームオーバーです。
※タイトル画面で を押すと、遊びかたや操作方法を確認できます。

iアプリ

３Ｄサウンドシミュレーター

3Dで表現された庭を歩き回りながら、仔犬や小鳥などの動物の鳴き声や、家から流れてくるピアノの音色など、音があらゆる方向から立体的に聞こえてくるような感覚を体感できるゲームです。

遊びかた

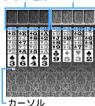
タイトル画面で「はじめる」を選択するとゲームがスタートします。
画面はプレイヤーの視点で表示されます。庭の中には家や犬小屋、樹木などが配置されています。音を聞きたい物の前まで移動すると、さまざまな音が聞こえてきます。プレイヤーの視点を変えると、音の聞こえる方向も変わります。庭の中を自由に動き回っていろいろな方向から聞こえる音を体感してください。
※タイトル画面で「あそびかた」を選択すると、遊びかたや操作方法を確認できます。
※ゲームを終了するには、[MENU]を押して「はい」を選択します。

[カメラ]（[2]）：前進
[i]（[8]）：後退
[左]（[4]）：左を向く
[右]（[6]）：右を向く
[クリア]：サウンドのON／OFF切り替え
[#]：振動のON／OFF切り替え

フリーセル

52枚のカードをカーソルで選択して移動させながら、数の小さい順に並べ直す手軽なカードゲームです。

遊びかた

タイトル画面で[決定]を押すと、ゲームがスタートします。
52枚のカードをマークごとに数の小さいカードからホームセルに移動させます。フリーセルには、ホームセルにカードを移動する際に妨げとなっているカードを、一時的に4枚まで置くことができます。途中で手詰まりするとゲームオーバーです。

[カメラ][i][左][右]：カーソルを上下左右に移動
[決定]：カードの選択・移動
カードにカーソルを合わせて2回押すと、カードが自動的にフリーセルへ移動します。
[クリア]：カードの選択解除／タイトル画面の表示

メニューについて

タイトル画面やゲーム画面で（MENU）を押すと、メニューを選択できます。

やり直し　：プレイ中のステージを最初からやり直します。
パス　：プレイ中のステージを中止し、別のステージに移ります。ステージはランダムで自動選択されます。
ステージ選択　：ステージ一覧画面が表示され、各ステージのクリア状況を確認できます。クリア済みがピンク、未クリアが青になります。他のステージを選択するときは、画面右側のステージ移動矢印にカーソルを合わせて（ ）を押します。
省電力モード設定：省電力モードが動作するまでの時間を「15秒」「1分」「5分」から設定します。

・タイトル画面からメニューを表示した場合は、「省電力モード設定」のみ設定できます。

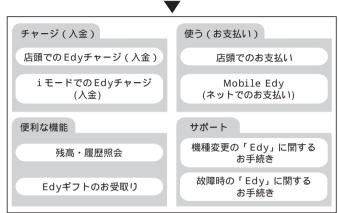
Gガイド番組表リモコン

※画像はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®を知ることができます。好きな番組をお気に入りに登録するとスケジュール帳に登録され、番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索をすることが可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。

・ご利用には別途パケット通信料がかかります。
・詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

電子マネー「Edy」

電子マネー「Edy」とは、タッチするだけで支払いができる、簡単・便利なプリペイド型の電子マネーサービスです。
電子マネー「Edy」はビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には注意事項・利用約款などをご確認の上、初期設定を実行してください。

※：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」の詳しいサービス内容やご利用可能店舗、およびFOMAの機種変更・故障・紛失時などに発生する電子マネー「Edy」に関する諸手続きにつきましては、インターネットホームページおよびｉモードサイトをご覧いただくか、Edy救急ダイヤルまでご連絡ください。

- 本サービスについてのお問い合わせ：ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ｉモードサイト　：http://imode.edy.jp
  ホームページ　　：http://www.edy.jp
- Edyに関する諸手続きでお困りの場合：
  Edy救急ダイヤル　0570-081999（受付時間：全日9:00 〜 21:00）
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

- 電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能の使用時など、ｉモード通信を利用する際はパケット通信料がかかります。
- ソフト情報設定の通信設定を「通信しない」に設定している場合やセルフモード設定中は、ｉモード通信を行えないため、電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能を使用することができませんのでご注意ください。
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際は、Edyセンターからの決済開始メールを受信する必要があります。ドメイン指定受信を設定している場合は、ドメインに「@bitwallet.co.jp」を登録してください。
- 機種変更しても、変更前に使用されていたEdy対応携帯電話は、Edyカードとしてご利用いただけます。廃棄する際にはご注意ください。

Dimo絵文字メール

メール内の絵文字に対応して、キャラクタたちが愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタたちが電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。
・詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ワンタッチボタン

ワンタッチでソフトを起動する

簡単な操作でソフトを起動します。

● ワンタッチボタンを利用するには、あらかじめワンタッチボタンにソフトを登録しておく必要があります。→P335

1 待受画面で を1秒以上押す

ワンタッチボタンに登録しているソフトが起動します。

お知らせ

・ワンタッチボタンにどのソフトが登録されているかを確認することができます。→P352

ツータッチｉアプリ

ツータッチでソフトを起動する

ソフトをツータッチ登録しておくと、ソフトの一覧を表示させることなく、待受画面からすばやく起動できます。

ツータッチ登録をする

・ツータッチｉアプリに登録できるソフトは最大10件です。

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 登録するソフトにカーソルを合わせて を押す

■ ツータッチ登録を解除するとき

解除するソフトにカーソルを合わせて を押す

3 登録先を選択する

・番号0～9は、ソフトを起動するときに使用するダイヤルキー ～ に対応しています。

ツータッチでソフトを起動する

1 待受画面でダイヤルキー（0〜9）を押し、iαを1秒以上押す

ダイヤルキーに登録されているソフトが起動します。

ソフトを自動起動する

ソフトごとに自動起動の条件を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。

● ソフトを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。→P49

自動起動するかどうかを設定する＜自動起動設定＞

お買い上げ時	ON

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのソフトの自動起動を一括して設定します。

1 待受画面でMENU 3 2 2を押す

2 1または2を押す

・「ON」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのソフトの自動起動が有効になります。

自動起動の日時を設定する＜自動起動情報登録＞

個々のソフトごとに起動日時や起動方法などの条件を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

・設定できる条件は、ソフトによって異なります。

・ソフトによっては自動起動できないものがあります。

・自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 待受画面でiαを1秒以上押し、フォルダを選択する

2 条件を設定するソフトにカーソルを合わせてMENU 6を押す

3 各項目を選択して設定する

ユーザ設定：自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。
・「OFF」に設定すると、他の項目を設定できません。

時刻：自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
・「1回のみ」に設定した場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
・「毎日」に設定すると、時刻欄で設定した時刻にソフトが自動起動します。
・「毎週」に設定した場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1〜4
：ｉアプリDXによっては、起動中に自動起動の条件を最大4つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4 [key]を押す

お知らせ

・自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ソフトは起動しません。また、次のうち、※印以外の理由でソフトが起動しなかったときは、待受画面に[icon]が表示され、ソフト名・日時・起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。→P345
- FOMA端末の電源が入っていない場合※
- FOMAカード動作制限中
- FOMAカードを認識できない場合
- 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※
- 自動起動の間隔が短すぎたとき
- 通話中、通信中
- 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
- 他の機能が動作中（マイピクチャの一覧表示中とフレーム合成中、ｉモーションの一覧表示中と再生・編集中、およびメロディの一覧表示中と再生中を除く）
- オールロック、PIMロック中
- プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）
- スケジュールアラーム中や、アラーム設定の設定時刻になったとき（自動起動と同一時刻の場合も含む）
- ｉアプリ制御によってソフトの使用を停止されているとき

・自動起動設定によって複数のソフトを同時刻に起動するように設定した場合、起動できなかったソフトの起動失敗履歴が記録されますが、待受画面に[icon]は表示されません。
・FOMA端末の日付時刻よりも前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する<起動失敗履歴>

ソフトの自動起動に失敗したときに、ソフト名・日時・起動失敗理由が記録されます。
・起動失敗履歴は最新の20件まで記録されます。
・起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の[icon]が消えます。

1 待受画面で[MENU][3][3][1]を押す

■ 履歴を削除するとき
[key]を押して「はい」を選択する
履歴がすべて削除されます。

ｉアプリTo

サイトやメールからソフトを起動する

サイトやｉモードメールのソフトを起動できるリンク項目を選択したときや、ＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしたときに、ソフトが起動します（ｉアプリTo）。

● 起動するソフトはあらかじめ FOMA 端末に保存されている必要があります。ただし、サイトからダウンロードしたソフトによっては、FOMA 端末に保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。

1 サイトやｉモードメールのソフトを起動できるリンク項目を選択する

2 「はい」を選択する

サイト接続が終了し、ソフトが起動します。

お知らせ

・外部機器から赤外線通信でソフトを起動することもできます。
・ソフトによっては、サイトからダウンロード後すぐに起動するものがあります。このときソフトは、FOMA 端末に保存されてはいません。また、FOMA 端末に保存できないソフトもあります。
・サイトからダウンロード後すぐに起動するソフトは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
・起動するソフトをｉアプリ To で起動しないように設定している場合は、メッセージが表示されソフトを起動できません。→P335
・該当するソフトが FOMA 端末に保存されていない場合は、「指定されたソフトがありません」というメッセージが表示されます。

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフトを待受画面に設定し、待受画面からソフトを起動して操作します。ｉアプリ待受画面を設定しているときは、画面上部に（αがグレー）または（dxがグレー）が表示されます。

● ｉアプリ待受画面を利用するには、あらかじめソフトを待受画面に設定しておく必要があります。→P335
● ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは1件です。
● ソフトによってはｉアプリ待受画面に設定できないものがあります。
● ｉアプリ待受画面からサイトに接続（Web To）することはできません。
● プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）、ｉアプリ待受画面は動作しません。

ｉアプリ待受画面のソフトを起動する

ｉアプリ待受画面に設定しているソフトを操作するには、待受画面からソフトの画面に切り替えます。

1 ｉアプリ待受画面で（クリア）を押す

ソフトの画面に切り替わり、画面上部の（αがオレンジ）または（dxがオレンジ）が点滅します。

2 ソフトを操作する

・ソフトの画面を終了して待受画面に戻る方法は、ソフトによって異なります。再度（クリア）を押すと、終了して待受画面に戻るソフトもあります。

お知らせ

・ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何もせずに約5秒たつと、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。ただし、自動電源ONによって電源が入った場合は、確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
・ｉアプリ待受画面の通信中に（電源）を押すと、ｉアプリ待受画面の通信が切断されます。
・通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
・ｉアプリ待受画面を設定中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
・ｉアプリ待受画面に設定されているソフトがｉアプリ制御によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
・ｉアプリ待受画面の起動中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ソフト名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

1 ｉアプリ待受画面で（クリア）（電源）を押す

2 「解除する」を選択する

ｉアプリ待受画面が解除され、画面上部の、が消えます。

■ ソフトを終了してｉアプリ待受画面に戻るとき

「終了する」を選択する

画面上部のマークがから、またはからに変わります。

お知らせ

・ソフト一覧から操作する場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているソフトにカーソルを合わせて（MENU）を押し、「ｉアプリ待受画面」を選択します。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する<異常終了履歴>

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ソフト名と日時が記録されます。
・異常終了履歴は最新の20件まで記録されます。

1 待受画面で MENU 3 3 2 を押す

■ 履歴を削除するとき
を押して「はい」を選択する
履歴がすべて削除されます。

ソフトを管理する

FOMA端末には、ソフトのバージョンアップやフォルダの作成、不要なソフトの削除など、ソフトをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

ソフトをバージョンアップする<バージョンアップ>

新しいバージョンのソフトがサイトにある場合、ソフトをバージョンアップすることができます。
・ｉアプリ制御によって使用を停止されているソフトはバージョンアップできません。

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 バージョンアップするソフトにカーソルを合わせて MENU 5 を押し、「はい」を選択する

ソフトのバージョンアップが開始されます。
・以降の操作はソフトのダウンロードと同じです（→P330）。バージョンアップが完了すると、バージョンアップを行ったソフトは新しいソフトに置き換えられます。

お知らせ
・バージョンアップによって、ソフトが記録しているデータ（ゲームスコアなど）が消去されることがあります。
・ソフトによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからソフトが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップすることができます。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してカテゴリごとにソフトを整理します。また、フォルダの並び順を変えたり、不要なフォルダを削除することもできます。

フォルダを作成する

・フォルダは最大20個作成できます。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 MENU 4 を押す

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて MENU 1 を押す

■ フォルダの並び順を変更するとき

順番を変更するフォルダにカーソルを合わせて MENU を押し、5 または 6 を押す

選択したフォルダの並び順が１つ上または下に変わります。

3 フォルダ名を入力して を押す

・全角で最大８文字、半角で最大１６文字入力できます。

フォルダを削除する

・ソフトが保存されたままのフォルダを削除すると、ソフトもすべて削除されます。ただし、保護されているソフトがある場合は、フォルダを削除できません。

1 待受画面で i を１秒以上押す

2 削除するフォルダにカーソルを合わせて MENU 2 1 を押す

・フォルダ内にソフトが保存されたままの場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択する

・削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれる場合は､自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

・削除するフォルダに、ＩＣカード内のデータを削除しないと削除できないＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のソフトを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

・ソフトのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。→Ｐ289

・削除対象のメール連動型ｉアプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ソフトを削除できないことがあります。

ソフトを保護する

ソフトを保護すると、誤って削除してしまうことを防ぎます。

・ソフトは最大100件保護できます。

1 待受画面で i を１秒以上押し、フォルダを選択する

2 保護するソフトにカーソルを合わせて MENU 3 1 を押す

保護したソフトにはソフト一覧画面で または が表示されます。

・マークの意味→Ｐ333

■ ソフトを解除するとき

解除するソフトにカーソルを合わせて MENU 3 1 を押す

■ ソフトを複数保護／解除するとき

①MENU 3 2 を押す

②保護／解除するソフトを選択する

・MENU を押すと全選択／全解除できます。

③ を押す

■ フォルダ内のすべてのソフトを保護／解除するとき

①MENU 3 3 を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

お知らせ

・データ一括削除を行うと、保護されているソフトもすべて削除されます。→P478

・MENU 6 7 を押してＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリのみを一覧表示したときは、複数保護／解除できません。

ソフトを削除する

ソフトを１件ずつ削除したり、フォルダ内のすべてのソフトをまとめて削除したりします。

・ソフトによっては、ＩＣカード内のデータも削除されます。

・ソフトによっては、ソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。

・ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

1 **待受画面で を１秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **削除するソフトにカーソルを合わせて MENU 2 1 を押す**

■ ソフトを複数削除するとき

①MENU 2 2 を押す

②削除するソフトを選択する

・MENU を押すと全選択／全解除できます。

③ を押す

■ フォルダ内のすべてのソフトを削除するとき

①MENU 2 3 を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

③「すべて削除」または「保護以外削除」を選択する

フォルダ内のすべてのソフトまたは保護されていないすべてのソフトが削除されます。

3 **「はい」を選択する**

・メール連動型ｉアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

・「複数削除」または「全件削除」するソフトに、ＩＣカード内のデータを削除しないと削除できないＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のソフトを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のソフトを全件削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせて MENU を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- ソフトのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。→P289
- 保護されているソフトは「1件削除」または「複数削除」で削除できません。保護されているソフトを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「すべて削除」を選択してください。
- お買い上げ時に登録されているソフトを削除してしまった場合でも、「＠Ｆケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337

ソフトを他のフォルダに移動する

1 **待受画面で iα を1秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **移動するソフトにカーソルを合わせて MENU 4 1 を押す**

■ ソフトを複数移動するとき

①MENU 4 2 を押す

②移動するソフトを選択する

- MENU を押すと全選択／全解除できます。

③ 📖 を押す

■ フォルダ内のすべてのソフトを移動するとき

MENU 4 3 を押す

3 **移動先のフォルダを選択し、「はい」を選択する**

お知らせ

- MENU 6 7 を押してＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリのみを一覧表示したときは、ソフトを他のフォルダに移動することはできません。

ソフトを並べ替える<ソフトの並べ替え>

お買い上げ時	ダウンロード日時順

ソフト一覧のソフトの並び順を変更します。

1 **待受画面で MENU 3 2 1 を押す**

ｉアプリ

2 1 ～ 5 を押す

お知らせ

- ダウンロード日時および使用日時は、FOMA端末の日付・時刻で設定されている日時で記録されます。
- 名前順で並べ替えた場合、ソフト名に全角／半角の文字や英字が混在していると、五十音順と一致しないことがあります。
- 使用回数はソフトをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- ソフトのサイズ順を選択すると、ソフトのファイルサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

フォルダ内のソフトの件数を確認する<フォルダ内ソフト件数>

フォルダ内に保存されているソフトの件数を、ソフトの種類ごとに確認します。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 ソフトの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて を押す

3 ソフトの件数を確認する

フォルダ内ソフト件数
マイフォルダ
5 件
0 件
2 件
1 件

・マークの意味は次のとおりです。
：通常のソフト
：ｉアプリDXのソフト
：メール連動型ｉアプリのソフト
：ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリのソフト

ソフトの設定状況を確認する<ソフト情報表示>

ソフトの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面などの設定状況を確認します。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 を押す

3 ソフトの設定状況を確認する

ソフト保存領域：保存されているソフトの総容量がバーと数値で表示されます。
ソフト保存件数：保存されているソフトの総件数が表示されます。
アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に設定しているソフトの名前と保存先のフォルダが表示されます。
ワンタッチボタン：ワンタッチボタンに設定しているソフトの名前と保存先のフォルダが表示されます。
自動起動：次回の自動起動に設定しているソフトの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

ソフトからさまざまな機能を利用する

ソフトによっては、電話をかけたり、サイトに接続したりできるものがあります。また、カメラ撮影やバーコードリーダー、赤外線通信などの機能を利用することができます。

● それぞれ機能に対応したソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

電話をかける

1 カスタム発信の各項目を選んで発信条件を設定する

・カスタム発信の設定方法→P60

2 (MENU)を押して「はい」を選択する

設定した内容で電話番号に電話がかかります。電話をかけるとソフトは中断されます。

・ソフトによって操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

サイトに接続する

1 サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択する

ソフトが終了し、サイトが表示されます。

・ｉアプリ待受画面からサイトに接続することはできません。

・ソフトによって操作方法が異なったり、サイトに接続できないものがあります。

ソフトからカメラ機能を利用する

1 ソフトを操作してカメラ撮影を行う

・ソフトによっては、自動的にカメラが起動するものがあります。

お知らせ

・ソフトからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはｉモーションの「カメラ」フォルダには保存されず、「(i)モード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダ、またはソフト内に保存されます。また、撮影した画像はソフトから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。

バーコードリーダーを利用する

1 ソフトを操作してコードを読み取る

・読み取ったデータはソフトで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

ソフトから赤外線通信を利用する

・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ソフトを操作して赤外線通信を行う

・赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ソフトを起動することもできます。

・赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、それらの通信は強制的に切断されます。

ｉモーション

ｉモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音をFOMA端末に取り込み、再生したり、保存したりします。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

種類		説明
タイプ	再生動作	
標準タイプ（保存可※）	データを取り込みながら再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。取り込み完了後は、データを取り込んだ後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
	データを取り込んだ後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取り込んだ後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取り込みながら再生（最大２Ｍバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存することはできません。

※：標準タイプのｉモーションによっては、保存できないものもあります。

ｉモーションを取り込む

サイトからｉモーションを取り込み、再生・保存します。

1 取り込みたいｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択する

ｉモーションがFOMA端末に取り込まれます。ｉモーションの取り込みが完了すると、ｉモーション取り込み完了画面が表示されます。

・ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取り込みながら再生します。再生が終了するとｉモーションの取り込み完了画面が表示されますが、保存はできません。

・ｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのｉモーションを取り込もうとすると、ｉモーションタイプを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのｉモーションを取り込むことができます。

■ データを取り込みながら再生するｉモーションのとき

取り込みが開始されると、ｉモーションが取り込みながら再生されます。画面の下には受信済みのデータ量／全体のデータ量が表示されます。

・再生中は次の操作ができます。

[ボタン]：一時停止／再開（標準タイプのみ）
[キー][キー]（サイドキー［▲▼］）：音量調整
[キー]：中断（ストリーミングタイプ）
停止（標準タイプ）
（[ボタン]を押すと先頭から再生）
[MENU]：詳細情報の表示

・一時停止および停止した場合、再生は停止しますがデータの受信は継続します。
・中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。
・ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動的に再生されません。

■ データを取り込んだ後に再生するｉモーションのとき

ｉモーションの取り込み中は、画面の下に受信済みのデータ量／全体のデータ量が表示されます。取り込みが完了すると、ｉモーションが自動的に再生されます。

・再生中は次の操作ができます。

[ボタン]：一時停止／再開
[キー][キー]（サイドキー［▲▼］）：音量調整
[キー]：早送り再生
[キー]：停止（ｉモーションの取り込み完了画面が表示されます）
[MENU]：詳細情報の表示

・ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動的に再生されません。

2 「保存」を選択する

・ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

■ ｉモーションをもう一度再生するとき

「再生」を選択する

■ ｉモーションの詳細情報を表示するとき

「情報表示」を選択する

■ ｉモーションを保存しないとき

①**「戻る」を選択する**

・ストリーミングタイプのｉモーションの場合はサイト画面に戻ります。

②**「いいえ」を選択する**

サイト画面に戻ります。

次ページへ続く

3 表示名を入力して を押す

取り込んだｉモーションは、ｉモーションの「 モード」フォルダに保存されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- を押して、取り込んだｉモーションを待受画面や着信音、着信画像などに設定することができます。→P385

■ 取り込んだｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとリンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。
- Phone To（AV Phone To）の場合は、 を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録することができます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、表示名を入力して を押すと、ｉモーションが保存され、リンク先に接続します。
- 複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ 待受画面に設定するとき

MENU 1 を押して「はい」を選択する
- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。

■ 着モーションに設定するとき

MENU 2 を押して 1 ～ 6 を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① MENU 2 を押して 7 または 8 を押す
② メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する
③ 内容を確認して を押す
- 既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について→P117 登録内容を修正する 操作4

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

MENU 3 を押して 1 または 2 を押す
- 既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- 動画／iモーション設定の制限事項→P385

お知らせ

・ｉモーションには、再生回数制限や再生期限制限などの再生制限が設定されている場合があります。→P385
・ｉモーションを取り込みながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。このような場合でも、データを受信し始めると自動的に再生が再開されます。
・ｉモーションを取り込みながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データが正常に受信されていれば受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
・旧バージョンのｉモーションを取り込んだ場合は、文字化けすることがあります。
・ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
・ストリーミングタイプのｉモーションを取り込みながら再生しているときにFOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、アラームやスケジュールの設定時刻になった場合は、取り込みが中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを再生しているときにFOMA端末を折り畳むと、取り込みは継続されたまま、再生が停止されます。
・ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまで、FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

ｉモーション設定

ｉモーションの自動再生と取り込むタイプを設定する

お買い上げ時	自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

受信した標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取り込むｉモーションのタイプを設定したりします。

1　待受画面で [iα] [9] [3] を押す

2　各項目を選択して設定する

自動再生設定　：標準タイプのｉモーションを取り込み中、または取り込み完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。
・「自動再生しない」に設定しても、ｉモーション取り込み完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
・ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定内容に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定
：取り込むｉモーションのタイプを設定します。
・ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3　[✉] を押す

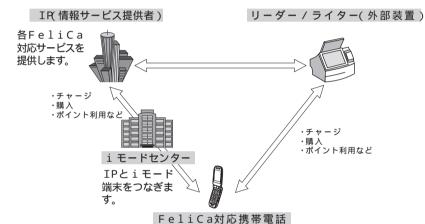
ｉモーション取り込み時の動作が設定されます。

お知らせ

・サイト画面から設定する場合は、[MENU] を押して「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

ＦｅｌｉＣａ

ＦｅｌｉＣａとは

ＦｅｌｉＣａとは、改札機やPOSレジなど、ＩＣカードの読み書きを行うリーダー／ライター（外部装置）にかざすだけでデータの読み書きができる非接触ＩＣカードの技術方式の１つです。
ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）がＦｅｌｉＣａに対応すると、ｉモード端末をリーダー／ライター（外部装置）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができるなど、財布の役割を果たすことができるようになります。ＦｅｌｉＣａによってｉモード端末が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来のＦｅｌｉＣａ対応の非接触ＩＣカードと比べ、サイトからｉモード端末のＩＣカードに電子マネーを入金したり、ｉモード端末上で残高や利用履歴を確認できたりと、ｉモード端末ならではの便利な機能があります。
ＦｅｌｉＣａに対応したこのような便利な機能をＩＣカード機能と呼びます。ＩＣカード機能を利用するには、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリをダウンロードしてください。

- 各ＦｅｌｉＣａ対応サービスの申し込み・利用方法については、それぞれのサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。また、各ＦｅｌｉＣａ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードの管理にはご注意ください。
- ご利用の各 ＦｅｌｉＣａ 対応サービスのサービス名や問い合わせ先などは、メモをとり保管してください。ｉモード端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、ＩＣカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。修理の場合、データは原則としてお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。万が一、ＩＣカード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ＩＣカード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各ＦｅｌｉＣａ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認ください。
- ドコモ窓口にて機種変更、および故障取替時に、ＩＣカード内のデータを新機種へコピーすることはできません。対応方法につきましては各ＦｅｌｉＣａ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリも通常のｉアプリと同じように、自動起動や削除、フォルダ管理などの操作を行うことができます。
- ｉモード端末の紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたＦｅｌｉＣａ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。ただし、ＩＣカード機能の制限を行うことはできませんのでご注意ください。

ＩＣカード機能の利用方法

次の手順でＩＣカード機能を利用できます。

ステップ１　ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリをダウンロードする→Ｐ330

・F901iCにはＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリとして、「電子マネー「Edy」」がプリインストールされています。
・ＩＣカードロック中はＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリをダウンロードできません。
・ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフトの保存領域に空きがあってもＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。このような場合は、画面の指示に従いＩＣカード内の保存領域が保存可能な空き領域が確保できるまでソフトを削除してから、再度ダウンロードしてください。ただし、ダウンロードするソフトの種類によっては、削除対象とならないソフトがあります。また、ソフトによっては、ソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。

ステップ２　ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う→Ｐ364

・ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴をｉモード端末で確認したりできます。

ステップ３　ＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざす

ｉモード端末のＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用することができます。この機能はＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動せずに利用することができます。

お知らせ

・FOMA端末のＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしてもＩＣカードが認識されない場合は、かざしかたを変えてみてください。
・通話中やｉモード接続中でもＩＣカード機能を利用できますが、ｉモード接続中にＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動することはできません。
・電源を切った状態でもＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしてＩＣカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラーム音が鳴った後で充電しなかった場合は、利用できなくなる場合があります。そのような場合は電池パックを充電してください。
また、電源を切った状態では、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータを読み書きすることはできません。
・ＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしたとき、ソフトが起動することがあります。ただし、起動対象のソフトがFOMA端末にあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリToで起動しないように設定されている場合、ソフトは起動しません。

ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動する

FOMA端末に保存されているＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリや、ダウンロードしたＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動します。

1 待受画面でMENU 6 7を押す

2 起動するＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを選択する

・各ソフトの設定内容を示すマークの意味→Ｐ３３３

ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを終了するには

ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

・電源を押してから「終了する」を選択しても、ＦｅｌｉＣａ対応アプリを終了できます。

お知らせ

・ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリ起動中はＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしてもＩＣカードを利用できないことがあります。
・テレビ電話通話中はＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリの一部の操作ができないことがあります。
・次のような場合、起動中のＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリは中断され、ＩＣカードへのデータの読み書きも中断されます。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「０秒」に設定している場合を除く）
  - スケジュールアラームや、アラーム設定の設定時刻になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき

  なお、通話中やアラーム中にTASKを押してＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリの画面に切り替えたときの動作は、ご利用のＦｅｌｉＣａ対応サービスによって異なります。
  また、ＩＣカードへのデータの読み書きを中断した場合、読み書きしようとしていたデータが破棄されることがあります。
・圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
・プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

ＩＣカード機能を使用できないようにする

ＩＣカードロックを設定すると、ＦｅｌｉＣａマークをリーダー／ライター（外部装置）にかざしてＩＣカードを利用したり、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを使用したりできなくなります。

- 電源を切っても本機能の設定は有効です。
- オールロック中は本機能を設定できません。ＩＣカードロックとオールロックを同時に設定するには、先にＩＣカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。
- 遠隔ロックを起動すると、オールロックと同時にＩＣカードロックも設定されます。

1 待受画面で を１秒以上押し、「はい」を選択する

ＩＣカードロックが設定され、待受画面に が表示されます。

・FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに が表示されます。

■ ＩＣカードロックを解除するとき

待受画面で を１秒以上押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

お知らせ

・電池パックを取り外すとＩＣカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けても、電源を入れない限りＩＣカードロックは設定されたままとなります。電池パック取り付け後は必ず電源を入れてください。

・ＩＣカードロックを設定しているときに電池残量が空で電源が切れた場合でも、ＩＣカードロックは保持されます。

・遠隔ロックでＩＣカードロックを設定した場合、電池残量が空で電源が切れても設定は解除されません。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

miniSDメモリーカードを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

画像を表示する

マイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 待受画面で MENU 5 1 を押す

2 フォルダを選択する

マイピクチャの各フォルダには次のような画像が保存されます。

カメラ　：カメラやキャラ電で撮影した画像
iモード　：サイトやｉモードメールから取り込んだ画像
デコメールピクチャ
：お買い上げ時に内蔵されている、またはサイトから取り込んだ画像
アイテム　：お買い上げ時に内蔵されている、またはサイトから取り込んだアイテム画像
プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されている画像
データ交換：バーコードリーダーで取り込んだ画像やminiSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像
アルバム　：他のフォルダから移動／コピーした画像
※ アルバムを作成すると表示されます。→P420

■ miniSDメモリーカードの画像一覧に切り替えるとき

を押す

・miniSDメモリーカードの操作方法→P416

3 表示する画像にカーソルを合わせる

サムネイル表示

タイトル表示

画像一覧画面では、カーソル位置のファイルの表示名と画像の詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①**取得元**
：プリインストール　：ｉモード　：カメラ
：フレーム・スタンプ　：データ交換　：キャラ電

②**画像の種類**
表示なし：静止画　：連写画像、パラパラマンガ
：アニメーション・Flash

③**ファイル形式**
GIF：GIF画像　JPG：JPEG画像　：SWF（Flash画像）

④**ファイル制限**
（青）　：メール添付・FOMA端末外出力可
（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

・FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示ではで表示されます。

・を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

■ 画像をメールに添付して送信するとき

送信する画像にカーソルを合わせて [メール] を押す

選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

・選択した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
・選択した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P271

4 [決定] を押して画像を確認する

私の娘（その2）　1/12

かわいい～！！

画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

・縦横のどちらかのサイズが240ドット以上のときは、[決定] を押すと画像をスクロールできます。
・[カメラ] [iモード] を押すと、前後の画像に切り替わります。

■ アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像のとき

表示すると、自動的に再生されます。

・再生中は次の操作ができます。
  [決定]　：一時停止／再開
  [電話帳]　：スロー再生（パラパラマンガおよび連写画像の一時停止中のみ）
  [MENU] [0]　：先頭から再生

お知らせ

・プライバシーモード起動中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）に画像を表示する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 待受画面で [MENU] [5] [1] を押し、フォルダを選択する

2 設定する画像にカーソルを合わせて [MENU] [2] を押す

3 設定する項目を選択する

■ 待受画面に設定するとき

[1] を押して「はい」を選択する

・画像サイズが240×320以下で、拡大表示できる画像の場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除され、選択した画像が待受画面に設定されます。

■ 電話帳に新規登録するとき

[2] を押す

・電話帳登録について→P103

■ 既に登録されている電話帳に更新登録するとき

① [3] を押す

次ページへ続く

② 更新する電話帳データを選択する
・既に画像が設定されていたときは、選択した画像に置き換わります。

■ 電話発着信画面、メール送受信画面、問合せ画面に設定するとき

4 または 6 ～ 8 を押す
・メール送受信画面に設定した画像は、メッセージR/F、ショートメッセージ（SMS）を送受信したときにも表示されます。

■ テレビ電話の代替画像や保留画像などに設定するとき

5 を押し、1 ～ 4 を押す
・画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は設定できません。

■ メニューアイコンに設定するとき

① 9 または 0 を押す
② 0 ～ 9 を押す
選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。
・パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

お知らせ
・画像表示画面から設定する場合は、MENU を押して「イメージの利用」を選択します。
・待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。
・画像のサイズによっては、画面に表示しきれないことがあります。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガを作成します。
・最大6枚の静止画を設定できます。
・アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像およびサイズが640×480を超える静止画はパラパラマンガに登録できません。
・パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 MENU 4 1 を押す

■ パラパラマンガを解除するとき

解除するパラパラマンガにカーソルを合わせて MENU 4 2 を押す
選択したパラパラマンガが1枚ずつの静止画に戻ります。
・連写画像を1枚ずつの静止画に分けることもできます。

3 パラパラマンガに登録する画像を選択する

選択した順に画像の上に 1 ～ 6 の番号が表示されます。

■ 選択を解除するとき

MENU を押す

■ タイトル表示に切り替えるとき

 を押す
・ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

4 静止画の選択が終了したら［決定］を押す

5 表示名を入力して［決定］を押す

画像一覧にはパラパラマンガの最初のコマが表示され、［アイコン］と表示名が表示されます。
・表示名は、全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

お知らせ

・画像表示画面から設定する場合は、［MENU］を押して「パラパラマンガ」→「作成」または「解除」を選択します。
・パラパラマンガを表示する方法は、通常の画像と同じです。

静止画を編集する

**サイズや明るさなど、マイピクチャに保存されている静止画を編集します。
編集項目とその内容は次のとおりです。**

編集項目	内　容	編集可能な最大画像サイズ（ドット）
サイズ変更	静止画のサイズを変更します。	1224×1632 （拡大／縮小は352×288）
切出し	静止画を任意のサイズに切り出します。	1224×1632
明るさ／色調	静止画の明るさや色調を変更します。	352×288
効果	静止画に特殊な効果をかけます。	240×320
反転／回転	静止画を反転／回転します。	480×640
フレーム	静止画にフレームを重ねます。	352×288
スタンプ貼付	静止画にスタンプを貼り付けます。	352×288
テキスト貼付	静止画にテキストを貼り付けます。	352×288
切抜き	静止画の任意の部分を切り抜きます。	240×320
サイズ制限保存	静止画のファイルサイズを制限して保存します。	1224×1632
補正	静止画の色や明るさのバランスを補正します。	352×288

● 次の画像は編集できません。
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
- サイズが1224×1632を超える静止画
- 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画

● 編集した画像をパソコンなどで表示した場合、FOMA端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。

1 待受画面で［MENU］［5］［1］を押し、フォルダを選択する

2 編集する静止画にカーソルを合わせて［決定］を押し、［MENU］を押す

次ページへ続く

3 編集項目を選択し、静止画を編集する

1 サイズ変更
2 切出し
3 明るさ/色調
4 効果
5 反転/回転
6 フレーム
7 スタンプ貼付
8 テキスト貼付
9 切抜き
0 サイズ制限保存

編集メニュー画面

- 1：サイズ変更→下記
- 2：切出し→P373
- 3：明るさ／色調→P374
- 4：効果→P375
- 5：反転／回転→P375
- 6：フレーム→P375
- 7：スタンプ貼付→P377
- 8：テキスト貼付→P377
- 9：切抜き→P378
- 0：サイズ制限保存→P379

4 ○を押し、「保存」を選択する

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

・フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

お知らせ

・動作設定で、大きい画像の縮小を「あり」に設定していても、スタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き時は等倍で表示されます。
・静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なることがあります。
・編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化することがあります。
・編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
・静止画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

サイズを変更する

静止画を拡大／縮小したり、特定のサイズに変更します。

・静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で 1 を押す→上記

2 画像サイズを変更する

■ 静止画を指定したサイズに変更するとき

1 ～ 8 を押す

静止画が選択したサイズに変更され、静止画編集画面に戻ります。

・選択したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。○○○○を押してサイズ枠の位置を調整し、○を押すと、サイズ枠で囲んだ部分が選択したサイズに変更されます。
・縦横比を無視して静止画を選択したサイズに収める場合は、MENUを押します。
・縦横比を保持したまま静止画を選択したサイズに収める場合は、○を押します。

データ表示／編集／管理

■ 静止画のサイズを拡大／縮小するとき

① [9] を押す

② [◀][▶] を押してサイズを拡大または縮小する

縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大／縮小します。画面の右上には現在の画像サイズが表示されます。

・[MENU] を押すと20%ずつ縮小、[□] を押すと20%ずつ拡大します。
・横縦（または縦横）のサイズが352×288まで拡大できます。横縦（または縦横）のサイズが288ドットを超える画像は縮小して表示されます。
・縦横どちらかのサイズが8ドットになるまで縮小できます。

③ [　] を押す

静止画が拡大／縮小され、静止画編集画面に戻ります。

・サイズが352×288を超える静止画は拡大／縮小できません。

任意のサイズに切り出す

静止画を任意のサイズ、または特定のサイズに切り出します。

・16×16より小さい画像は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で [2] を押す→ P372

2 画像を切り出す

■ 指定したサイズに静止画を切り出すとき

① [1] ～ [8] を押す

② [▼][▲][◀][▶] を押して切り出し枠の位置を調整し、[　] を押す

・[□] を押すたびに、切り出し枠の縦横が切り替わります。
・[□] を押すたびに、切り出しサイズが切り替わります。
・切り出す範囲を指定するには、[MENU] を押します。

③ [　] を押す

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ 範囲を指定して静止画を切り出すとき

① [9] を押す

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上に✣が表示されます。

次ページへ続く

② を押して の位置を調整し、 を押す

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に が表示されます。

③ を押して の位置を調整し、 を押す

切り取り範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。

④ を押す

指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で を押す→P372

2 明るさや色調を変更する

■ 明るさを調整するとき

① を押す

② を押して明るさを調整する

一段階ずつ明るさが増減します。

・明るさを最大にするには を押します。

・明るさを最小にするには を押します。

③ を押す

明るさが変更され、静止画編集画面に戻ります。

■ 色調をモノトーンまたはセピアにするとき

または を押す

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 **編集メニュー画面で 4 を押す****→P372**

2 **1 ～ 6 を押す**

静止画に特殊な効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし　：ぼかします。
球面　：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 **編集メニュー画面で 5 を押す****→P372**

2 **静止画を反転／回転させる**

・上下／左右に反転させるには、／を押します。
・左回り／右回りに90度回転させるには、／を押します。

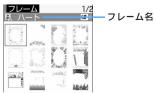
3 **を押す**

静止画が反転または回転し、静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

1 **編集メニュー画面で 6 を押す****→P372**

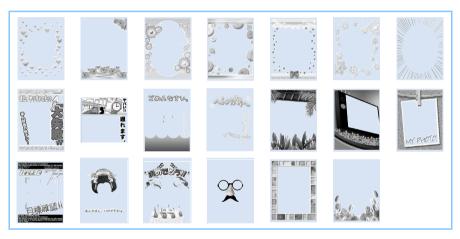
編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。
・詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示され、選択できます。

2 **フレームを選択する**

3 フレームを重ねた画像を確認したら［ ］を押す

フレームが合成され、静止画編集画面に戻ります。
・フレームを切り替えるには、［カメラ］［赤外線］を押します。
・フレームを180度回転させるには、［MENU］を押します。

お買い上げ時に登録されているフレーム

・お買い上げ時に登録されているフレームを削除してしまった場合でも、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。→P337
・　　　の部分に静止画が入ります。

■ 待受用（240×320）サイズ

■ QCIF（176×144）サイズ

スタンプを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 7 を押す→P372

編集している静止画よりも小さいサイズのスタンプが表示されます。

・詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズより大きくても表示され、選択できます。→P380

2 スタンプを選択する

スタンプ名

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 [操作キー]を押してスタンプを貼り付ける位置を調整し、[決定キー]を押す

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

・続けて別の位置にスタンプを貼り付けることができます。

・貼り付けたスタンプを削除するには、MENU を押します。

・効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 [キー]を押す

貼り付けたスタンプが合成され、静止画編集画面に戻ります。

お買い上げ時に登録されているスタンプ

テキストを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 8 を押す→P372

データ表示/編集/管理

2 各項目を選択して設定する

テキスト：貼り付けるテキストを入力します。
・全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。
文字の種類：貼り付けるテキストの種類を設定します。
文字のサイズ：貼り付けるテキストのサイズを設定します。
文字色：貼り付けるテキストの色を設定します。
文字縁取り色：貼り付けるテキストの縁取りの色を設定します。
背景色：貼り付けるテキストの背景色を設定します。
貼り方：テキストの貼り付けかたを設定します。
・「まとめて」に設定すると、設定したテキストがまとめて貼り付けられます。
・「一字ごと」に設定すると、設定したテキストを1文字ずつ異なる位置に貼り付けることができます。

3 を押す

設定したテキストが画面の中央に表示されます。
・貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、最初の文字が画面の中央に表示されます。

4 を押して文字を貼り付ける位置を調整し、を押す

効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。
・続けて別の位置にテキストを貼り付けることができます。
・貼り付けたテキストを消去するには、を押します。
・貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字がもう一度表示されます。
・効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

5 を押す

貼り付けた文字が合成され、静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

任意の色を選択して同色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で を押す→P372

画面の中央に切り抜く色を指定する が表示されます。

2 を押して切り抜く色に を合わせ を押す

の位置と同色の部分が切り抜かれます。
・続けて別の部分を切り抜くことができます。

データ表示／編集／管理

3 を押す

指定した部分を切り抜いた状態で、静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

1 編集メニュー画面で を押す→P372

2 ～ を押す

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダに新しい静止画として保存されます。

・サイズが352×288を超える静止画は、「9000バイト」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 補正する静止画にカーソルを合わせて を2回押す

画像補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

3 を押して補正モードを選択する

静物　：静物や植物などの画像に適切な補正を行います。
背景　：背景のある画像に適切な補正を行います。
風景　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け　：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ　：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。

・補正効果を増減するには を押します。
・補正効果を最大にするには を押します。
・補正効果を最小にするには を押します。
・ を押して ～ を押しても、補正モードを選択できます。

4 を押し、「保存」を選択する

補正した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

・フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

お知らせ

・静止画によっては、明るさや色のバランスを補正しても状態があまり変化しないことがあります。

画像の詳細情報を確認する

表示名やファイルサイズなど、画像の詳細情報を確認します。また、一部の情報は内容を変更することができます。

● 詳細情報には次の項目が表示されます。

- 表示名※1
- ファイル名※1
- 種類
- ファイル制限※1
- ファイル種別
- 表示サイズ
- ファイルサイズ
- 保存日時
- フレーム候補※1
- スタンプ候補※1
- コメント※1
- 取得元
- 故障時退避可否※2

※1：詳細情報変更で変更できます。

※2：お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口にて移行できるかどうかを示します（万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください）。

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせて MENU 3 1 を押す

表示された画面で詳細情報を確認します。

- Flash画像の場合、ファイル種別は「---」と表示されます。
- Flash画像の場合、表示サイズは表示されません。
- ✉ を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

お知らせ

- 画像表示画面から確認する場合は、MENU を押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
- miniSDメモリーカードに保存されている静止画の詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なります。

画像の詳細情報を変更する<詳細情報変更>

画像の詳細情報の一部を変更します。

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）は、表示名以外の詳細情報を変更できません。

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせて MENU 3 2 を押す

3 各項目を選択して設定する

表示名：FOMA端末で画像を操作するときに表示されるタイトルを入力します。
- 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

ファイル名：画像をメールに添付したときに表示されるファイル名を入力します。
- 半角英数字、「.」、「-」、「_」で、最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に入力できません。

コメント：画像を表示したときのコメントを入力します。
- 全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

フレーム候補：フレーム候補に表示するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、画像編集時やカメラ撮影時にフレームとして貼り付けることができます。
- サイズが352×288を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は設定できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

スタンプ候補：スタンプ候補に表示するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、画像編集時にスタンプとして貼り付けることができます。
- サイズが210×210を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は設定できません。

ファイル制限：メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかしないかを設定します。

4 [m] を押す

- フレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

お知らせ

- 画像表示画面から変更する場合は、[MENU]を押して「詳細情報」→「変更」を選択します。
- 画像によっては、変更できない詳細情報があります。
- ファイル制限の設定に関わらず、自端末で撮影した静止画およびデータ転送やminiSDメモリーカードから取得した画像は、メールに添付したり、データ転送を行うことができます。

動作設定

画像の動作条件を設定する

お買い上げ時	一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり　小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり　効果音再生：あり

1 待受画面で[MENU][5][1]を押す

2 [MENU][4]を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示：画像一覧を12枚のサムネイル表示（あり）にするかタイトル表示（なし）にするかを設定します。

タイトル表示：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：画像表示画面でフォルダ内またはアルバム内での件数／総件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：表示領域よりも小さい画像を表示したとき、表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。
- 「あり」に設定すると、画像の縦横比を保持したまま画像を拡大表示します。

大きい画像の縮小：表示領域よりも大きい画像を表示したとき、表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。
- 「あり」に設定すると、画像の縦横比を保持したまま画像を縮小表示します。

効果音再生：画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

次ページへ続く

4 を押す

お知らせ

・画像一覧、画像表示画面から設定する場合は、を押して「動作設定」を選択します。

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

● 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

1 待受画面でを押す

2 フォルダを選択する

ｉモーションの各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されます。

カメラ：ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声

モード：サイトやｉモーションメールから取り込んだｉモーション

プリインストール：お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換：miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション、データ通信で受信した動画／ｉモーション

アルバム：他のフォルダから移動／コピーした動画／ｉモーション

※アルバムを作成すると表示されます。→P420

■ miniSDメモリーカードの動画／ｉモーション一覧に切り替えるとき

を押す

・miniSDメモリーカードの操作方法→P416

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

サムネイル表示

タイトル表示

動画／ｉモーション一覧では、カーソル位置のファイルの表示名と動画／ｉモーションの詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①**取得元**

：プリインストール　　：ｉモード　　：カメラ

：データ交換　　：キャラ電

②**再生制限**

：再生制限なし　　：回数制限あり

：期限制限あり　　：期間制限あり

③**ファイルの種類**

MP4（白）：MP4　　MP4（青）：しおり付きMP4

ASF（白）：ASF※　　ASF（青）：しおり付きASF※

※：ASFファイルは、miniSDメモリーカードに保存されているもののみ再生できます。

④**ファイル制限**

（青）　　：メール添付・FOMA端末外出力可

（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

・サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示では で表示されます。

・ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

・表示名などの詳細情報を変更できます。

■ 動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき（ｉモーションメール）

送信する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて または を押す

選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

4 を押す

動画／ｉモーション再生画面では、再生する動画／ｉモーションの下に再生状態や動画／ｉモーションの種類などを示すマークが表示されます。

・しおりを設定した動画／ｉモーションを選択した場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、しおりの位置から再生されます。「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①**再生音量**：現在の音量を示します。

②**再生状態**

PLAY：再生中　　STOP：停止中　　PAUSE：一時停止中

③**ファイルの種類**

A：音声のみ　　AV：音声＋映像

T：テキストのみ　　VT：映像＋テキスト

V：映像のみ　　AVT：音声＋映像＋テキスト

AT：音声＋テキスト

④**拡大／縮小表示**

：拡大表示中　　：縮小表示中

⑤**再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

次ページへ続く

・動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

- ：一時停止／再開
- ：早送り再生
- （サイドキー［▲▼］）：音量調整
- ：停止
- （停止中）：先頭から再生
- ：一覧画面に戻る

■ しおりを設定するとき

を押し、「はい」を選択する

- 既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しい位置にしおりが設定されます。
- しおりを解除するには、再生を停止させてからを押します。
- 再生制限が設定されているｉモーションや他の機能からｉモーションを再生した場合はしおりを設定できません。

■ 画像の縦横を切り替えて再生するとき（画像サイズが320×240以下の場合のみ）

を押す

- を押すたびに画像の縦横が切り替わります。

お知らせ

- アルバムに保存されている動画／ｉモーションをまとめて再生することもできます。→P423
- 他のアプリケーションの影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。
- 着信やスケジュールアラームの鳴動など、動画／ｉモーションの再生中に他の機能が起動すると、再生が中断されます。他の機能を終了しを押すと、中断した位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、中断した位置から再生されます。「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。
- ｉアプリで動画／ｉモーションを再生しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信すると、正しく再生できないことがあります。
- プライバシーモード起動中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）に動画／ｉモーションを再生する場合は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
- 音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、動画／ｉモーションを再生できません。

ｉモーションに再生制限が設定されているとき

ｉモーションに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

再生制限	状態	確認内容
回数制限	再生回数残あり	「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期限制限	期限内	「××××/××/×× ××：××まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期間制限	期間内	「××××/××/×× ××：××～××××/××/×× ××：××まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。□を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

・詳細情報参照で、残り再生回数、再生期限、再生期間を確認することができます。→P392
・日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を変更することはできません。
・長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされることがあります。そのような場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

・映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。
・着信音、着信画像、電話帳に設定できるのは、画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の動画／ｉモーションです。ただし、着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションです。
・詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ、着モーションおよび着信画像に設定できます。→P392

1 待受画面で MENU 5 2 を押し、フォルダを選択する

2 設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU 2 を押す

3 設定する項目を選択する

■ 待受画面に設定するとき

1 を押して「はい」を選択する

・拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
・動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P135

■ 電話帳に新規登録するとき

2 を押す

・電話帳登録について→P103

■ 既に登録されている電話帳に更新登録するとき

① 3 を押す

② 更新する電話帳データを選択する

・既に動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーションに設定するとき

4 を押し、1 ～ 6 を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① 4 を押し、7 または 8 を押す

② メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する

③ 内容を確認して 📖 を押す

・既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

5 を押し、1 または 2 を押す

・既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

お知らせ

・自端末で撮影した動画を赤外線通信やデータリンクソフトを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してからもう一度自端末に戻したものや、miniSDメモリーカードに直接保存した動画を自端末にコピー／移動したものは、着モーションや発着信画像に設定できません。

動画／ｉモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

● 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
・自端末で撮影した動画
・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限がないもの

● 再生制限付きのｉモーション、プリインストールされている動画／ｉモーションは編集できません。また、ファイルのフォーマットなどにより編集できない動画／ｉモーションがあります（ASF形式の動画など）。

● 編集中に動画／ｉモーションを再生したときのマークの意味とキー操作について→P383 操作4

キャプチャを作成する

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します。

・テロップは作成したキャプチャに表示されません。

1 **待受画面で MENU 5 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **キャプチャを作成する動画／ｉモーションを選択する**

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 **再生中の任意の位置で MENU 3 を押す**

一時停止になります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

4 画像を確認して を押す

キャプチャが作成され、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

・続けてキャプチャを作成するには、を押して再生を再開してから、操作3～4を繰り返します。

■ キャプチャをメールに添付して送信するとき

を押す

キャプチャがマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、キャプチャが添付されているメール作成画面が表示されます。

・キャプチャのファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。

・キャプチャの画像サイズやファイルサイズによっては、メールに添付できません。→P271

お知らせ

・一時停止中または再生終了後でもキャプチャを作成することができます。

・キャプチャとして作成した静止画ファイルをメールに添付して、movaサービスのｉモード端末に送信すると、相手はURL付きのメール（ｉショットメール）として受信します。

動画を切り出す

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押す

選択切り出しモードになり、が表示されます。

■ 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されているとき

テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。

・切り出す位置によっては、テロップが消去されることがあります。

次ページへ続く

3 （始点）を押し、切り出す位置で（終点）を押す

切り出し中は、現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズが表示されます。
・切り出しの操作をやり直すときはを押します。
・動画の再生中に切り出しを中断するときはを押します。
・動画／ｉモーションを最後まで切り出すと、操作４の画面が表示されます。

■ 切り出しサイズの上限を設定するとき
・切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。
① を押す
②「メール添付（小）」（290Kバイト）、「メール添付（大）」（490Kバイト）「設定なし」（編集元の動画のファイルサイズ）を選択する
・切り出し中の動画／ｉモーションのファイルサイズが設定した切り出しサイズの上限に達したときは、自動的に切り出しを終了します。
・編集元の動画ファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力してを押す

切り出した動画／ｉモーションが、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。
・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき
を押す

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき
を押す
元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

お知らせ
・同じ動画／ｉモーションから複数切り出すことができます。

ファイルサイズを指定して切り出す

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
・指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。
・指定できるファイルサイズの上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押す

■ 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されているとき

テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。

・切り出す位置によっては、テロップが消去されることがあります。

3 切り出すサイズを入力する

サイズ切り出し
切り出すサイズを
入力してください
(10～285Kﾊﾞｲﾄ)
切り出しサイズ(Kﾊﾞｲﾄ)
10
元サイズ:286Kﾊﾞｲﾄ

指定したファイルサイズで動画／ｉモーションが切り出されます。

■ 切り出しサイズの上限を設定するとき

・切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①[MENU]を押す

②「メール添付（小）」（290Kバイト）または「メール添付（大）」（490Kバイト）を選択する

・「メール添付（小）」に設定すると「290」が、「メール添付（大）」に設定すると「490」が、切り出しサイズの入力欄に自動的に設定されます。

4 表示名を入力して[保存]を押す

切り出した動画／ｉモーションが、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき

[再生]を押す

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき

[作成]を押す

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

お知らせ

・同じ動画／ｉモーションから複数切り出すことができます。

・サイズ切り出しした動画／ｉモーションは、指定したファイルサイズよりも小さくなることがあります。

テロップを作成する

・テロップは最大10個挿入できます。

・既に挿入されているテロップの内容を変更することはできません。新しくテロップを挿入するには、既に挿入されているテロップをすべて削除してから行います。

・挿入できるテロップ数は、テロップを挿入する動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で[MENU][5][2]を押し、フォルダを選択する

次ページへ続く

2 テロップを挿入する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて［MENU］［4］［3］［1］を押す

・既にテロップが挿入されている場合は、削除して新しいテロップを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除するとき

［MENU］［4］［3］［2］を押して「はい」を選択する

挿入されているすべてのテロップが削除されます。

3 各項目を選択して設定する

表示間隔：テロップの配置のしかたを設定します。
- 「ユーザ指定」に設定すると、テロップを配置する位置を任意に指定できますが、テロップ数は指定できません。
- 「等間隔」に設定すると、動画／ｉモーションの再生時間内に、テロップ数で指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数：表示間隔を「等間隔」に設定したときのテロップ数を１～１０の範囲で入力します。

4 ［ ］を押す

・表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは［ ］を押します。テロップ挿入モードになり、［ ］が表示され、動画／ｉモーションが再生されます。

・表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作７に進みます。

5 テロップの配置位置で［ ］を押す

テロップの配置位置が設定され、引き続き動画／ｉモーションが再生されます。［ ］を押すたびに、テロップの配置位置が設定されます。

・テロップの配置位置の設定を終了するには［ ］を押します。配置位置を９箇所設定するか、動画／ｉモーションの再生が終了すると、自動的にテロップの配置位置の設定を終了します。

6 「はい」を選択する

7 テロップ欄を選択して、テロップに表示する文字を入力する

・全角で最大２０文字、半角で最大４０文字入力できます。

データ表示／編集／管理

■ テロップを装飾するとき

① 装飾するテロップにカーソルを合わせて を押す
② 各項目を選択して設定する

テロップ1～10：テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。選択すると、文字を入力することもできます。
文字色：文字の色を設定します。
・「指定なし」に設定すると、文字色は白になります。
背景色：テロップの背景色を設定します。
・「指定なし」に設定すると、背景は黒になります。
スクロール動作：文字のスクロール動作を設定します。
・「スクロール・イン」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示されます。
・「スクロール・アウト」に設定すると、最初は表示されている文字が移動しながら徐々に見えなくなります。
・「スクロール・イン＆アウト」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に見えなくなります。
・「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。
スクロール方向：スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。
文字位置：文字の表示位置を設定します。
文字サイズ：文字の大きさを設定します。
下線：文字に下線を付けるように設定します。
点滅：文字が点滅するように設定します。

③ を押す

8 を押す

・テロップを挿入する前の動画／ｉモーションのファイルサイズが300Kバイト以下の場合、テロップを挿入した後のファイルサイズが300Kバイトを超えると、メール添付（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は を押します。

9 表示名を入力して を押す

テロップを挿入した動画／ｉモーションが､元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。
・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ テロップを挿入した動画／ｉモーションを再生するとき

を押す

■ テロップを挿入した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき

を押す

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、テロップを挿入した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

詳細情報参照

動画／ｉモーションの詳細情報を確認する

表示名やファイルサイズなど、動画／ｉモーションの詳細情報を確認します。また、一部の情報は内容を変更することができます。

● 詳細情報には次の項目が表示されます。

・表示名※　・タイトル　・ファイル名※　・作成者※　・コピーライト※
・説明※　・ファイル種別　・音　・表示サイズ　・ファイルサイズ
・再生時間　・保存日時　・着信音設定　・着信画面設定　・ファイル制限※
・再生制限　・取得元

※：詳細情報変更で変更できます。ただし、コンテンツによっては変更できない項目があります。

1 待受画面で MENU 5 2 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU 3 1 を押す

表示された画面で詳細情報を確認します。
・ を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

お知らせ

・動画／ｉモーション再生画面から確認する場合は、MENU を押して「詳細」を選択します。
・miniSD メモリーカードに保存されている動画／ｉモーションの詳細情報は、FOMA 端末で表示する内容と異なります。
・着モーションに設定できるのは、詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションです。自端末で撮影した音声のみの動画、映像と音声のある動画および撮影して編集した音声のみの動画、映像と音声のある動画は、着信音設定が必ず「可」になっています。
また、着信画像に設定できるのは、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションです。自端末で撮影した映像のみの動画および撮影して編集した映像のみの動画は、着信画面設定が必ず「可」になっています。
詳細情報の着信音設定および着信画面設定は設定を変更することはできません。

動画／ｉモーションの詳細情報を変更する<詳細情報変更>

動画／ｉモーションの詳細情報の一部を変更します。

1 待受画面で MENU 5 2 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU 3 2 を押す

3 各項目を選択して設定する

表示名：FOMA 端末で動画／ｉモーションを操作するときに表示されるタイトルを入力します。
・全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

オリジナルに戻す
：表示名をあらかじめ動画／ｉモーションに設定されているオリジナルタイトルに戻します。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

ファイル名　：動画／ｉモーションをメールに添付したときに表示されるファイル名を入力します。
- 半角英数字、「.」、「-」、「_」で、最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に入力できません。

作成者　：作成者の名前などを入力します。
- 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。

コピーライト：著作者名や著作物の公表年月日などを入力します。
- 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。

説明　：動画／ｉモーションについての説明を入力します。
- 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。

ファイル制限：メール添付によって他の携帯電話に動画／ｉモーションを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に動画／ｉモーションを送信することを制限するかしないかを設定します。

4 **を押す**

お知らせ

- 自端末で撮影した動画の「作成者」には、プロフィール情報に登録した名前が表示されます。プロフィール情報に名前が登録されていない場合、「作成者」は動画ファイルに設定されません。→P465
- ファイル制限の設定に関わらず、自端末で撮影した動画およびデータ転送やminiSDメモリーカードから取得した動画／ｉモーションは、メールに添付したり、データ転送を行うことができます。

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

お買い上げ時	一覧の画像表示：あり　表示画像の拡縮：なし　アルバムリピート再生：ON 照明設定：常灯　音量：レベル３　サラウンド：OFF

1 **待受画面で MENU 5 2 を押す**

2 **MENU 5 を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

一覧の画像表示：動画／ｉモーション一覧を12枚のサムネイル表示（あり）にするかタイトル表示（なし）にするかを設定します。

表示画像の拡縮：表示領域（横再生時：320×240、縦再生時：240×200）と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときに、拡大／縮小表示するかどうかを設定します。
- 「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを縮小表示します。
- 「あり」に設定すると、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。

アルバムリピート再生
：アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定　：ｉモーション起動中の照明の動作を設定します。
・「常灯」に設定すると、「ｉモーション」起動中は常に照明が点灯します。
・「端末設定に従う」に設定すると、照明設定に従って照明が点灯します。
音量　：動画／ｉモーション再生時の音量を設定します。
サラウンド　：動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

4 **を押す**

お知らせ
・動画／ｉモーション一覧から設定する場合は、MENUを押して「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に自分の画像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

● キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
● キャラ電はサイトなどからダウンロードして保存することもできます。

全体アクション
：うれしい！

全体アクション
：うわっ！？

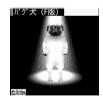
パーツアクション
：パチパチ

キャラ電を表示する

お買い上げ時は次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。

ブンブン（Dimo）
©BVIG

アイ

ケン

パグ犬（F版）
©タカラモバイル
エンタテインメント

1　待受画面でMENU 5 4 を押す

データ表示／編集／管理

2 フォルダを選択する

キャラ電の各フォルダには次のようなキャラ電が保存されます。

- **iモード**：サイトから取り込んだキャラ電
- **プリインストール**：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているキャラ電
- **フォルダ**：他のフォルダから移動したキャラ電
  ※フォルダを作成すると表示されます。→P420

3 表示するキャラ電を選択する

キャラ電一覧画面では、各キャラ電の表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①取得元

：iモード　：プリインストール

②ファイル制限

（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

■キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき

①利用するキャラ電にカーソルを合わせて を押す

②電話番号入力欄を選択して電話番号を入力し、 を押す

・ を押して電話帳から電話番号を入力することもできます。→P110

・ を押して、発信方法や番号通知などの設定を変更することもできます。→P60

・テレビ電話の操作のしかた→P85

■キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するとき

代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせて を押す

・キャラ電表示画面で を1秒以上押しても、テレビ電話の代替画像に設定できます。

■キャラ電を待受画面に設定するとき

①設定するキャラ電にカーソルを合わせて を押す

②通常欄からアクションの種類を選択し、動作を選択する

・不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。

・「OFF」に設定するとキャラ電のアクションを停止できます。

③アクション間隔欄からアクションを繰り返す間隔を選択する

④ を押す

⑤「はい」を選択する

・キャラ電は、等倍表示または拡大表示に設定できます。

・iアプリ待受画面が設定されている場合は、iアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iアプリ待受画面を解除して、選択したキャラ電が待受画面に設定されます。

4 キャラ電を操作する

アクションモード

キャラ電は全体アクションで表示されます。ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。

・アクションを中止するには、 を押します。

・ を押すと表示領域に合わせて拡大表示されます。 を押すと等倍表示されます。

次ページへ続く

■ キャラ電を切り替えるとき

① [MENU] [9] [1] を押し、フォルダを選択する

② 表示するキャラ電を選択する

■ アクションを確認するとき

[メール] を押す

設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

・アクションを選択すると、キャラ電が動きます。

■ アクションモードを切り替えるとき

[メール] を1秒以上押す

[メール] を1秒以上押すたびにパーツアクション [Parts] と全体アクション [Action] が切り替わります。

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧

ブンブン（Dimo）

全体アクション	1	喜ぶ	4	ありがとう	7	ノーリアクション
	2	怒る	5	ラブラブ	8	バイバイ
	3	悲しむ	6	ごめんなさい	9	びっくり

アイ

全体アクション	1	うれしい！	4	ZZZ・・・	7	シクシク
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	ガックリ	6	ゴメンネ	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手でハーイ！	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手でハーイ！	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！
	18	わからない	32	跳ねる	45	左！

ケン

全体アクション	1	面白いっ！	4	ZZZ・・・	7	ううう。。。
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	うぁーん！！	6	ゴメン	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手あげ	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手あげ	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！左！
	18	わからない	32	足踏み	45	ペコペコ

パグ犬（F版）

全体アクション	1	挨拶	4	怒る	7	焦る
	2	喜ぶ	5	泣く	8	酔っ払い
	3	笑う	6	驚く	9	ブレイクダンス

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

・アイとケンのパーツアクションにはスペシャルモードがあります。
- アイ：#2222#を押すと、「好きっ！」の動作を行います。
- ケン：#888 8#を押すと、「ギャグ！」の動作を行います。
・お買い上げ時に登録されているキャラ電は、同じパーツアクションでもキャラ電によって動き方が異なる場合があります。

お知らせ

・キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。
・キャラ電表示中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電表示に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。
・お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除してしまった場合でも、「@F ケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337

キャラ電撮影

キャラ電を撮影する

キャラ電の静止画や動画を撮影します。

● 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
画像ファイルの保存形式→P178

キャラ電撮影画面

キャラ電撮影画面の見かたは次のとおりです。

①撮影モード
：静止画撮影モード　　：動画撮影モード

②保存先※
：FOMA端末　　：miniSDメモリーカード

③撮影種別
：動画＋音声　　：動画のみ（マイクあり）
：動画のみ（マイクなし）　　：静止画

④画像サイズ
：（静止画／動画ともに固定）

⑤画質※

静止画撮影時
ECO：エコノミー　ST：スタンダード　FINE：ファイン

動画撮影時
LP：LP　STD：STD　HQ：HQ　HQ+：HQ＋

⑥サイズ制限

静止画撮影時：制限はありません。

動画撮影時※
：メール添付（290Kバイト）
：大容量メール添付（490Kバイト）

※：静止画設定および動画設定で設定を変更できます。

静止画を撮影する

1 **待受画面でMENU 5 4を押し、フォルダを選択する**

2 **撮影するキャラ電にカーソルを合わせてを押す**

キャラ電撮影モードになります。

3 撮影種別に[icon]が表示されるまで[icon]を繰り返し押す

キャラ電の静止画撮影画面に切り替わります。
・静止画撮影画面でもキャラクタを動かしたり、アクションを切り替えたりできます。→P394

■ キャラ電を切り替えるとき
① [icon][icon][icon]を押す
② フォルダを選択する
③ 撮影するキャラ電を選択する

4 [icon]を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。→P368
・保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。→P409

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき
① [icon]を押す
② 確認したい静止画を選択する
・ 確認後[icon]を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。

■ 静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

静止画確認画面が表示されます。
・静止画確認画面では次の操作ができます。
[icon]：静止画の保存
[icon]：保存先の切り替え
[icon]：消去
[icon]：メール作成

お知らせ

・あらかじめ撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画は、編集・転送・メール添付ができません。
・キャラ電撮影中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電撮影に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。
・画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。保存されている画像を削除してから撮影してください。→P416、P424
・電話着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードに設定したりすると、シャッター音は鳴りません。

静止画の撮影動作を設定する＜静止画設定＞

お買い上げ時	画質：スタンダード　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし 自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

キャラ電の静止画を撮影するときの画質や表示サイズなどを設定します。

1 キャラ電の静止画撮影画面で[icon][icon]を押す

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P408

2 各項目を選択して設定する

画質：保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質が良くなるほどファイルサイズは大きくなります。

撮影確認音：撮影時のシャッター音を設定します。
- シャッター音の選択中は音が鳴ります。

撮影後ファイル制限
：メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画を送信することを制限するかどうかを設定します。
- ダウンロードしたキャラ電であらかじめ「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。

自動保存：撮影した静止画を自動で保存するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、撮影した静止画が設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 「しない」に設定すると、撮影後に静止画確認画面が表示され、さまざまな操作を行うことができます。→P398

保存先：撮影した静止画の保存先を設定します。

表示サイズ：キャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。
- 静止画撮影画面を表示したときから有効になります。

3 [カメラ]を押す

お知らせ

- 撮影後ファイル制限が設定されているキャラ電（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）で撮影した静止画は、編集・転送・メール添付ができません。

動画を撮影する

1 待受画面で[MENU][5][4]を押し、フォルダを選択する

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせて[カメラ]を押す

キャラ電撮影モードになります。

3 [メール]を押して動画の撮影種別を選択する

キャラ電の動画撮影画面に切り替わります。

動画＋音声：キャラ電と送話口からの音声を撮影します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）
：キャラ電のみを撮影します。マイクは送話口からの音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

次ページへ続く

動画のみ（マイクなし）
：キャラ電のみを撮影します。マイクは無効となります。

・動画撮影画面でもキャラ電表示画面と同様に、キャラクタを動かしたりアクションを切り替えたりできます。→P395 操作4

■ キャラ電を切り替えるとき
① を押す
② フォルダを選択する
③ 撮影するキャラ電を選択する

4 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画が撮影されます。撮影を開始すると、 が に切り替わります。
・撮影を一時停止するときは を押します。一時停止すると、 が に切り替わります。もう一度 を押すと、撮影を再開します。

5 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。→P382
・保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。→P409
・動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき
① を押す
② 確認したい動画を選択する
・ 確認後 を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。

■ 動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

動画確認画面が表示されます。
・動画確認画面では次の操作ができます。
：動画の保存
：保存先の切り替え
：消去
：動画の再生
：メール作成

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

お知らせ

- 撮影中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音されることがあります。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しないことがあります。
- キャラ電やアクションの操作によっては、ファイルサイズに達する前に撮影を終了することがあります。
- 動画撮影画面の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。キャラ電やアクションの操作により誤差が生じます。
- 撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した動画は、編集・転送・メール添付ができません。
- 撮影中または一時停止中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
- 撮影中または一時停止中に電話がかかってくると、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存の設定に関わらず、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池アラーム音が鳴り、それまでに撮影された動画が自動で保存されます。このとき、保存した動画の最後に電池アラーム音が録音されることがあります。
- 動画の撮影中にアラームが起動した場合は、その時点で撮影が中止され、動画撮影画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影された動画が自動で保存されます。このとき、保存した動画の最後にアラーム音などが録音されることがあります。
- 動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後は動画撮影に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。
- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。保存されている動画を削除してから撮影してください。→P416、P424
- 電話着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりすると、撮影確認音（シャッター音）は鳴りません。

動画の撮影動作を設定する<動画設定>

お買い上げ時	品質：STD　サイズ制限：メール添付　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし 自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

キャラ電の動画を撮影するときの品質や表示サイズなどを設定します。

1 キャラ電の動画撮影画面でMENU 4を押す

2 各項目を選択して設定する

品質　：撮影する動画の品質を設定します。品質が良くなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。

サイズ制限　：保存する動画ファイルのサイズ制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値に達すると、自動的に撮影を終了します。

撮影確認音　：撮影開始／終了時の撮影確認音（シャッター音）を設定します。
- 撮影確認音（シャッター音）の選択中は音が鳴ります。

撮影後ファイル制限
：メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に動画を送信することを制限するかどうかを設定します。
- ダウンロードしたキャラ電であらかじめ「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。

次ページへ続く

自動保存　：撮影した動画を自動で保存するかどうかを設定します。
・「する」に設定すると、撮影した動画が設定されている保存先に自動的に保存されます。
・「しない」に設定すると、撮影後に動画確認画面が表示され、さまざまな操作を行うことができます。→P400

保存先　：撮影した動画の保存先を設定します。

表示サイズ：キャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。
・動画撮影画面を表示したときから有効になります。

3 を押す

お知らせ

・撮影後ファイル制限が設定されているキャラ電（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）で撮影した動画は、編集・転送・メール添付ができません。

詳細情報参照

キャラ電の詳細情報を確認する

表示名やファイルサイズなど、キャラ電の詳細情報を確認します。また、一部の情報は内容を変更することができます。

● 詳細情報には次の項目が表示されます。

・表示名※　・タイトル　・ファイル名　・ファイル制限　・撮影後ファイル制限
・表示サイズ　・ファイルサイズ　・取得元　・保存日時　・コメント※

※：詳細情報変更で変更できます。

1 待受画面で MENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するキャラ電にカーソルを合わせて MENU 5 1 を押す

表示された画面で詳細情報を確認します。
・ を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

お知らせ

・キャラ電表示画面から確認する場合は、MENU を押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
・キャラ電撮影画面から確認する場合は、MENU を押して「詳細情報参照」を選択します。

キャラ電の詳細情報を変更する<詳細情報変更>

キャラ電の詳細情報の一部を変更します。

1 待受画面で MENU 5 4 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更するキャラ電にカーソルを合わせて MENU 5 2 を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 各項目を選択して設定する

表示名　：FOMA端末でキャラ電を操作するときに表示されるタイトルを入力します。
・全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

オリジナルに戻す
：表示名をあらかじめキャラ電に設定されているオリジナルタイトルに戻します。

コメント：キャラ電についてのコメントを入力します。
・全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

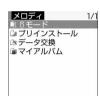
4 を押す

お知らせ

・キャラ電表示画面から変更する場合は、を押して「詳細情報」→「変更」を選択します。

メロディを再生する

1 待受画面で を押す

2 フォルダを選択する

メロディの各フォルダには次のようなメロディが保存されます。

モード　：サイトやｉモードメールから取り込んだメロディ

プリインストール
：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディ

データ交換：バーコードリーダーで取り込んだメロディやminiSDメモリーカードから移動／コピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

アルバム　：他のフォルダから移動したメロディ
※アルバムを作成すると表示されます。→P420

■ miniSDメモリーカードのメロディ一覧に切り替えるとき

を押す

・miniSDメモリーカードの操作方法→P416

次ページへ続く

3 再生するメロディにカーソルを合わせる

メロディ一覧画面では、各メロディの表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①取得元

：ｉモード　　：ｉモード＋3Dサウンド対応
：データ交換　　：データ交換＋3Dサウンド対応
：プリインストール
：プリインストール＋3Dサウンド対応

・3Dサウンドとは→P129

②ファイル制限

（青）　：メール添付・FOMA端末外出力可
（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

■ メロディをメールに添付して送信するとき

送信するメロディにカーソルを合わせて または を押す

・受信側がFOMA　F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外の場合、送信したメロディを正しく再生できないことがあります。
・メールに添付できるメロディについて→P270

4 を押してメロディを再生する

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名と再生位置や音量を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

①**再生バー**：ファイルサイズと現在の再生位置を示します。
②**再生音量**：現在の音量を示します。

・メロディの再生中は次の操作ができます。

（サイドキー［▲▼］）　：音量調整
（サイドキー［▲▼］1秒以上）：前後のメロディ再生
／　：停止

お知らせ

・アルバムに保存されているメロディをまとめて再生することもできます。→P423
・動作設定でメロディの再生中に着信ランプを点灯させたり、FOMA端末が振動するように設定できます。
・音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、メロディを再生できません。

メロディを着信音や保留音に設定する

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 設定するメロディにカーソルを合わせて を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 設定する項目を選択する

■ 音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話の着信音または通話保留音に設定するとき

1～7を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① 8または9を押す
② メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する
③ 内容を確認してを押す

- メモリ番号入力について→P117 登録内容を修正する 操作4
- 既に着信音が設定されていたときは、選択したメロディに置き換わります。

お知らせ

- メロディ再生画面から設定する場合は、MENUを押して「メロディの利用」を選択します。

詳細情報参照

メロディの詳細情報を確認する

表示名やファイルサイズなど、メロディの詳細情報を確認します。また、一部の情報は内容を変更することができます。

● 詳細情報には次の項目が表示されます。

- 表示名※1
- タイトル
- ファイル名※1
- ファイル制限※1
- ファイル種別
- ファイルサイズ
- 再生時間
- 保存日時
- 取得元
- 故障時退避可否※2

※1：詳細情報変更で変更できます。

※2：お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口にて移行できるかどうかを示します（万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください）。

1 待受画面でMENU 5 3を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するメロディにカーソルを合わせてMENU 3 1を押す

表示された画面で詳細情報を確認します。

- を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

お知らせ

- メロディ再生画面から確認する場合は、MENUを押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
- miniSDメモリーカードに保存されているメロディの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なります。

メロディの詳細情報を変更する<詳細情報変更>

メロディの詳細情報の一部を変更します。

・「プリインストール」フォルダに保存されているメロディは、表示名以外の詳細情報を変更できません。

1 待受画面で [MENU] [5] [3] を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更するメロディにカーソルを合わせて [MENU] [3] [2] を押す

3 各項目を選択して設定する

表示名：FOMA 端末でメロディを操作するときに表示されるタイトルを入力します。
・全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

オリジナルに戻す
：表示名をあらかじめメロディに設定されているオリジナルタイトルに戻します。

ファイル名：メロディをメールに添付したときに表示されるファイル名を入力します。
・半角英数字、「.」、「-」、「_」で、最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に入力できません。

ファイル制限：メール添付によって他の携帯電話にメロディを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にメロディを送信することを制限するかしないかを設定します。
・サイトなどからダウンロードしたメロディは変更できません。

4 [メール] を押す

お知らせ

・メロディ再生画面から操作する場合は、[MENU] を押して「詳細情報」→「変更」を選択します。
・メロディによっては、変更できる詳細情報や表示名の管理方法が異なることがあります。
・ファイル制限の設定に関わらず、データ転送やminiSDメモリーカードから取得したメロディは、メールに添付したり、データ転送を行うことができます。

動作設定

メロディの動作条件を設定する

お買い上げ時	音量：レベル3　イルミネーションパターン：点滅　イルミネーションカラー：ライム バイブレータ：OFF　再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準 ステレオ・3Dサウンド：ON

1 待受画面で [MENU] [5] [3] を押す

2 [MENU] [5] を押す

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 各項目を選択して設定する

音量　　　：メロディ再生時の音量を設定します。
イルミネーションパターン
　　　　　　：メロディ再生時の着信ランプの点灯パターンを設定します。
イルミネーションカラー
　　　　　　：メロディ再生時の着信ランプの点灯色を設定します。
バイブレータ：メロディ再生時の振動パターンを設定します。
再生位置　　：メロディ再生時、全体を再生するか一部分を再生するかを設定します。
再生画面背景：メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。
ステレオ・3Dサウンド
　　　　　　：「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
・3Dサウンドとは→P129

■ 再生時の背景画像を「マイピクチャ」から選択するとき

① 再生画面背景欄を選択して [2] を押す
② 画像選択欄を選択する
③ フォルダを選択する
④ 背景に設定する画像を選択する
・画像にカーソルを合わせて [センター] を押すと、画像が表示されます。

4 [センター] を押す

お知らせ

・メロディ一覧およびメロディ再生画面から設定する場合は、[MENU] を押して「動作設定」を選択します。
・メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
・メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータのバックアップをとることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画をminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生したり（→P582）、パソコンからminiSDメモリーカード内のデータを操作したりできます（→P580）。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないminiSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化を行ってから使用してください。なお、初期化を中断したminiSDメモリーカードの動作は保証できません。→P419
- miniSDメモリーカード内の静止画は、直接アイコンや背景画像、待受画面には設定できません。FOMA端末に移動／コピーしてから設定してください。
- FOMA端末では128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています（2004年12月現在）。なお、最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
  - ・iモードから［@Fケータイ応援団］（2004年12月現在）
    Menu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→@Fケータイ応援団
    ※右のQRコードを読み取ると、「@Fケータイ応援団」のサイトに接続できます。
  - ・パソコンから
    http://www.fmworld.net/product/phone/

サイトアクセス用QRコード

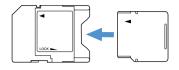
- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルが必要です。

miniSDメモリーカード使用時の留意事項

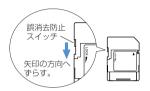
- ・データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが破壊されることがあります。
- ・miniSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えると、miniSDメモリーカードが飛び出すことがあります。
- ・miniSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでご使用ください。
- ・miniSDメモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態でFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- ・データのコピー中、移動中、削除中やminiSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部にが表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。また、TASKを押して他の機能に切り替えることもできません。
- ・オールロック中、PIMロック中はminiSDメモリーカードを使用できません。
- ・他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ・ご利用になるminiSDメモリーカードによっては、撮影した動画を保存した場合、動画に乱れが発生することがあります。
- ・miniSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

SDメモリーカード対応機器で使用するには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器で使用することができます。

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。
・取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSDメモリーカードアダプタに付いている「誤消去防止スイッチ」を使用することにより誤消去を防ぐことができます。

「誤消去防止スイッチ」を「LOCK」の方向にスライドします。
・先の細いもので動かしてください。
・miniSDメモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

miniSDメモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

項目名		保存されるデータ
マルチメディア	**マイピクチャ**	カメラで撮影した静止画、DCF※規格のJPEG、GIF
	その他の画像	DCF※規格外のJPEG、アニメーションGIF
	動画	カメラで撮影した動画、ｉモーション
	メロディ	メロディ
PIM	**電話帳**	電話帳データ、電話帳のバックアップデータ
	スケジュール	スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ
	受信メール	受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ
	未送信メール	未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ
	送信メール	送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ
	メモ	メモデータ、メモのバックアップデータ
	Bookmark	ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ

※：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。

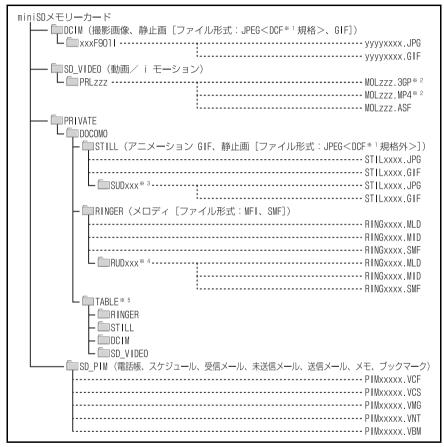
お知らせ

・横縦（または縦横）のサイズが1224×1632を超える静止画をminiSDメモリーカードに取り込んでも、FOMA端末では表示できません。
・F901iCでminiSDメモリーカードに保存したメロディは、F2102Vでは再生できません。
・F901iCでminiSDメモリーカードに保存した大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディは、データサイズの制限の違いにより、F900iC、F900iT、F900i、F2102Vで再生できない場合があります。

次ページへ続く

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存をしたときなどに、そのファイルに対応したフォルダがminiSDメモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどに挿入してminiSDメモリーカードの内容を表示した場合、次のようにフォルダとファイルが表示されます。

パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

※1：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。
※2：拡張子が3GPおよびMP4のファイルは、MP4形式として扱われます。
※3：「STILL」フォルダの空き容量がなくなると、「SUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※4：「RINGER」フォルダの空き容量がなくなると、「RUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※5：データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルを削除したり、ファイル名を変更すると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

- フォルダ名、ファイル名はすべて半角です。フォルダ名の「F901I」のxxxには100～999、「SUD」「RUD」のxxxには001～999、ファイル名の「yyyy」「STIL」「RING」のxxxxには0001～9999、「PIM」のxxxxxには00001～65535の重複しない任意の数字が入ります。yyyyには任意の文字（半角英数字）が入ります。zzzには001～FFFまでの16進数の文字が入ります（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）。

お知らせ

- パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。→P419
- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- パソコンなどでminiSDメモリーカードに保存したデータをF2102Vで再生できても、F901iC、F900iC、F900iT、F900iでは再生できない場合があります。
- F900iCでminiSDメモリーカードに保存した電話帳をF901iCで利用するには、F901iCでminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。→P419

■ miniSDメモリーカードで利用できるマルチメディアデータ

ファイル形式＼操作		miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動	メール添付※1	内容表示
JPEG形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	500Kバイト	1.5Mバイト
	画像サイズ	無制限	1224×1632	無制限	1224×1632
GIF形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	10000バイト	1.5Mバイト
	画像サイズ	無制限	480×640	無制限	480×640
MP4、3GP形式の動画／ｉモーション	ファイルサイズ	無制限	500Kバイト	500Kバイト	無制限
	画像サイズ	無制限	無制限	176×144、128×96	48×48～320×240※2
ASF形式の動画／ｉモーション	ファイルサイズ	不可	不可	不可	無制限
	画像サイズ	不可	不可	不可	176×144、320×240
MLD形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100Kバイト	不可	100Kバイト
MID、SMF形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100Kバイト	10000バイト	100Kバイト

※1：メール添付の詳細については、「ファイルを添付する」を参照してください。→P270
※2：再生可能な画像サイズを超えている動画／ｉモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

● miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
● miniSDメモリーカードスロットには、miniSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
● miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
● miniSDメモリーカードは正しく取り付けてください。miniSDメモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
● miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
● miniSDメモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態でFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。

miniSDメモリーカードの取り付けかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを、印字面を上にして、スロットにゆっくり差し込む
③miniSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまでさらに差し込む
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取り外しかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを軽く押し込み手を放す
miniSDメモリーカードが少し飛び出します。
③miniSDメモリーカードをゆっくりと取り出す
まっすぐに取り出してください。
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをコピー／移動したり、FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

データの種類		操作内容
マルチメディアデータ	静止画	1件コピー、複数コピー、全件コピー 1件移動、複数移動、全件移動
	動画／ｉモーション	
	メロディ	
PIMデータ	電話帳	1件コピー、バックアップ、復元
	スケジュール	
	メール（受信、未送信、送信）	
	ブックマーク	
	メモ	バックアップ、復元

● miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

miniSDカード画面に、miniSDメモリーカードの最大保存容量や空き容量などが表示されます。ここでminiSDメモリーカードの空き容量を確認してデータのコピーやバックアップなどを行ってください。

1 待受画面で MENU 6 6 を押す

miniSDカード
1 マルチメディア
2 PIM
使用状況
使用領域： 1,152 KB
空き領域： 13,352 KB
全容量 ： 14,504 KB

使用状況：全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。
使用領域：現在使用している容量を数値で示します。
空き領域：現在の空き容量を数値で示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているminiSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

お知らせ

- データが1件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSDメモリーカードの初期化を行ってください。→P419
- 実際に使用できるminiSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに明記されている容量よりも少なくなります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別のminiSDメモリーカードを取り付け直してからデータを保存してください。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動する

- 連写画像、パラパラマンガ、FOMA端末外への出力が禁止されているデータはコピー／移動できません。
- PIMデータの移動はできません。

〈例〉静止画をminiSDメモリーカードへコピー／移動するとき

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 コピー／移動する静止画にカーソルを合わせて MENU 5 を押し、4 または 5 を押す

3 1 ～ 3 を押す

■ 複数コピー／複数移動のとき

① **コピー／移動する静止画を選択する**
- MENU を押すと全選択／全解除できます。

② **（ソフトキー）を押す**

4 「はい」を選択する

選択した静止画、またはフォルダ内に保存されているすべての静止画が、miniSDメモリーカードにコピー／移動されます。
- コピー／移動を中止するときは ［キー］ を押します。

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSD カードへ移動」または「miniSD カードへコピー」→「１件移動」「複数移動」「全件移動」「１件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 電話帳一覧から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／外部メモリ」→「miniSD へコピー」または「miniSD へバックアップ」を選択します。
- スケジュール一覧から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／miniSD」→「miniSD へコピー」または「miniSD へバックアップ」を選択します。
- 受信メール、送信メール、未送信メールから操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSD カードへコピー」→「１件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- ブックマーク一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSD カードへコピー」→「１件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- 静止画を FOMA 端末本体から miniSD メモリーカードに移動／コピーすると、データサイズが大きくなることがあります。ただし、静止画を miniSD メモリーカードから FOMA 端末に移動／コピーした場合は、データサイズは変わりません。
- 電話帳に登録されている静止画や動画はコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストはコピーされません。
- 待受画面や着信音などに設定されているデータを miniSD メモリーカードに移動すると、待受画面や着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

miniSD メモリーカードのデータを FOMA 端末にコピー／移動する

マルチメディアデータを FOMA 端末にコピー／移動する

1　待受画面で MENU 6 6 1 を押す

2　1 ～ 4 を押し、コピー／移動するデータが保存されているフォルダを選択する

3　コピー／移動するデータにカーソルを合わせて MENU 3 を押す

4　1 ～ 6 を押す

■ 複数コピー／複数移動するとき

① **コピー／移動するデータを選択する**
- 表示中のページの最大９件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。
- MENU を押すと全選択／全解除できます。

② **を押す**

5　「はい」を選択する

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイピクチャ、ｉモーション、メロディの各「データ交換」フォルダにコピー／移動されます。
- コピー／移動を中止するときは を押します。

お知らせ

- マルチメディアデータを検索して一覧画面を表示した場合、全件移動／全件コピーはできません。→P417

＊miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P408

PIM データを FOMA 端末にコピーする

・バックアップデータ（ 、 、 、 、 のマークが付いているデータ）は FOMA 端末にコピーできません。

1 待受画面で MENU 6 6 2 を押す

2 1 〜 7 を押す

3 コピーするデータにカーソルを合わせて MENU 1 1 を押し、「はい」を選択する

選択したデータが FOMA 端末へコピーされます。

FOMA 端末のデータを miniSD メモリーカードにバックアップする

FOMA 端末の各 PIM データを、一括して miniSD メモリーカードにバックアップします。

1 待受画面で MENU 6 6 2 を押す

2 1 〜 7 を押す

3 MENU 1 4 を押す

4 端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択する

選択した PIM データが 1 つのデータとして miniSD メモリーカードにバックアップされます。

・バックアップを中止するときは を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

miniSD メモリーカードのバックアップデータを復元する

miniSD メモリーカードにバックアップされている各 PIM データを、FOMA 端末に復元します。

・バックアップデータを上書き復元すると、FOMA 端末の各 PIM データは上書きされ、古いデータは消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で MENU 6 6 2 を押す

2 1 〜 7 を押す

次ページへ続く

3 **バックアップデータにカーソルを合わせて MENU 1 を押し、2 または 3 を押す**

追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータを上書きします。

・バックアップデータのマークの意味は次のとおりです。

：電話帳　：スケジュール　：受信メール、未送信メール、送信メール

：メモ　：ブックマーク

4 **端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択する**

・復元を中止するときは を押します。中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

● パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更したり、削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。そのような場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。→P419

マルチメディアデータを表示する

1 **待受画面で MENU 6 6 1 を押す**

2 **1 ～ 4 を押す**

3 **フォルダを選択する**

■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき

を押す

・「マイピクチャ」「その他の画像」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のマイピクチャのフォルダ一覧画面に切り替わります。

・「動画」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のｉモーションのフォルダ一覧画面に切り替わります。

・「メロディ」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のメロディのフォルダ一覧画面に切り替わります。

4 **確認するデータにカーソルを合わせる**

・ を押すたびにサムネイル表示／タイトル表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

■ データをメールに添付して送信するとき

送信するデータにカーソルを合わせて または MENU 1 を押す

■ データの詳細情報を表示するとき

詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて MENU 2 を押す

■ データを1件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせて MENU 4 1 を押す

②「はい」を選択する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

■ データを複数削除するとき

①MENU 4 2 を押す

②削除するデータを選択する

・表示中のページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

・MENU を押すと全選択／全解除できます。

③ を押し、「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき

①MENU 4 3 を押す

②端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

① を押す

②ジャンプするページ数を入力する

・ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき

①MENU 5 を押す

②日時を入力して を押す

・検索を中止するには を押します。

③表示するデータを選択する

■ 動画を連続再生するとき（動画データのみ）

MENU 6 を押す

・連続再生中は次の操作ができます。

（サイドキー［▼］1秒以上）：1つ前の動画再生

（サイドキー［▲］1秒以上）：次の動画再生

：一時停止／再開

（サイドキー［▲▼］）：音量調整

：連続再生停止

5 を押してデータを確認する

・静止画表示中の操作について→P369

・動画再生中の操作について→P383

・メロディ再生中の操作について→P404

■「マイピクチャ」「その他の画像」のタイトルを非表示に切り替えるとき

を押す

・ を押すたびに非表示／表示が切り替わります。

PIMデータを表示する

1 待受画面で MENU 6 6 2 を押す

2 1 ～ 7 を押す

3 確認するデータにカーソルを合わせる

■ データを1件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせて MENU 2 1 を押す

②「はい」を選択する

次ページへ続く

■ データを複数削除するとき

① MENU 2 2 を押す

② 削除するデータを選択する

・表示中のページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

・MENU を押すと全選択／全解除できます。

③ を押し、「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき

① MENU 2 3 を押す

② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

① を押す

② ジャンプするページ数を入力する

・ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき

① MENU 3 を押す

② 日時を入力して を押す

・検索を中止するには を押します。

③ 表示するデータを選択する

4 を押してデータを確認する

・詳細画面については、それぞれの PIM データのページを参照してください。

- 電話帳→P114　- スケジュール→P455　- メール→P293、P294

- ブックマーク→P224

■ 1件の PIM データを選択したとき

選択したデータの詳細が表示されます。

■ バックアップデータを選択したとき

バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。クリア を押すと一覧画面に戻ります。

お知らせ

・miniSD メモリーカードに保存されている電話帳やスケジュールの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信したりすることはできません。また、メールの詳細画面から返信、転送、編集、保護を行うことはできません。

・miniSD メモリーカードに保存されているスケジュールは、設定日時になってもアラームは鳴りません。

・メールの詳細画面で、メールアドレスにカーソルを合わせて MENU 3 1 を押すと電話帳に新規登録、MENU 3 2 を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディにカーソルを合わせて MENU 4 1 を押すと表示／再生、MENU 4 2 を押すとタイトルを確認できます。
ただし、10000バイトを超える静止画やｉモーションの表示、件数表示などは行えません。

・F900iC で miniSD メモリーカードに保存した電話帳を F901iC で利用するには、F901iC で miniSD メモリーカードの情報更新をする必要があります。→P419

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

miniSDメモリーカードを管理する

miniSDメモリーカードをFOMA端末で正しく使用できるように、miniSDメモリーカードを管理します。

miniSDメモリーカードを初期化する<初期化>

既にデータを保存しているminiSDメモリーカードの容量を空にしたり、新たに購入したminiSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに、初期化します。

1 待受画面で[MENU][6][6]を押し、[メール]を押す

2 初期化の方法を選択する

簡易初期化：miniSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSDメモリーカードが一度初期化済みで、miniSDメモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化：miniSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したminiSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「はい」を選択する

・初期化を中断するときは[ ]を押します。

miniSDメモリーカードの情報を更新する<情報更新>

他の機器でminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新することができます。

・情報更新を行うと「マイピクチャ」「その他の画像」「動画」に保存されているデータのタイトルがファイル名に変更されます。

1 待受画面で[MENU][6][6]を押し、[i]を押す

2 情報を更新する項目を選択する

・[MENU]を押すと全選択／全解除できます。

3 [メール]を押し、「はい」を選択する

選択した項目の情報が更新されます。

・情報更新を中断するときは[ ]を押します。

データ表示／編集／管理

お知らせ

・miniSD メモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
・パソコンなどで miniSD メモリーカードにデータを保存した場合、FOMA 端末で管理テーブルを作成するための必要な空き領域が不足し、miniSD メモリーカードに保存したデータが FOMA 端末で正しく表示できなくなることがあります。

miniSD メモリーカードをチェックする<カードチェック>

miniSD メモリーカードに保存されているデータの不具合をチェックして、修復します。

1 **待受画面で MENU 6 6 を押し、✉ を押す**

2 **「はい」を選択する**

お知らせ

・miniSD メモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

アルバムを利用する

アルバムを利用してカテゴリごとにデータを整理したり、アルバムのデータをまとめて再生したりします。

● キャラ電ではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
● お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

データの種類ごとにアルバムを作成します。
・アルバムはマイピクチャで最大100個、ｉモーション・メロディ・キャラ電で最大10個作成できます。
・お買い上げ時、アルバムはありません。

〈例〉マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 **待受画面で MENU 5 1 を押す**

2 **MENU 1 を押す**

■ **アルバム名を変更するとき**
変更するアルバムにカーソルを合わせて MENU 2 を押す

■ **アルバムを削除するとき**
①削除するアルバムにカーソルを合わせて MENU 3 を押す
・削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。
②「はい」を選択する

3 **アルバム名を入力して 📖 を押す**

・全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

データ表示／編集／管理

＊miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P408

お知らせ

- 動画／ｉモーション、メロディのアルバム一覧から作成する場合は、MENUを押して「アルバム作成」を選択します。
  キャラ電のフォルダ一覧から作成する場合は、MENUを押して「フォルダ作成」を選択します。
- 既に作成されているアルバムと同じ名前のアルバムを作成することができます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータが保存されているアルバムを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータが削除されたときは、着信音設定や発着信画面の選択の設定に従って動作します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動させたり、アルバム間でデータを移動したりします。
- 「デコメールピクチャ」以外の固定フォルダ間でデータを移動させることはできません。
- 「プリインストール」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動するとき

1 待受画面でMENU 5 1を押し、フォルダを選択する

2 移動するデータにカーソルを合わせてMENU 5 1 1を押す

■ データを複数移動するとき

① MENU 5 1 2を押す
② 移動するデータを選択する
- MENUを押すと全選択／全解除できます。
- を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

③ を押す

■ フォルダ内のすべてのデータを移動するとき

MENU 5 1 3を押す

3 移動先のアルバムを選択し、「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動」を選択します。

アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

1 待受画面でMENU 5 1を押し、アルバムを選択する

次ページへ続く

2 元に戻すデータにカーソルを合わせて [MENU][5][2][1] を押す

■ データを複数戻すとき

① [MENU][5][2][2] を押す
② 元に戻すデータを選択する
- [MENU] を押すと全選択／全解除できます。
- [i] を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

③ [□] を押す

■ アルバム内のすべてのデータを戻すとき

[MENU][5][2][3] を押す

3 「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、[MENU] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、[MENU] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、[MENU] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- 「デコメールピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「[ ]モード」フォルダに移動します。

データをコピーする

- 次のデータはコピーできません。
  - マイピクチャのパラパラマンガ、連写画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ｉモーションの再生制限が設定されているｉモーション
  - メロディ
  - ファイル制限「あり」のデータ
  - キャラ電のキャラクタ

〈例〉マイピクチャのデータをコピーするとき

1 待受画面で [MENU][5][1] を押し、フォルダを選択する

2 コピーするデータにカーソルを合わせて [MENU][5][3] を押す

コピーしたデータはコピー元のデータと同じアルバム内に保存されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、画像表示画面から操作する場合は、[MENU] を押し「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバムごと再生する

ｉモーションおよびメロディのデータをアルバムごと再生できます。
・固定フォルダはアルバム再生できません。

1 **待受画面で［MENU］［5］［2］（ｉモーション）／［MENU］［5］［3］（メロディ）を押す**

2 **再生するアルバムにカーソルを合わせて［MENU］［4］を押す**

3 **アルバムごと再生する**

動画／ｉモーションの
アルバム再生画面

メロディのアルバム
再生画面

アルバム再生画面では、再生位置や音量を示すマークが表示されます。
・マークの意味→P383、P404

■ 動画／ｉモーションのアルバム再生時

・次の操作ができます。

［●］	：一時停止／再開
［◀］／［▶］（サイドキー［▲▼］1秒以上）	：前後のデータ再生
［▲］［▼］（サイドキー［▲▼］）	：音量調整
［停止］	：停止

・アルバム再生中にFOMA端末を折り畳むと、再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは次の操作ができます。

サイドキー［▲▼］1秒以上	：前後のデータ再生
サイドキー［▲▼］	：音量調整

・動作設定のアルバムリピート再生を「ON」に設定している場合は、［アイコン］が表示され、アルバムがリピート再生されます。

■ メロディのアルバム再生時

・次の操作ができます。

［▲］［▼］（サイドキー［▲▼］1秒以上）	：前後のメロディ再生
［◀］［▶］（サイドキー［▲▼］）	：音量調整
［クリア］／［●］	：停止

・アルバム再生中にFOMA端末を折り畳んでも再生を継続します。FOMA端末を折り畳んでいるときは次の操作ができます。

サイドキー［▲▼］	：タイトルの表示、音量調整
サイドキー［▲▼］1秒以上	：前後のメロディ再生

次ページへ続く

お知らせ

- マナーモード中にアルバム再生しようとすると、アルバム再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションはｉモーションの動作設定に、メロディはメロディの動作設定で設定されている音量で再生されます。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

データを削除する

固定フォルダやアルバムに保存されているデータを削除します。

●マイピクチャ・ｉモーション・メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除するとき

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 削除するデータにカーソルを合わせて MENU 6 1 を押す

■ データを複数削除するとき

① MENU 6 2 を押す

② 削除するデータを選択する

- MENU を押すと全選択／全解除できます。
- ▲ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

③ [キー] を押す

■ フォルダ内のすべてのデータを削除するとき

① MENU 6 3 を押す

② 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、着信音設定や発着信画面の選択の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除してしまった場合でも、「＠Ｆケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337

ソート
データを並べ替える

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

一覧画面のデータの並び順を変更します。

● メロディのアルバムに保存されているデータは並べ替えられません。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 待受画面で MENU 5 1 を押し、フォルダを選択する

2 MENU 7 を押す

・キャラ電のキャラクタを並べ替えるときは MENU 8 を押します。

3 各項目を選択して設定する

対象：並び替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

4 （ソフトキー）を押す

お知らせ

・動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧から操作する場合は、MENU を押し「ソート」を選択します。
・表示名に全角・半角の文字が混在していると、並べ替えが五十音順と一致しないことがあります。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

● オールロック、PIMロック、セルフモード設定中は、赤外線通信を行えません。
● 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
● FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ（→P380、P392、P406）および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
● 赤外線通信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、TASK を押して他の機能に切り替えることもできません。
● 本端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
● 相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

赤外線通信を行うには

赤外線通信の通信距離は20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。

F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051のデータを赤外線受信するときの留意事項

- メールデータを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
- メールデータを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用フォルダに通常のメールデータが保存されることがあります。
- ブックマークデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末からブックマークデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
- 画像、動画／ｉモーション、メロディの各データは全件受信できません。
- F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディの各データを受信したとき、メモとして登録されることがあります。

F901iCのデータをF900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051に赤外線送信するときの留意事項

- ファイルのサイズ制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディの各データを送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

お知らせ

- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに電話帳や自局番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データを種類ごとに全件送信する方法があります。
送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	備　考
電話帳	・シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモードにしないと1件送信できません。 ・全件送信すると、プロフィール情報も送信されます。 ・ダイヤル発信制限中は送信できません。
スケジュール	・シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモードにしないと1件送信できません。 ・日付・時刻を設定していないと送信できません。
受信メール	―
送信メール	―
未送信メール	―
メモ	―
ブックマーク	・相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
画像	・タイトルを全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は消去されます。 ・ファイルサイズが500Kバイトを超えるデータは送信できません。 ・全件送信できません。
動画／ｉモーション	・タイトルを全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 ・全件送信できません。
メロディ	・タイトルを半角で最大50文字送信できます。最大文字数を超えた文字は消去されます。 ・全件送信できません。
プロフィール	・相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。

● あらかじめ相手のFOMA端末を受信の状態にしておいてください。
● F901iC以外のｉモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを1件送信する

〈例〉1件の電話帳データを赤外線送信するとき

1 **電話帳を検索し、送信する電話帳にカーソルを合わせて MENU 8 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

・赤外線送信を中断するときは □ を押します。

次ページへ続く

お知らせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線送信」→「送信」を選択します。
- 画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線送信」を選択します。
- スケジュール一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線／miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
- プロフィール情報の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「プロフィール送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを赤外線送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」〜「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。「#」、「＊」は使用できません。

1 待受画面でMENU 6 5 1を押す

2 1〜7を押す

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 4桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「＊」と表示されます。

5 「はい」を選択する

- 赤外線送信を中断するときはCLRを押します。

お知らせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
- ブックマーク、送信メール、未送信メール、受信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線全件送信」を選択します。
- 電話帳一覧から操作する場合は、MENUを押し「赤外線／外部メモリ」→「赤外線全件送信」を選択します。
- スケジュールのカレンダーから操作する場合は、MENUを押し「赤外線／miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
- データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。動画／ｉモーションは送信されません。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話や、パソコンなどから電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存したり、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存したりできます。
赤外線受信には、データを1件ずつ受信する方法と、種類ごとに全件受信する方法があります。受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	保存場所	保存順
電話帳	電話帳 ・電話帳データを全件受信した場合、自局番号以外のプロフィール情報が上書きされます。 ・ダイヤル発信制限中は受信できません。	最も小さい空きメモリ番号
スケジュール	スケジュール帳 ・日付・時刻の設定が必要です。	日時順
受信メール	受信メール	受信日時順
送信メール	送信メール	送信日時順
未送信メール	未送信メール	保存日時順
メモ	メモ帳	受信順
ブックマーク	Bookmark	一覧の先頭
動画／iモーション	iモーションの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
プロフィール	電話帳	最も小さい空きメモリ番号

データを1件受信する

相手側の機器に保存されている1件のデータを赤外線受信します。
・500Kバイト以上のデータは受信できません。

1 待受画面で [MENU] [6] [5] [2] [1] を押す

2 [1] または [2] を押す

受信待機状態になり、が表示されます。

受信方式選択
1 保存確認あり
2 保存確認なし
[確認あり]通信終了後に保存確認を行います
[確認なし]受信中に本体内データに追加します

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。
保存確認なし：受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択する

4 送信側でデータを1件送信する

・赤外線受信を中断するときは [ ] を押します。

次ページへ続く

5 受信が完了したら、[ ]を押す

受信終了後は、操作２で「保存確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「保存確認なし」を選択していると、操作２の画面に戻ります。

データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを赤外線受信できます。

・全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で４桁の認証パスワードを決めておいてください。「#」、「＊」は使用できません。

1 待受画面で[MENU][6][5][2][2]を押す

2 [1]または[2]を押す

受信待機状態になり、が表示されます。

全件受信方式選択
1 上書き確認あり
2 上書き確認なし
[確認あり]通信終了後に保存確認を行います
[確認なし]受信中に本体内データを上書きします

上書き確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P431

上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

・上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータが上書きされますのでご注意ください。

・「上書き確認あり」を選択したときは、操作５に進みます。

3 「はい」を選択する

4 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

5 ４桁の認証パスワードを入力する

・入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

6 「はい」を選択する

7 送信側でデータを全件送信する

・赤外線受信を中断するときは[ ]を押します。

8 受信が完了したら、[ ]を押す

受信完了後は、操作２で「上書き確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「上書き確認なし」を選択していると、操作２の画面に戻ります。

お知らせ

・受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

受信したデータを保存する

INBOXに保管されているデータをFOMA端末に保存します。
・1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、赤外線通信を終了すると自動的にINBOXが表示されます。

1 **待受画面でMENU 6 5 2 3を押す**

2 **保存するデータを選択する**

・マークの意味は次のとおりです。
　／　：電話帳1件データ／複数件データ
　／　：ブックマーク1件データ／複数件データ
　／　：メール1件データ／複数件データ
　：画像データ
　：動画／iモーションデータ
　：メロディデータ
　／　：スケジュール1件データ／複数件データ
　／　：メモ1件データ／複数件データ

■ データを1件削除するとき
削除するデータにカーソルを合わせてMENU 2を押す

■ データを全件削除するとき
MENU 3を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 **「はい」を選択する**

■ 複数件データを選択したとき
①端末暗証番号の入力または指紋認証を行う
②追加保存する場合は「追加」を選択し、上書き保存する場合は「上書き」を選択する
・「上書き」を選択するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータが上書きされますのでご注意ください。

お知らせ

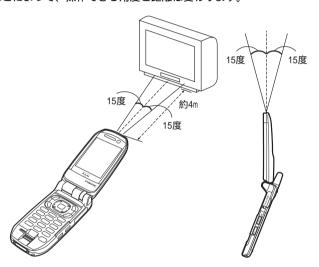
・保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存・登録件数より少なくなることがあります。
・メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型iアプリのフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型iアプリのフォルダを選択してMENU 1を押してください。
・ToDo（用件を管理するリスト機能）データのみを全件保存すると、登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリのソフトをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したソフトをダウンロードしてください。キー操作はソフトによって異なります。
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

お知らせ

・お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフト「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末を赤外線リモコンとして利用できます。→P341

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

お買い上げ時	通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

赤外線通信やUSB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

1　待受画面で MENU 6 5 3 を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

2 各項目を選択して設定する

通信終了音　：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。
自動認証　：USB接続による通信時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。
・「あり」に設定するときは、端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、［ボタン］を押してください。
電話帳の画像送信
：電話帳データの送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 ［ボタン］を押す

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

録音画面とファイルについて

サウンドレコーダーを使用して音声の録音ができます。録音した音声はFOMA端末本体だけでなくminiSDメモリーカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。
・miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P408

録音画面

録音画面の見かたは次のとおりです。

①**撮影モード**　：音声の録音モードであることを示します。
②**保存先**　：保存先を示します。→P190
［アイコン］：FOMA端末　［アイコン］：miniSDメモリーカード
③**撮影種別**　：録音する音声の種類を示します。→P190
④**インジケータ**　：**録音待機中**
保存先の保存領域の使用率を示します。
・miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。
録音時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する録音したサイズの割合を示します。
⑤**カウンタ**　：録音待機中は現時点でFOMA端末本体およびminiSDメモリーカードに録音できる最大時間（目安）を示します。録音中は経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を表示します。
⑥**品質**　：保存する音声の品質を示します。→P436
⑦**サイズ制限**　：保存するファイルのサイズ制限値を示します。→P436

音声ファイルについて

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	.3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 （例）2005年1月27日12時34分56秒に撮影した場合 →20050127123456.3gp ・音声の録音後、ファイル名を変更できます。 ・FOMA 端末の日付時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル、ファイル名は「--------------」になります。
メール添付・出力	メールに音声を添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ることができます。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

・品質、サイズ制限は動画／録音設定で設定できます。→P190

■ FOMA 端末に保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

項　目			ファイルサイズ制限	
			メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）
1回あたりの録音時間	品質	STD	約4	約7
		HQ	約3	約5
FOMA 端末本体の最大録音時間	品質	STD	約161	約161
		HQ	約105	約106

■ miniSD メモリーカードに保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

容　量	品　質	ファイルサイズ制限		
		メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）	制限なし
16MB	STD	約234	約234	約214
	HQ	約153	約154	約140
32MB	STD	約490	約490	約465
	HQ	約320	約322	約305

音声を録音する

サウンドレコーダーで音声を録音することができます。

● 音声は送話口から録音されます。

● 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。

● 着信音量調整を「消音」に設定していたり、マナーモードを設定していても、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

1 待受画面で MENU 6 3 を押す

サウンドレコーダーが起動して音声録音モードになります。
- 動画／録音設定の撮影種別を「音声のみ」に設定しても、サウンドレコーダーが起動します。

2 ( ) またはサイドキー［▲］を押す

音声録音画面

録音確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプが最大５色（赤、黄、緑、青、紫）の２秒間隔で点滅し、録音が開始されます。録音を開始すると、 が に切り替わります。
- 録音を一時停止するときは ( ) を押します。一時停止中は着信ランプが緑に点灯し、 が に切り替わります。もう一度 ( ) を押すと、録音を再開します。

3 またはサイドキー［▲］を押す

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。
- 音声の録音中にファイルサイズが制限値に達すると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中に を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 音声確認画面で操作できる機能は動画の撮影時と同じです。→P187

■ 録音した音声をメールに添付して送信するとき

を押す

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、録音した音声はFOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが500Kバイトを超える場合は、メールに添付できません。

■ タイトルを変更するとき

MENU 3 1 を押す
- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。

■ テロップを作成するとき

MENU 3 2 を押し、「はい」を選択する

録音した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存され、テロップの作成画面が表示されます。→P389
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 再生するとき

を押す

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

MENU 5 を押す
- 録音した音声のファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている音声を一覧表示するとき

MENU 6 を押し、1 または 2 を押す

次ページへ続く

4 またはサイドキー［▲］を押す

録音した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。→P382
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。→P409
- 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。

お知らせ

- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については、「FOMA 端末を開いて動画を撮影する」のお知らせをご覧ください。→P187
- 録音した音声を再生する方法については、「動画／ｉモーションを再生する」をご覧ください。→P382

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

音声の品質を設定する

1 音声録音画面で を押し、品質のマークにカーソルを合わせる→P434

品質のマーク

- を押しても品質のマークを選択できます。

2 を押して品質を選択し、を押す

設定した品質がマークで表示されます。

標準　：標準的な品質です。

高品質：音質が良くなります。「STD（標準）」に比べて録音できる時間が短くなります。

- を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

1 音声録音画面で を押し、サイズ制限のマークにカーソルを合わせる→P434

サイズ制限のマーク

- を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

2 [カメラ]/[iα]を押してサイズ制限を選択し、[決定]を押す

設定したサイズ制限がマークで表示されます。

メール添付モード
：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。iモードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付モード
：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。iモードメールに添付して大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

・[9]を押してもサイズ制限が切り替わります。

お知らせ

・動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスによって、音声電話とパケット通信、ショートメッセージ（SMS）の３つの機能を同時に使用できます。

- マルチアクセスは音声電話とパケット通信のみに対応しています。
- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。→P28
- 機能を実行中に TASK を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。→P442
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：１通信
  - ・ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか１通信
  - ・ショートメッセージ（SMS）：１通信

お知らせ

・マルチアクセスの組み合わせ→P575
・マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
・動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中にｉモードメールや音声電話を受ける

通信中にｉモードメールやSMSを受信したり、音声電話を受けたりすることができます。

〈例〉通話中にｉモードメールを受信するとき

1 通話中にメールを受信する

メール受信中はディスプレイ上部に ![] と ✉ が点滅表示され、受信が完了すると ✉ が表示されます。

〈例〉ｉモード中・パケット通信中に電話を受けるとき

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。

・パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話を受けることができます。

1 ｉモード中またはパケット通信中に電話がかかってくる

・電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。→P73

2 （電話/文字キー）を押す

電話がつながります。

・通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P443
・サイト表示を終了するにはサイトの画面で（電源キー）を押し、「はい」を選択します。
・通話を終了するには通話中の画面で（電源キー）を押します。

通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに別の通信を同時に行えます。

〈例〉通話中にｉモードに接続するとき

1 通話中に（TASK）を押す

2 （2）（1）を押す

・電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P55
・通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P443
・サイト表示を終了するにはサイトの画面で（電源キー）を押し、「はい」を選択します。
・通話を終了するには通話中の画面で（電源キー）を押します。

〈例〉通話中にｉモードメールを送信するとき

1 通話中に（TASK）を押す

2 （1）（2）を押す

・通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。→P443
・メール作成を終了するにはメール作成画面で（電源キー）を押します。
・通話を終了するには通話中の画面で（電源キー）を押します。

3 ｉモードメールを作成・送信する→P259

ｉモードメールを送信すると通話中の画面に戻ります。

次ページへ続く

〈例〉通話中にパケット通信を行うとき

・パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。→P73

1 通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

・電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、通話中の画面に切り替え、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P55

・通話を終了するには通話中の画面で［電源］を押します。

〈例〉iモード中・パケット通信中に電話をかけるとき

・パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話をかけることができます。

1 iモード・パケット通信中に［TASK］を押す

2 ［文字］を押す

・電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるときは［TASK］を押し、「電話帳・履歴」を選択します。→P57、P68、P110

3 電話番号を入力して［文字］を押す

電話がかかります。

・サイト表示を終了するにはサイトの画面で［電源］を押します。

・通話を終了するには通話中の画面で［電源］を押します。

マルチタスク

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

● タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。→P28

● 機能を実行中に［TASK］を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。

● 同時に実行できる機能は 2 つまでとなります。ただし、「ダイヤル発信」および「プロフィール情報」の機能は、他の機能が 2 つ実行されていても、起動できます。

● マルチタスクで利用できる機能は、起動状況やロック設定の状況などによって、制限される場合があります。→P577

新しい機能を実行する

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

・機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。

〈例〉通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 通話中に［TASK］を押す

2 [7][1]を押す

・電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P55
・実行中の操作により、選択できない機能があります。→P577

3 スケジュールを表示／登録する→P449、P451

・スケジュールの画面と通話中の画面を切り替えながら操作できます。→下記
・スケジュールを終了するにはスケジュールの画面で[電源]を押します。
・通話を終了するには通話中の画面で[電源]を押します。

お知らせ

・マルチタスクの組み合わせ→P577
・赤外線送受信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新（スキャン機能）中は、マルチタスクによる操作はできません。
・動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に[TASK]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。
・画面切替メニュー表示中に[MENU]を押すと、新規起動メニューが表示されます。

〈例〉通話中の画面からサイトの画面へ切り替えるとき

1 通話中に[TASK]を押す

・画面切替メニューには、実行中の機能が一覧表示されます。

2 「モード」を選択する

・通話中の画面に戻すには、再度[TASK]を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
・画面切替メニュー表示中に[MENU]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度[MENU]を押すと画面切替メニューに戻ります。

画面切替メニューに表示される項目名

画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などと異なる場合があります。

項目名	対応する機能・画面
電話	音声電話
テレビ電話	テレビ電話
64Kデータ通信	64Kデータ通信
AV通信	外部機器によるテレビ電話
ダイヤル入力	電話番号入力
メール	iモードメール、ショートメッセージ（SMS）（一覧画面や表示画面など）
メール作成	iモードメール、ショートメッセージ（SMS）（作成画面）
チャットメール	チャットメール
メッセージR/F	メッセージR/F
問合せ	iモードメール、メッセージR/F、ショートメッセージ（SMS）のセンター問合せ
iモード	サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ
iアプリ	iアプリ（ソフトの一覧画面や実行中の画面）
PPPデータ通信	パソコンとつないだパケット通信
iモーション	iモーション
メロディ	メロディ
マイピクチャ	マイピクチャ
カメラ	カメラ
ビデオカメラ	ビデオカメラ
サウンドレコーダー	サウンドレコーダー
電話帳	電話帳（登録画面、検索画面など）
メモ帳	メモ帳
スケジュール帳	スケジュール帳
電卓	電卓
着信履歴	着信履歴
リダイヤル	リダイヤル
miniSDカード	miniSDカード
キャラ電	キャラ電
バーコードリーダー	バーコードリーダー
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新
パターンデータ更新	パターンデータ更新
SMS受信	ショートメッセージ（SMS）の受信画面
iモードメール着信	iモードメール、メッセージR/Fの受信画面
通知（アラーム）	アラーム設定の設定時刻になったときのアラーム画面
通知（スケジュール）	スケジュールの設定日時になったときのアラーム画面
プロフィール情報	プロフィール情報
伝言メモ	伝言メモ
音声メモ	音声メモ

お知らせ

・マルチタスクの組み合わせ（→P577）以外の組み合わせでは、画面を切り替えることはできません。

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスク中の全機能を一度に終了させます。

1 マルチタスク中にTASK を押し、「はい」を選択する

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時	OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源を自動的にONまたはOFFにします。

● 日付・時刻の設定が必要です。→P49

● 自動電源ONと自動電源OFFとは同時刻に設定できません。

1 待受画面で MENU 8 5 2 を押す

■ 自動電源OFFを設定するとき

待受画面で MENU 8 5 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

自動電源ON／OFF
：自動電源ON／OFFを設定／解除します。
・「OFF」に設定すると、「時刻」、「繰り返し」は選択できません。

時刻：自動的に電源をON／OFFにする時刻を設定します。
・24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：自動電源ON／OFFの繰り返しを設定します。
・「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源がONまたはOFFになり、自動電源ON／OFFの設定は解除されます。

3 電源キーを押す

お知らせ

・アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定しているときに、スケジュールやアラームと自動電源ONを同時刻に設定すると、自動電源ON後にスケジュールやアラーム設定に設定した動作を行います。→P446、P451

・PIN1コードON／OFF設定機能を「ON」に設定している場合は、自動電源ONによって指定した時刻に電源が入った後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。

・スケジュールやアラーム設定と自動電源OFF設定を同時刻に設定すると、スケジュールやアラーム設定の動作後に自動電源OFFを行います。アラーム音やアラーム鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を解除した後に自動電源OFFを行います。→P446、P451

・自動電源OFFにしても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了させて待受画面に戻った後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力／指紋認証画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れます。

・病院、医療機関、航空機の中など使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ONの設定も解除してください。

指定した時刻にアラームを鳴らす

お買い上げ時	OFF

指定した時刻に、アラームや振動などでお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返して行うかを選択できます。また、アラーム、着信ランプの色、バイブレータ動作を設定できます。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P49
- 電源がOFFのときは、指定した時刻になってもアラームは動作しません。電源がOFFのときにアラームを動作させるには、アラーム自動電源ON設定を行ってください。→P448

1 待受画面で MENU 7 3 を押す

2 1 ～ 9 を押す

・アラームは9個まで登録できます。登録済みのアラームには、入力したタイトルが表示されます。

3 各項目を選択して設定する

時刻　：アラームを設定する時刻を入力し、 を押します。
・24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：1 ～ 3 を押してアラームの繰り返し設定を選択します。
・「3 曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、曜日を選択して を押します。

タイトル：アラーム設定のタイトルを入力し、 を押します。
・全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。
・お買い上げ時のタイトルは、「アラーム 1」～「アラーム 9」に設定されています。
・タイトルを入力しないとアラームを設定できません。

4 を押して音設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

アラーム音：「 モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画またはメロディから選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382
メロディ一覧の見かた→P403

音量：アラームの音量を選択します。
・音量の調整方法→P70

5 を押してその他設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

バイブレータ：アラーム時間になったときの振動を設定します。
バイブレータのパターン→P130

イルミネーションパターン
：アラーム時間になったときの着信ランプのイルミネーションパターンを設定します。
イルミネーションのパターン→P147
・着信イルミネーションの点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー
：アラーム時間になったときの着信ランプのイルミネーションカラーを設定します。
着信イルミネーションの色→P147

6 を押してアラームを登録する

・アラーム設定を設定すると、待受画面に または （スケジュールのアラームも設定しているとき）が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに または （スケジュールのアラームも設定しているとき）が表示されます。

■ アラームを解除するときは

アラーム一覧から解除するアラームタイトルにカーソルを合わせて を押す

・解除したアラームを再設定するには、 を押します。

■ アラームを編集するときは

① アラーム一覧から編集するアラームタイトルを選択する

② アラーム設定を編集する→P446

設定した時刻になると

・設定した時刻になると、ディスプレイに左の画面または設定したイメージや動画／ｉモーションが表示され、設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにアラームの画面と時刻が15秒間表示されます。

・アラーム鳴動中に を押すとアラームなどが止まり、鳴動前の画面に戻ります。
・アラーム鳴動中に約1分間何も操作をしないか またはサイドキー［▼］以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラームなどが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
・設定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

状況	動作
通話中の場合	アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。 ・通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源を切っている場合	設定した時刻になっても電源は入らず、アラームも鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON 設定を「ON」に設定してください。→P448
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に設定した時刻になった場合	左記動作終了後にアラームが動作します。

お知らせ

・マナーモード中はアラームが鳴らず、アラーム設定で設定しているバイブレータが動作し、着信ランプが点灯／点滅します。
オリジナルマナーモード設定で、バイブレータとアラーム／スケジュール音を「ON」に設定している場合は、アラーム設定に従います。
・FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキーでアラームを止めるにはサイドキー［▲］を押してください。サイドキー［▼］を押してもアラームは止まりません。
・アラーム設定画面やアラーム一覧を表示している場合は、設定した時刻になってもアラームは鳴りません。
・同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の一番若い項目番号に設定しているアラームが動作します。
・アラームとスケジュールアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。 を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
・アラームを設定していても、設定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

お買い上げ時	OFF

スケジュールやアラーム設定で指定した日時に電源が入っていなかったときは、電源を自動的に入れてスケジュールアラームや予告アラーム、アラームが鳴るように設定します。

1 待受画面で MENU 8 5 5 を押す

2 1 を押す

・電源が OFF のときに、アラームの時間に自動的に電源を入れる必要がない場合は 2 を押します。

お知らせ

・PIN1 コード ON／OFF 設定機能を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールアラームで指定した時刻に電源が入りアラームが動作した後、PIN1 コード入力の画面が表示されます。PIN1 コード入力後、待受画面が表示されます。
このとき、アラーム音にダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、プリインストールされているメロディの「目覚まし時計 1」が鳴ります。
・病院、医療機関、航空機の中など使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなくアラーム自動電源 ON の設定も解除してください。

スケジュール帳

スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録します。設定日時になると画面表示やアラーム音でお知らせします。
● 同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールの表示ができます。

1 待受画面で を 1 秒以上押す

お買い上げ時は、当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます。
・同じ日に複数のスケジュールが設定されている日は、その日の一番早い時刻に登録されているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
繰り返しのスケジュールが設定されている日付には、日付の右上に ◥ が表示されます。
日付をまたいだ長期間スケジュールが設定されている日付には、日付の右上に ◺ が表示されます。
・ を押して日付を移動します。 を押すとデイリービュー画面が表示されます。
・ を押して前月、 を押して翌月に切り替えます。
・カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ 特定の日を指定して表示するとき
① **カレンダー画面で MENU 4 2 を押す**
② **年月日を入力する**
・指定した日付にカーソルが移動します。
・当日の日付にカーソルを戻すときは MENU 4 1 を押します。
・デイリービュー画面から操作する場合は MENU 5 2 を押して操作します。当日の日付にカーソルを戻す場合は MENU 5 1 を押します。

お知らせ

・カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
・スクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。→P145
・休日や祝日を設定できます。→P450、P451
・カレンダーの休日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2004年12月現在）。
ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならないことがあります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。

カレンダーの表示形式を設定する<カレンダーモード設定>

お買い上げ時	動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

カレンダーの表示方法と表示形式を変更します。

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上押す

2 [MENU][6][1]を押す

3 各項目を選択して設定する

動作モード：カレンダーの表示方法を設定します。
・「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。前月と翌月の日付は背景の色が変わります。
・「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロール表示されます。偶数月と奇数月で背景の色が変わります。

表示モード：カレンダーの表示形式を設定します。
・「ノーマルモード」に設定すると、日曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。
・「ビジネスモード」に設定すると、月曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。

4 [カメラ]を押す

設定したカレンダーモードでカレンダーが表示されます。

休日を設定する<休日設定>

会社や学校の休日を設定します。日にちや曜日を指定して設定できます。

日にちを指定して休日を設定する

・最大30件登録できます。

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上押す

2 休日にする日にカーソルを合わせて[MENU][6][2][1]を押す

休日が設定されます。
・休日に設定された日付の色が変わります（当日以外）。
・毎年繰り返して休日にするときは[MENU][6][2][2]を押します。

■ 休日設定を解除するとき

カレンダー画面で休日設定を解除する日にカーソルを合わせて[MENU][6][2][3]を押す

・休日設定を全解除するときは[MENU][6][2][4]を押します。

■ 曜日を指定して休日を設定するとき

① カレンダー画面で[MENU][6][3]を押す

② [1]～[7]を押して休日に設定する曜日を選択する

・日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは[MENU]を押します。

③ [カメラ]を押す

・曜日が1つも選択されていない状態で登録した場合は、自動的に日曜日が休日に設定されます。

祝日を設定する＜祝日設定＞

祝日を変更したり、祝日を最大5件まで新規登録できます。

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上押す

2 [MENU][6][4]を押す

■ 祝日を変更するとき

変更する祝日を選択し、操作4に進む

■ 祝日を削除するとき

削除する祝日にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「はい」を選択する

・お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

3 [カメラ]を押す

4 各項目を選択して設定する

祝日名：祝日名を入力し、[ ]を押します。
- 全角で最大11文字、半角で22文字入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：[1]または[2]を押して設定した祝日を表示／非表示を選択します。

日付：祝日に設定する日付を入力し、[ ]を押します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、日付欄から「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 [カメラ]を押す

祝日が設定されます。

スケジュールを登録する

仕事の予定などを登録します。設定日時になると画面表示やアラーム音でお知らせします。

・最大300件登録できます。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

・日付・時刻の設定が必要です。→P49

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上押す

次ページへ続く

2 スケジュールを登録する日にカーソルを合わせて [key] を押す

・デイリービュー画面から操作する場合も [key] を押して操作します。

3 各項目を選択して設定する

[icon]（用件アイコン）

：用件アイコンを選択します。
・ 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定（内容欄）：選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて内容を変更し、[key] を押します。
・ 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。
・ 内容は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは [1] を押します。
・ 終日に設定しないときは [2] を押します。
・ 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。日付をまたいだ長期間スケジュールを終日に設定すると、日付表示部分の後ろに「終日」と表示されます。

開始日時：スケジュールの開始日時を入力し、[key] を押します。
・ 西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
・ 2060年12月31日まで設定できます。
・「終日」を指定した場合は時刻を設定できません。

終了日時：スケジュールの終了日時を入力し、[key] を押します。
・ 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

要約・メモ：スケジュールの詳細などを入力し、[key] を押します。
・ メモは全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

4 [key][key] を押してアラーム設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

アラーム　：アラームを設定するときは 1 を押します。
アラーム選択欄から「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画またはメロディから選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた→P382、メロディ一覧の見かた→P403
- スケジュール開始時刻にアラームを鳴らさないときは 2 を押します。
- アラームに映像のあるｉモーションを設定しているときに、イメージを「あり」に設定すると、アラームは標準のメロディになります。

予告アラーム　：スケジュールの開始日時より前にアラームを設定するときは 1 を押します。
- 予告アラームの選択方法はアラームと同じです。
- 予告アラームに映像のあるｉモーションを設定しているときに、イメージを「あり」に設定すると、予告アラームは標準のメロディになります。

予告アラーム時間(分前)
：予告アラームを「あり」に設定したときに、何分前に予告アラームを鳴らすかを、1 ～ 5 を押して設定します。

5 を押してその他の設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

繰り返し　：1 ～ 6 を押してスケジュールの繰り返し設定を選択します。
- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末(「30日」や「2月28日」など)が繰り返し日となります。
- 「6 曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、曜日を選択して を押します。

イメージ　：スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、1 を押して画像選択欄から静止画を選択します。
- 画像一覧の見かた→P368
- イメージにFlash画像は設定できません。
- アラームまたは予告アラームに映像のあるｉモーションを設定すると、イメージは「なし」になります。

6 を押してメンバーリスト選択に切り替える

7 「<メンバーリスト選択>」を選択し、登録するメンバーを選択する

- メンバーは最大5名まで登録できます。登録したメンバーリストから、電話をかけたりメールを送信したりできます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるには を押します。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。
- 同様にして、登録するメンバーをすべて選択します。

■ メンバーを削除するとき

削除するメンバーにカーソルを合わせて を押す

次ページへ続く

8 を押す

スケジュールが登録されます。

・アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に またはは（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。
FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに またはは（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録するには

① 待受画面でダイヤルキーを使ってスケジュールを登録する日時を8桁で入力し、 を押す

〈例〉1月27日12時34分の場合：0 1 2 7 1 2 3 4

・当日の時刻を入力するときは、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。

② スケジュールを登録する→P451

お知らせ

・プライバシーモード起動中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。
・スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。

スケジュールアラーム、予告アラームを設定していると

・設定した日時になると、ディスプレイに日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／iモーションが表示され、電話着信音量調整で設定した音量でアラーム音が鳴ります。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「スケジュールアラーム」というメッセージ、スケジュールの内容、アラーム起動時刻、イメージが表示されます。また、着信イルミネーションやバイブレータ設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。

・予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラーム音が鳴ります。
・アラーム音鳴動中に 電源 を押すとアラーム音などが止まり、待受画面に戻ります。アラーム音鳴動中に1分間何も操作しないか、 電源 またはサイドキー［▼］以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／iモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラーム音などが止まります。設定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中の場合	設定したアラーム音ではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。このとき、バイブレータは動作しません。 ・通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源を切っている場合	指定した日時になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。→P448
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に指定した日時になった場合	左記動作後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

お知らせ

- マナーモード中はアラーム音が鳴らず、バイブレータは「パターンA」で動作します。オリジナルマナーモード設定が設定されている場合は、バイブレータとアラーム／スケジュール音、電話着信音量の設定に従います。
- イメージにパラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- FOMA 端末を折り畳んでいるときにサイドキーでアラーム音を止めるにはサイドキー［▲］を押してください。サイドキー［▼］を押してもアラーム音は止まりません。
- 同日時に複数のスケジュールを設定していると、アラーム音などを停止してから、 を押して、同日時に設定していた他のスケジュール内容を確認できます。
- スケジュールアラームとアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。 を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
- アラームを設定していても、設定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。

登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールを表示します。また、表示した画面から、スケジュールの追加や変更、削除を行います。

1 待受画面で を1秒以上押し、確認するスケジュールの登録日を選択する

デイリービュー画面

- デイリービュー画面で を押すと、日付が切り替わります。

■ 特定の用件のスケジュールのみ表示するには

①待受画面で を1秒以上押す

② を押す

- 全用件表示にするときは を押します。

③用件アイコンを選択する

用件が絞り込まれて表示されます。

- デイリービュー画面から操作する場合は、 を押します。全用件表示に戻す場合は を押します。

2 確認するスケジュールを選択する

スケジュール詳細画面

■ スケジュールを変更するとき

①スケジュール詳細画面で を押す

②スケジュールの内容を変更して を押す

③「はい」を選択する

変更したスケジュールが登録されます。

- デイリービュー画面から操作する場合は、 を押します。

お知らせ

- シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P168
- 表示中のスケジュール内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To 機能を利用できます。→P233
- スケジュールに終日を設定すると、デイリービュー画面では「終日」と表示されます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

スケジュールをコピーして別の日のスケジュールとして貼り付けます。

・日付をまたいだ長期間スケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日付分のスケジュールが貼り付けられます。

・コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまでFOMA端末に保持され、別の日に何度でも貼り付けることができます。ただし、保持できるのは1件のみで、新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 待受画面で を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 コピーするスケジュールにカーソルを合わせて 6 1 を押す

スケジュールがコピーされます。

3 クリア を押し、カレンダー画面を表示させる

4 スケジュールを貼り付ける日にカーソルを合わせて 5 を押す

スケジュールが貼り付けられます。

・デイリービュー画面から操作する場合は、 6 2 を押します。

お知らせ

・スケジュールをminiSDメモリーカードへ1件コピーまたはバックアップ（全件）できます。→P413、P415

スケジュールからメールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。

・操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信件数＼操作する画面	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分／全件※	○	○	×

※：登録されているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

・スケジュールはメール本文にDate To形式で書き込まれます。→P473

・メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が切り捨てられます。

・用件別に表示されているときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。

・シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。→P168

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 待受画面で を1秒以上押し、メール送信するスケジュールの登録日を選択する

・カレンダー、スケジュール詳細画面から操作する場合は を押し、「メール作成」を選択して、「1日送信」または「全件送信」を選択します。スケジュール詳細画面からは、 を押してもｉモードメールを作成できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

2 メール送信するスケジュールにカーソルを合わせて [メールキー] を押す

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは [MENU][7][2] を押します。
- 登録されているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは [MENU][7][3] を押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→P259

スケジュールを削除する

スケジュールを以下のように１件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除件数＼操作する画面	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日	○	○	×
前日まで	○	○	×
全件	○	○	×

- 繰り返し設定されているスケジュールは、カレンダー画面からは「全件削除」、デイリービュー画面からは「1件削除」または「全件削除」、詳細画面からは「削除」を選択して削除してください。

〈例〉デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 待受画面で [スケジュールキー] を１秒以上押し、削除するスケジュールの登録日を選択する

- カレンダー、スケジュール詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「削除」を選択します。

2 [MENU][3] を押す

3 [1]～[4] を押す

- 全件削除するときは [4] を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。ただし、シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。

■「1日削除」で日付をまたいだ長期間スケジュールを削除するとき

「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択する

選択した方法でスケジュールが削除されます。

- 選択した日のスケジュールと、その日を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択します。それ以外のスケジュールを削除するときは「長期間は残す」を選択します。

■「前日まで削除」で日付をまたいだ長期間スケジュールを削除するとき

「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択する

選択した方法でスケジュールが削除されます。

・選択した日以前のスケジュールと、その日以前を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択します。それ以外のスケジュールを削除するときは「長期間は残す」を選択します。

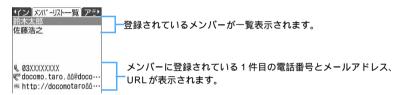
4 「はい」を選択する

スケジュールが削除されます。

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録されているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録されているURLからサイトを表示します。

1 待受画面でを1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 利用するスケジュールを選択し、を押してメンバーリスト一覧画面を表示する

・シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。→P168

3 電話帳データを利用する

■音声電話／テレビ電話をかけるとき

メンバーを選択して音声電話のときは、テレビ電話のときはを押す

表示されている電話番号に音声電話／テレビ電話をかけます。

・発信者番号の通知／非通知や通信速度を選択するときは、を押して「カスタム発信」を選択します。→P60

・メンバーを選択してまたはを1秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。

■ｉモードメールを送信するとき

①メンバーを選択してを押す

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

・メンバー全員にｉモードメールを送信するときはを押します。全員の宛先がメール作成画面に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

②ｉモードメールを編集して送信する

・ｉモードメールの作成・送信方法→P259

■ サイトを表示するとき

メンバーにカーソルを合わせて ⓜ 6 を押す

サイトに接続されます。

お知らせ

・電話帳データに登録されている 2 件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の詳細画面（電話／メール）を表示し、利用したい電話番号、メールアドレスにカーソルを合わせて音声電話やテレビ電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりできます。(→P114、P259）ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成すると、スケジュールは本文に設定されずDate To 機能は使用できません。
・メンバーリスト一覧画面で ⓘ を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
・電話帳データの発番号設定が「設定なし」に設定されている場合は、発信者番号通知設定の設定に従って音声電話／テレビ電話がかかります。→P51、P121

他人に見られたくないスケジュールを守る<シークレット属性>

他人に見られたくないスケジュールデータは、認証操作（端末暗証番号の入力または指紋認証）をしないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモードを設定する必要があります。

・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する→P168

2 待受画面で ⓘ を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

3 設定するスケジュールにカーソルを合わせて ⓜ 9 を押す

選択されているスケジュールにシークレット属性が設定されていると 🔑 が点滅します。

・シークレット属性を解除するには、シークレット属性が設定されているスケジュールを選択して ⓜ 9 を押します。

お知らせ

・シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。
・シークレットモードを設定中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。
・シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないとスケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。

スケジュールの登録件数を確認する<登録件数確認>

登録したスケジュールと休日設定の件数を確認します。

1 **待受画面で［カレンダーキー］を1秒以上押し、［MENU］［7］を押す**

登録件数確認	
ｽｹｼﾞｭｰﾙﾃﾞｰﾀ	4 件
休日設定	1 件

［ ］を押すとカレンダーに戻ります。

カスタムメニュー

よく使う機能を登録する

あらかじめ登録されているメニュー（ノーマルメニュー）の他に、機能や特定の人物の電話帳データを自由に登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作ることができます（カスタムメニュー）。よく使う機能や頻繁に連絡をとる相手の電話帳データを登録しておけば、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけたりできます。

● カスタムメニューに登録した機能のメニュー項目は、待受画面で対応するダイヤルキー（［1］～［9］）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのとき、および2階層目以降にメニューがある機能のときは、ダイヤルキーを1秒以上押しても起動しません。

テンプレートのサンプルを読み込む

お買い上げ時	シンプルメニュー

ここではあらかじめ登録されているテンプレートのサンプルを読み込む手順を説明します。

・カスタムメニューには、あらかじめ次の4種類のサンプルがテンプレートとして用意されています。

・サンプルを読み込んでから任意の機能を追加・削除することで、オリジナルのカスタムメニューを作成することもできます。

1 **待受画面で［MENU］［カレンダーキー］を押す**

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で［MENU］を押します。

2 **［MENU］［7］［1］を押し、［1］～［4］を押す**

シンプルメニュー：電話帳／履歴、メール、着信音設定、着信音量調整、受話音量調整、データBOX、ｉモード

ＩＣカード／セキュリティ
：ＩＣカードソフト一覧、ＩＣカードロック、指紋設定、プライバシーモード設定、遠隔ロック

ユーザデータ：Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSDカード

メール：新規メール、チャットメール、メールグループ、テンプレート読込み、受信メール

・テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

3 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。
・既にカスタムメニューが作成されているときは新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択したテンプレートがカスタムメニューに設定されます。

カスタムメニューを作成する

カスタムメニューを作成します。ここではテンプレートのサンプルを読み込んでから任意の項目を追加し、オリジナルのメニューを作成します。
・カスタムメニューの1つの階層には最大9個のアイコンが登録できます。
・テンプレートのうち、ユーザデータには既に9個のアイコンが登録されています。
このサンプルを選択した場合は、選択した項目に上書き登録することになります。
・サンプルをリセットすることで、あらかじめ登録されている項目をすべて削除し、任意の項目を登録することもできます。→P464

1 テンプレートのサンプルを読み込む→P460

2 項目を登録する

■ 人物を登録するとき

・シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P168
・Flash画像、動画やｉモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash画像、動画やｉモーションではなく、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

① [MENU][1][1]を押す
電話帳一覧が表示されます。
・検索方法を変えて検索し直すときは、[MENU]を押します。
・前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

② 登録する人物を選択する

人物が登録されます。

その他の便利な機能

次ページへ続く

■ 機能を登録するとき

① [MENU][1][2]を押す

・機能選択の画面は、メニュー設定のノーマルの設定に従った表示形式で表示されます（画面はタイルアイコン表示の場合です）。→P33

② 登録するメニュー項目にカーソルを合わせて[☐]を押す

「受信メール」を登録した場合

メニュー項目が登録されます。

・下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目を選択するか、ショートカット操作で登録できます。

■ グループを登録するとき

① [MENU][1][3]を押し、グループ名を入力する

・全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

② [☐]を押す

■ グループ内に登録するとき

カスタムメニューは3階層までです。既に2階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

① グループを選択する

グループ内の項目が表示されます。

・空のグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。

② 追加登録または上書き登録の操作を行う

■ 登録済みの項目に上書き登録するとき

① 上書きする項目にカーソルを合わせて[MENU][2]を押す

項目選択画面が表示されます。

② [1]～[3]を押し、登録する項目を選択する

・グループに上書きすると、グループ内の項目はすべて削除されます。

お知らせ

・登録した項目の並び順やアイコンを変更できます。→P464

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに登録されている機能や人物を選択します。

・グループフォルダの2階層目にメニューを登録すると、メニュー設定「カスタム」の設定に従った表示形式で2階層目のメニューが表示されます。

・カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作の番号は、ノーマルメニューと同じ方法と、カスタムメニューの項目位置に対応したダイヤルキーで行う方法のどちらかを選択できます。→P33

1 待受画面で（MENU）（）を押す

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で（MENU）を押します。

2 項目を選択する

機能
・機能が実行されます。下位の階層があるメニューを選択したときは、メニュー項目が表示されます。

人物
・リストメニューが表示され、カスタム発信や詳細情報の確認などができます。

グループ
・グループ内に登録された項目を利用するときに選択します。

人物を利用する

1 待受画面で（MENU）（）を押す

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で（MENU）を押します。

2 人物にカーソルを合わせ、それぞれの操作を行う

■ **電話をかけるとき**

（）（音声電話）または（）（テレビ電話）を押す

・電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面で電話番号を選択します。
・電話番号が 1 件のみ登録されているときは、（）（音声電話）または（）（テレビ電話）を1秒以上押して電話をかけると、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。

■ **ｉモードメールを送信するとき**

（）を押す

・メールアドレスが2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（メール）画面でメールアドレスにカーソルを合わせて（）または（）を押します。
・メールアドレスが登録されていないときは、宛先は空欄になります。
・ｉモードメールの作成・送信方法→P259

■ **ショートメッセージ（SMS）を送信するとき**

（）を1秒以上押す

・電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面が表示されます。
・電話番号にカーソルを合わせて（）または（）を押します。
・電話番号が登録されていないときは、宛先は空欄になります。
・ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法→P319

お知らせ

・シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは（）になります。
・PIM ロック中、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが（）に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
・シークレット属性と PIM ロックの両方が設定されている場合は、PIM ロック中のアイコン、動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。また、カスタムメニューを何も登録されていないお買い上げ時の状態に戻します。
・グループ内の項目を編集するときは、グループを選択し、グループ内の画面を表示します。

1 **待受画面で MENU 電話帳 を押す**
・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 **編集する項目にカーソルを合わせ、それぞれの操作を行う**

■ 項目を入れ替えるとき
① MENU 4 を押す
② 入れ替え先の項目を選択して「はい」を選択する

■ アイコンを変更するとき
MENU 5 を押し、アイコンを選択する
・アイコンを元に戻すには 電話帳 を押します。

■ グループ名を変更するとき
① MENU 6 を押す
② グループ名を入力して 電話帳 を押す

■ 項目を削除するとき
MENU 3 を押し、「はい」を選択する
・グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューをリセットする

登録した内容やサンプルの項目をすべて削除します。カスタムメニューの全項目に任意の機能や電話帳データを登録する場合に行います。

1 **待受画面で MENU 電話帳 を押す**
・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 **MENU 7 2 を押す**

3 **端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

4 **「はい」を選択する**
カスタムメニューの登録内容がすべて削除されます。
・ を押すと、項目選択画面が表示されます。項目を選択すると、人物、機能、グループの登録ができます。→P461

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

お客様のご契約端末の電話番号（自局電話番号）、名前、メールアドレスなどを登録します。

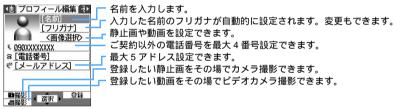
● 登録できるのは次の項目です。
- 名前、フリガナ
- 画像
- 電話番号（FOMA 端末の電話番号を含めて、最大５番号）
- メールアドレス（最大５アドレス）
- その他情報（URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名・誕生日）

プロフィール情報を登録する

1 待受画面で MENU 0 を押す

・自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。

2 を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 名前やメールアドレスなどを設定する

・各項目の設定方法は、電話帳の設定方法と同じです。→P103
・既に設定されている項目は、その内容が表示されます。
・１件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が設定されています。変更はできません。

4 を押し、その他の情報を設定する

・初期登録時はいずれも設定されていません。既に設定されている場合は、その内容が表示されます。
・各項目の設定方法は、電話帳の設定方法と同じです。→P103

5 を押す

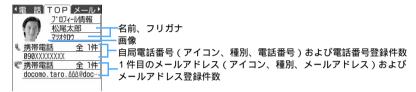
次ページへ続く

お知らせ

- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末に記録されます。
- 圏外 でもプロフィール情報は登録できます。
- プロフィール情報のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレス欄は自動的には変更されません。メールアドレスを変更する→P253

プロフィール情報の詳細を表示する

1 **待受画面で MENU 0 を押す**

2 **を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

- 既に設定されている内容が表示されます。文字が長い場合は、途中までしか表示されません。
- を押すと、名前、フリガナ、および電話番号とメールアドレスの各1件目が表示されます。→P114

■ プロフィール情報を修正するとき

MENU 2 を押し、プロフィール情報を修正する→P465

■ 登録内容をリセットするとき

MENU 3 を押し、「はい」を選択する

お知らせ

- プロフィール情報に記録されている情報を利用して、電話帳と同様にいろいろな操作ができます。
  - 電話帳を使いこなす→P110、P116、P117
  - プロフィール情報を転送する（赤外線プロフィール送信）→P427
  - 各種機能を設定する→P121

通話中／待受中音声メモ

相手の声や自分の声を録音する

音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声を録音します（通話中音声メモ）。

- 通話中音声メモ／待受中音声メモの録音時間は、1件につき最大30秒、合わせて4件録音できます。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたりすることがあります。また、圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 通話中音声メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話中に相手の声を録音する

通話中音声メモでは通話相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中も音声のみ録音され、画像は録画されません。

1 通話中にサイドキー［▲］を1秒以上押す

録音が開始されます。

音声電話通話中音声メモ

録音できる残り時間の目安が表示されます。

テレビ電話通話中音声メモ

- 録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（録音開始時にはこの音は鳴りません）。
- 録音を途中で停止するときはサイドキー［▲］を1秒以上押します。
- 通話中に TASK 4 4 2 を押しても、音声メモは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面でサイドキー［▲］を1秒以上押し、3 を押す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

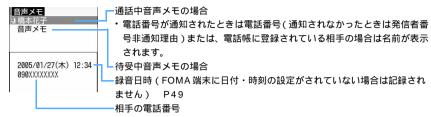
約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音開始から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは 電源、クリア、 を押します。

音声メモを再生する

音声メモ一覧から、録音された音声メモを再生します。

1 待受画面でサイドキー［▲］を１秒以上押し、4 を押す

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

2 再生する音声メモを選択する

時間経過の目安が表示されます。

音声メモが再生されます。

- 音声メモの再生を途中で停止するときは□を押します。
- サイドキー［▲▼］または カメラ iα を押して音量を調整します。
- 再生中に 通話 を押すと音声メモがスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。再度、通話 を押すと受話口から聞こえるようになります。

3 再生した音声メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択すると、音声メモが削除されます。

■ 音声メモ一覧から音声メモを削除するとき

① 音声メモ一覧で削除する音声メモを選択して MENU 2 1 を押す

- 音声メモを全件削除するときは MENU 2 2 を押します。

②「はい」を選択する

■ 音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録するとき

① 登録する通話中音声メモを選択して MENU 4 を押す

- 登録済みの電話帳に追加するときは、MENU 5 を押して 1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。→P103

② 1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する→P103

> **お知らせ**
>
> - 通話中音声メモの場合、一覧画面で相手にカーソルを合わせて 通話 を押すと音声電話、テレビ電話 を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりできます。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。通話料金の確認は、2004年12月（予定）からご利用できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、それぞれかけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先に通話した場合は、「0 YEN」または「******」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間を確認する

1 待受画面で MENU 8 4 1 を押す

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の時間
積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間

・以前に通話時間を積算リセットした場合は、リセット時から現在までの積算通話時間の目安が表示されます。

■ 積算通話時間をリセットするとき

① ［メール］を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行う
② リセットしたい通話時間を選択し、「はい」を選択する

・音声電話／テレビ電話、データ通信すべての通話時間をリセットしたいときは、「全積算情報リセット」を選択します。
・通話時間画面に戻るときは［メール］を押します。

通話料金を確認する

1 待受画面で MENU 8 4 4 を押す

直前通話料金：直前に行った音声電話、テレビ電話、データ通信の料金
・直前通話料金の情報がない場合は、「****** YEN」と表示されます。
積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金を合計した積算料金
・以前に通話料金を積算リセットした場合は、リセット時から現在までの積算通話料金の目安が表示されます。
前回リセット日時：前回積算リセットした日時

■ 積算通話料金をリセットするとき

［メール］を押してPIN2コードを入力し、「はい」を選択する

・PIN2コード→P152

その他の便利な機能

次ページへ続く

お知らせ

- パケット通信で使用した時間は含まれません。
- 直前および積算の音声通話時間やテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間はそのまま保持されますが、直前通話料金は「****** YEN」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

● 最大8桁入力できます。

● スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。→P544

1 待受画面で MENU 7 4 を押す

2 計算する

電卓画面

ダイヤルキー（0 ～ 9）と（×、÷、－、＋）を使って計算します。

- 入力した数字を1桁削除するときは を押します。
- 小数点を入力するときは * を押します。
- 表示中の数字の＋と－を切り替えるときは # を押します。
- 電卓画面は、対応する端末のキーの働きがわかるようにデザインされています。

3 ● を押す

計算結果が表示されます。

- クリア を押すと計算結果が削除されます。

お知らせ

・表示されている数値をコピーするには MENU 1 を押します。コピーされている数値を貼り付けるには MENU 2 を押します。コピーした数値は電源を切るまで保持され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。
・計算結果の整数部分が 8 桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、クリア を押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。
・メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位 8 桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。8 桁を超えた半角数字をコピーした場合、超過した分は削除されます。
・貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。また、全角数字を貼り付けたり、数字以外の文字が含まれている場合は貼り付けることはできません。

メモ帳

メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。

● メモは最大 50 件登録できます。

1 待受画面で MENU 7 2 を押す

2 「<新しいメモ>」を選択する

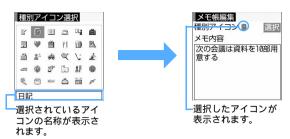
3 メモ内容欄にメモ内容を入力する

・全角で最大 300 文字、半角で最大 600 文字入力できます。

■ 電卓で計算した数値を入力するには

① 文字入力画面で MENU 8 2 を押す
② 計算を行い、 を押す
・電卓の操作→P470

その他の便利な機能

4 種別アイコン欄の「選択」を選択し、一覧からアイコンを選択する

5 [■]を押す

・メモ内容が入力されていないときは登録できません。

お知らせ

・メモ帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと接続用の市販のUSBケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 待受画面で[MENU][7][2]を押す

2 確認するメモを選択する

・表示中のメモ内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。→P233
・スケジュール定型文が含まれている場合は、Date To機能を利用できます。→P472
・[■]を押すと、メモを修正できます。

■ メモを削除するとき

①**削除するメモにカーソルを合わせて[MENU][2]を押す**
・全件削除するときは[MENU][3]を押し、端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。
②**「はい」を選択する**

■ メモからメールを作成するとき

メールの本文にするメモにカーソルを合わせて[MENU][4]を押す
・iモードメールの作成・送信方法→P259

メモからスケジュールを登録する<Date To機能>

メールの本文にDate To形式でスケジュールの内容が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーすることでスケジュールへ登録できます。

1 待受画面で[MENU][7][2]を押す

2 Date To形式で記述してあるメモを選択する

3 Date To 形式の記述を選択する

4 登録する→P451

→P451

Date To形式

Date Toはメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

〈例〉 2005/01/27□9:00□～□2005/01/27□17:00□講習会 ↵

開始年月日　開始時刻　終了年月日　終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※□は半角スペースを示します。実際に表示されるものではありません。

- 内容以外の下線部分は半角文字のみ有効です。
- 開始年月日、開始時刻、「～」、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角スペースで区切ります。
- 内容は全角で最大100 文字、半角で最大200 文字入力できます。最大文字数を超える文字は切り捨てられます。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前の0は省略できます。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文をメモに設定できます。→P542

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売のスイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。

● スイッチ付イヤホンマイクでテレビ電話をかけることはできません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイクの端子カバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P25

- スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部に近づけるとノイズが入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して電話をかける

電話番号を電話帳のメモリ番号０に登録しておくと、電話番号をダイヤルしたり電話帳を呼び出したりしなくても、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで登録してある電話番号に音声電話をかけることができます。

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する

イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを１秒以上押す

メモリ番号０の１件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

3 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを１秒以上押す

・（電源キー）を押しても通話を終了できます。

お知らせ

・メモリ番号 0 に複数の電話番号が登録されている場合は、1 件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
・メモリ番号 0 にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、スイッチの操作で電話をかけてください。
・通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話をかけることはできません。スイッチを押すと、通話が終了してしまいますのでご注意ください。
・miniSDメモリーカードのデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけることができません。

スイッチを押して電話を受ける

あらかじめスイッチ付イヤホンマイクを接続しておきます。

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを１秒以上押す

・着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。→P475

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを１秒以上押す

・（電源キー）を押しても通話を終了できます。

お知らせ

・オート着信機能が設定されていると、かかってきた電話をスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。
・スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合の動作は、次のようになります。
  - 接続中の機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらず通話が継続
  - テレビ電話通話中の場合は、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画／キャラ電を表示
  - 自画像にフレームを付けて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画／キャラ電を表示
・キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合には、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押して出ることができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

イヤホンをつないで自動で電話を受ける < オート着信機能設定 >

お買い上げ時	自動着信機能 OFF

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答できます。
音声／テレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
・通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
・ドライブモード設定中は、本機能は動作しません。→P76

1 待受画面で MENU 8 6 4 を押す

2 自動着信機能欄を選択し、1 を押す

・オート着信機能を解除するときは 2 を押し、操作 4 に進みます。

3 自動着信機能時間を入力する

・自動着信機能時間を 0 ～ 120 秒の範囲で入力します。

4 ✉ を押す

お知らせ

・伝言メモの応答時間とオート着信機能設定の自動着信機能時間を同じ時間には設定できません。→P79
・テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定された代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
・伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
・メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否を設定しているときに、着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は、本機能は動作しません。→P168、P172

イヤホンからのみ着信音を鳴らす＜イヤホン切替設定＞

お買い上げ時	イヤホン＋背面スピーカー

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

1 待受画面で MENU 8 6 3 を押す

2 2 を押す

イヤホン切替設定
1 イヤホン+背面スピーカー
2 イヤホンのみ

イヤホン切替設定が設定されます。

■ イヤホンとスピーカーから着信音を鳴らすには
1 を押す

お知らせ

- スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定した場合、着信音の開始から 20 秒経過すると「イヤホン＋背面スピーカー」から着信音が鳴ります。

NW検索方法

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時	ネットワーク自動検索

FOMA サービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。自動検索にしないときは、通信事業者を指定しておきます。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で MENU 8 9 5 を押す

検索方法 ：ネットワークの検索方法を設定します。
- 「ネットワーク自動検索」に設定したときは、「手動選択」は設定できません。

手動選択 ：通信事業者を設定します。
- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2004 年 12 月現在）。
- ドコモ以外の通信業者を選択したときは、パケ・ホーダイの対象になりません。

2 検索方法欄を選択して 1 または 2 を押す

- 検索方法を自動にするときは 1 を押し、操作 4 へ進みます。

3 手動選択欄を選択して 1 を押す

4 を押す

通信事業者が設定されます。

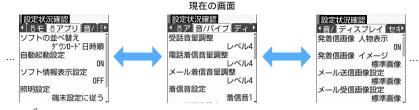
設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

FOMA 端末の各種設定状況を確認します。

1 待受画面で MENU 8 4 2 を押す

「音／バイブ」のメニューの各種設定状況が表示されます。

2 [icon][icon]を押して各種設定状況を確認する

・[icon]を押すたびに、メニューが「音／バイブ」「ディスプレイ」「セキュリティ／その他」「時計」「発着信機能」「通話機能」「テレビ電話」「メール」「[icon]モード」「[icon]アプリ」の順に切り替わります。[icon]を押すと逆の順に切り替わります。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

● 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P554
メニュー一覧に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能は次のとおりです。
- マナーモード（基本設定を選択するとリセットされます）
- ドライブモード（基本設定を選択するとリセットされます）
- 予測辞書データ
- ユーザ辞書データ（単語登録で登録したデータが消去されます）

1 待受画面で[MENU][8][4][5]を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 リセットする項目を選択する

・[MENU]を押すとすべての項目を選択／解除できます（選択状況によってガイド行の表示が異なります）。

4 [icon]を押す

5 「はい」を選択する

お知らせ

・メニュー構成は本機能でリセットされませんが、アイコンデザインの「カスタム1」、「カスタム2」を変更していた場合、それらはお買い上げ時の状態に戻ります。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA 端末に保存・登録・設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - 電子マネー「Edy」以外のｉアプリ
  - キャラ電
  - データBOX内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
- 保存・登録した次のデータは削除されます。
  - メッセージR/F、ｉモードメール、チャットメール（チャットメンバー設定含む）、ショートメッセージ（SMS）
  - メールテンプレート
  - 署名設定
  - メールグループ
  - ブックマーク（「アドレス確認」以外）
  - URL入力
  - URL履歴
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - ｉアプリ
  - ｉアプリの履歴表示
  - 電話帳データ
  - 着信履歴
  - リダイヤル
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - 音声メモ
  - データBOX内のマイピクチャ・ｉモーション・メロディの「プリインストール」フォルダ以外のデータ
  - キャラ電
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - 指紋認証登録
  - スケジュール（登録・変更した祝日を含む）
  - メモ帳
  - 通話時間
  - 単語・定型文
  - USSD登録
  - 応答メッセージ登録
  - プロフィール情報（自局電話番号以外）
  - 作成したフォルダ・アルバム
  - ソフトウェア更新（予約更新）
- 各種設定リセット（→P477）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - メール振り分け設定
  - ブックマークのツータッチ登録
  - ｉアプリ（ソフト一覧から設定する機能）
  - 伝言メモ設定
  - マイピクチャ・ｉモーション・メロディ
  - キャラ電の各動作設定
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - 赤外線通信のデータ送受信設定
  - バイリンガル
  - PIMロック
  - ＩＣカードロック
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - 日付時刻設定
  - テレビ電話使用機器設定
  - NW検索方法
  - 通話中着信動作選択
  - メニュー設定
  - 変更したフォルダ名

1 待受画面で MENU 8 4 6 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 「はい」を選択する

再起動中にデータ一括削除されます。

お知らせ

- 以下のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。
  - ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- お買い上げ時に登録されているデータ・ｉアプリを削除した場合は、「@Ｆケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P337
- 機能ごとにお買い上げ時の設定に戻すには、各種設定リセットから行ってください。→P477
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかる場合があります。途中で電源を切らないようご注意ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。→P481	有料	必要
キャッチホン	現在お話し中の通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。→P483	有料	必要
転送でんわサービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、かかってきた電話を自動的に転送します。→P485	無料	必要
迷惑電話ストップサービス	相手先の電話番号を登録すると、以後登録した電話番号からの着信には、自動的にガイダンスが応答し、迷惑電話を拒否します。→P486	有料	必要
発信者番号通知	自分の電話番号を電話をかけた相手に通知します。→P51	無料	不要
番号通知お願いサービス	発信者番号が通知されない電話に番号通知をお願いする旨のガイダンスを流した後、自動的に電話を切ります。→P487	無料	不要
ドライブモード	運転中に電話がかかってくると、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが自動応答します。→P76	無料	不要
デュアルネットワークサービス	1つの電話番号でFOMA端末とmova端末を使い分けて利用できます。→P488	有料	必要
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語で聞けます。→P489	無料	不要
サービスダイヤル	ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。→P489	無料	不要
ショートメッセージサービス（SMS）	FOMA端末間で文字メッセージを送受信できます。→P319	無料	不要
ｉモード	ｉモードメールの送受信やサイト、インターネットホームページの利用ができます。→P206	有料	必要

お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。詳しい操作や注意事項については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話

留守番電話サービスを利用する

電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えし、伝言メッセージをお預かりします。

- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
- 電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件録音でき、最長72時間保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止になります(その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません)。
- 着信中の電話を、留守番電話サービスセンターに転送できます（→P65）。通話中にかかってきた電話も留守番電話サービスセンターに転送できます。→P490
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1
サービスを開始に設定する

ステップ2
電話をかけてきた方が伝言を録音する※

ステップ3
伝言メッセージを再生する

※：留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。詳しい内容については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始する

留守番電話サービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

1 待受画面で[MENU][9][1][1]を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する

・「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時の呼出時間は10 秒）で留守番電話サービスを開始します。

次ページへ続く

4 呼出時間を入力する

留守番電話サービスが開始されます。

- 呼出時間を 0 〜 120 秒の範囲で入力します。
- [カメラ]/[iモード] を押して数字を増減することもできます。

■ 留守番電話サービスを停止するとき

待受画面で [MENU][9][1][3] を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で [MENU][9][1][4] を押して「はい」を選択する

お知らせ

- 設定確認画面で、サブメニューから選択して設定を変更できます。
  [MENU][1]：留守番電話サービス開始
  [MENU][2]：留守番電話サービス停止
  [MENU][3]：留守番電話呼出時間設定
- 待受画面で [MENU][9][1][2] を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を留守番電話サービスセンターでお受けすることもできます。
  かかってきた電話を手動で転送する→P66
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービスを停止した後も保持されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 待受画面で [MENU][9][1][6] を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

- 新しい伝言メッセージがあるか確認する、または伝言メッセージを聞くには、1度電話を切ってから操作してください。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面には伝言メッセージ件数を示すマーク（[☎ 1]）が表示されます。

1 待受画面で [MENU][9][1][5] を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく伝言メッセージを再生できます（フォーカスモード）。→P37
- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］を押すと、背面ディスプレイに[☎]が表示されます。→P30
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する<メッセージ問合せ>

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 待受画面で [MENU][9][1][7] を押す

2 「はい」を選択する

3 [ ]を押す

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に伝言メッセージの有無と件数が表示されます。

- 件数増加鳴動設定を設定していると、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータが振動します。

お知らせ

- バイブレータ設定を「OFF」に設定していても、マナーモード中にメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあった場合はマナーモードの設定に従って振動します。→P133

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

お買い上げ時	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音 1

着信後、相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増加していた場合は、通知音が鳴るようにします。

・メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
・メッセージ問合せの直後にお預かりしたメッセージについては、件数増加の通知音が鳴らない場合があります。
・オールロック中、PIM ロック中、ドライブモード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

1 待受画面で MENU 9 1 8 を押す

2 件数通知音欄を選択し、1 を押す

・通知音を鳴らさないときは 2 を押し、操作 5 に進みます。

3 通知メロディ欄を選択する

4 フォルダを選択し、一覧からメロディを選択する

メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。
・メロディ一覧の見かた→ P403
・メロディを選択して を押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー［▲▼］、 を押して音量調整、 を押して前後のメロディの再生ができます。
・ を押すと設定されます。

5 を押す

件数増加鳴動設定が設定されます。

圏外にいても着信があったことを通知する < 着信通知 >

FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをショートメッセージ（SMS）でお知らせする機能です。

着信通知を開始する

1 待受画面で MENU 9 1 9 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」または「いいえ」を選択する

・「はい」を選択すると、すべての着信を通知します。
・「いいえ」を選択すると、発信者番号非通知と公衆電話からの着信を無視します。

着信通知が開始されます。

■ 着信通知を停止するとき

待受画面で MENU 9 1 9 2 を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 1 9 3 を押して「はい」を選択する

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。

● 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
● キャッチホンは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、キャッチホンの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
● 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。→ P487
● 次のとき、キャッチホンは動作しません。
・104、110、117、118、119 にかけているとき
・ダイヤル中、および相手を呼び出し中のとき
・留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4 桁の電話番号にかけているとき
・テレビ電話通話中（着信履歴には不在着信として残ります）
・音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
● 通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
● 通話中にテレビ電話をかけることはできません。
● 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

キャッチホンを開始する

キャッチホンを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

1 待受画面で [MENU][9][2][1] を押す

2 「はい」を選択する

キャッチホンが開始されます。

■ キャッチホンを停止するとき

待受画面で [MENU][9][2][2] を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で [MENU][9][2][3] を押して「はい」を選択する

> **お知らせ**
> ・キャッチホンを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンが利用できます。→P490
> ・通話中着信動作選択が「通常着信」以外の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても着信動作は行いません。

お話し中の通話を保留にしてかかってきた電話を受けるとき

1 通話中に [文字] を押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

・ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
・[メール] を押すたびに通話の相手が切り替わります。
・ガイド行に「保留」と表示されているときは、[ ] を押すと現在通話中の相手も保留にできます。もう一度 [ ] を押すと保留が解除されます。
・保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に、[MENU][1] を押します。

2 一方の相手との通話が終わったら [電源] を押す

一方の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

・[文字] を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

お話し中の通話を終わらせてかかってきた電話を受けるとき

1 通話中に [電源] を押す

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 [文字] を押す

新しくかかってきた電話と通話できます。

お話し中の通話を保留にして別の相手に電話をかけるとき

1 通話中に [MENU][7] を押し、電話番号をダイヤルする

・着信履歴から電話をかける場合は [MENU][1] を、リダイヤルから電話をかける場合は [MENU][2] を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は [電話帳] を押し、電話帳から相手にカーソルを合わせて [文字] を押します。

2 [文字] を押す

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

・[メール] を押すたびに通話の相手が切り替わります。
・ガイド行に「保留」と表示されているときは、[ ] を押すと現在通話中の相手も保留にできます。
・保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に [MENU] [1] を押します。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら [電源] を押す

新しくかけた相手との通話が終了します。

・[文字] を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

> **お知らせ**
> ・マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けることはできません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 全国のFOMAサービスエリア内ならどこでも利用できます。
- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

> - 転送先の登録は1件です。
> - 転送でんわサービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
> - 着信中の電話を転送できます（→P65）。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。→P490
> - 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止になります（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
> - 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
> - プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
> - テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（→P84）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れません（電話をかけた側が本FOMA端末の場合は、転送する旨のメッセージが画面に表示されます）。

- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1

転送先の電話番号を登録する

ステップ2

転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ3

お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ4

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 ⟷ 転送でんわサービスのご契約者 ⟷ 転送先

電話をかけた方のご負担です。　　転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※：転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で MENU 9 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する

4 転送先電話番号を入力する

- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 最大26桁入力できます。

■ 転送先電話番号を電話帳から設定するとき

① ガイド行に が表示されている状態で MENU を押す

- 前回使用した検索結果画面が表示されます。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P168
- 検索方法を変えて検索し直すには MENU を押します。

次ページへ続く

・前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。
・複数の電話番号が登録されている電話帳を選択した場合は、転送先電話番号を選択します。

② 転送先電話番号を選択する
電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

5 を押す

6「はい」を選択する

・「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時の呼出時間は7秒）で転送でんわサービスを開始します。

7 呼出時間を入力する

・呼出時間を0～120秒の範囲で入力します。
・ を押して数字を増減することもできます。

お知らせ

・電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
・転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
・PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
・お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送することもできます。
かかってきた電話を手動で転送する→P66
・呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。

■ 転送でんわサービスを停止するとき
待受画面で 9 3 2 を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき
転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。
待受画面で 9 3 5 を押して「はい」を選択する

■ 転送先を変更するとき
① 待受画面で 9 3 3 を押す
② 転送先電話番号を入力して を押す
→P485
③「はい」を選択する

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する<転送先通話中時設定>

転送先の電話が通話中で転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。
・留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 待受画面で 9 3 4 を押す

2「はい」を選択する
転送先が通話中のときは、留守番電話サービスが動作するように設定されます。
・留守番電話サービスでの応対を解除するときは「いいえ」を選択します。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

●最大30件登録できます。
●迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
●サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
●着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。
●詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

最後に着信した電話番号を着信拒否に登録する

1 迷惑電話がかかってきた後に待受画面で 9 4 1 を押す

2 「はい」を選択する

最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。

■ 既に30 件登録されているとき

最も古い電話番号を上書きするかどうかの問い合わせ画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

指定した電話番号を着信拒否に登録する

1 待受画面で 1 4 4 ☎ を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

指定した電話番号が登録されます。

お知らせ

・迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

・発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。

・着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。

・国際電話は着信拒否登録できません。

・着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

拒否登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 待受画面で MENU 9 4 3 を押す

2 「はい」を選択する

最後に登録した電話番号が削除されます。

■ 電話番号を全件削除するとき

待受画面で MENU 9 4 2 を押す

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

● 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。

● ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。

● 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。

● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

● 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

番号通知お願いサービスを開始する

1 待受画面で MENU 9 6 1 を押す

2 「はい」を選択する

番号通知お願いサービスが開始されます。

■ 番号通知お願いサービスを停止するとき

待受画面で MENU 9 6 2 を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 6 3 を押して「はい」を選択する

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く

お知らせ

・番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

・番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、非通知設定の音声電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも記録されません。また、テレビ電話がかかってきたときは、テレビ電話をかけた側には番号通知お願いガイダンスは流れず、接続できなかった旨のメッセージが画面に表示されます。

・番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません。→P490
なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。

・FOMA端末の発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末を利用できます。
これによって、FOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話をかけたり、受けたりすることができます。

- FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、デュアルネットワークサービスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」とダイヤルする**

2 **ガイダンスに従って操作する**

FOMA端末を使えるようにする

movaに切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 **待受画面で[MENU][9][9][5][1]を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **ネットワーク暗証番号を入力する**
ネットワークが切り替えられます。

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で[MENU][9][9][5][2]を押して「はい」を選択する

お知らせ

・mova端末でもFOMAのｉモードサービスを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいてはFOMA、movaそれぞれに制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、英語に設定できます。

● 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。

● 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。

● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、ガイダンスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

● テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。

● 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

● 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で MENU 9 9 4 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 1 または 2 を押す

ガイダンス設定
1 日本語
2 英語

日本語：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。

英語：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

4 「はい」を選択する

5 1 〜 3 を押す

ガイダンス設定
1 日本語
2 日本語+英語
3 英語+日本語

日本語：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。

日本語＋英語

：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。

英語＋日本語

：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。

音声ガイダンスが切り替えられます。

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 9 4 2 を押して「はい」を選択する

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

● サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。

● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、サービスダイヤルの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

● お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。→P41

故障の問い合わせをする

1 待受画面で MENU 9 9 6 1 を押す

2 「はい」を選択する

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で MENU 9 9 6 2 を押す

2 「はい」を選択する

DoCoMoインフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- 通話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

1 待受画面で[MENU][9][8]を押す

通話中着信動作選択
1 通常着信
2 留守番電話
3 転送でんわ
4 着信拒否

通常着信　：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、応答、切断の操作ができます。キャッチホンをご契約の上、サービスを開始している場合に有効となります。

留守番電話：通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスで応答します。

転送でんわ：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送されます。

着信拒否　：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、拒否された着信は着信履歴に記録されます。

2 [1]～[4]を押す

通話中着信動作が設定されます。
- 選択した通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。→P490
  ただし、キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始、停止に関わらず、通話中着信動作は有効になります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が有効になります。

通話中着信設定を開始する ＜通話中着信設定＞

通話中着信動作選択で選択した応答方法を開始／停止します。また、設定内容を確認します。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、通話中着信設定はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、本機能に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

1 待受画面で[MENU][9][7][1]を押す

2 「はい」を選択する

通話中着信設定が開始されます。

■ 通話中着信設定を停止するとき

待受画面で[MENU][9][7][2]を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で[MENU][9][7][3]を押して「はい」を選択する

遠隔操作

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

遠隔操作を開始する

1 **待受画面で MENU 9 9 3 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

遠隔操作が開始されます。

■ 遠隔操作を停止するとき

待受画面で MENU 9 9 3 2 を押して「はい」を選択する

■ 設定内容を確認するとき

待受画面で MENU 9 9 3 3 を押して「はい」を選択する

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

● マルチナンバーは、2004年12月現在サービスを開始しておりません。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

● 最大10件登録できます。

ネットワークサービスを登録する

1 **待受画面で MENU 9 9 1 を押す**

USSD登録 1/2
1 [未登録]
2 [未登録]
3 [未登録]
4 [未登録]
5 [未登録]
6 [未登録]
7 [未登録]
8 [未登録]

2 **サービスを登録する番号にカーソルを合わせて ✉ を押す**

■ 登録内容を変更するとき

登録済みの欄を選択して登録内容を変更する

3 **USSDコード欄を選択し、USSDコードを入力する**

・ドコモから通知されたサービスコードをUSSDコードの入力欄に入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

4 **名称欄を選択し、名称（サービス名）を入力する**

・名称（サービス名）は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

5 **✉ を押す**

サービスが登録されます。

登録したネットワークサービスを利用する

1 **待受画面で MENU 9 9 1 を押す**

2 **1 〜 8 を押す**

登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

・最大10件登録できます。

次ページへ続く

1 待受画面でMENU 9 9 2 を押す

2 1 ～ 8 を押す

■ 登録内容を変更するとき

応答メッセージ登録の一覧で登録済みの欄を選択して登録内容を変更する

3 USSD コード欄を選択し、USSD コードを入力する

・ドコモから通知されたUSSD コードを入力します。

4 応答メッセージ欄を選択し、応答メッセージを入力する

・応答メッセージは全角で最大10 文字、半角で最大20 文字入力できます。

5 を押す

応答メッセージが登録されます。

■ 登録したサービスを削除するとき

①待受画面でMENU 9 9 1 を押す

・応答メッセージを削除するときはMENU 9 9 2 を押します。

②削除するサービスにカーソルを合わせてMENU 1 を押す

・サービスを全件削除するときはMENU 2 を押します。

③「はい」を選択する

ネットワークサービス

データ通信

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

利用できる通信形態

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmuseaと接続してデータ通信を行う場合、museaをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64Kデータ通信は64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

データ転送

データ転送は下記の接続方法を使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどと接続して利用できます。パソコンとデータを送受信する場合には、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールしてからご利用ください。

FOMA端末と他の機器との接続方法

接続には、次の3つの方法があります。赤外線通信は、上記の通信形態のうち、データ転送を行う場合のみ利用できます。

FOMA USB接続ケーブルで接続する

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、USBポートを装備したパソコンとFOMA端末を接続します。

卓上ホルダで接続する

FOMA端末を卓上ホルダにセットし、市販のUSBケーブルを使って、卓上ホルダとUSBポートを装備したパソコンと接続します。
卓上ホルダにACアダプタを接続すると、充電しながら通信することができます。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。
→P425

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmoperaは、お申し込み手続き不要です。また、月額使用料は無料です。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、moperaをおすすめします。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPass Manual」をご覧ください。「FirstPass Manual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ 動作環境の確認

FirstPass PCソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98SE、Me、2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上 ※Windows XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

※必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダで市販のUSB接続ケーブルを使って接続する場合は、これに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

次ページへ続く

■ データ通信編の用語集

● **APN（Access Point Name）**
パケット通信で接続するインターネットサービスプロバイダや社内LANを識別する文字列。mopera は「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● **cid（Context Identifier）**
パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

● **DNS（Domain Name System）**
ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

● **IrDA（Infrared Data Association）**
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

● **IrMC（Ir Mobile Communications）**
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

● **OBEX（Object Exchange）**
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

● **QoS（Quality of Service）**
サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

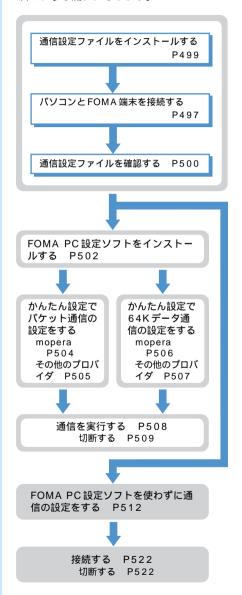
● **W-CDMA**
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

● **W-TCP**
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

● **管理者権限**
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。
次のような流れになります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定することができます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ※2	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1：USB接続の場合は、USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

※2：必要メモリおよびハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。

・動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

インストール・アンインストール前の注意点

・Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール・アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

・操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後に行ってください。

・パソコンの取扱説明書もご参照ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

● 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイル（ドライバ）をインストール後に接続してください。→P499

● miniSDモードで初めてパソコンに接続した場合は、OSが自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。なお、miniSDモードに対応しているOSはWindows XP、2000のみです。

USB接続時にパソコンで操作する内容を設定する＜USBモード設定＞

お買い上げ時	通信モード

ここではパソコンとFOMA端末を接続したとき、パソコンでデータ通信を行うか、パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するかを設定します。

1 **待受画面で MENU 6 5 4 を押す**

2 **1 または 2 を押す**

USBモード設定
1 通信モード
2 miniSDモード

通信モード
：パソコンでデータ通信を行うモードです。

miniSDモード
：パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するモードです。

3 **「はい」を選択する**

お知らせ

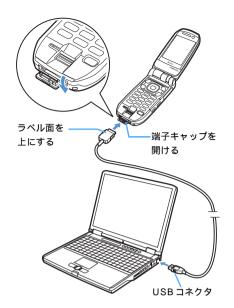
- パソコンとFOMA端末を接続中でも本機能の設定を変更できます。
- パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSDモードに設定できないことがあります。
- パソコンからminiSDメモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できません。また、通話中やｉモード中はminiSDモードに設定できません。
- 電話帳データなどをパソコンで編集するには、データリンクソフトが必要となります。→P580
- miniSDモードに設定した場合、FOMA端末にパソコンを接続していない状態でminiSDメモリーカードへのアクセスがないまま90秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。
- miniSDモードに設定すると、電話やｉモードなどの通信ができなくなります。
- miniSDメモリーカードの操作を終了するときは、タスクトレイの をクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します」をクリックしてください。
  ※：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
- パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成について→P410

FOMA USB接続ケーブルで接続する

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で[キャンセル]をクリックして、終了してください。

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。

■ 取り外しかた

①FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押して（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

②パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

お知らせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。

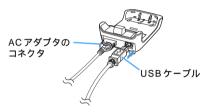
データ通信

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

卓上ホルダで接続する

パソコンとFOMA端末を、卓上ホルダを使って充電しながら接続できます。
・市販のUSBケーブルは、USB仕様1.1/2.0に準拠したもので、シリーズA、シリーズBコネクタを有するケーブルを使用してください。
・卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態にしてください。
・必ず卓上ホルダF07取扱説明書もご覧ください。

1 ACアダプタが接続された卓上ホルダとパソコンを市販のUSBケーブルで接続する

・ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

2 FOMA端末を卓上ホルダにセットする

FOMA端末と卓上ホルダの充電端子を合わせ（①）、FOMA端末を矢印方向（②）に「カチッ」と音がするまで押し込みます。
・通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。
・通信設定ファイルのインストール前に通信モードでパソコンに接続した場合は、市販のUSBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

お知らせ

・電源が入っているパソコンと卓上ホルダを市販のUSBケーブルで接続した状態で充電を行った場合、充電時間が長くなります（約4時間）。
・データ通信中に市販のUSBケーブルを外したり、卓上ホルダからFOMA端末を外したりしないでください。また、FOMA端末を開いたり、FOMA端末や卓上ホルダに衝撃を与えたりすると、データ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となりますのでご注意ください。
・データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールしてください。

● miniSDモードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

通信設定ファイルのインストールは、使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに必要です。2回目以降の接続からは、インストールは不要です。
・操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。→P497

〈例〉Windows XPにインストールするとき

・Windows XP以外のOSのときは、画面の表示が異なります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 ［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］の順にクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥USBDRIVE¥F901iCin.exe」と入力して［OK］をクリックする

次ページへ続く

3 ［はい］をクリックする

FOMA F901iCをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
- 接続方法→P497
- インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→P500

お知らせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは画面の指示に従ってアンインストールを行った後、もう一度操作1～4を行って通信設定ファイルをインストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールしてください。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンの順にクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［システム］アイコンをダブルクリックする

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98のとき

［デバイス マネージャ］タブをクリックする

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）または（COMとLPT）	・FOMA F901iC Command Port（COMx） ・FOMA F901iC OBEX Port（COMx） （COMxはお使いのパソコンによって異なります）
モデム	FOMA F901iC
ユニバーサル シリアル バス コントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ	・FOMA F901iC ・FOMA F901iC Command※ ・FOMA F901iC Modem※ ・FOMA F901iC OBEX※

※：Windows Me、98の場合のみ表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

・操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。→P497
・アンインストールを実行する前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

・WindowsXP以外のOSのときは、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンの順にクリックする

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「FOMA F901iC USB」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 ［OK］をクリックする

お知らせ

・インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA F901iC USB」が表示されていないときは、［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDRIVE¥F901iCin.exe」を指定し、［OK］をクリックして直接実行してください。
・Windows　Me、98では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルまたは市販のUSBケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMAPC設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

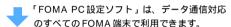
かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの1番には標準で、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。→P497

ステップ1　FOMA PC設定ソフトをインストールする→P502

「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

ステップ2　設定前の準備

設定を行う前に次のことを確認してください。
- 通信設定ファイルのインストール→P499
- FOMA端末とパソコンの接続→P497
- 通信設定ファイルの確認→P500

ステップ3　かんたん設定で通信の設定を行う

- moperaを利用したパケット通信→P504
- その他のプロバイダを利用したパケット通信→P505
- moperaを利用した64Kデータ通信→P506
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信→P507
- その他の設定は、P510以降を参照してください。

ステップ4　通信を実行しインターネットに接続する→P508

お知らせ
- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 次のFOMA端末に同梱されている「W-TCP環境設定ソフト（以後、旧「W-TCP設定ソフト」と呼びます）」および「FOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」と呼びます）」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）
- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。→P497

〈例〉Windows XPにインストールするとき
- Windows XP以外のOSの場合は、画面の表示が異なります。

1 **添付のCD-ROMをパソコンにセットする**

2 **［スタート］メニュー→［ファイル名を指定して実行］の順にクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、［OK］をクリックする**

3 **［次へ］をクリックする**
製品ライセンス契約の確認画面が表示されます。

4 **内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする**
- 「FOMA　PC設定ソフト」の使用許諾契約書です。［いいえ］をクリックすると、インストールは中止されます。

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P510

- 「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認して［次へ］をクリックする

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリックする

- 変更する場合はフォルダ名を入力して［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。
→P503

お知らせ

- 既にFOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストール方法を選択する画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
- 旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストールが中止されます。旧「W-TCP設定ソフト」をアンインストールしてください。
- 旧「FOMA データ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトのインストールを続けるかどうかの確認画面が表示されます。［はい］をクリックして、インストールを続けてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［継続］または［中止］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

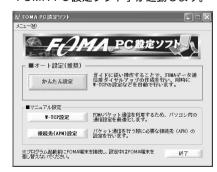
- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
→P497

〈例〉Windows XP で設定するとき

- Windows XP以外のOSの場合は、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「プログラム」(Windows XPの場合は、「すべてのプログラム」)→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

データ通信

moperaを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信の設定を行います。
利用するプロバイダはドコモのインターネット接続サービスmoperaです。
・mopera以外のプロバイダをご利用の場合→P505

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする**

2 **「パケット通信」を選択して[次へ]をクリックする**

3 **「mopera接続」を選択して[次へ]をクリックする**

4 **FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする**

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先(APN)情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 **接続名を入力して[次へ]をクリックする**

「接続名」に任意の接続名を入力します。

・次の記号(半角文字)は入力できません。
¥ /: ＊ ?! < > ｜ ”

6 **[次へ]をクリックする**

・「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。
・ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

7 **「最適化を行う」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする**

・既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する→P508

その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信の設定を行います。

- moperaをご利用の場合→P504

1 P504の操作1～4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 接続名を入力して［接続先（APN）設定］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
  また、「接続先（APN）の選択」にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する

番号（cid※）にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。

①［追加］をクリックする

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMA　パケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックする

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

※：cidは1～10まで登録できます。

データ通信

4 ［OK］をクリックする

操作２の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作３で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

5 「接続先（APN）の選択」で接続先名（APN）を確認して［次へ］をクリックする

6 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

・ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

・既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

・既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。

・通信を実行する→P508

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

・Windows XP以外のOSの場合は、画面の表示が異なります。

moperaを利用した64Kデータ通信設定方法

64Kデータ通信でmoperaを利用する場合の設定を行います。

・mopera以外のプロバイダをご利用の場合→P507

1 P504の操作1～3を行う

操作２の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 接続名の入力とモデムを選択して［次へ］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

・次の記号（半角文字）は入力できません。
　¥ /: ＊ ?! < > ｜ ”

・「モデムの選択」が「FOMA F901iC」に設定されていることを確認します。

3 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する→P508

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

64Kデータ通信の設定を行います。

- moperaをご利用の場合→P506

1 P504の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定して［次へ］をクリックする

ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

- 接続名：任意
- モデムの選択：FOMA F901iC
- 電話番号：プロバイダ情報を基に、正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.()+＊#,&および半角スペース
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する→下記

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。また、64Kデータ通信中や音声電話通話中に着信したときなどの対応についても説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P497

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信が開始されます。

- アイコンはOSによって異なります。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

■ Windows　2000、Me、98のスタートメニューから起動するとき

［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

3 接続を実行する

- moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、［ダイヤル］をクリックします。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
  「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。
- OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK]をクリックしてください。

※画面はOSにより異なります。

お知らせ

・FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

・FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。
・パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
・データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
・F901iC以外のFOMA端末を接続する場合は、通信設定ファイル（ドライバ）をインストールし直してください。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 **タスクトレイの をダブルクリックする**

2 **［切断］をクリックする**

※画面はOSにより異なります。

64Kデータ通信の着信があったときは

64Kデータ通信の着信があると下の画面が表示されます。パソコンで、対応する操作をしてください。

・64Kデータ通信中にさらに別の64Kデータ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

64Kデータ通信中に音声電話がかかってきたとき

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると下の画面が表示されます。MENUを押して次の項目から選択できます。

留守番電話：留守番電話の設定に従って、かかってきた音声電話に対応します。
着信拒否　：かかってきた音声電話を切断します。
転送でんわ：転送でんわの設定に従って、かかってきた音声電話を転送します。
通信終了　：現在通信中の64Kデータ通信を切断します。

音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったとき

音声電話通話中の64Kデータ通信の着信は着信拒否になります。ただし、履歴に不在着信として残ります。

お知らせ

・オールロック中に64Kデータ通信の着信があったときや、音声電話がかかってきたときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。
・外部機器が未接続の状態で着信があった場合は、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP設定」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XPの最適化の設定と解除

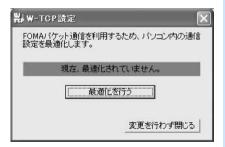
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 「FOMA　PC設定ソフト」を起動し、[W-TCP設定]をクリックする

・起動方法→P503

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合
タスクトレイの をダブルクリックする

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき
①W-TCP設定画面で［最適化を行う］をクリックする
②最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックする
システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき
次の画面が表示されます。
内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき
①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする
W-TCP設定画面が表示されます。
②［最適化を解除する］をクリックする

3 画面に従ってWindowsを再起動する

・設定した内容は再起動後有効になります。

Windows 2000、Me、98の最適化の設定と解除

1 「FOMA　PC設定ソフト」を起動し、[W-TCP設定]をクリックする

・起動方法→P503

■ タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合
タスクトレイの をダブルクリックする

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき
［最適化を行う］をクリックする

■ システム設定が最適化されているとき
［最適化を解除する］をクリックする
・FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

3 画面に従ってWindowsを再起動する

・設定した内容は再起動後有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

・接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。
・設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P497
・ドコモのインターネット接続サービスmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「FOMA　PC設定ソフト」を起動し、[接続先（APN）設定］をクリックする

FOMA端末設定取得画面が表示されます。

・起動方法→P503

2 ［OK］をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集または修正するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択して［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択して［削除］をクリックする

・番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

■ ファイルへ保存するとき

ツールバーの「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」の順にクリックする

・FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

ツールバーの「ファイル」メニュー→「開く」の順にクリックする

・パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

ツールバーの「ファイル」メニュー→「FOMA端末から設定を取得」の順にクリックする

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

① 追加・編集された接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリックする

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

② ［はい］をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ 任意の接続名を入力し、［アカウント・パスワードの設定］をクリックする

・mopera の場合は不要です。

④ ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックする

・Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。
・ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
⑥［はい］をクリックする

お知らせ
・接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
・パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
・お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービスmoperaに接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。
・通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。その場合はWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。→P513

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

・操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。→P497

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき
・Windows XP以外のOSのときは、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

■ Windows 2000、Me、98のとき
［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

■「W-TCP最適化」の解除
W-TCPが最適化されている場合は最適化を解除するかどうかを確認する画面が表示されます。
アンインストールする場合は［はい］をクリックします。
「W-TCP 最適化」の解除は、再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定について

ダイヤルアップネットワークの設定は次のような流れになります。

通信設定ファイルをインストールする →P499
パソコンとFOMA端末を接続する →P497

接続先（APN）を設定する→P513

※ 64Kデータ通信の場合、パケット通信の接続先がmoperaの場合は設定不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する →P514

※ 必要に応じて設定してください。

その他の設定をする（ATコマンド） →P523

※ 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	参照先	
	接続先の設定	TCP/IPの設定
Windows XP	P515	P516
Windows 2000	P517	P519
Windows Me	P520	P520
Windows 98	P521	P521

※ 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続する→P522
●切断する→P522

パケット通信の接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp cid2～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

〈例〉Windows XPで設定する場合

・Windows XP以外のOSの場合は、画面表示が異なります。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

・接続方法→P497

2 ［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに［Hypertrm］アイコンをダブルクリック）する

・Windows XP以外のOSをお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力して［OK］をクリックする

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA F901iC」を選択して［OK］をクリックする

・市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

次ページへ続く

5 接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリックする

6 接続先（APN）を入力して ⏎ を押す

「AT+CGDCONT ＝＜ cid ＞ ,“ PPP ”,“ APN ”」の形式で入力します。→P531

＜cid＞：2～10 までのうち任意の番号を入力します。

“ PPP ”：そのまま“ PPP ”と入力します。

“ APN ”：接続先（APN）を“　”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき

AT+CGDCONT= ⏎ :

すべての cid をリセットします。
＜cid＞= 1 は「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、＜cid＞= 2 ～ 10 の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT= ＜cid＞ ⏎ :

特定の cid をリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき

AT+CGDCONT? ⏎

・詳細→P531

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき

ATE1 ⏎

・詳細→P528

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

・「“ XXX ”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA 端末の登録番号 cid1 ～ cid10 に設定できます。お買い上げ時、cid1 にはドコモのインターネット接続サービス mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。mopera を利用する場合は、本設定は不要です。その他のインターネットサービスプロバイダや社内 LAN などに接続する場合は、cid2 ～ cid10 に APN を登録してください。

・接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

・接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えることができます。接続先の設定項目を FOMA 端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

・登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時	設定なし

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

・ドコモのインターネット接続サービス mopera をご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります。

1 P513 の操作 1 ～ 5 を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT ＊ DGPIR= ＜n＞」の形式で入力します。→P525

AT ＊ DGPIR=1 ⏎ :

パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT ＊ DGPIR=2 ⏎ :

パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 **「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする**

・「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

＊DGPIR コマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1 の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊1#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊1#	非通知		
186＊99＊＊＊1#	通知		

・ ＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XP でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows XP で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 **［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 **「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする**

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする**

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 **「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリックする**

準備画面が表示されます。

5 **「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリックする**

インターネット接続画面が表示されます。

6 **「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリックする**

デバイスの選択画面が表示されます。

・インストールされているモデムが1 台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8 へ進みます。

7 **「モデム－FOMA F901iC（COMx）」を選択して［次へ］をクリックする**

8 **「ISP 名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする**

9 **「電話番号」に接続先の番号を半角で入力して［次へ］をクリックする**

次ページへ続く

■ パケット通信のとき

＊99＊＊＊＜cid＞＃を入力します。
＜cid＞には､｢パケット通信の接続先(APN)を設定する｣(→P513)で登録したcid番号を入力します。
ドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1＃となります。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊9601を入力します。

10 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認」を入力し、各項目を画面例のように設定して［次へ］をクリックする

・接続先がmoperaの場合は、何も入力せずに各項目を画面のように設定し、［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリックする

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリックする

・ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

・複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム-FOMA F901iC（COMx)」を選択します。
・「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

・「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
・「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル（TCP/IP)」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows 2000で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 「市外局番」を入力して［OK］をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリックする

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F901iC」に設定されていることを確認して［次へ］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA F901iC」に設定されていない場合は、「FOMA F901iC」に設定してください。
- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力して［詳細設定］をクリックする

次ページへ続く

■ パケット通信のとき

＊99＊＊＊＜cid＞#を入力します。
＜cid＞には､「パケット通信の接続先(APN)を設定する」(→P513)で登録したcid番号を入力します。
ドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊9601を入力します。

・「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

11 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定する

12 ［アドレス］タブをクリックして各項目を画面例のように設定する

13 ［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリックする

インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

・接続先がmoperaの場合は、何も入力せずに［次へ］をクリックします。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

17 「いいえ」を選択して［次へ］をクリックする

18 ［完了］をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム-FOMA F901iC（COMx）」を選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（☐）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

Windows Meでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

・この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2回目以降の場合は、操作3へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

・「モデムの選択」が「FOMA F901iC」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F901iC」に設定します。

5 接続先の番号を半角で入力して［次へ］をクリックする

■ パケット通信のとき

＊99＊＊＊<cid>#を入力します。

<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（→P513）で登録したcid番号を入力します。

ドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。

moperaへ接続する場合は、＊9601を入力します。

・「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認して［完了］をクリックする

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

・「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。

・「接続方法」が「FOMA F901iC」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA F901iC」に設定します。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 ［セキュリティ］タブをクリックして「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリックする

- 接続先がmoperaの場合は、何も入力せずに［OK］をクリックします。

Windows 98でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

操作方法はWindows Meの接続先設定と同様です。→P520

TCP/IP プロトコルを設定する

1 P520「TCP/IPプロトコルを設定する」の操作1～2を行う

2 ［サーバーの種類］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

次ページへ続く

3 ［OK］をクリックする

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

〈例〉Windows XPでダイヤルアップ接続するとき

・Windows XP以外のOSの場合は、画面の表示などが異なります。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

・接続方法→P497

2 ［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)をクリックする

3 接続先のアイコンをダブルクリックする

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリックする

・Windows Me、98の場合は、各項目を確認して、[接続]をクリックします。

・「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
・接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

2 ［切断］をクリックする

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、最大160文字（「AT」含む）入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

・オフラインモード
　FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。

・オンラインデータモード
　FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。

・オンラインコマンドモード
　FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作をすればATコマンドでFOMA端末を操作することができる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。（→下記）

お知らせ

・ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

※：USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

- FOMA F901iC Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.00 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：回路CDを常にON n=1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化します（お買い上げ時） 「&C1」に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視します（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードになります n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード（お買い上げ時）になります	AT&D1↵ OK
AT&E＜n＞	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX＜n＞」コマンド（→P529）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示します n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します（お買い上げ時）	AT&E1↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	――	AT&F↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	――	AT&W↵ OK
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベル表示を数字で表示します。	「AT＊DANTE」を実行すると「＊DANTE:＜n＞」の形式で表示されます。 n=0：圏外 n=1： n=2： n=3：	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=？↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=＜n＞	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定をOFFに設定します（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定をONにします n=2：着信許可設定をONにします	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM:0 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGAPL=＜n＞[,＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された＜cid＞パラメータを使用します。※2	＜n＞パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加(n＝0)あるいは削除(n=1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されてない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストに追加します n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信許可リストから削除します	AT＊DGAPL=0,1↵ OK AT＊DGAPL?↵ ＊DGAPL:1 OK
AT＊DGARL=＜n＞[,＜cid＞]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された＜cid＞パラメータを使用します。※2	＜n＞パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加(n＝0)あるいは削除(n＝1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します	AT＊DGARL=0,1↵ OK AT＊DGARL?↵ ＊DGARL:1 OK
AT＊DGPIR=＜n＞	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効です。 ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」(通知)／「184」(非通知)を付けることができます。※2	n=0：パケット通信確立時、APNにそのまま接続します(お買い上げ時) n=1：パケット通信確立時、APNに「184」を付けて接続します n=2：パケット通信確立時、APNに「186」を付けて接続します 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」(通知)／「184」(非通知)を設定した場合。→P515	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR?↵ ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	「AT＊DRPW」を設定すると"＊DRPW:＜n＞"の形式で表示されます。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=?↵ ＊DRPW:(0-75) OK (表示可能な値の範囲を表示する)
+++	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。	――	――
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照。→P531	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先(APN)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立したときにネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P531
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	――	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=＜n＞	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。※1	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CGREG=1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG：<n>,<stat>"を表示します。	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	――	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	＜n＞ 0：リザルトを出しません（お買い上げ時） 1：リザルトを出します 「AT+CLIP？」のとき、"AT+CLIP＝＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しません 2：通知します（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"AT+CLIR＝＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは起動していません（常時通知） 1：CLIR　は常時起動しています（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK
AT+CMEE=＜n＞	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示します（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示します 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示します n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P531）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	「AT+CNUM」を実行すると「+CNUM：<number>，＜type＞」の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード＋を含まない 145：国際アクセスコード＋を含む	AT+CNUM↵ +CNUM："+8190 12345678",145 OK
AT+CR=＜mode＞	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	<mode> 0：回線接続時に表示しません（お買い上げ時） 1：回線接続時に表示します パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1#↵ +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しません（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用します	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=＜n＞	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG＝1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。 <stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG:<n>,<stat>"を表示します。	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG？↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	―――	AT+GMI↵ FUJITSU OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名の略称が半角英数字で表示されます。	―――	AT+GMM↵ FOMA F901iC OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46＝＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響を与えるものではありません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46＝22↵ OK
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK

データ通信

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD	発信処理を行います。※3	パケット通信： 「ATD＊99＊＊＊＜cid＞#↵」 「ATD＊99#」を入力した場合： 「＜cid＞=1」を用います（＜cid＞の入力を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります）。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合： 指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます）。 64Kデータ通信： 「ATD[パラメータ][電話番号]↵」 相手の電話番号に「0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。	―――	（通信中） +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する（FOMA F901iC） n=2：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示する	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。	―――	ATO↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：リザルトコードを表示する（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを表示しない	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：リザルトコードを数字表記で表示する n=1：リザルトコードを英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX＜n＞	接続の"CONNECT"表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=＜n＞	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信します	ATS0=0↵ OK
ATS2=＜n＞	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=＜n＞	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS7=＜n＞	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンから「ATD」入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS8=＜n＞	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n＝0：ポーズしません n：1〜255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。(1/10秒)※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1〜255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=＜n＞	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0〜255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=＜n＞	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT¥S	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	―	AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V＜n＞	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX<n>」コマンドがn=0以外のときのみ有効です。→P529 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0↵ OK

※1：「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2：「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3：「ATDN↵」や「ATDL↵」でリダイヤル発信ができます。
※4：「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するＩＣカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- **書式**
  +CGDCONT＝［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"］］］↵
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、「＜cid＞＝1」には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）
  AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=
  すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
  AT+CGDCONT=＜cid＞
  指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
  AT+CGDCONT=？
  設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT？
  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

- **概要**
  PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=[＜cid＞[,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]↵

次ページへ続く

・**パラメータ説明**
＜cid＞：1〜10
＜Maximum bitrate UL＞：なし（初期値）または64
＜Maximum bitrate DL＞：なし（初期値）または384
※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1〜10」が登録できます。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

・**実行例**
(1)上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
AT+CGEQMIN=2↵
OK
(2)上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK
(3)上り64 kbps ／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64↵
OK
(4)上りすべての速度／下り384 kbps 速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384↵
OK

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=
すべての＜cid＞の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=＜cid＞
指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

・**概要**
PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

・**書式**
AT+CGEQREQ=[＜cid＞]↵

・**パラメータ説明**
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜cid＞：1〜10
※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1〜10」が登録できます。

・**実行例**
（＜cid＞＝3の場合）
AT+CGEQREQ=3↵
OK

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=
すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=＜cid＞
指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100※	RESTRICTION※	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

※：「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200 bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400 bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800 bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200 bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600 bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400 bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200 bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400 bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600 bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200 bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400 bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800 bpsで接続しました。

お知らせ

- ATV<n>コマンド（→P528）がn=1に設定されている場合には英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）［32K］で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

AT¥Vコマンド（→P530）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　CONNECT
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　1

ATX 1が設定されているとき

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
　接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　CONNECT 460800
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　121

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
　接続完了のときに、次の書式で表示します。
　CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※2

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
　　　　　　（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1＃
　　　　　　1215

※1：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2：AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

FOMA 端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。文字の割り当てについては「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P563
  スロット入力方式は、上下2段の入力バーに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。→P549
- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
  全角文字や改行、空白は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力することができます。→P547
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 入力方式ごとに入力できる文字の種類は次のとおりです。

○：入力可　×：入力不可　－：入力文字なし

文字の種類＼入力方式	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	－	○	－
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	－	○	－

- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

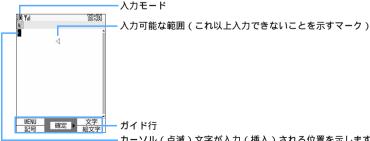
文字の入力方法には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力するインライン入力の2種類があります。

・入力欄によっては、どちらか一方の方法しか利用できない場合があります。
・貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。
・本書では最後にを押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

■ 全画面入力

入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

文字入力

■ インライン入力

入力欄にカーソルを合わせて0〜9、*、#押すと、入力欄に文字が直接入力できます。

ガイド行は文字入力用のものに変わります。

文字を確定した状態

文字入力画面のサブメニュー

文字の入力中にMENUを押します。

明日
1 コピー
2 切り取り
3 貼り付け
4 電話帳引用
5 単語登録
6 定型文登録
7 入力設定
8 データ引用
9 編集終了
閉じる　選択

スロット入力画面の場合

項　目	説　明	参照先
1 **コピー**	文字をコピーします。	P546
2 **切り取り**	文字を切り取ります。	P546
3 **貼り付け**	コピー／切り取りした文字を貼り付けます。	P547
4 **電話帳引用**	電話帳データの内容を引用します。	P544
5 **単語登録**	入力した文字を単語登録します。	P547
6 **定型文登録**	入力した文字を定型文登録します。	P545
7 **入力設定**	文字入力の設定を行います。	P551
8 **データ引用**	プロフィール情報の内容や電卓の計算結果、バーコードリーダーを起動して読み取ったデータをURL入力画面やｉモード中の入力画面などで引用します。 ※入力欄によって表示される項目が異なります。	P544
9 **編集終了**	文字入力を終了します。スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます。	－

※メール本文の入力中は、文字を入力すると表示される入力ウィンドウの文字が確定されているときに表示されます。

入力モードを切り替える

・入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

文字で切り替えるには

文字を押すたびに切り替わります。

※：スロット入力方式では表示されません。

入力モードリストで切り替えるには

文字入力中に [key] を押し、表示された入力モードリストから次の入力モードを選択できます。

項 目	モード		項 目	モード	
かな※	ひらがな／漢字	漢	ｶﾅ※	半角カナ	[icon]
カナ	全角カナ	[icon]	ABC※	半角英字	[icon]
ＡＢＣ	全角英字	[icon]	123	半角数字	[icon]
１２３	全角数字	[icon]			

※：スロット入力の入力モードリストに表示される項目

・ひらがなしか入力できない場合は [icon] が表示されます。

かな入力方式

スロット入力方式

・[key][key][key][key]、または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。

・入力モードリストから選択して、次の操作もできます。

「記号」　　：記号を入力します。→P543

「絵文字」　：絵文字を入力します。→P543

「定型文」　：定型文を入力します。→P542

「区点入力」：区点コードで文字を入力します。→P547

かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

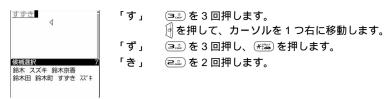
文字を入力する<かな漢字変換>

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 **名前の入力欄を選択する**

漢 と表示されます。

2 「すずき」と入力する

「す」→ [3] を3回押します。
[▶] を押して、カーソルを1つ右に移動します。
「ず」→ [3] を3回押し、[＊] を押します。
「き」→ [2] を2回押します。

- キーを押し間違えたときは [クリア] を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付けるときは、文字を入力し [＊] を押します。
  たとえば、「ほ」を入力して [＊] を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と入力が切り替わります。
  「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- [MENU] を押すと全角カタカナに変換できます。

3 [▲] を押す

- 目的の文字が表示されないときは、[📷] [i] または [▲] を押して変換候補を一覧表示し、目的の文字を選択します。
- 予測変換候補が表示されていないときは、[i] を押してもかな漢字変換されます。予測変換→P541
- [クリア] を押すと、変換前の状態に戻ります。

4 [ ] を押す

文字が確定します。

■ 変換候補を一覧表示するとき

[▲] を1回押しても目的の文字が表示されないときは、[📷] [i] または [▲] を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[▼] を押して次ページ、[▲] を押して前ページに切り替えることができます。[📷] [i] を押して変換候補を選択するか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。

■ ひらがなのまま確定するとき

ひらがなを入力した状態で [ ] を押します。

■ 文字を挿入するとき

[📷] [i] [◀] [▶] を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木一郎）
  - を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木一郎）
  - を押すと、カーソル位置の左の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動し、を押します。

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 を押す

文字入力が終了します。

- 入力した文字を無効にして文字入力を終了するには、すべての文字を削除してからまたはを押します。

お知らせ

- 文字入力直後にを押して1つ前の文字に戻すことができます。を押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：･･･→1→お→え→う→い→あ→1→･･･）。
- 「あい」のように同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、を押して最初の文字「あ」を入力した後、を押してカーソルを右に移動させ、を2回押して次の文字「い」を入力します。「あか」のように別のキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、を押して「あ」を入力した後、続けてを押して「か」を入力します。
- 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。
  - ひらがな／漢字
  - 全角／半角カタカナ
  - 全角／半角英字
- 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも、、を押して次の操作ができます。
  - ：濁点／半濁点を付ける（ひらがな、全角／半角カタカナ）
  - ：大文字／小文字を切り替える（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
  - ：1つ前の文字に戻す
- カーソルが自動的に移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定することもできます。→P551
- ｉモードメールの本文入力画面では、画面下部にマーク（）が、ガイド行には「デコレーション」が表示されます。を押し、でマークを選択するか、を押して項目を選択すると、文字を装飾したメール（デコメール）を作成できます。→P263
- ダイヤルキーの文字割り当て一覧→P563

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。

- 全角で最大24文字変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べに行こう。」と入力するとき

お知らせ

・ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「特殊記号入力変換表」「絵文字入力変換表」をご覧ください。→P568、P570

入力予測機能を使って文字を入力する

FOMA端末には、文字を入力すると、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される、入力予測機能が搭載されています。予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

・次の単語や文字列が候補として表示されます。
- 標準搭載の単語
- かな漢字変換で入力した単語
- 単語登録した文字列

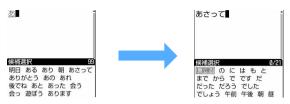
・予測変換は、ひらがな／漢字モードでのみ利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
- インライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）を行う場合
- スロット入力方式の場合→P549

・予測変換候補を表示しないように設定することもできます。→P551

1 文字を入力する

予測変換候補リストが表示されます。

・1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 [iα]を押し、[📷][iα][◁][▷]を押して候補にカーソルを合わせて[●]を押す

- 予測変換候補リストにカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  - [▲]／[▼]：前ページ／次ページ切り替え
  - [📖]　：漢字変換
  - [●]　：文字確定
- 該当する用語がない場合、[📖]を押すとかな漢字変換になり、予測変換候補リストが消えます。

3 「閉じる」を選択する

予測変換候補リストが消えます。

> **お知らせ**
>
> ・入力予測機能で登録された単語や文字列（予測辞書データ）は、各種設定リセットやデータ一括削除でお買い上げ時の状態に戻ります。→P477、P478

定型文を入力する

定型文を一覧から入力します。
・選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。

1 文字入力画面で[📖][7]を押す

2 [1]～[8]を押す

「顔文字」を選択した場合

- 定型文を作成・登録した場合は、[9]を押して定型文の種類を選択できます。

3 1～8を押す

(o^_^o)

定型文が入力されます。

・定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせて を押します。 を押すと定型文が入力されます。

お知らせ

・顔文字を使ったメールを送信する場合、相手端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントによっては、形がくずれたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
・顔文字の一部は「かお」の変換候補で表示されます。
・定型文一覧→P564

記号・絵文字を入力する

記号、絵文字を一覧から入力します。
・記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
・絵文字の読み（入力）については、付録の「絵文字入力変換表」をご覧ください。→P570

〈例〉記号を入力するとき

1 文字入力画面で を押す

・絵文字を入力するときは を押します。
・ 1 を押して記号一覧、 2 を押して絵文字一覧を表示することもできます。
・記号一覧、絵文字一覧は複数ページあります。 または を押すと一覧のページが切り替わります。

2 記号を選択する

記号が入力されます。
・次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
() [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝＜ ＞《 》「 」『 』【 】
・記号一覧または絵文字一覧で を押すと、一覧の上部に連続入力エリアが表示され、記号または絵文字を連続して選択できます。記号の場合は全角で最大10文字、半角で最大20文字、絵文字の場合は最大10文字まで連続で入力でき、 を押すと選択した記号または絵文字をまとめて入力できます。ただし、連続入力エリアで上記のかっこの左側を選択しても、右側のかっこは入力されません。

お知らせ

・記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
・絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
・絵文字2（→P567）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データやプロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

・引用できない文字入力画面では、メニューがグレーなどで表示されたり、メニュー自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

・文字入力画面を全画面入力（→P536）に切り替えて操作してください。
・電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面でMENU 4を押す

2 引用する電話帳データを選択する

3 引用する内容を選択する

引用した内容が入力されます。

プロフィール情報の内容を引用する

・プロフィール情報の文字入力画面では、プロフィール情報を引用できません。

1 文字入力画面でMENU 8 1を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 引用するプロフィール情報を選択する

引用した内容が入力されます。

電卓の計算結果を引用する

・電卓の計算結果を引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面でMENU 8 2を押す

2 計算を行う→P470

3 ［ ］を押す

計算結果が入力されます。

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

・バーコードリーダーの読み取りデータを引用できるのは、URL入力とｉモード中の文字入力画面です。

1 文字入力画面で［MENU］［8］［2］を押す

起動時に接写モードになります。

2 JANコードまたはQRコードを読み取る→P201

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文登録

定型文を登録する

定型文を登録します。登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

● 最大50件登録できます。

1 待受画面で［MENU］［8］［9］［2］［9］を押す

2 「<新しい定型文>」を選択する

・登録済みの定型文を修正するときは定型文を選択します。
・登録済みの定型文を確認するときは、定型文の一覧で定型文にカーソルを合わせて［ ］を押します。［ ］を押すと編集できます。

3 定型文を入力する

・全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

4 ［ ］を押す

定型文が登録されます。

・登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

定型文を削除する

1 待受画面で［MENU］［8］［9］［2］［9］を押す

2 削除する定型文にカーソルを合わせて［MENU］を押す

3 「はい」を選択する

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面で MENU 6 を押す**

2 **開始位置にカーソルを合わせて ● を押す**

・全文を選択する場合は、MENU を押して ● を押します。

3 **終了位置にカーソルを合わせて ● を押す**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。
・開始位置から文頭までを選択する場合は、MENU を押して ● を押します。
・開始位置から文末までを選択する場合は、メール を押して ● を押します。

4 **メール を押す**

お知らせ

・上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります（メール本文の入力画面から操作する場合は、空白データは有効になります）。
- 空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
- 文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
- 文字と文字の間に空白：空白も有効

・メール本文の入力画面から操作する場合は MENU 6 2 を押しても登録できます。
・文字が入力されていない場合に MENU 6 を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
・定型文が既に50件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データの削除を行うか、登録済みの定型文を修正してください。

文字コピー

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

● コピーまたは切り取った文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
● 保持できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

入力済みの文字を選択してコピー／切り取りを行います。

〈例〉文字をコピーするとき

1 **文字入力画面で MENU 1 を押す**

・文字を切り取るときは MENU 2 を押します。

2 **開始位置にカーソルを合わせて ● を押す**

・全文を選択する場合は、MENU を押して ● を押します。

3 **終了位置にカーソルを合わせて ● を押す**

選択した範囲の文字がコピーされます。
・開始位置から文頭までを選択する場合は、MENU を押して ● を押します。
・開始位置から文末までを選択する場合は、メール を押して ● を押します。

お知らせ

・メール本文の入力画面から操作する場合は MENU を押し、「コピー」／「切り取り」を選択しても操作できます。

文字を貼り付ける

コピー／切り取りした文字を文字入力画面に貼り付けます。

・貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、入力可能な文字数以降は消去されます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて MENU 3 を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

お知らせ

・メール本文の入力画面から操作する場合は MENU を押し、「貼り付け」を選択します。
・コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
・改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で 📖 8 を押す

2 4桁の区点コード（この場合は 2 3 4 0）を入力する

「携」が入力されます。

・有効な区点コードは0101～8406です。
・対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

お知らせ

・区点コード一覧表→P571

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておき、文字の変換のときに簡単に呼び出します。

●最大200件登録できます。

1 待受画面で MENU 8 9 1 を押す

次ページへ続く

2 「＜新しい単語＞」を選択する

・登録済みの単語を修正するときは、修正する単語を選択します。
・登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて を押します。 を押すと編集できます。

■ 単語を削除するとき

① **単語一覧から削除する単語にカーソルを合わせて を押す**
② **「削除」を選択する**
選択した単語が削除されます。
・ 登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

3 単語欄を選択し、登録する単語を入力する

・全角で最大 12 文字、半角で最大 24 文字入力できます。
・登録できる文字の種類は次のとおりです。
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字
- 全角／半角数字
- 全角／半角記号
- 絵文字

4 読み欄を選択し、読みを入力する

・ 全角で最大 16 文字入力できます。
・ ひらがなのみ入力できます。

5 を押す

単語が登録されます。

■ 登録済みの単語を修正したとき

・ 元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。
・ 修正をした単語を新規に登録するときは「新規登録」を選択します。元の単語もそのまま残ります。

お知らせ

・単語と読みが入力されていないと登録できません。
・読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
・単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は、登録できません。
・同じ読みの単語は、最大 5 つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
・単語登録で登録された単語（ユーザ辞書データ）は、各種設定リセットやデータ一括削除で削除されます。→P477、P478

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で を押す

2 開始位置にカーソルを合わせて を押す

・全文を選択する場合は、 を押して を押します。

3 終了位置にカーソルを合わせて を押す

単語編集
単語
DoCoMo
読み

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

・開始位置から文頭までを選択する場合は、 を押して を押します。

・開始位置から文末までを選択する場合は、 を押して を押します。

4 読みを入力し登録する→P548の操作4～5

お知らせ

・読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。

・メール本文の入力画面から操作する場合は を押しても登録できます。

・文字が入力されていない場合に を押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。

・単語が既に200件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データの削除を行うか、登録済みの単語を修正してください。

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボードに表示された文字から、 を使って入力文字を指定します。

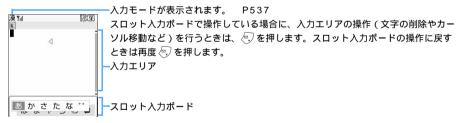
● スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P551

● スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択する

次ページへ続く

2 「すずき」と入力する

「す」→ を2回、 を2回押し、 を押します。
「ず」→ を押し、 を3回押し、 を押します。
「き」→ を4回、 を1回押し、 を押します。
・上段と下段の入力バーを入れ替えるときは、 を押します。
・ を押すと、文字を確定してカタカナ（半角）モードに切り替わります。

3 を押す

変換されます。
・変換方法はかな入力方式と同じです。→P538
・変換前の状態に戻して文字入力を続けるには を押します。
・ひらがなのまま確定するときは を押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

4 を押す

文字が確定します。
・続けて文字を入力できます。

5 を押し、 を押す

文字入力が終了し、電話帳の登録画面に戻ります。

お知らせ

・入力バーの文字割り当て一覧→P564
・文字入力画面のサブメニュー→P537

入力方法を設定する

お買い上げ時	入力方式：かな入力　入力予測：ON　自動カーソル：普通

文字を入力するときの入力方法を設定します。

1 待受画面で MENU 8 9 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

入力方式　：「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。
- 「スロット入力」に設定した場合は、「入力予測」「自動カーソル」を設定できません。

入力予測　：予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5 秒経過するとカーソルが移動します。

3 を押す

設定内容が登録されます。

文字入力中に設定を変更するには

1 文字入力画面で MENU 7 を押す

2 1 〜 3 を押す

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは 1 を押します。
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」を切り替えるときは 2 を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは 3 を押し、1 〜 4 を押して設定します。
- 入力方式に「スロット入力」を設定すると、入力予測および自動カーソルは選択できなくなります。
- インライン入力（入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力する方法）中は、設定を変更できません。
- メール本文入力画面では、入力設定の変更はできません。ただし、文字確定前の入力画面では入力設定の変更ができます。

付録

困ったときには

メニュー一覧

メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。
メニュー設定→P33

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
1 受信メール	MENU 1 1 / ✉ 1	――――	P289
2 新規メール	MENU 1 2 / ✉ 2 / ✉ 1 秒以上押す	――――	P259
3 チャットメール	MENU 1 3 / ✉ 3	――――	P313
4 未送信メール	MENU 1 4 / ✉ 4	――――	P289
5 送信メール	MENU 1 5 / ✉ 5	――――	P289
6 問合せ			
1 iモード問合せ	MENU 1 6 1 / ✉ 6 1 / サイドキー［▼］1 秒以上押す	――――	P280
2 SMS 問合せ	MENU 1 6 2 / ✉ 6 2	――――	P322
3 メール選択受信	MENU 1 6 3 / ✉ 6 3	――――	P279
4 iモード問合せ設定	MENU 1 6 4 / ✉ 6 4	すべて選択	P307
7 SMS			
1 SMS 作成	MENU 1 7 1 / ✉ 7 1	――――	P319
2 FOMA カード（UIM）受信 SMS	MENU 1 7 2 / ✉ 7 2	――――	P323
3 FOMA カード（UIM）送信 SMS	MENU 1 7 3 / ✉ 7 3	――――	P323
4 SMS 設定	MENU 1 7 4 / ✉ 7 4	送信文字種：日本語※ 送達通知：要求しない 有効期間：3 日※ SMSC：ドコモ※ アドレス：81903101652※ Type of Number：international※	P322
8 テンプレート読込み	MENU 1 8 / ✉ 8	お買い上げ時のテンプレート※	P272

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
9 メール設定			
1 メール着信設定	[MENU][1][9][1]/[✉][9][1]	着信音選択：メロディ／着信音1 着信イルミネーション設定：点滅、アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P311
2 チャットメール着信設定	[MENU][1][9][2]/[✉][9][2]	着信動作設定：メール着信動作に従う 着信音選択：メロディ／着信音1 着信イルミネーション設定：点滅、アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P318
3 メール振り分け設定	[MENU][1][9][3]/[✉][9][3]	受信振り分け設定：ON※ 送信振り分け設定：ON※	P303
4 署名設定	[MENU][1][9][4]/[✉][9][4]	する	P306
5 メール返信引用設定	[MENU][1][9][5]/[✉][9][5]	引用：する 引用文字：>	P309
6 メール選択受信設定	[MENU][1][9][6]/[✉][9][6]	OFF	P307
7 メール受信添付ファイル設定	[MENU][1][9][7]/[✉][9][7]	画像：受信する メロディ：受信する	P309
8 メールグループ	[MENU][1][9][8]/[✉][9][8]	―	P307
9 表示設定			
1 メール一覧表示設定	[MENU][1][9][9][1]/[✉][9][9][1]	2行表示	P309
2 添付ファイル自動再生設定	[MENU][1][9][9][2]/[✉][9][9][2]	自動再生する	P310
3 受信表示設定	[MENU][1][9][9][3]/[✉][9][9][3]	通知優先	P312
2 iモード			
1 iMenu	[MENU][2][1]/[i][1]	―	P214
2 Bookmark	[MENU][2][2]/[i][2]	―	P224
3 Internet			
1 URL入力	[MENU][2][3][1]/[i][3][1]	―	P222
2 URL履歴	[MENU][2][3][2]/[i][3][2]	―	P223
4 画面メモ	[MENU][2][4]/[i][4]	―	P228
5 ラストURL	[MENU][2][5]/[i][5]	―	P216

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

次ページへ続く

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
2 iモード			
6 iモード問合せ	MENU 2 6 / iα 6 / サイドキー［▼］1秒以上押す	―	P280
7 メッセージ			
1 メッセージリクエスト	MENU 2 7 1 / iα 7 1	―	P242
2 メッセージフリー	MENU 2 7 2 / iα 7 2	―	P242
3 メッセージ設定			
1 自動表示設定	MENU 2 7 3 1 / iα 7 3 1	メッセージR優先	P241
2 iモード問合せ設定	MENU 2 7 3 2 / iα 7 3 2	すべて選択	P307
3 添付ファイル自動再生設定	MENU 2 7 3 3 / iα 7 3 3	自動再生する	P310
4 メッセージ着信設定	MENU 2 7 3 4☆ / iα 7 3 4	着信音選択：メロディ／着信音1 着信イルミネーション設定：点滅、アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P241
8 iモード設定			
1 ツータッチサイト表示	MENU 2 8 1 / iα 8 1	未登録※	P226
2 接続待ち時間設定	MENU 2 8 2 / iα 8 2	60秒間	P236
3 接続先設定	MENU 2 8 3 / iα 8 3	接続先：iモード（FOMAカード）	P237
4 証明書表示／使用設定	MENU 2 8 4 / iα 8 4	「CA証明書1～9」、「ドコモ証明書1」にチェック	P246
5 ユーザ証明書操作	MENU 2 8 5 / iα 8 5	―	P246
6 証明書発行接続先設定	MENU 2 8 6 / iα 8 6	接続先：ドコモ	P249
9 表示設定			
1 表示・効果設定	MENU 2 9 1 / iα 9 1	画像：表示する アニメーション：表示する 登録データ利用設定：利用する 照明設定：常灯 効果音設定：ON	P237
2 表示色設定	MENU 2 9 2 / iα 9 2	文字／背景：指定しない リンク色：指定しない	P238
3 iモーション設定	MENU 2 9 3 / iα 9 3	自動再生設定：自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P359
3 iアプリ			
1 ソフト一覧	MENU 3 1 / iα 1秒以上押す	―	P332

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477
☆：メッセージR/F個別に設定できます。

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
3 アプリ			
2 アプリ設定			
1 ソフトの並べ替え	MENU 3 2 1	ダウンロード日時順	P351
2 自動起動設定	MENU 3 2 2	ON	P344
3 ソフト情報表示設定	MENU 3 2 3	OFF	P332
4 照明設定	MENU 3 2 4	端末設定に従う	P336
5 バイブレータ設定	MENU 3 2 5	ON	P336
6 ワンタッチアプリ表示	MENU 3 2 6	未登録※	P332
3 履歴表示			
1 起動失敗履歴	MENU 3 3 1	―	P345
2 異常終了履歴	MENU 3 3 2	―	P348
3 セキュリティエラー履歴	MENU 3 3 3	―	P334
4 電話帳 / 履歴			
1 電話帳検索	MENU 4 1 /	―	P110
2 電話帳登録	MENU 4 2	―	P103
3 FOMA カード（UIM）登録	MENU 4 3	―	P108
4 着信履歴	MENU 4 4 /	―	P68
5 リダイヤル	MENU 4 5 /	―	P57
6 伝言メモ／音声メモ			
1 伝言メモ設定	MENU 4 6 1 / サイドキー［▲］1 秒以上 1	停止する※ 応答時間：8 秒※ 伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音※	P78、P79、P80
2 伝言メモ一覧	MENU 4 6 2 / サイドキー［▲］1 秒以上 2	―	P81
3 音声メモ録音	MENU 4 6 3 / サイドキー［▲］1 秒以上 3	―	P467
4 音声メモ一覧	MENU 4 6 4 / サイドキー［▲］1 秒以上 4	―	P468
5 データ BOX			
1 マイピクチャ	MENU 5 1	―	P368
2 モーション	MENU 5 2	―	P382
3 メロディ	MENU 5 3	―	P403
4 キャラ電	MENU 5 4	―	P394
6 ツール			
1 カメラ	MENU 6 1 /	―	P180
2 ビデオカメラ	MENU 6 2 / 1 秒以上押す	―	P187
3 サウンドレコーダー	MENU 6 3	―	P434
4 バーコードリーダー	MENU 6 4	―	P201
5 赤外線／ PC データ連携			
1 赤外線全件送信	MENU 6 5 1	―	P428
2 赤外線受信	MENU 6 5 2	―	P429
3 データ送受信設定	MENU 6 5 3	通信終了音：OFF ※ 自動認証：なし※ 電話帳の画像送信：あり※	P432
4 USB モード設定	MENU 6 5 4	通信モード※	P497

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

付録

次ページへ続く

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
6 ツール			
6 miniSD カード	MENU 6 6	―――	P413
7 ＩＣカードソフト一覧	MENU 6 7	―――	P364
7 ステーショナリー			
1 スケジュール帳	MENU 7 1 / 1秒以上押す	―――	P449
2 メモ帳	MENU 7 2	―――	P471
3 アラーム	MENU 7 3	OFF ※	P446
4 電卓	MENU 7 4	―――	P470
8 設定			
1 音／バイブ			
1 着信音設定	MENU 8 1 1	電話、メール、メッセージR、メッセージF：メロディ／着信音1、チャットメール：メール連動 通話保留音：内蔵音（ENTERTAINER） テレビ電話：メロディ／ハープ	P128
2 着信音量調整			
1 電話着信音量調整	MENU 8 1 2 1	レベル4	P70
2 メール着信音量調整	MENU 8 1 2 2	レベル4	P71
3 受話音量調整	MENU 8 1 3	レベル4	P70
4 キー確認音設定	MENU 8 1 4	エレクトロニック	P131
5 電池アラーム音設定	MENU 8 1 5	ON	P48
6 マナーモード選択	MENU 8 1 6	通常マナーモード	P133
7 バイブレータ設定	MENU 8 1 7	すべてOFF	P130
8 着信呼出動作設定	MENU 8 1 8	OFF	P171
9 充電確認音設定	MENU 8 1 9	ON	P132
2 ディスプレイ			
1 待受画面設定	MENU 8 2 1	ハイウェイ	P134
2 発着信画面選択			
1 電話発着信画像設定	MENU 8 2 2 1	人物画像表示：ON イメージ表示：標準画像	P141
2 メール送信画像設定	MENU 8 2 2 2	標準画像	P142
3 メール受信画像設定	MENU 8 2 2 3	標準画像	P142
4 問合せ画像設定	MENU 8 2 2 4	標準画像	P142
3 スクリーン設定	MENU 8 2 3	スピーディブルー	P145
4 電池マーク設定	MENU 8 2 4	→→	P147
5 照明設定	MENU 8 2 5	照明方法：点灯 点灯時間：10秒 範囲：ディスプレイ＋キー 明るさ：標準 AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う	P144
6 着信イルミネーション	MENU 8 2 6	新着通知：OFF 電話、テレビ電話：点滅、ライム メール、チャットメール、メッセージR、メッセージF：点滅、アクア	P147

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

付録

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
2 ディスプレイ			
7 背面ディスプレイ設定			
1 背面情報表示設定	MENU 8 2 7 1	相手情報表示あり	P144
2 背面画像設定	MENU 8 2 7 2	待受画像：標準画像1 発着信画像：メインディスプレイに連動 メール受信画像：メインディスプレイに連動 時計表示：日本語大 時計形式：24時間表示	P143
8 フォント設定	MENU 8 2 8	中（標準）	P148
9 バイリンガル	MENU 8 2 9	FOMAカードの設定に従う※	P150
3 セキュリティ／ロック			
1 ロック			
1 オールロック	MENU 8 3 1 1	未設定	P160
2 PIMロック	MENU 8 3 1 2	OFF※	P162
3 遠隔ロック	MENU 8 3 1 3	遠隔ロック：OFF 監視時間：3分 着信回数：5回 発信元1～3：未登録	P166
4 ICカードロック	MENU 8 3 1 4	OFF※	P365
2 シークレットモード	MENU 8 3 2	未設定	P168
3 ダイヤル発信制限	MENU 8 3 3	OFF	P163
4 FOMAカード（UIM）			
1 PIN1コード変更	MENU 8 3 4 1	0000※	P154
2 PIN2コード変更	MENU 8 3 4 2	0000※	P154
3 PIN1コードON/OFF	MENU 8 3 4 3	OFF※	P153
5 暗証番号変更	MENU 8 3 5	0000※	P153
6 指紋設定	MENU 8 3 6	―	P158
7 プライバシーモード設定	MENU 8 3 7	電話帳・履歴：表示する※ メール：表示する※ マイピクチャ：表示する※ iモーション：表示する※ スケジュール：表示する※ iアプリ：表示する※ 自動起動：OFF※	P163
8 スキャン機能			
1 パターンデータ更新	MENU 8 3 8 1	―	P599
2 スキャン機能設定	MENU 8 3 8 2	有効	P599
3 バージョン表示	MENU 8 3 8 3	―	P601
4 情報表示／リセット			
1 通話時間	MENU 8 4 1	―	P469
2 設定状況確認	MENU 8 4 2	―	P476
3 電池レベル表示	MENU 8 4 3	―	P47
4 通話料金	MENU 8 4 4	―	P469

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

付録

次ページへ続く

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
4 情報表示／リセット			
5 各種設定リセット	MENU 8 4 5	――――	P477
6 データ一括削除	MENU 8 4 6	――――	P478
5 時計			
1 日付時刻設定	MENU 8 5 1	※	P49
2 自動電源ON設定	MENU 8 5 2	OFF	P445
3 自動電源OFF設定	MENU 8 5 3	OFF	P445
4 時計表示設定	MENU 8 5 4	待受時計：大きく表示 形式：24時間表示 時計デザイン：タイプ1 表示位置：上 曜日：バイリンガルに従う	P149
5 アラーム自動電源ON設定	MENU 8 5 5	OFF	P448
6 発着信機能			
1 電話発着信設定	MENU 8 6 1	着信音：メロディ／着信音1 人物画像表示：ON イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅、ライム	P72
2 発番号なし動作設定	MENU 8 6 2	すべて設定解除	P170
3 イヤホン切替設定	MENU 8 6 3	イヤホン＋背面スピーカー	P475
4 オート着信機能設定	MENU 8 6 4	OFF	P475
5 メモリ別着信拒否／許可	MENU 8 6 5	設定解除	P169
6 メモリ登録外着信拒否	MENU 8 6 6	OFF	P172
7 応答保留ガイダンス設定	MENU 8 6 7	内蔵音	P74
8 エニーキーアンサー設定	MENU 8 6 8	ON	P67
9 優先通信モード設定	MENU 8 6 9	設定なし	P73
7 通話機能			
1 ノイズキャンセラ設定	MENU 8 7 1	ON	P63
2 再接続アラーム設定	MENU 8 7 2	アラーム高音	P63
3 通話保留音設定	MENU 8 7 3	内蔵音（ENTERTAINER）	P75
4 通話品質アラーム設定	MENU 8 7 4	アラーム高音	P132
5 プレフィックス設定	MENU 8 7 5	009130010	P62
6 国際ダイヤル自動付加	MENU 8 7 6	自動付加	P61
7 サブアドレス設定	MENU 8 7 7	ON	P62
8 通話中クローズ設定	MENU 8 7 8	切断	P67
8 テレビ電話			
1 テレビ電話発着信設定	MENU 8 8 1	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅、ライム	P99

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
8 テレビ電話			
2 テレビ電話動作設定	MENU 8 8 2	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方（相手画像、自画像） 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準）	P98
3 テレビ電話画像選択	MENU 8 8 3	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像：標準画像 応答保留画像：標準画像 通話中保留画像：標準画像	P93
4 テレビ電話使用機器設定	MENU 8 8 4	本体※	P100
9 文字入力／その他			
1 単語登録	MENU 8 9 1	――	P547
2 定型文登録	MENU 8 9 2	――	P545
3 入力設定	MENU 8 9 3	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P551
4 セルフモード設定	MENU 8 9 4／ クリア 1 秒以上押す	OFF	P161
5 NW 検索方法	MENU 8 9 5	ネットワーク自動検索※	P476
6 ソフトウェア更新	MENU 8 9 6	――	P594
9 NWサービス			
1 留守番電話			
1 留守番サービス開始	MENU 9 1 1	――	P481
2 留守番呼出時間設定	MENU 9 1 2	――	P481
3 留守番サービス停止	MENU 9 1 3	――	P482
4 留守番設定確認	MENU 9 1 4	――	P482
5 留守番メッセージ再生	MENU 9 1 5	――	P482
6 留守番サービス設定	MENU 9 1 6	――	P482
7 メッセージ問合せ	MENU 9 1 7	――	P482
8 件数増加鳴動設定	MENU 9 1 8	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音 1	P482
9 着信通知			
1 着信通知開始	MENU 9 1 9 1	――	P483
2 着信通知停止	MENU 9 1 9 2	――	P483
3 着信通知設定確認	MENU 9 1 9 3	――	P483
2 キャッチホン			
1 キャッチホン開始	MENU 9 2 1	――	P484
2 キャッチホン停止	MENU 9 2 2	――	P484
3 キャッチホン設定確認	MENU 9 2 3	――	P484
3 転送でんわ			
1 転送サービス開始	MENU 9 3 1	――	P485
2 転送サービス停止	MENU 9 3 2	――	P486
3 転送先変更	MENU 9 3 3	――	P486

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
9 NWサービス			
3 転送でんわ			
4 転送先通話中時設定	MENU 9 3 4	―	P486
5 転送サービス設定確認	MENU 9 3 5	―	P486
4 迷惑電話ストップ			
1 迷惑電話着信拒否登録	MENU 9 4 1	―	P486
2 迷惑電話全登録削除	MENU 9 4 2	―	P487
3 迷惑電話１登録削除	MENU 9 4 3	―	P487
5 発信者番号通知			
1 発信者番号通知設定	MENU 9 5 1	―	P51
2 発信者番号通知確認	MENU 9 5 2	―	P51
6 番号通知お願いサービス			
1 番号通知開始	MENU 9 6 1	―	P487
2 番号通知停止	MENU 9 6 2	―	P487
3 番号通知確認	MENU 9 6 3	―	P487
7 通話中着信設定			
1 通話中着信設定開始	MENU 9 7 1	―	P490
2 通話中着信設定停止	MENU 9 7 2	―	P490
3 通話中着信設定確認	MENU 9 7 3	―	P490
8 通話中着信動作選択	MENU 9 8	通常着信※	P490
9 その他のNWサービス			
1 USSD登録	MENU 9 9 1	―	P491
2 応答メッセージ登録	MENU 9 9 2	―	P491
3 遠隔操作設定			
1 遠隔操作開始	MENU 9 9 3 1	―	P491
2 遠隔操作停止	MENU 9 9 3 2	―	P491
3 遠隔操作設定確認	MENU 9 9 3 3	―	P491
4 英語ガイダンス			
1 ガイダンス設定	MENU 9 9 4 1	―	P489
2 ガイダンス設定確認	MENU 9 9 4 2	―	P489
5 デュアルネットワーク			
1 デュアルネットワーク切替	MENU 9 9 5 1	―	P488
2 デュアルネットワーク状態確認	MENU 9 9 5 2	―	P488
6 サービスダイヤル			
1 ドコモ故障問合せ	MENU 9 9 6 1	―	P489
2 ドコモ総合案内・受付	MENU 9 9 6 2	―	P489
7 マルチナンバー			P491
8 規制	※本端末ではご利用になれません。		
0 プロフィール情報	MENU 0	―	P52、P465

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P477

お知らせ

・文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。
カナ、英字、数字モードでは、入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。

キー	ひらがな / 漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ ￣※2 ― : _ [¥] ^ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ ＋ , ; ＜ ＝ ＞ ? □ 0	0 ＋※4
＊	゛ ゜	゛ ゜	※半角の場合だけ、次の文字列が入力できます。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※4
#	改行	改行	改行	改行 # T※4
（戻る）	1文字戻る	1文字戻る	1文字戻る	
（A/a）	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

□: 空白を示します。
（網掛け）: 文字入力後に（A/a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※ 1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※ 2：半角の英字モードは「˜」で入力されます。
※ 3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※ 4：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜※	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、。？！「」 全角空白 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣ 半角空白 0
	↵	改行

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>英数字モード（半角）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">上段</td><td>・</td><td>. / @ ~ - : _ [¥] ^ ` { | } 1</td></tr>
<tr><td>A</td><td>A B C a b c 2</td></tr>
<tr><td>D</td><td>D E F d e f 3</td></tr>
<tr><td>G</td><td>G H I g h i 4</td></tr>
<tr><td>J</td><td>J K L j k l 5</td></tr>
<tr><td>定</td><td>@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm</td></tr>
<tr><td rowspan="6">下段</td><td>M</td><td>M N O m n o 6</td></tr>
<tr><td>P</td><td>P Q R S p q r s 7</td></tr>
<tr><td>T</td><td>T U V t u v 8</td></tr>
<tr><td>W</td><td>W X Y Z w x y z 9</td></tr>
<tr><td>!</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? 半角空白 0</td></tr>
<tr><td>↵</td><td>改行</td></tr>
</table>

※：[ ]を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

定型文一覧

・顔文字（55件）

<table>
<tr><td>(o^_^o)</td><td>(^-^)v</td><td>(*⌒▽⌒*)</td><td>ヾ(^▽^)ノわーい</td></tr>
<tr><td>ヽ(^^)</td><td>p(^-^)q</td><td>(—’`—;) なぬ?</td><td>ヽ(*`Д´)ノ</td></tr>
<tr><td>(-.-”)凸 ﾁｯﾁｯﾁ</td><td>(ノ-”-)ノ~┻━┻</td><td>o-_-)=○☆</td><td>(x_x;)</td></tr>
<tr><td>(;_;)</td><td>(/_;)</td><td>(T_T)</td><td>(T-T)</td></tr>
<tr><td>(T^T)</td><td>(>_<)</td><td>(つд`)</td><td>(;´д⊂)</td></tr>
<tr><td>(i_i)＼(^_^)</td><td>(*´д`*)</td><td>(´･ω･`)</td><td>♪～(̄ε ̄)</td></tr>
<tr><td>ヽ(´—`)ノ</td><td>(̄—+ ̄)ふっ</td><td>(^-^)⊃旦~</td><td>(^^;;</td></tr>
<tr><td>(^^ゞ</td><td>σ(^_^;)?</td><td>f(^_^)</td><td>(･･;)</td></tr>
<tr><td>(ﾟДﾟ;≡;ﾟдﾟ)</td><td>0(><;)(;><)0</td><td>(;￢_￢)じ～っ</td><td>(-_-)</td></tr>
<tr><td>(-_-#)</td><td>(-_-)zzz</td><td>(ﾟ0ﾟ;)</td><td>Σ(̄□ ̄)！</td></tr>
<tr><td>(?_?)</td><td>φ(._.)メモメモ</td><td>(`_´)ゞ了解！</td><td>(_ _).oO</td></tr>
<tr><td>(-.-;)y-~~~</td><td>(^^)/ｼ</td><td>(^_^)/~</td><td>ヾ(^_^) byebye!!</td></tr>
<tr><td>(^3^)/チュッ</td><td>m(_ _)m</td><td>○| ̄|_</td><td>(=ﾟωﾟ)ノ</td></tr>
<tr><td>(･∀･)</td><td>(笑)</td><td>(爆)</td><td></td></tr>
</table>

・装飾線（5件）

+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+	□■□■□■□■□■□	･:*:･ﾟ'★,｡･:*:･ﾟ'☆･:
(｀) ﾚ><｡｡o○｡o○	♪//♪//♪//♪//♪//♪	

・アドレス・データ形式（11件）

http://www.	http://	@docomo.ne.jp	.net
.com	.ne.jp	.co.jp	.or.jp
.go.jp	.ac.jp	xxxx/xx/xx xx:xx～xxxx/xx/xx xx:xx Schedule ↵※	

※：「XXXX/XX/XX XX:XX」には現在の日付、時刻が設定されます。Date To機能用のスケジュールの入力に使用できます。→P472

・ビジネス（14件）

いつもお世話になっております。○○の○○です。
本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
本日の会議は○○のため中止となりました。ご周知ください。
本日の会議は○○のため○○に延期となりました。ご確認ください。
只今会議中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
只今移動中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
今、○○です。これから帰社します。帰社予定時刻は○○頃です。
今、○○です。このまま帰宅します。
これから出社します。○○頃になります。
これからお伺いさせていただきます。本日の待ち合わせ時間は○○で変更ございませんでしょうか。
只今○○へ出張中です。会社に戻るのは○○の予定です。
○○の件につき、PCにメールを入れておきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。
○○の件につき、至急確認したいことがございます。ご連絡ください。
本日、○○のため、欠勤させていただいております。

・プライベート（14件）

今日は一日お疲れ様でした。明日もお互い頑張りましょう。
今日は一日ありがとう。とても楽しかったです。
○○で○○といういいお店を見つけました。今度一緒に行きませんか？
今日、○○という映画を観てきました。とても良かったです。今度是非観てみてください。
今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？
○月○日にみんなで○○へ行く計画をしています。ご一緒にいかがですか？
アドレスを変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jpです。電話帳の登録変更をお願いいたします。
○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。
○月○日、飲みに行きませんか？久しぶりにみんなと楽しく飲みたいです。
○月○日、○○へ遊びに行きませんか？久しぶりにみんなと会いたいです。
○月○日の予定はいかがですか？一緒に○○なんてどうかなと思って。
明日はいよいよ、待ちに待った○○です。今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。
体調はどうですか？無理しないでゆっくり休んでくださいね。早く良くなりますように。
本日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組のビデオ録画をお願いいたします。

・文例集（16件）

文例
【寒中見舞】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。盛夏
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏
【結婚祝】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。
【入学祝】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。
【卒業祝】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝】ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝】心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念いたします。
【成功祝】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。
【就任祝】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後ますますのご健勝とご隆盛をお祈りいたします。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

・絵文字対応（22件）

おはよう今日も一日頑張ろう‼	おやすみまた明日ね(-_-)zzz…
おやすみいい夢見てねzzz	ありがとう‼今日はとても楽しかったですまた連絡してね
m(_ _)mごめんなさい。遅れます	もう少し待ってください
□＼(_ _)深く反省してます	さようならまた会える日を楽しみにしてます‼
今、終わりましたこれから帰ります	最近の調子はどう
(o^_^o)はじめまして！ちゃんとメール届いてる？	お腹すいたな。食事に行きませんか？
お久しぶりです！元気!?	今日何時に終わる？
今日の都合はどう!?	連絡ください
旅行でも行きませんか？	了解しましたじゃあね(^o^)/~~
あとで連絡します	すぐに戻ります
今日は外食します	
あなたにお任せします	

付録

・**英語文（46件）**

【おはよう】Good morning. Good luck for today.	【こんにちは】HELLO
【おやすみ①】Good night. See you tomorrow.	【おやすみ②】Good night. Sweet dreams.
【ありがとう①】Thank you. I had a great fun today. Call me again.	【ありがとう②】 Thank You
	【おめでとう】Congratulations
【ごめん】SORRY・・・	【遅れます】Sorry, I'm late.
【反省】I am terribly sorry.	【もう少し待って】Please wait a little longer.
【さようなら①】Good bye. Looking forward to seeing you again.	【さようなら②】BYE BYE
	【またね】SEE YOU
【お久しぶり】Long time no hear. How are you?	【最近どう？】What's up?
【後で連絡します】I will call you later.	【連絡ください】Call me, please.
【メール届いた？】Hello, did you get my mail?	【大丈夫？】ARE YOU OK!?
【もうダメ】GIVE UP Ψ Ψ	【あきらめるな①】NEVER GIVE UP
【あきらめるな②】NEVER DON'T STOP	【君ならできるよ】YOU CAN DO IT
【がんばれ】FIGHT!!	【さぁ】COME ON!!
【乗って】GET ON	【起きろ】GET UP" !!
【起きて】WAKE UP"	【お先に】GO AHEAD
【今から帰宅】I have just finished. I am going home now.	【会社に戻ります】I'll return to the office.
	【今日の予定は？】What is your plan today?
【何時に終わる？】What time are you going to be done today?	【食事のお誘い】I'm hungry. Shall we go eat?
	【旅行のお誘い】Let's go on a trip!
【外食します】I eat out today.	【了解】Sure. See you.
【任せます】It's up to you.	【ようこそ】WELCOME
【幸せ】HAPPY＼（*^ε^*）Chuッ	【誕生日】HAPPY BIRTHDAY
【謹賀新年】HAPPY NEW YEAR	【クリスマス①】Merry Christmas
【クリスマス②】Merry X'mas	【バレンタイン】HAPPY VALENTINE

・**ユーザ作成（最大50件）**

登録した定型文が表示されます。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

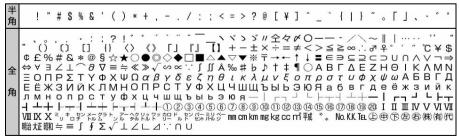
半角	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ
全角	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“ ”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄ ¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒ ⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳ ┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㏎㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹ ㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

※記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

付録

次ページへ続く

■絵文字一覧

絵文字1	
絵文字2	

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P538

読　み	入力文字
あーる	ｱｰﾙ Rr
あい	I i
あるふぁ	α A
あんだーばー	_
あんど	&
いー	E e
いーた	H η
いこーる	＝
いおた	I ι
いち	① I
いぷしろん	E ε
えっくす	X x
えっち	H h
えー	A a
えい	A a
えいち	H h
えす	S s
えぬ	N n
えふ	F f
えむ	M m
える	L l
えん	¥
おー	O o
おう	O o
おす	♂
おみくろん	O o
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かっこ	「」【】『』 《》〈〉｛｝ 〔〕［］（）
かっぱ	K κ
かい	X χ

読　み	入力文字
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ KK
から	～
かろりー	ｶﾛﾘｰ
がんま	γ Γ
きゅー	Q q
きゅう	⑨ IX
きごう	〃々@× ÷∴／＼ ∞∈∋⊆ ⊇⊂⊃∪ ∩⊿∑∮ 〟〝∟≧ √∽∝∵ ∫∬Å≫ ‰†‡∨ ¶§≦＞ ＜≠≪∧ ¬∀∃∠ ⊥⌒∂∇ ≡　±
きろ	ｷﾛ
きろぐらむ	kg
きろめーとる	km
く	⑨ IX
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	ｸﾞﾗﾑ
けー	K k
けい	K k
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ V

読　み	入力文字
さん	③ III
さんかく	△▲▽▼
し	④ IV
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	c
しーしー	c c
しーた	θ Θ
しかく	□◆◇■
しぐま	Σ σ
しち	⑦ VII
しめ	〆
じぇー	J j
じぇい	J j
じゅう	⑩ X
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
じー	G g
すらっしゅ	／＼
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	ｾﾝﾁ cm
せんちめーとる	cm
せんと	ｾﾝﾄ ¢
ぜーた	Z ζ
ぜっと	Z z

読　み	入力文字
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
てぃー	Ｔｔ
てー	Ｔｔ
てん	… ‥ 、 ’ ” ‘ “ ｀ ´ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ
てんてん	‥‥‥
でぃー	Ｄｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧
どう	々 〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳
のま	々
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ

読　み	入力文字
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	Ｂｂ
ぴー	Ｐｐ
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	Ｖｖ
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	－
まる	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ○ ◎ ● ◯ ｡
みゅー	Μ μ

読　み	入力文字
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍
めいじ	㍾
めす	♀
やじるし	↑↓→ ←⇔⇒
ゆー	Υυ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わっと	㍗
わい	Ｙｙ
わる	÷

※特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

※入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P538

入　力	変　換
えもじ	
おんぷ	♪ 🎶
かお	
からだ	👀 👂 ✊ ✌ ✋ 👣
すうじ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
すぽーつ	🏃 ⚾ ⛳ 🎾 ⚽ 🎿 🏀 🏁
せいざ	♈ ♉ ♊ ♋ ♌ ♍ ♎ ♏ ♐ ♑ ♒ ♓
そのた	
ちず	
つき	● ◐ ◑ ◕ ○
てんき	☀ ☁ ☂ ⛄ ⚡ 🌀 🌁 🌂
とらんぷ	♥ ♠ ♦ ♣
のりもの	
はーと	♥ 💘 💔 💕
やじるし	↗ ↘ ↖ ↙ ⤴ ⤵

お知らせ

- 絵文字１の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 と絵文字２（→P567）は漢字入力モードで変換して入力することができません。入力方法→P543
- 絵文字を入力して i モード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字 ２（→ P567）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

区点コード一覧

※区点コード入力の操作→P547
※区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

次ページへ続く

■区点コード一覧表（つづき）

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					し					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					す					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					せ					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
					そ					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					た					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					ち					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					つ					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					て					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					と					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					な					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					に					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					ぬ					
390									濡	
					ね					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
					の					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					は					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

次ページへ続く

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理／現在の状態	音声電話通話		テレビ電話通話		iモード	iモードメール	
	発　信	着　信	発　信	着　信	接　続	送　信	受　信
音声電話通話中	①	②	×	×※6	○	○	○※1
テレビ電話通話中	×	×※6	×	×※6	×	×	×
iモード中	○	○	○※4	×※7	—	○	○
iモードメール送受信中	○	○	○※4	×※7	○	○※5	○※5
ショートメッセージ（SMS）送受信中	○	○	○	○	○	○※5	○※5
64Kデータ通信中	×	③	×	×※6	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	×※7	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	—	×	—	×	×	—
iアプリ動作中	○※2	○※2	○※2	○※2	×	○	○
FeliCa対応iアプリ動作中	○※2	○※2	○※2	○※2	×	○	○
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	—	×	—	×	×	—
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	×	○	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※7	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理／現在の状態	ショートメッセージ（SMS）		64Kデータ通信		パケット通信		データ転送（赤外線通信）	
	送　信	受　信	発　信	着　信	発　信	着　信	送　信	受　信
音声電話通話中	○	○※1	×	×※6	○	○	×	×
テレビ電話通話中	×	×	×	×※6	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×※7	×	×	×	×
iモードメール送受信中	○※5	○※5	×	×※7	×	×	×	×
ショートメッセージ（SMS）送受信中	○※5	○※5	○	○	○※3	○※3	×	×
64Kデータ通信中	×	○※1	×	×※6	×	×	×	×
パケット通信中	○※8	○※1	×	×※7	×	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	—	×	—	×	—	×	×
iアプリ動作中	○	○	○	○	○	○	○	×
FeliCa対応iアプリ動作中	○	○	○	○	○	○	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	—	×	—	×	—	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×※7	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×

次ページへ続く

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：発信・着信できません。
－：実現しない組み合わせです。
①：キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。
②：キャッチホンをご契約の場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。
③：同時にはご利用いただけません。キャッチホンをご契約の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。
※1：着信音は鳴りません。
※2：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。
- テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。
※3：ショートメッセージ（SMS）送信中は発着信はできません。
※4：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。
※5：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできないことがあります。
※6：キャッチホンをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。ただし、ソフトウェア更新中にテレビ電話やデータ通信の着信があった場合は、キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。
※7：キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。
※8：電話帳からショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ 新規起動メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1iモード問合せ	1メール 6問合せ 2SMS問合せ	1メール 6問合せ 3メール選択受信	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2FOMAカード受信SMS	1メール 7SMS 3FOMAカード送信SMS	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 4画面メモ	2iモード 5ラストURL	2iモード 6iモード問合せ	2iモード 7メッセージ 1メッセージリクエスト	2iモード 7メッセージ 2メッセージフリー
電話／ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
iモードメール問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／画面メモ／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモーション／メロディ／マイピクチャ／キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／メモ帳／スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

次ページへ続く

新規起動メニュー項目 ＼ 実行中機能／状態	3 アプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4 電話帳・履歴 2 着信履歴	4 電話帳・履歴 3 リダイヤル	4 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	4 伝言メモ・音声メモ 2 音声メモ録音	4 伝言メモ・音声メモ 3 音声メモ一覧	5 データBOX 1 マイピクチャ	5 データBOX 2 モーション	5 データBOX 3 メロディ	5 データBOX 4 キャラ電	6 ツール 1 カメラ	6 ツール 2 ビデオカメラ	6 ツール 3 サウンドレコーダー	6 ツール 4 バーコードリーダー	7 ステーショナリー 1 スケジュール帳	7 ステーショナリー 2 メモ帳	7 ステーショナリー 3 電卓	0 プロフィール情報
電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／画面メモ／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモーション	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中／ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIMロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 選択可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できる主なサービスは次のとおりです。

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 **およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）** **（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）**	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2004年12月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2004年12月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DC アダプタ　01
- FOMA AC アダプタ　01
- 電池パック　F06
- キャリングケース　F07
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/ P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※/P002※
- ステレオイヤホンセット　P001※
- イヤホンターミナル　P01※
- FOMA海外兼用 ACアダプタ01
- 車内ホルダ　F06
- 卓上ホルダ　F07
- リアカバー　F07

※：イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。

FOMA Fシリーズデータリンクソフトについて

FOMA F シリーズ データリンクソフト※には次の4つの機能があります。これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。
※添付のCD-ROMに収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。

ソフト名	内　容
データリンクソフト	FOMA端末の電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンにバックアップできます。
データシンクロソフト	Microsoft® Outlook®とデータを同期させることができます。
miniSDユーティリティ	miniSDメモリーカードの電話帳やメールなどのデータを編集したり、バックアップしたりできます。 ・パソコンと FOMA 端末を接続して操作する場合は、FOMA 端末で USBモード設定を行う必要があります。→P497
Fアルバムソフト	パソコンにアルバムを作成して画像などのデータを管理できます。

●データリンクソフトのインストールについては、添付のCD-ROM内の「DataLink」フォルダ内の「Data Link.txt」をご覧ください。
●転送可能データ、操作方法、制限事項などの詳細については、ホームページまたはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

動作環境の確認

データリンクソフトは、次の動作環境※1でご利用ください。

項　目	必要環境
OS※2	Windows XP、Windows 2000、Windows Me
CPU	Pentium 166MHz以上の性能を持つプロセッサを推奨
必要メモリ	32MB以上
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color（16bit）以上推奨
ドライバ※3	FOMA F901iC通信設定ファイル
ソフトウェア環境※4	Microsoft® Outlook® 2003、Microsoft® Outlook® 2002、Microsoft® Outlook® 2000、Microsoft® Outlook® 98

※1：Fアルバムソフトについては動作環境が異なりますので、ヘルプをご覧ください。
※2：miniSDユーティリティをパソコンとFOMA端末を接続して使用する場合、Windows　MEは非対応です。
※3：データリンクソフト、データシンクロソフトを使用する場合のみ必要です。
※4：データシンクロソフトを使用する場合は、いずれかのソフトがインストールされている必要があります。

・データ転送を行うにはFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダ接続用の市販のUSBケーブルが必要です。ただし、miniSDメモリーカードを読み込む環境のあるパソコンでminiSDユーティリティまたはアルバム作成ソフトを使用する場合は、パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続しないでソフトを使用することもできます。

お知らせ

・一部同期できないデータがあります。同期可能なデータについて、詳しくはソフトのヘルプをお読みください。
・データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なるものがあります。
・データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。
・F901iC以外で撮影された動画／ｉモーションは、転送できない場合があります。
・Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期させることができません。Microsoft® Exchange Serverなどとの共有を解除してからご使用ください。
・電話帳に設定されている画像やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへ転送できません（ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータを除く）。ファイル制限→P380、P392、P406
・miniSDユーティリティを使用して読み込み、書き込みを行う場合、データ量によっては転送に時間がかかります。

FOMA F シリーズ データリンクソフト

■データリンクソフトに関するホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社

0120-176-769

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00　（日・祝祭日を除く）
※ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

FOMA端末と外部機器とのデータ連携

ここでは、FOMA端末と外部機器との動画データの連携について説明します。

外部機器で作成した動画（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4ファイル、ASFファイル）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生することができます。

- miniSDメモリーカード内の動画を再生する→P416
- 再生可能なMP4ファイル→P178
- 再生可能なASFファイルは次のとおりです。
  ※：ASFファイルの中にも再生できないものがあります。

ファイル形式	SD-Video(ASF)
符号化方式	映像：MPEG-4 音声：G.726

- miniSDメモリーカード内の動画を再生するには、決められたフォルダに動画データを保存し、情報更新する必要があります。
  miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P410
  miniSDメモリーカードの情報更新→P419
- 対応外部機器については、パソコンから下記のホームページにアクセスしてご確認いただけます。
  http://www.fmworld.net/product/phone/
- 音楽データの再生方法についての詳細は、パソコンから下記のホームページにアクセスしてご確認いただけます。
  http://www.fmworld.net/product/phone/f901ic/music.html

■音楽データの再生方法についてのお問い合わせ先：富士通株式会社

0120-292-675

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00 （日・祝祭日を除く）
※ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などでデータを転送し、パソコンで再生することができます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P178

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTimeは以下のホームページよりダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/.jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

故障かな？と思ったら、まずチェック

故障かな？と思ったときは、まず下記の点をお調べください。

■電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42
- 電池切れになっていませんか。→P48
- デュアルネットワークサービスで mova が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- AC アダプタのコネクタが FOMA 端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P44
- 卓上ホルダに FOMA 端末が正しく取り付けられていますか。→P46

●充電中に充電ランプが点滅する

- 通話／通信中の場合は、ただちに終了してください。FOMA 端末から AC アダプタ（卓上ホルダ）、DC アダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電を行ってください。→P44、46
- 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部が点滅し、ピピピというアラーム音が出ている

- 電池が少なくなってきています。充電してください。→P43

■電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

- 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消すことができます。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

- オールロックがかかっていませんか。→P160
- ダイヤル発信制限がかかっていませんか。→P163
- 遠隔ロックがかかっていませんか。→P166
- セルフモードを設定していませんか。→P161

●ダイヤルしたが話中音（プープー音）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。→P54
- 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。→P49

●ディスプレイに圏外が表示され、話中音（プープー音）が出る

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P49

●着信音が鳴らない

- 着信音量を「消音」に設定していませんか。→P70
- 次の機能を設定していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P168
  - 発番号なし動作設定→P170
  - 着信呼出動作設定→P171
  - メモリ登録外着信拒否設定→P172
- マナーモードに設定していませんか。→P133
- ドライブモードに設定していませんか。→P76
- オールロックを設定していませんか。→P160
- セルフモードに設定していませんか。→P161
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していませんか。→P481、P485

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない

- エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。→P67

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。→P70

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される

- ダイヤル発信制限を設定しませんでしたか。→P163
- PIM ロックを設定しませんでしたか。→P162

●電話がかかってきたとき、設定した着信音以外の着信音が鳴る

- 複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ① FOMA 端末電話帳の設定
  ② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③ 着信音設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

●電話がかかってきたとき、設定したイメージ以外のイメージが表示される

- 電話発着信設定の「着信音」に音と映像のあるｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定したｉモーションになります。
- 複数の機能で発着信画像が設定されている場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
  ① FOMA 端末電話帳の設定
  ② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③ 発着信画像選択／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

●電話がかかってきたとき、設定したイルミネーションパターンやイルミネーションカラー以外で着信ランプが動作する
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
① FOMA端末電話帳の設定
② FOMA端末電話帳グループ別の設定
③ 着信イルミネーション／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

■設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない
・各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

●キー確認音が鳴らない
・キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。→P131
・マナーモードに設定していませんか。→P133

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される
・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。→P39

●ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される
・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P39

●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている
・オールロックが設定されています。解除してください。→P160

●ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない
・遠隔ロックが設定されています。解除してください。→P166

●ディスプレイに が表示されている
・サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P165

●FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキーを押しても操作できない
・サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P165

●日付が英語で表示される
・バイリンガル設定で英語表示を設定していませんか。→P150
・時計表示設定で「英語」に設定していませんか。→P149

●ディスプレイが暗い
・照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。→P144

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない
・照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。→P144

●自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない
・電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。

●アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した時刻に動作しない
・電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
・アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。→P448

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」、「操作が遅すぎます」のメッセージが表示される
・センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●通話料金が積算されなくなった
・通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻すことができます。→P469

■メール・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
・近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写モードに切り替えてください。→P194

●ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない
・FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。→P40

●メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る
・複数の機能でメール着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
① FOMA端末電話帳の設定
② FOMA端末電話帳グループ別の設定
③ 着信音設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
・メールの送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。

●メール受信時に電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない
・相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。→P103

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

● メール受信時に、設定したメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーと違うパターンや色で点滅する

・複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③ 着信イルミネーション設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、着信イルミネーションパターンと着信イルミネーションカラーで点滅します。
・メールの送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターン／メール着信イルミネーションカラーを設定していますか。

● 静止画や動画が や で表示される

・データが壊れている場合は正しく表示することができず、 や で表示されます。

● キーを押したときの画面の反応が遅い

・FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA 端末の画面の反応が遅くなることがあります。

■その他

● ＦｅｌｉＣａ 機能が使えない

・電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、ＩＣ カードロックが設定され ＦｅｌｉＣａ 機能が使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているか確認し、電源を入れ直してください。→ P42

● 取扱説明書に記載されていない電池残量マークが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メロディ再生中にできる操作が増えている／メニュー設定のアイコンデザインが増えている／普段と ｉ モーションの早送りのしかたが違う

・隠し機能が起動しています。隠し機能の起動または解除を行う場合は、カスタムメニューのグループ名に半角で「DOWNTOWN」と入力します。→ P464
  - メロディ再生中に 2 または 8 を押すと音程の変更、4 または 6 を押すとテンポの変更、5 を押すと残響音の設定／解除ができます。0 を押すと通常の再生に戻ります。
・パソコンなどの外部機器で作成した 900 秒以上の動画（ASF ファイル）再生中に 1 〜 9 を押すと、全再生時間の 10%を超えない範囲で 10 秒〜 90 秒先に早送りできます。0 を押すと全再生時間の 10%先に早送りできます。

こんな表示が出たら

FOMA 端末に表示される主なエラーメッセージを 50 音順に示します。

● エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

● **FOMAカード（UIM）がいっぱいです**

FOMAカードの保存領域が不足しているため、ショートメッセージ（SMS）を保存できません。FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）を削除するか、FOMA 端末に移動してください。→ P325、P326

● **FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません**

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付ファイル、メッセージ R/F を保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロード、メッセージR/Fを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

● **FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

● **FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません**

FOMAカードが挿入されていません。FOMA カードを挿入して利用してください。→ P39

● **FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

● **ＩＣカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？**

複数削除または全件削除するソフトの中に、ＩＣカード内のデータを削除できないために削除できないＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のソフトを削除するときは「はい」を選択します。

● **ＩＣカード内データにエラーがあるため削除できません**

ＩＣカード内のデータにエラーがあるＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリは削除できません。

● **ＩＣカード内のデータがいっぱいのためダウンロードできません。いずれかのソフトを削除して最初からダウンロードしてください**

ＩＣカード内のデータがいっぱいのためＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリをダウンロードできません。ＩＣカード内のデータも一緒に削除するＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを削除するか（→ P350）、ＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内の不要なデータを削除してから、ダウンロードし直してください。→ P364

● **ｉモーション再生サイズを超えています**

標準タイプのｉモーションのデータ取得時に、データが 500K バイトを超えるため受信を中断しました。

● **ｉモーション再生サイズを超えました**

標準タイプのｉモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが 500K バイトを超えたため受信を中断しました。

● **ｉモーション最大サイズを超えています**

ｉモーション（ストリーミングタイプ）のデータ取得時に、データが 2M バイトを超えるため受信を中断しました。

● **ｉモーション最大サイズを超えました**

ｉモーション（ストリーミングタイプ）のデータ取得中に、データが 2M バイトを超えたため取り込みが完了しませんでした。

● **ｉモードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい（555）**

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **miniSDカードが挿入されていません**

miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないときは、カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存したり、FOMA 端末に保存されているデータを miniSD メモリーカードにコピー／移動できません。miniSD メモリーカードを取り付けてから保存、コピー／移動してください。→ P412

● **miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します**

カメラの静止画設定および動画／録音設定の保存先を「miniSD カード」に設定しているときに miniSD メモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

● **miniSDカードの保存領域がいっぱいです**

miniSDメモリーカードの保存領域がいっぱいのため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→ P416

● **miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します**

キャラ電ダウンロード時に、あらかじめ撮影後ファイル制限が「あり」の場合は、miniSD メモリーカードに保存できません。また、ダウンロード後もファイル制限は変更できません。→ P398、P401

● **PIMロック中です**

PIM ロック設定中は、禁止されている操作を行えません。→ P162

● **PINロック解除コードがロックされています**

ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

● **SMS センター設定を確認してください**

SMS 設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。→ P322

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P408

●**SSL通信が切断されました**
SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバー側での認証エラーのため中断しました。

●**SSL通信が無効です**
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●**SSL通信が無効に設定されています**
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。
→P245

●**SSL通信を切断しました**
SSL通信中にサイトの証明書に問題が発生しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。

●**URLが正しくありません**
入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●**URLが長すぎて登録できません**
URLが長すぎるためブックマークまたは画面メモに登録できません。

●**宛先をご確認ください**
ショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。宛先が正しいか確認してください。

●**アドレスをご確認ください**
メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●**以下の宛先には送信出来ませんでした（561）**
いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。
□を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

●**移動できませんでした**
データの複数移動または全件移動時、すべてのデータを移動できませんでした。

●**エラーが発生したため保存できません**
添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●**遠隔操作可能なサービスは未契約です**
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用するには別途ご契約が必要です。

●**応答がありませんでした（408）**
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらく待ってから操作し直してください。

●**カード情報を認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。→P39

●**画像に誤りがあり正しく動作しません**
サイトなどでFlash画像を再生中にエラーが発生したため、正しく動作しません。

●**画像を表示できません**
添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●**規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）**
10000バイトを超える静止画のダウンロード時に、規定のアクセス回数を超えました。

●**圏外です**
電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●**更新できませんでした**
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。→P49

●**このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？**
ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションをダウンロードしようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。→P359

●**このカードは認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードを確認してください。→P39

●**この画像は保存できません**
サイトや画面メモ、メッセージR/F内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●**このキャラ電は表示できません**
データに不正があるキャラ電は表示できません。

●**この形式のデータは実行できません**
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをminiSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索することはできません。

●**このサイトとのSSL通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●**このサイトの安全性が確認できません。 接続しますか？**
サイトの証明書が、FOMA端末でサポートしていない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**このサイトは安全でない可能性があります。 接続しますか？**
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています（→P246）。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**この接続先の安全性が確認できません。 接続しますか？**
FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています（→P246）。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。→P49

●**この接続先は安全でない可能性があります。 接続しますか？**
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。
→P246

●このソフトは現在利用できません
IP(情報サービス提供者)によってソフトの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがサポートしていない形式です。再生できない場合があります。

●このデータは表示できません
メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●このデータは保存できません。取得しますか？
ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●このデータを取得するためには時刻設定をしてください
日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→P49

●コピーできませんでした
・マルチメディアデータの複数コピーまたは全件コピー時、すべてのデータをコピーできませんでした。
・コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。

●これ以上入力できません
入力可能な最大文字数を超えています。文字数を減らしてください。

●サービス未契約です
・ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
・ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。
→P49

●サービス未提供です
ショートメッセージサービス(SMS)が未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P385

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため受信できません。

●再生できません
メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●最大サイズを超えたので中断しました
・サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。□を押すと正常に受信した部分までを表示します。
・キャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため、受信できません。

●最大文字数を超えたため引用できない部分がありました
ショートメッセージの本文が70文字を超える(送信種別が英語の場合は160文字)メールに本文を引用して返信できません。引用せずに返信してください。→P309

●最大文字数を超えました
ｉモードメールの本文が全角5000文字または半角10000文字を超えるメールに本文を引用して返信できません。引用せずに返信してください。→P309

●サイトが移動しました（301）
サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。

●サイトに接続できませんでした（403）
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。

●削除しますか？　ＩＣカード内データも削除されます
複数削除または全件削除するソフトの中に、ソフトを削除するとＩＣカード内のデータも削除されるＦｅｌｉＣａ対応ｉアプリが含まれます。ソフトおよびＩＣカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●指定サイトがみつかりません（404）
サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定先にジャンプできません
ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取り込みを中断した場合は、リンク先を表示できません。

●指定されたソフトがありません
サイトやメール、外部機器から指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、ソフトを起動できません。サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたソフトを起動するとき、ソフト情報設定や起動条件などに問題がある場合はソフトを起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●指定したファイルが見つかりません（492）
10000バイトを超える静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●しばらくお待ちください
・回線がたいへん混み合っています。しばらく待ってから送信し直してください。
・ｉモードの利用が現在規制されています。しばらく待ってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、ショートメッセージ(SMS)をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P322

●受信に失敗しました
受信中にエラーが発生したため受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合はしばらく待ってから操作し直してください。

●**受信メールがいっぱいです**
受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、ｉモードメールの保護を解除するか、ｉモードメールを削除してください。

●**受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**受信を拒否されました**
SMS センターにショートメッセージ（SMS）の受信を拒否されました。

●**情報が正しくないため再生できませんでした**
添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●**署名を付けることができません**
・ｉモードメールの本文と署名の合計文字数が全角5000文字／半角10000文字を超えるため、署名を添付できません。本文の文字を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
・SMS 設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。

●**既にメッセージをお預かりしています**
既にショートメッセージ（SMS）は送信済みです。

●**正常に接続できませんでした（400）**
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうか確認してください。

●**赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉアプリ To が設定されていても、指定されているソフトを起動できません。

●**赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？**
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm 以内の距離で、相手の赤外線ポートに FOMA 端末を向けてから「はい」を選択してください。
→P426

●**赤外線　中断されました**
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。→P426

●**赤外線　認証接続できませんでした**
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。→P428

●**セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました**
許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●**セキュリティエラーのため、終了しました**
許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリが終了しました。

●**接続が中断されました**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

●**接続できません**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**接続できませんでした**
テレビ電話発信時に相手が番号通知お願いサービスを設定しているため、接続できません。発信者番号を「通知する」に設定してかけ直してください。

●**接続できませんでした（562）**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**設定時間内に接続できませんでした**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**セルフモード中です**
セルフモード中は禁止されている操作を行えません。→P161

●**送信できませんでした**
ｉモードメールまたはショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

●**送信できませんでした（552）**
ｉモードセンターまたは SMS センター側のエラーにより、ｉモードメールまたはショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●**送信できませんでした　宛先を確認してください（451）**
ｉモードメールまたはショートメッセージ（SMS）が送信できません。宛先が正しいか確認してください。

●**送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**送信を拒否されました**
ショートメッセージ（SMS）の送信が拒否されました。

●**そのソフトは最新です**
既に最新のソフトにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●**ソフトに誤りがあります**
ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません**
ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトを起動し、ＩＣカード内データを削除後、ソフトを削除してください**
ＩＣカード内のデータを削除しないと削除できないソフトです。ソフトを起動し、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフトを削除してください。
→P364

●**対応機種ではありません**
ダウンロードしようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないコンテンツがコードに含まれている場合は、バーコードリーダーで読み取れません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作を行えません。
→P163

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●他の機能が起動中のため起動できません
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●データが不正です
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のデータにエラーがあります。

●データまたはminiSDカードが壊れています
miniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。
→P411、P419

●データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します
カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときにminiSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●電話中のため動画撮影・録音はできません。
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音に切り替えることができません。通話を終了してから動画撮影・音声録音に切り替えてください。
→P54、P64

●電話帳に登録されていません
入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録をしてください。→P103

●問合せできませんでした
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

●登録された指紋と一致しません
指紋認証をするときに登録されている指紋と一致しませんでした。もう一度やり直すか指紋の再登録を行ってください（暗証番号が必要となります）。
→P158

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
iモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません。
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。□を押すと各項目の最大文字数を超えた部分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます
サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●認証を中止しました
「基本認証」の画面でクリアを押して認証を中止したときに表示されます。

●バージョン表示できませんでした
パターンデータのバージョンを確認できません。パターンデータを再度更新してください。
→P599

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●発信できません
音声電話中、テレビ電話通話中、または64Kデータ通信中に音声電話およびテレビ電話の発信はできません。

●日付時刻が設定されていません。起動できません
日付・時刻が未設定の場合、iアプリDXを起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。→P49

●ファイルを添付することができません
添付しようとする静止画またはiモーションの容量が大きすぎます。添付するファイルの容量を確認してください。→P270

●復元できませんでした
復元できない形式のデータを復元しようとしました。

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからソフトを起動するとき、データに不正がある場合はソフトを起動できません。

●不正なデータのため保存できません
ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●保存できないデータです
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存できません
メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存できませんでした
10000バイトを超える静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P408

●保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA端末またはFOMAカードの保存領域が不足しているため、ｉモードメールまたはショートメッセージ（SMS）を保存できません。ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードまたはFOMA端末に移動、またはｉモードメールを削除してください。→P323、P325、P299

●本体の保存件数がいっぱいです

FOMA端末の保存件数がいっぱいのため、miniSDメモリーカードからデータの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、復元ができません。該当する不要なデータを削除してください。

●マイピクチャ／その他の画像／動画／メロディ／PIMフォルダの保存件数がいっぱいです

miniSDメモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→P416

●未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線通信のINBOXにデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P431

●無効なデータを受信しました（xxx）

- 指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているためショートメッセージ（SMS）を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。
→P289、P297、P326

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ショートメッセージ（SMS）をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してからSMS問合せを行ってください。
→P289、P297、P322、P326

●メールアドレスが登録されていません

選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。→P307

●メールデータを参照できませんでした

- 受信、未送信メールまたはフォルダを削除するときに、削除対象のメールデータを参照できません。しばらく待ってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらく待ってから操作し直してください。

●メールを表示できません

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●メッセージがいっぱいです

受信メールとメッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールとメッセージR/Fを受信できません。未読のｉモードメールとメッセージR/Fを読むか、ｉモードメールとメッセージR/Fの保護を解除するか、ｉモードメールとメッセージR/Fを削除してください。

●メモリ不足です

メモリが不足したため処理を中断します。

●メモリ不足です。メインメニューに戻ります。

メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。
→P246

●料金情報の読み込みができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P39

●料金情報のリセットができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P39

●連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域・保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

保証とアフターサービス

保証について

・FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
・この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows XP、2000、ME）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（→P580）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA 端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA 端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→P583
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

・水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

・ご要望により有償修理いたします。

◎部品の保有期間は

・FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後６年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。
・詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

◎お願い

・FOMA 端末、FOMA カードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA 端末、FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA 端末、FOMA カードは使用できません。

- 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

・FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
・各種機能のON／OFF設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。
・FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
・本製品の修理や点検などの場合において、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。また、当社の都合によりFOMA端末を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その場合にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらのデータなどの変化、消失、移し替えられないことについて何らの責任を負うものではありません。
・電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報・ICカード内のデータなどについて◆

・お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
・携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ&ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

● ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
・即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。→P595
・予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます→P596

● 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
・オールロック中
・日付・時刻を設定していないとき
・電池がフル充電されていないとき
・圏外 が表示されているとき
・電源が入っていないとき
・他の機能を使用しているとき
・FOMAカードが未挿入のとき
・PIN1コード入力中
・ICカードロック中
・セルフモード設定中
・PIN1コードロック中
・PIMロック中
・通話中

● ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

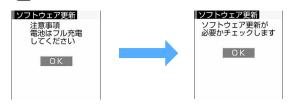
お知らせ

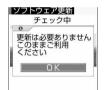
- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けることができます。
- ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、発着信画像に動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。「証明書表示／使用設定」でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。→P245
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（）で実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
  →P279
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する<ソフトウェア更新>

1 **待受画面で MENU 8 9 6 を押す**

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、注意事項を確認して ( ) を押す

3 ( ) を2回押して、ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する

・携帯電話情報の送信画面で ( ) を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。( ) を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

・サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示する→P594

2 「今すぐ更新」を選択して ( ) を押す

ダウンロードが開始され、着信ランプが点滅します。

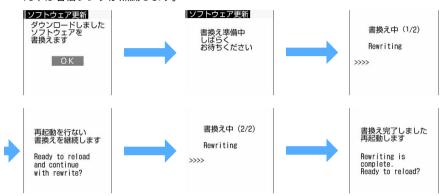
・ダウンロードを中止するときは ( ) を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

■ サーバが混み合っているとき

ソフトウェア更新
サーバーが
混みあっています
予 約
更新しない

・「予約」を選択して更新日時を予約してください。→下記

3 ダウンロード終了後、自動的にソフトウェアを書き換える

ダウンロードが終了すると、ソフトウェアの書き換えが自動的に開始されます。書き換え中は着信ランプが点滅します。

・ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 を押す

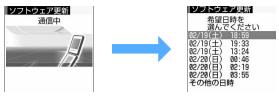
更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 更新方法の選択画面を表示する→P594

2 「予約」を選択する

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

・予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

3 希望日時を選択する

■ 表示されている予約候補から選択するとき

希望日時を選択して「はい」を選択する

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択する

②希望日を選択する

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり　△：空きわずか
・希望日の候補が複数ページあるときは、を押してページを切り替えます。

③希望時間帯を選択する

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。
・を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④希望日時を選択して「はい」を選択する

4 を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。
予約日時になると、FOMA 端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところでFOMA 端末を待受画面にしておいてください。
・予約中は、待受画面にが表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

ソフトウェア更新の予約日時を確認できます。

1 待受画面で MENU 8 9 6 を押す

2 端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 内容を確認する

・確認を終了するときは「OK」を選択する。

■ 予約を変更するとき

「変更」を選択して を押す

予約候補の選択画面が表示されます。

・以降の操作は、予約更新の操作 2 からと同じです。→P597
・携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「取消」を選択して「はい」を選択する

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② を 2 回押す

予約が取り消され、メニューが表示されます。

・携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

・予約日時になると左の画面が表示され、自動的にダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。
・ソフトウェア更新を中止する場合は 電源 を押し、「はい」を選択する。

お知らせ

・他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
・PIN1 コード ON／OFF 設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
・同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、随時更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時	有効

スキャン機能を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムの実行の際、自動的にチェックします。

1 待受画面で MENU 8 3 8 2 を押す

2 1 を押して「はい」を選択する

・スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P600

■ スキャン機能設定を解除するとき

2 を押して「はい」を選択する

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 待受画面で MENU 8 3 8 1 を押す

2 「はい」を2回選択してパターンデータを更新する

3 ▢を押す

パターンデータ更新が終了します。

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中にアラームやスケジュールアラームの設定時刻になると、設定時刻を知らせる画面が表示されてアラームが鳴動しますが、パターンデータの更新は継続されています。
- FOMA端末で日付・時刻が設定されていない場合は、パターンデータの更新はできません。

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択する

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

■ スキャン結果の表示について

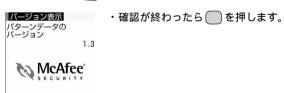
警告レベル	表示メッセージ	対応方法
警告レベル 0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」　：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 3	問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

お知らせ

・スキャン機能によって i アプリ待受画面に設定しているソフトに問題要素が見つかり、ソフトの起動を中止した場合は、i アプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1　待受画面で MENU 8 3 8 3 を押す

・確認が終わったら ▢ を押します。

主な仕様

品名	FOMA F901iC
サイズ	高さ105×幅51×厚さ28mm（折り畳み時、突起部含まず）
質量	約129g（電池パック装着時）
連続待受時間	移動時：約410時間 静止時：約570時間
連続通話時間	音声電話時　：約160分 テレビ電話時：約100分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	730mAh
FOMA ACアダプタ01での充電時間	約130分
FOMA DCアダプタ01での充電時間	約130分
カメラ画素数	アウトカメラ：有効画素数約204万画素 （記録画素数約200万画素） インカメラ　：有効画素数約32万画素 （記録画素数約31万画素）
デジタルズーム	アウトカメラ：最大20倍 インカメラ　：最大2倍

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと連続通話（通信）・連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると連続通話・連続待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

索引／クイックマニュアル

INDEX 索引

サ行

タ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

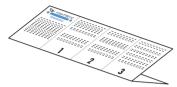
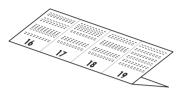
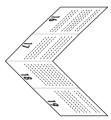
＊miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P408

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 **キリトリ線から切り離す（2枚）**

※切り離しの際にはケガなどにご注意ください。

2 **それぞれを縦半分に折る**

3 **それぞれを横半分に折る**

4 **それぞれをさらに横半分に折る**

クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo

FOMA® F901iC

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

FOMA 端末電話帳の登録

1. 待受画面で 4 2
2. 名前欄を選択→名前を入力
3. →各項目を設定
   ・着信音など他の項目を登録： ／
   撮影：新規登録画面で （静止画）／ （動画）
   撮影方法→ P8
4.
5. メモリ番号（0 ～ 699）を入力→

1

FOMA カード電話帳の登録

1. 待受画面で 4 3
2. 名前を入力
3.
4. 各項目を設定→

リダイヤルや着信履歴からの登録

1. 待受画面で または
2. 登録する相手を選択→ 1
   ・登録済みの電話帳へ追加： 2
3. 1（FOMA 端末電話帳）～ 2（FOMA カード電話帳）
   ・登録済みの電話帳へ追加する場合は、追加する相手を選択する
4. 各項目を設定→
   ・新規登録の場合は、メモリ番号を登録

2

電話帳の修正

1. 待受画面で
   ・電話帳の切り替え：
2. 修正する相手にカーソルを合わせる→ 3
3. 修正する→
   ・FOMA 端末電話帳の場合は、操作 4 に進む
4. メモリ番号（0 ～ 699）を入力→

電話帳の検索

1. 待受画面で 4 1
   ・電話帳の切り替え：
2. 1 ～ 7
   ・FOMA カード電話帳は 1 ～ 4 を押す

3

文字の入力

かな入力方式とスロット入力方式の切り替え

● **文字入力中に切り替える**
7 1

● **待受中に切り替える**
8 9 3 →入力方式欄を選択→ 1（かな入力）～ 2（スロット入力）

入力モードの切り替え

文字入力中に を複数回
・ を押し、入力モードを選択しても入力モードの切り替えが可能

4

文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字モードで文字を入力
   「す」：3 を 3 回→ （カーソルを 1 つ右に移動）
   「ず」：3 を 3 回→ ＊
   「き」：2 を 2 回
   ・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動→文字を入力
   ・入力した文字の確定前にできる操作
   ：全角カタカナに変換
   クリア：入力した文字の取り消し
   ：大文字／小文字の切り替え
   を複数回：通常の文字入力順と逆の順で文字の切り替え（例：…→ 1 →お→え→う→い→あ→ 1 →…）
   ＊ を複数回：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

5

2.
   ・変換候補一覧の表示： ／ ／
   ・変換前の状態に戻す：クリア
3.

文字の削除

● **カーソルが文中にあるとき**
クリア：カーソル位置の文字の削除
クリア を 1 秒以上：カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

● **カーソルが文末にあるとき**
クリア：カーソル位置の左側にある文字の削除
クリア を 1 秒以上：すべての入力文字の削除

6

記号・絵文字・定型文の入力

● **記号を入力する**
文字入力中に →記号を選択
・ 1 を押しても入力可能

● **絵文字を入力する**
文字入力中に →絵文字を選択
・ 2 を押しても入力可能

● **定型文を入力する**
文字入力中に 7 →定型文を選択→
・ を押しても入力可能

区点コードでの入力

文字入力中に 8 →区点コード（4 桁）を入力

7

キリトリ線

カメラ機能

静止画／動画の撮影

●静止画を撮影する

1. 待受画面で
2. 被写体にカメラを向けて
3.

●オートフォーカスで撮影する

1. 待受画面で
2. 被写体にカメラを向けてサイドキー［AF▲］半押し
3. ピントが合ったらサイドキー［AF▲］全押し
4. サイドキー［AF▲］全押し

●動画を撮影する

1. 待受画面で を1秒以上
2. 被写体にカメラを向けて
3.
4.

撮影した画像の表示／動画の再生

●画像を表示する

1. 待受画面で
2. 「カメラ」フォルダを選択
3. 表示する画像を選択
   ・フォルダ内の別画像の表示：

●動画を再生する

1. 待受画面で
2. 「カメラ」フォルダを選択
3. 再生する動画を選択
   ・動画再生中にできる操作
   ：音量調整（サイドキー［▲▼］でも操作できます）
   ：早送り再生
   ：一時停止／再開
   ：停止
   ：動画／ｉモーション一覧に戻る

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力
2.
   ・通信速度を指定して発信：
   →発信方法を選択→ →「はい」を選択
3. 通話する
   ・通話保留：
   ・スピーカーホン機能を利用して通話：
   ・送信画像の切り替え：
4. 通話が終了したら

テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
   ・応答保留：
2.
   ・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作3と同様
3. 通話が終了したら

ｉモードメール

送受信できる文字数

項目	全角文字	半角文字
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

ｉモードメールの作成・送信

未送信メールと送信メールは、それぞれ最大200件保存できます。

1. 待受画面で を1秒以上

2. To を選択→入力方法を選択→宛先を入力または選択

3. Sub を選択→題名を入力
4. Text を選択→本文を入力
   ・デコメールの作成：本文入力画面で →装飾方法を選択→文字を入力
5.
   ・メールの保存：

ファイルの添付

1. メール作成画面で を選択
   メール作成画面の表示方法→P11
2. 添付するファイルの種類を選択
3. フォルダを選択
4. ファイルを選択
   ・添付ファイルの解除： →「はい」を選択
5.

送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき

1. 待受画面で
   ・送信メールの編集：待受画面で
2. フォルダを選択
3. メールを選択
4. 編集→

ｉモードメールの受信

受信メールは、最大1000件保存できます。

1. メールを受信する
   メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示される
2. または
3. フォルダを選択
4. メールを選択

ｉモード問合せ

待受画面でサイドキー［▼］を1秒以上

メニュー一覧

・待受画面で を押してから、各項目の番号を入力してください。

〈例〉カメラを起動するとき
→ →

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 チャットメール　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 ｉモード問合せ　2 SMS問合せ
  - 3 メール選択受信　4 ｉモード問合せ設定
- 7 SMS
  - 1 SMS作成　2 FOMAカード(UIM)受信SMS
  - 3 FOMAカード(UIM)送信SMS　4 SMS設定
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
  - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
  - 5 メール返信引用設定　6 メール選択受信設定
  - 7 メール受信添付ファイル設定　8 メールグループ
  - 9 表示設定
    - 1 メール一覧表示設定　2 添付ファイル自動再生設定
    - 3 受信表示設定

キリトリ線

2 iモード
- 1 i Menu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL入力　2 URL履歴
- 4 画面メモ　5 ラストURL
- 6 iモード問合せ
- 7 メッセージ
  - 1 メッセージリクエスト　2 メッセージフリー
  - 3 メッセージ設定
    - 1 自動表示設定　2 iモード問合せ設定
    - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
- 8 iモード設定
  - 1 ワンタッチサイト表示　2 接続待ち時間設定
  - 3 接続先設定　4 証明書表示／使用設定
  - 5 ユーザ証明書操作　6 証明書発行接続先設定
- 9 表示設定
  - 1 表示・効果設定　2 表示色設定
  - 3 iモーション設定

3 iアプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 iアプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定　6 ワンタッチiアプリ表示

3 iアプリ
- 3 履歴表示
  - 1 起動失敗履歴　2 異常終了履歴
  - 3 セキュリティエラー履歴

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索　2 電話帳登録
- 3 FOMAカード(UIM)登録　4 着信履歴
- 5 リダイヤル
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧

5 データBOX
- 1 マイピクチャ　2 iモーション
- 3 メロディ　4 キャラ電

6 ツール
- 1 カメラ　2 ビデオカメラ
- 3 サウンドレコーダー　4 バーコードリーダー
- 5 赤外線／PCデータ連携
  - 1 赤外線全件送信　2 赤外線受信
  - 3 データ送受信設定　4 USBモード設定
- 6 miniSDカード　7 ICカードソフト一覧

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳　2 メモ帳
- 3 アラーム　4 電卓

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 着信音設定
  - 2 着信音量調整
    - 1 電話着信音量調整　2 メール着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定　6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定　8 着信呼出動作設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面選択
    - 1 電話発着信画像設定　2 メール送信画像設定
    - 3 メール受信画像設定　4 問合せ画像設定
  - 3 スクリーン設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定　6 着信イルミネーション
  - 7 背面ディスプレイ設定
    - 1 背面情報表示設定　2 背面画像設定
  - 8 フォント設定　9 バイリンガル
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック　2 PIMロック
    - 3 遠隔ロック　4 ICカードロック
  - 2 シークレットモード　3 ダイヤル発信制限

8 設定
- 4 FOMAカード(UIM)
  - 1 PIN1コード変更　2 PIN2コード変更
  - 3 PIN1コードON/OFF
- 5 暗証番号変更　6 指紋設定
- 7 プライバシーモード設定
- 8 スキャン機能
  - 1 パターンデータ更新　2 スキャン機能設定
  - 3 バージョン表示
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示　4 通話料金
  - 5 各種設定リセット　6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源ON設定
  - 3 自動電源OFF設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源ON設定
- 6 発着信機能
  - 1 電話発着信設定　2 発番号なし動作設定
  - 3 イヤホン切替設定　4 オート着信機能設定
  - 5 メモリ別着信拒否／許可　6 メモリ登録外着信拒否
  - 7 応答保留ガイダンス設定　8 エニーキーアンサー設定
  - 9 優先通信モード設定

8 設定
- 7 通話機能
  - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
  - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
  - 5 プレフィックス設定　6 国際ダイヤル自動付加
  - 7 サブアドレス設定　8 通話中クローズ設定
- 8 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発着信設定　2 テレビ電話動作設定
  - 3 テレビ電話画像選択　4 テレビ電話使用機器設定
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW検索方法　6 ソフトウェア更新

9 NWサービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
  - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
  - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
  - 7 メッセージ問合せ　8 件数増加鳴動設定
  - 9 着信通知
    - 1 着信通知開始　2 着信通知停止
    - 3 着信通知設定確認
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認

9 NWサービス
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話1登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他のNWサービス
  - 1 USSD登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認

9 NWサービス
- 5 デュアルネットワーク
  - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認
- 6 サービスダイヤル
  - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内･受付

0 プロフィール情報

その他の主な操作（オープン状態で待受中）

機　能	操作方法
電源ON／OFF	[電源]を2秒以上
セルフモードの設定／解除	[クリア]を1秒以上
サイドキーロックの設定／解除	[ ]を1秒以上
ドライブモードの設定／解除	[＊]を1秒以上
iモードメニューの表示	[iα]
iアプリフォルダ一覧の表示	[iα]を1秒以上
着信履歴の表示	[ ]
プライバシーモードの起動／解除	[ ]を1秒以上(解除時は[ ]を1秒以上→端末暗証番号入力／指紋認証)
リダイヤルの表示	[ ]
マナーモードの設定／解除	[#]を1秒以上
新規起動メニュー	[TASK]
伝言メモ／音声メモメニューの表示	サイドキー[▲]を1秒以上
ICカードロックの設定／解除	[ ]を1秒以上

キリトリ線

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始する

1. 待受画面で [MENU][9][1][1]
2. 「はい」を選択
3. 「はい」を選択
4. 呼出時間を入力→[ ]

●サービスを停止する

1. 待受画面で [MENU][9][1][3]
2. 「はい」を選択

●伝言メッセージを再生する

1. 待受画面で [MENU][9][1][5]
2. 「はい」を選択
3. 音声ガイダンスに従って操作する

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始／停止する

1. 待受画面で [MENU][9][2]
2. [1]（開始）～[2]（停止）
3. 「はい」を選択

●通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に [発信]

・通話相手の切り替え：[クリア]

●通話中に電話をかける

通話中に [MENU][7] →電話番号をダイヤル→[発信]

・通話相手の切り替え：[クリア]

●通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら [終話]

・保留中相手との通話再開：[発信]

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

●サービスを開始する

1. 待受画面で [MENU][9][3][1]
2. 「はい」を選択
3. 「はい」を選択
4. 転送先電話番号を入力→[ ]
   ・電話帳から転送先を入力：[MENU]
5. [決定] →「はい」を選択
6. 呼出時間を入力→[ ]

●サービスを停止する

1. 待受画面で [MENU][9][3][2]
2. 「はい」を選択

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

●サービスの開始／停止

1. 待受画面で [MENU][9][6]
2. [1]（開始）～[2]（停止）
3. 「はい」を選択

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

①：電池残量表示　漢：文字入力モード
②：受信レベル　圏外：圏外表示
　Self：セルフモード中→P20、P23
　：データ転送モード中など
③：ｉモード（接続）中
　：ｉモード（パケット通信）中
④：赤外線通信中など
⑤：スピーカーホン機能動作中
　：USBハンズフリー通信中
⑥：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦：受信メール状態表示
⑧R：受信メッセージR状態表示
⑨F：受信メッセージF状態表示

⑩：ｉアプリ待受画面表示中
　：ｉアプリDX待受画面表示中
　：ｉアプリ／ｉアプリDX実行状態表示
⑪SSL：SSLページ表示中など
⑫：シークレットモード中
⑬：ｉアプリ自動起動失敗

ディスプレイ下部

①：不在着信件数表示
②：伝言メモ件数
③：留守番電話新メッセージ件数
④：未読メール件数
⑤：マナーモード中→P18、P23
　：オリジナルマナーモード中

⑥S：着信音消音
　V：バイブレーター→P18
　SV：着信音消音とバイブレータ
⑦：ドライブモード中→P23
⑧：伝言メモ設定中
　：伝言メモ満杯
⑨：USBケーブル接続状態表示など
⑩：有効マルチカーソルキー表示
⑪SD：miniSDメモリーカード装着中
⑫：FOMAカード読み込み中
　：ＩＣカードロック中
⑬：PIMロック中
　：ダイヤル発信制限中
　：サイドキーロック中→P23
⑭：目覚まし設定の設定中
　：スケジュール設定中
　：目覚まし設定とスケジュール
⑮：ソフトウェア更新予約中

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P133

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P133

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。→P76

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P130

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P78

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P481、P485

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、
「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」は
ドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●ｉモードはこちら　ｉMenu ▶□料金&お申込 ▶■ドコモeサイト　パケット通信料無料
●パソコンなどはこちら http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶オンライン手続き/照会サービス ▶ドコモeサイト
または　http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'05.3（4.1版）
CA92002-4450